取扱説明書

ご使用の前に
よくお読みください。

Hondaインターナビシステム

このたびは Honda 車をお買い上げいただき、
ありがとうございます。

この本は、Honda インターナビシステムについて
必要事項を説明しています。
安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、
ご使用前に必ずお読みください。

この本はナビゲーションシステムおよび VICS、通信機能、オーディオ、ハンズフリー電話、ETC の取り扱いを説明しています。
車両本体の取扱説明書と合わせてお読みください。
この Honda インターナビシステムでお使いいただける機能については、*「主な機能について」（→ P4）*を参照してください。

- 操作パネル色や地図色の設定がこの本に記載の画像と異なる場合があります。設定の変更については、*「機能設定」（→ P180）*を参照してください。
- 仕様変更などにより、この本の内容と実車が一致しない場合もありますのでご了承ください。
- 撮影、印刷インキの関係で実際の色とは異なって見えることがあります。

はじめに

主な機能について

- Honda インターナビシステムでお使いいただける機能については、下記の機能一覧表をご覧ください。

このナビゲーションシステムは、はじめてナビゲーションシステムをお使いのかたが簡単に操作できる簡単操作モードと、いろいろな機能を使用できる標準操作モードがあります。

必要に応じて操作モードを切り換えてご使用ください。*(→ P33)*

機能の有無 (○ : 有り　× : 無し)

機能内容	簡単 簡単操作モード	標準 標準操作モード	ページ
基本操作			
ポイントメニューやカスタマイズメニュー (ワンプッシュメニュー) を表示する	○	○	P30
画面に壁紙を表示する	×	○	P32
操作モードの切り換え	○	○	P33
地名 / 路線名表示	○ 簡単操作モードでは地名固定	○	P36
画面表示			
2 画面にする	×	○	P54
2 画面時に右画面の縮尺を変える	×	○	P50
2 画面の向きを変える	×	○	P52
3D マップにする	×	○	P54
ドライビングマップにする	×	○	P55
行程ガイド	×	○	P56
高速ガイド	○	○	P56
高速道路の施設の情報を見る	○	○	P57
ランドマークを表示する	○	○	P59
ランドマーク表示の設定を詳細に変える	×	○	P61
ユーザーランドマークを登録、編集する	×	○	P202
施設の情報を見る	○	○	P63

機能の有無 (○ : 有り　× : 無し)

機能内容	簡単 簡単操作モード	標準 標準操作モード	ページ
マーク			
自宅などよく行く地点を登録する	○ (自宅のみ)	○	P70
好きな場所にマークをつける	×	○	P81
マークを編集する	×	○	P82
目的地検索			
地図を見ながら場所を探す	○	○	P93
近くにある施設を探す (周辺検索)	○	○	P94
ルート上周辺の施設を探す (周辺検索)	×	○	P95
施設の提携駐車場を探す (周辺検索)	○	○	P94
施設のジャンルから場所を探す	○	○	P97
施設の名前で場所を探す	○	○	P101
住所で場所を探す	○	○	P104
電話番号で場所を探す	○	○	P105
郵便番号で場所を探す	×	○	P106
マップコードで場所を探す	×	○	P107
自宅に帰る	○	○	P108
よく行く地点から場所を探す	×	○	P108
地図に付けたマークで場所を探す	×	○	P109
目的地履歴リストから場所を探す	×	○	P109
インターナビドライブ情報で目的地を探す	×	○	P115
おすすめドライブナビゲーターで目的地を探す	×	○	P486
ルート設定			
学習ルートを考慮する	○	○	P122
回避エリアの設定をする	×	○	P213
ルートを確認する	×	○	P123
ルートを複数から選ぶ	○	○	P123
経由地を設定する	×	○	P124
高速道路の乗り降り口を変える	×	○	P125

機能の有無 (○ : 有り　× : 無し)

機能内容	簡単 簡単操作モード	標準 標準操作モード	ページ
ルート案内			
誘導音声案内	○	○	P135
オートリルート	○	○	P136
ルート情報	×	○	P137
ルートスクロール	×	○	P138
区間表示	×	○	P138
迂回ルート	×	○	P139
目的地 (経由地) までのルート条件を変える	×	○	P141
経由地の順番を変える	×	○	P142
目的地周辺の駐車場に行く	×	○	P146
ルート案内を中止する	○	○	P148
再度ルート案内をはじめる	○	○	P148
VICS			
VICS	○ 簡単操作モードでは表示方法の設定などができない	○	P150
インターナビからの VICS 情報	○ 設定は標準操作モードのみ対応 (簡単操作モードでは、その設定に従う)	○	P166
ナビゲーション設定			
画面表示の設定を変える (表示設定)	○ 簡単操作モードでは [時計表示][サマータイム表示] のみ設定が可能	○	P182
誘導案内の設定を変える (誘導設定)	×	○	P185
到着予想時刻の表示	○	○	P185
到着予想時刻の車速設定	×	○	P186
警告案内の設定を変える(その他設定)	×	○	P193
メニューをカスタマイズする	×	○	P195

機能の有無 (○ : 有り　× : 無し)

機能内容	簡単 簡単操作モード	標準 標準操作モード	ページ
通信機能			
通信機能を利用したマーク情報	×	○	P89
インターナビ情報	○	○	P243
メール	○ 簡単操作モードでは メールの受信のみ対応	○	P251
カーカルテ	○	○	P267
インターナビ・ウェザー	○	○	P278
ETC			
料金所通過時の案内	○	○	P325
履歴を確認する	○	○	P325
便利な機能			
PC カード	×	○	P288
ハンズフリー電話	○	○	P300
アドレス帳	○	○	P328
警告灯サポート	○	○	P335
スケジュール	×	○	P339
音声メモ	○	○	P348
シークレットモードを設定する	○	○	P351
オーディオ・テレビ			
ラジオ	○	○	P377
CD	○	○	P383
MP3 ディスク	○	○	P386
WMA ディスク	○	○	P386
USB デバイス	○	○	P390
iPod	○	○	P394
テレビ	○	○	P400
DVD ビデオ	○	○	P410
サウンドコンテナ	○	○	P426

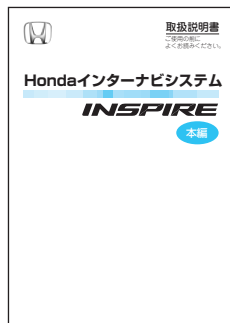
説明書について

Honda インターナビシステムの取扱説明書は、用途によって次の 3 冊から構成されています。

■ナビガイド

ナビゲーションシステムやオーディオなどのよく使う操作を説明しています。

■取扱説明書　本編

ナビゲーションシステムおよび VICS、通信機能、オーディオ、テレビ、ハンズフリー電話、その他便利な機能の取り扱いについて説明しています。

■取扱説明書　音声操作編

音声操作での取り扱い、主な音声コマンドについて説明しています。

もくじ

つづく →

10 データを登録 / 編集する

11 通信機能を使う

12 カードを使う

13 ハンズフリー電話を使う

14 ETC を使う

15 便利な機能

16 オーディオ・テレビ

17 サウンドコンテナ

18 その他

19 困ったときの手引き

20 機能設定一覧

21 索引

安全にお使いになるために

この本は、Honda インターナビシステムの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱説明書と合わせてお読みください。

■安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠ 危険	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの
⚠ 警告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
⚠ 注意	指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

■安全に関する記号

🚫 禁止（してはいけないこと）を示します。

■その他の表示

お知らせ

- 知っておくと便利な操作や情報です。

お願い

- お車のために守っていただきたいことです。

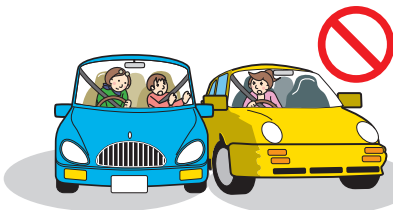
アドバイス

- 使いこなすために便利な操作や情報です。

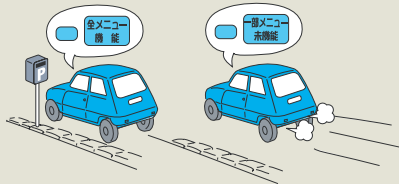
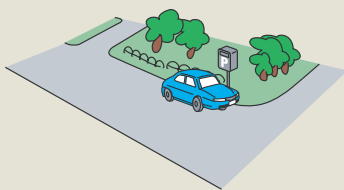
⚠ 警告

テレビやDVDビデオなどを見たり、ナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

⚠ 注意

安全のため運転者は、走行中に操作しないでください。
また、走行中に画面を見るときは、必要最小限にしてください。
前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お願い

- 目的地(自宅)への案内は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。

- 安全のため、走行中に操作できない機能があります。画面に「走行中は安全のため操作できません」などのメッセージが出ますので、安全な場所に停車して操作してください。

- 停車して操作するときは、停車禁止区域外の安全な場所で行ってください。

- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

本書の見かた

■本書の構成と分類

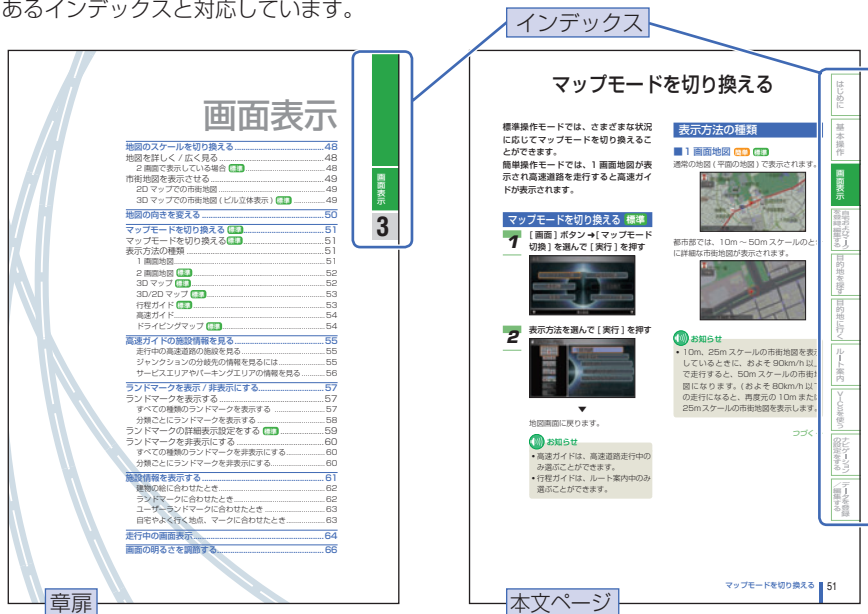
本書では、Honda インターナビシステムのさまざまな機能を、機能内容ごとに以下のように分類して説明しています。また、分類された章と色はもくじ *(→ P9)* や章扉と本文ページの右端にあるインデックスと対応しています。

インデックス

画面表示

画面表示 3

章扉

本文ページ

※このページは説明のためのページです。実際の操作説明とは異なります。

章	色	説明内容の分類
1 ～ 10	緑	主にナビゲーション機能に関する情報と操作説明
11 ～ 15	青	主にインターネットを利用したサービスやハンズフリー電話など、便利な機能に関する情報と操作説明
16 ～ 17	茶	映像や音楽をお楽しみいただける AV(オーディオ・ビジュアル) 機能に関する情報と操作説明
18 ～ 21	黄	ナビゲーション機能に関するその他の情報や困ったときの対処方法など

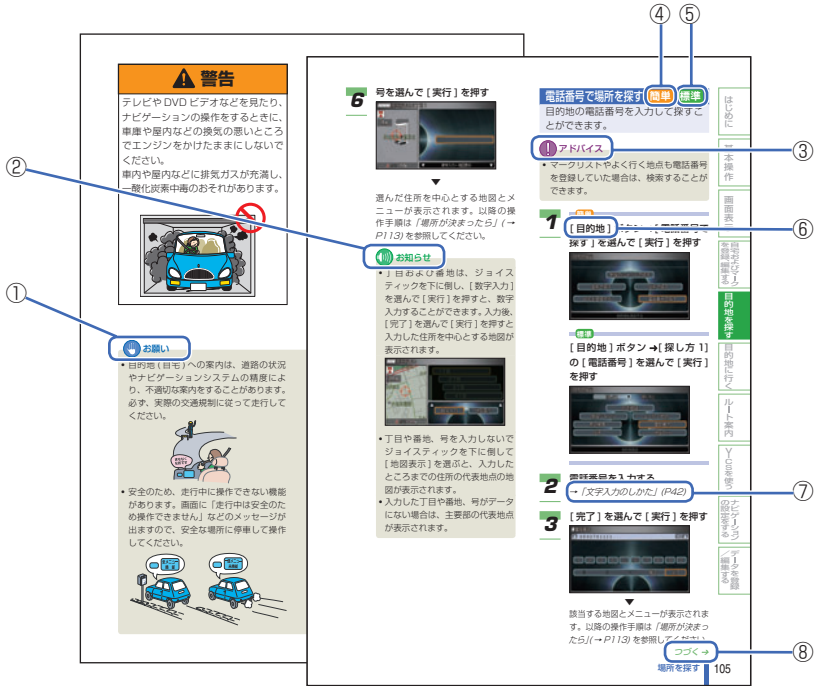
■見たいところの探しかた

特徴から探す →*P4 ～ P7*
目次で探す※1 →*P9 ～ P11*
索引で探す※2 →*P518 ～ P531*

※1：各章の扉には、更に詳細な目次がついています。

※2：索引には *「メニュー索引」(→ P518)* と *「用語索引」(→ P526)* があります。

■本書の表記のしかた

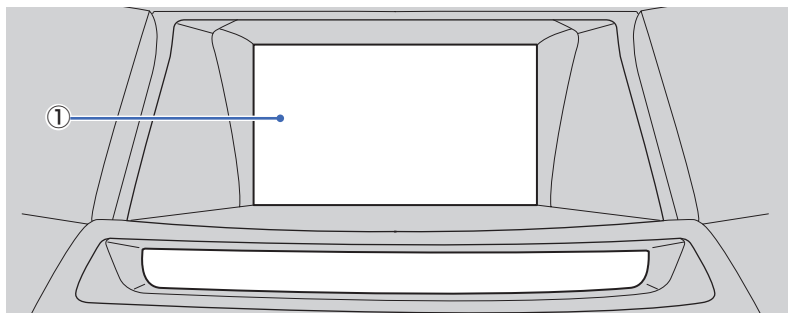
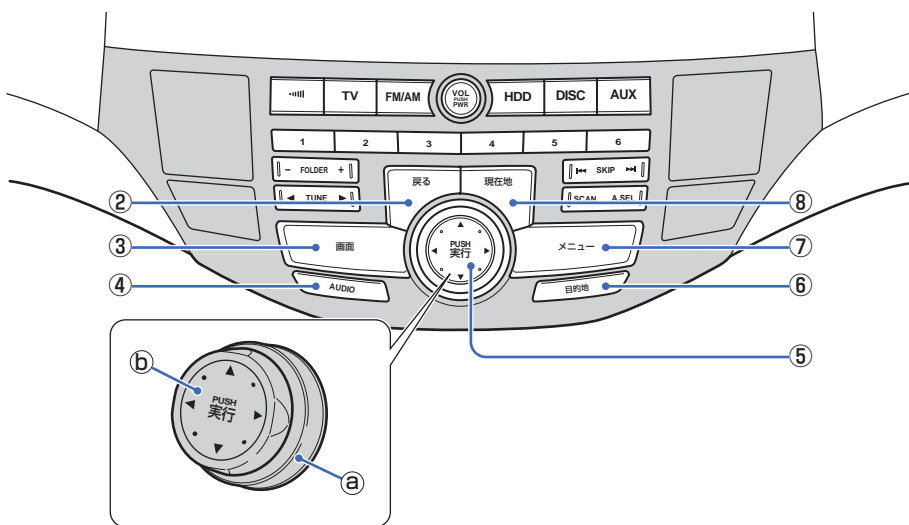
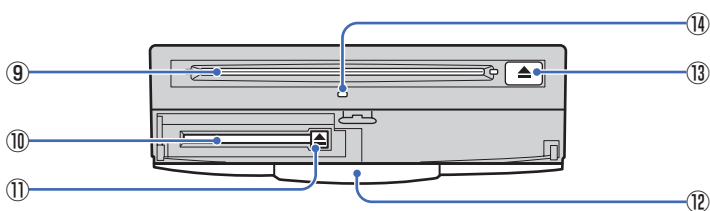
本書で使用している表記と意味は以下のようになっています。

※このページは説明のためのページです。実際の操作説明とは異なります。

表記	意味
① お願い	お車のために守っていただきたいこと
② お知らせ	知っておくと便利な操作や情報
③ アドバイス	使いこなすために便利な操作や情報
④ 簡単 ※	簡単操作モードでできる機能と操作
⑤ 標準 ※	標準操作モードでできる機能と操作
⑥［　］	操作パネルのボタンや、画面上で選べるメニュー項目や機能 例：**［目的地］ボタンを押す**
⑦ *斜体*	参照するページ、本文タイトルや他の説明書がある場合 例：→ *「文字入力のしかた」(P42)*
⑧ つづく ➜	操作手順に続きがある場合

※選択しているモードによって操作や画面表示が違うため、本書では上記マークを使ってそれぞれを説明しています。

各部の名前とはたらき

ナビゲーション機能を操作するとき

■ディスプレイ

■操作パネル

■ナビゲーションシステム本体

① **液晶表示画面**
いろいろな表示ができます。

お願い
- 液晶表示画面の表面は、キズが付きやすいので、手で強く押さえたり、かたい布などでこすらないでください。
- 画面がよごれたときは、メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふきとってください。

② **[戻る] ボタン**
操作をやめて前の画面に戻るときに使います。

③ **[画面] ボタン**
画面を設定、調節するときに使います。

④ **[AUDIO] ボタン**
ナビゲーション画面とオーディオ画面を切り換えるときに使います。

⑤ **プログレッシブコマンダー**
ⓐ コマンドホイール
左右に回して項目を選ぶときに使います。
ⓑ ジョイスティック
地図画面では 8 方向に倒して地図をスクロールさせます。メニュー画面では、上下左右に倒して項目を選んだり、押して選んだ項目を決定 (実行) するときなどに使います。

⑥ **[目的地] ボタン**
目的地を選ぶときに使います。

⑦ **[メニュー] ボタン**
メニュー画面にするときに使います。

⑧ **[現在地] ボタン**
現在地の地図画面にするときに使います。

⑨ **ディスク挿入口**
地図更新ディスクを挿入します。

⑩ **PC カード挿入口**
PC カードは、マークやスケジュール設定などのデータを保存したり、読み込むときに使います。

お願い
- PC カードを使うときには、必ず指定されたカードをお使いください。指定以外のカードを使うと、故障の原因になります。*(→ P288)*

⑪ **[⏏] ボタン (PC カード取り出しボタン)**
PC カードを取り出すときに使います。

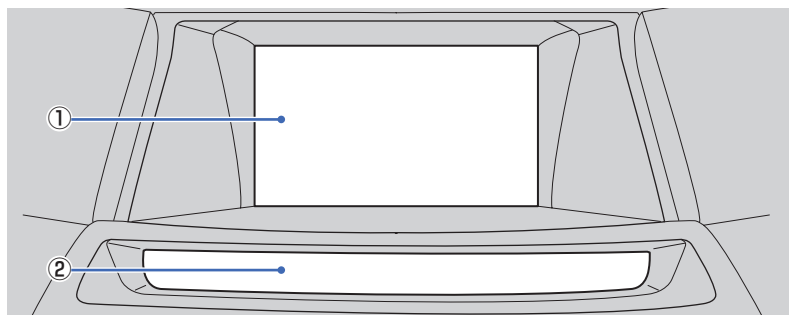
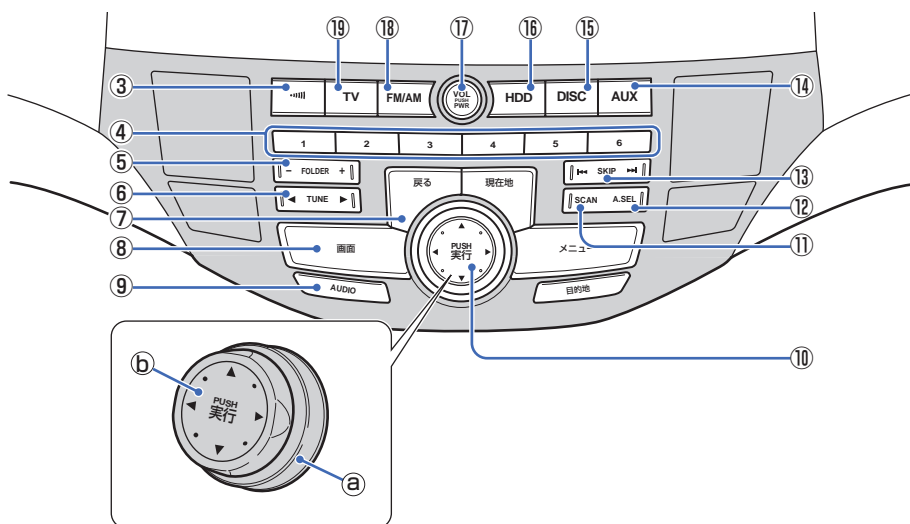
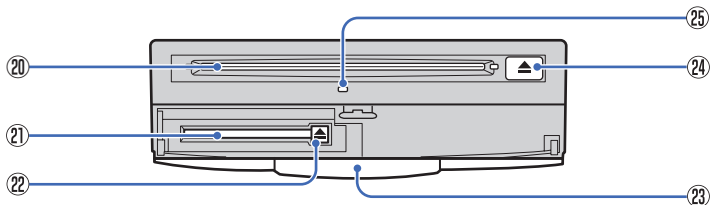
お願い
- 画面に PC カード書き込み中のテロップが表示されている状態で PC カードを取り出さないでください。

⑫ **ふた**

⑬ **ディスク取り出しボタン**
ディスクを取り出すときに使います。

⑭ **ディスクインジケーター**
ディスクを入れると点灯します。

オーディオ機能を操作するとき

■ディスプレイ

■操作パネル

■ナビゲーションシステム本体

① **液晶表示画面**
いろいろな表示ができます。

お願い

- 液晶表示画面の表面は、キズが付きやすいので、手で強く押さえたり、かたい布などでこすらないでください。
- 画面がよごれたときは、メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふきとってください。

② **サブディスプレイ**
選択されているメディア名や状態を表示します。

③ **[•ıııl] ボタン**
交通情報を聞くときに使います。

④ **プリセットボタン [1] ～ [6]**
ラジオやテレビの放送局をプリセットスイッチに登録したり、プリセット No. を選ぶときに使います。

⑤ **[FOLDER] ボタン**
テレビやラジオの記憶した放送局 (チャンネル : CH) を選んだり、MP3/WMA ディスクまたはサウンドコンテナ、USB デバイスでフォルダやプレイリストを選ぶときに使います。

⑥ **[TUNE] ボタン**
テレビやラジオの放送局を選ぶときに使います。

⑦ **[戻る] ボタン**
操作をやめて前の画面に戻るときに使います。

⑧ **[画面] ボタン**
DVD の画面を調節するときに使います。

⑨ **[AUDIO] ボタン**
ナビゲーション画面とオーディオ画面を切り換えるときに使います。

⑩ **プログレッシブコマンダー**
ⓐ コマンドホイール
左右に回して項目を選ぶときに使います。
ⓑ ジョイスティック
上下左右に倒して項目を選んだり、押して選んだ項目を決定 (実行) するときなどに使います。

⑪ **[SCAN] ボタン**
CD や MP3/WMA ディスク、USB デバイス、サウンドコンテナでスキャン再生を行うときに使います。

⑫ **[A. SEL] ボタン**
テレビやラジオの一時的に受信状態の良い放送局を記録する「オートセレクト」を行うときに使います。

⑬ **[SKIP] ボタン**
CD や MP3/WMA ディスク、USB デバイス、iPod、サウンドコンテナで曲を選ぶときに使ったり、DVD のチャプターを選ぶときに使います。

⑭ **[AUX] ボタン**
USB デバイスや iPod に切り換えるときに使います。

⑮ **[DISC] ボタン**
CD や MP3/WMA ディスク、DVD に切り換えるときに使います。

⑯ **[HDD] ボタン**
サウンドコンテナに切り換えるときに使います。

⑰ **[VOL] ダイヤル**
スピーカーの音量を調節します。
[PWR] ボタン
テレビ・オーディオの電源を ON/OFF します。

⑱ **[FM/AM] ボタン**
FM ラジオまたは AM ラジオに切り換えるときに使います。

⑲ **[TV] ボタン**
テレビに切り換えるときに使います。

⑳ ディスク挿入口
DVD ビデオや CD、CD-R/RW を挿入します。

㉑ PC カード挿入口
PC カードは、あらかじめ保存しておいた MP3 ファイルや WMA ファイルをサウンドコンテナで再生するときに使います。

お願い
• PC カードを使うときには、必ず指定されたカードをお使いください。指定以外のカードを使うと、故障の原因になります。(→ *P288*)

㉒ [⏏] ボタン (PC カード取り出しボタン)
PC カードを取り出すときに使います。

お願い
• 画面に PC カード書き込み中のテロップが表示されている状態で PC カードを取り出さないでください。

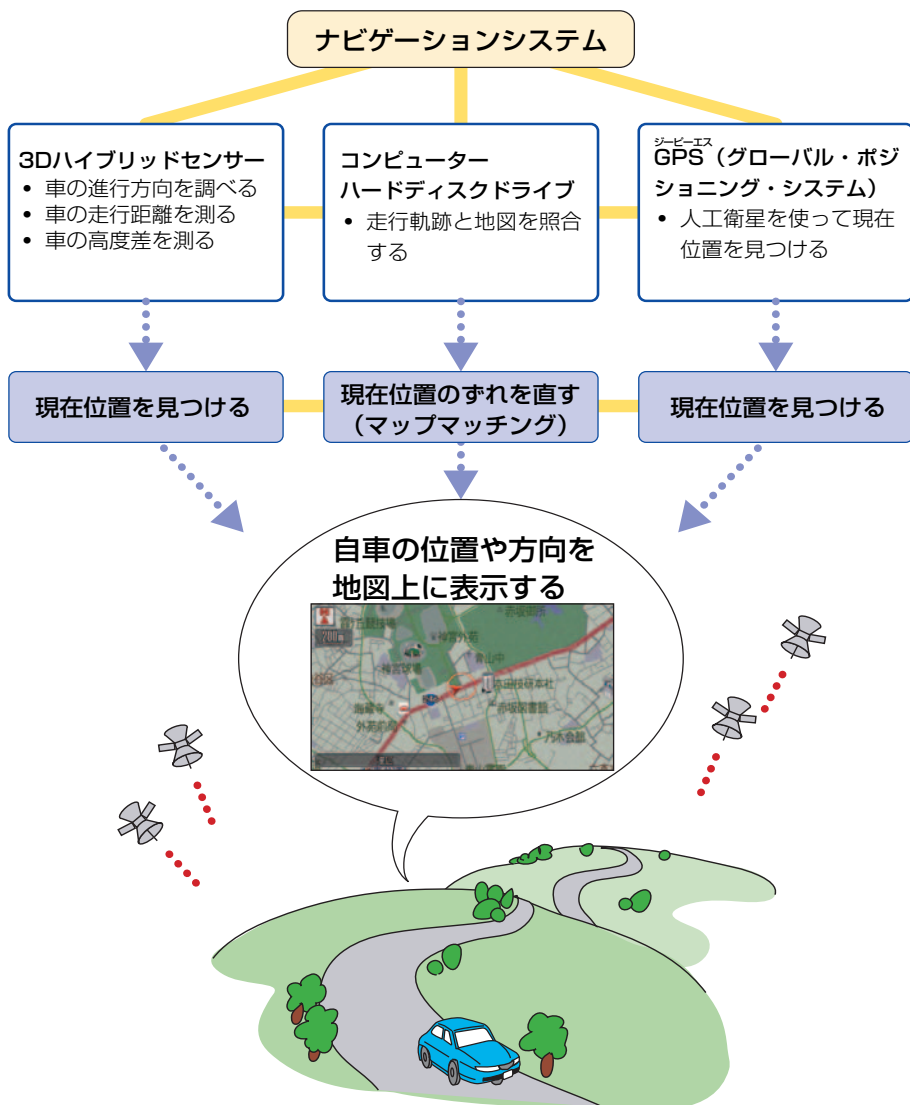
㉓ ふた

㉔ ディスク取り出しボタン
ディスクを取り出すときに使います。

㉕ ディスクインジケーター
ディスクを入れると点灯します。

ナビゲーションシステムについて

ナビゲーションシステムは、自車のセンサーや人工衛星を利用して集めた情報を基に、自車の位置や方向を地図上に表示するシステムです。

ナビゲーションシステムのしくみ

GPS（ジーピーエス）について

GPS とは、Global Positioning System（グローバル・ポジショニング・システム / 全地球測位システム）の略称です。GPS は、米国が開発運用しているシステムで、高度約 21,000km の宇宙空間で周回している 3 つ以上の GPS 衛星から地上に放射される電波を同時に受信し、現在位置を知ることができるシステムです。

GPS で現在地を測位しているときは、画面の左下に「GPS」の文字が表示されます。

お知らせ

- ナビゲーションシステムが作動してしばらくの間は、電波を受信しやすい場所にいても測位ができません。また、ナビゲーションシステムが作動したあとすぐに走行すると、GPS が測位するまでの時間が長くなります。
- 一度電源が切れた場合（バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたとき）は、GPS が測位するまでの時間が長くなります。

ハードディスクナビに関する注意点

市販のナビゲーションソフトのご利用について

市販されている CD-ROM や DVD のナビゲーションソフトを読み込んで利用することはできません。

低温時のハードディスクへの書き込みについて

低温時は、ハードディスクへの書き込み動作を伴う地点の登録 (マークやよく行く地点など)、サウンドコンテナへの録音などができない場合があります。車内温度が上昇するまで、しばらくお待ちください。

著作権

本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析等することはできません。

バージョンアップについて

本ナビゲーションシステムは、ハードディスクを利用したシステムですが、本機をバージョンアップするには内蔵ハードディスクの全てのデータを DVD-ROM にて書き換えます。
バージョンアップを行うときは、Honda 販売店にご連絡ください。

お客様の登録されたデータについて

- 本機の修理において、お客様の登録されたデータおよびサウンドコンテナに録音された音楽データの保証についてはご容赦願います。
- 本機が故障した場合、お客様の登録されたデータおよびサウンドコンテナに録音された音楽データの保証についてはご容赦願います。
- お車を譲られるときなど、お客様が録音されたサウンドコンテナ内の曲を別のハードディスクなどに複製することは、著作権法上できません。
- お車を譲られるときは、お客様が録音されたサウンドコンテナ内の曲は、著作権法上消去してください。
- PC カードを利用すると、マークデータや画像ファイルなどを保管することができます。

その他

- 弊社は、本機に収録されている地図データなどが完全・正確であることを保証するものではありません。
- 弊社は、Honda インターナビシステムがお客様の特定目的を満足させることを保証するものではありません。
- 本製品の周辺に磁気を近づけないでください。故障の原因になります。
- 本製品のハードディスクを取り外さないでください。故障の原因になります。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 著作権保護のため、法人登録車ではサウンドコンテナの機能が利用できない場合があります。

基本操作

ボタンの使いかた

■操作パネルのボタン

① **[戻る] ボタン**
操作をやめて前の画面に戻ります。

② **[画面] ボタン**
画面表示に関するメニューを表示します。

③ **[AUDIO] ボタン**
ナビゲーション画面とオーディオ画面を切り換えます。

④ **[目的地] ボタン**
目的地の設定メニューを表示します。

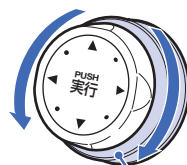
⑤ **[メニュー] ボタン**
各種の設定メニューを表示します。

⑥ **[現在地] ボタン**
現在地の地図画面を表示します。ナビゲーション以外の画面から、ナビゲーション画面に戻ることもできます。

■プログレッシブコマンダーの操作

プログレッシブコマンダーは、ジョイスティックとコマンドホイールに分かれ、ジョイスティックを倒す (8 方向) 操作と押す操作、コマンドホイールを回す操作があります。

コマンドホイールを回す

メニュー画面やリスト画面の項目や機能の選択 (カーソル移動) に使えます。
また地図スケールの切り換えや音量や色合いなど、調節画面でも使います。

ジョイスティックを押す（実行）

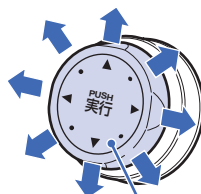
メニュー画面などで選んだ項目や機能の実行に使います。

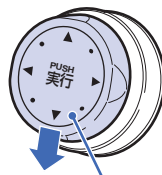
[施設ジャンル] が選ばれています。

▼

施設ジャンルの画面に切り換わります。

ジョイスティックを倒す

地図のスクロール (8 方向ー上下·左右·右上·右下・左上・左下) に使います。

メニュー画面の切り換え (下に倒す)、一部項目の選択 (二者択一など左右に倒す) に使います。

三角の方向にジョイスティックを倒します。

▼

■ボタンやプログレッシブコマンダーの操作と本書の表記

操作パネルやナビゲーションシステム本体、ハンドル操作ボタンのボタンやメニュー項目、機能を、本書では以下のように表記しています。

操作パネルやナビゲーションシステム本体、ハンドル操作ボタンは、[○○] ボタン と表記しています。
例 :[目的地] ボタン

メニュー項目や機能は、[○○] と表記しています。
例 :[マーク情報]

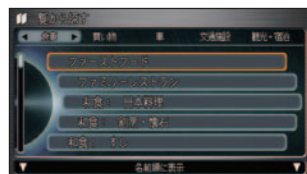
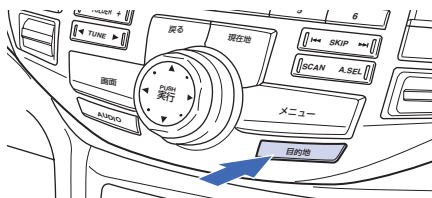
ボタンとプログレッシブコマンダーの操作を、本書では、以下のように表記しています。

メニュー画面を操作するとき

ボタンを押して表示されるメニューから、プログレッシブコマンダーで項目を選んで [実行] を押し、表示を切り換えていきます。
例 :
[目的地] ボタン→ [探し方 1] の [施設ジャンル] → [一覧から探す] を選んで [実行] を押す

▼

▼

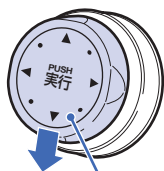
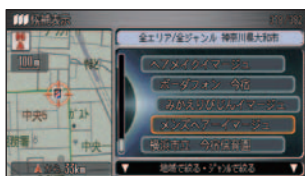
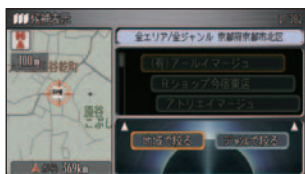
▼

機能や項目を操作するとき

画面を切り換えながら項目を選んで実行します。

例：

ジョイスティックを下に倒して [地域で絞る] を選び、[実行] を押す

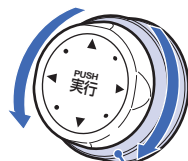
▼

▼

リスト画面を操作するとき

コマンドホイールを回して項目を選びます。

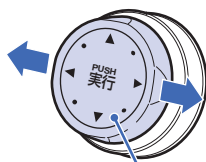
例：

[回避エリア] を選んで [実行] を押す

▼

住所やマークなどのリスト画面では、50 音や地域でリスト項目を移動できます。

ジョイスティックを左右に倒すと、50 音 (あ、い、う、・・・) や地域の順番でリスト表示を素早く切り換えることができます。

例：

ジョイスティックを左右に倒してリストを切り換える

▼

ポイントメニュー、カスタマイズメニュー（ワンプッシュメニュー）を表示する

簡単　標準

現在地やスクロールした場所のカーソル位置に対し、メニューを表示させることができます。

■ポイントメニューを表示する

スクロールや［目的地］ボタンより探した場所のカーソル位置に対して、メニューを表示させることができます。

1 **場所を探す**

→ *「場所を探す」(P92)*

2 **［実行］を押す**

ポイントメニューが表示されます。

お知らせ

- 検索のしかたや場所により表示されるメニュー項目は異なります。
→ *「場所が決まったら」(P113)*

■現在地の地図画面にカスタマイズメニュー（ワンプッシュメニュー）を表示させる

現在地では、標準操作モードのカスタマイズメニュー、簡単操作モードのワンプッシュメニューが表示されます。

1 **［現在地］ボタンを押す**

2 **［実行］を押す**

簡単

ワンプッシュメニューが表示されます。

標準

カスタマイズメニューが表示されます。

アドバイス

- カスタマイズメニューはお好みのメニューに変更することができます。→ *「メニューをカスタマイズする」(P195)*

画面を表示する / 消す 標準

- 停車して操作するときは、停車禁止区域外の安全な場所で行ってください。
- 安全のために、走行中に操作できない機能があります。画面に「走行中は安全のため操作できません」などのメッセージが出ますので、安全な場所に停車して操作してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。エンジンを始動してからお使いください。

お知らせ

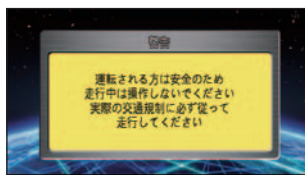
- 表示部に液晶を採用しているため、画面が明るくなるまで時間がかかることがあります。また、極低温のときや急激な温度上昇で装置が結露したときなどは、画面の表示に特に時間がかかることがあります。
- ナビゲーションシステム本体の温度が高温または低温になると、画面に動作不可能の旨のメッセージが出たり、画面が部分的に黒ずんだり、ハードディスクが読めなくなったりすることがありますが、温度が常温になれば元通りに操作できるようになります。
- 画面の中には小さな黒点・輝点がありますが、液晶特有の現象で故障ではありません。

初めて画面を表示するとき

エンジンスイッチを“I”または“II”にする

初期画面が表示されたあと、ナビゲーション画面またはオーディオ画面が表示されます。

- オーディオ画面からナビゲーション画面に切り換えるときは、[AUDIO] ボタンまたは [現在地] ボタンを押してください。

▼

お知らせ

- 初期画面が表示された後に大切なメッセージが表示されます。必ずお読みください。
- 操作モードは、簡単操作モードと標準操作モードがあります。(→ P33)

ナビゲーション画面 / オーディオ画面を消す

ナビゲーション / オーディオ画面を壁紙表示にしたり、消すことができます。

お知らせ

- 再度画面を表示させるときは、[現在地] ボタン、[メニュー] ボタン、[目的地] ボタン、[画面] ボタン、[AUDIO] ボタンのいずれかを押します。

■簡単操作モードで画面を消す 簡単

簡単操作モードでは以下の操作で画面を消すことができます。

1 **[画面] ボタン ➜[画面を消す] を選んで [実行] を押す**

▼

画面が消えます。

■標準操作モードで画面を消す 標準

壁紙の表示も消し、画面表示をすべて消すことができます。

1 **壁紙表示中に [実行] を押す**

→ *「壁紙を表示する」(本ページ)*

2 **ジョイスティックを下に倒して [表示 OFF] を選び、[実行] を押す**

▼

画面が消えます。

■壁紙を表示する 標準

ナビゲーション画面やオーディオ画面を消し、壁紙を画面に表示することができます。

アドバイス

- 壁紙にはあらかじめ「Honda ナビゲーション」と「星空」が用意されていて、選ぶことができます。また、お好みの画像を壁紙として登録することもできます。詳しくは *「壁紙の設定をする」(→ P197)* を参照してください。

1 **[画面] ボタン ➜[画面消] を選んで [実行] を押す**

▼

壁紙が表示されます。

お知らせ

- 時計表示の設定が [する] の場合は、壁紙にも時計が表示されます。
  → *「機能設定」(P184)*
- 壁紙表示中に走行すると画面が暗くなります。停車すると元の明るさに戻ります。

アドバイス

- ジョイスティックを下に倒して [壁紙設定] を選ぶことにより、壁紙を設定することができます。

操作モード（簡単 / 標準）の切り換えかた

本機のナビゲーション機能を操作するには、よく使う機能をわかりやすく表示した「簡単操作モード」と、全機能を操作できる「標準操作モード」の２つから選ぶことができます。

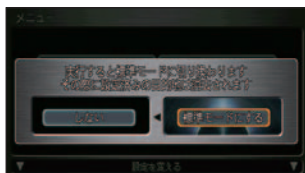
お知らせ

- すでに目的地を設定しているときは、操作モードを切り換えると目的地が解除されます。

■標準操作モードに切り換える 簡単

1 ［ メニュー ］ボタン ➜［ 標準モードにする ］を選んで［ 実行 ］を押す

2 ジョイスティックを右に倒して［ 標準モードにする ］を選び、［ 実行 ］を押す

▼

標準操作モードに切り換わります。

■簡単操作モードに切り換える 標準

1 ［ メニュー ］ボタン ➜［ 簡単モード ］を選んで［ 実行 ］を押す

2 ジョイスティックを右に倒して［ 簡単モードにする ］を選び、［ 実行 ］を押す

▼

簡単操作モードに切り換わります。

■簡単操作モードと標準操作モードのメニュー画面

[メニュー] ボタンを押したときに表示されるメニュー

簡単操作モード

[画面] ボタンを押したときに表示される画面 / 地図メニュー

簡単操作モード

[目的地] ボタンを押したときに表示される目的地設定メニュー

簡単操作モード　　　　　　標準操作モード

ナビゲーション画面の見かた 標準

地図に自車位置を表示している画面をナビゲーション画面と言います。
ナビゲーション画面では、通常自車位置が画面の中央に表示され、地図は走行に応じて自動的に動きます。

ナビゲーション画面

画面は標準操作モードのものです

① **方角マーク (、、)**
地図の方角を示します。
進行方向を上にした場合、赤い三角が北を示します。

② **スケール表示**
下の ▭ がスケールの距離を示します。
(2D マップのみ)

③ **自車位置マーク**
○は、現在の位置を示します。
▲ は、車の方向を示します。

④ **走行軌跡**
今までに通った約 100km 分の走行軌跡が表示できます。
走行軌跡は地図のスケールが 50km 以下のときに表示されます。

アドバイス

- 走行軌跡の表示は、[する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P182)*
- いままでの走行軌跡を消去することができます。→ *「機能設定」(P182)*
- 自宅を目的地に設定して自宅に到着した時に、自動的に軌跡を消去させることができます。
  地図をスクロールして自宅を目的地に設定した場合や、自宅から約 100m 以上離れている場所でエンジンを止めたときには、軌跡は自動消去されません。
  軌跡自動消去は、[自宅到着時 (消去する)]/[しない] を選べます。
  → *「機能設定」(P182)*

⑤ **現在時刻**
現在の時刻は、GPS 衛星から受信した電波に基づいて表示します。時刻を合わせる必要はありません。

アドバイス

- 時計表示は、[する]/[しない] を選べます。
→「機能設定」(P184)
- 24 時間表示と 12 時間表示を切り換えることができます。→「機能設定」(P184)

⑥ 現在地の地名

都道府県名と市区町村名が表示されます。

アドバイス

- 現在地情報表示は、[地名]/[路線名]/[しない] を選べます。[地名] を選ぶと市区町村名などが表示され、[路線名] を選ぶと走行中の道路名などが表示されます。
→「機能設定」(P183)
- 地名は地図スケールが 10m ～ 50m で市街地図が表示されている場合、市区町村名、住所名などが表示されます。(市街地図が表示されていない場合は市区町村名などが表示されます。)
- 地名は地図のスケールが 1km ～ 5km の場合、都道府県名と市区町村名が表示されます。
スケールが 10km 以上の場合、都道府県名を表示します。
- 場所によっては、地名や路線名が表示されないところもあります。

⑦ 交差点名

案内交差点に名称がある場合は交差点名称が表示されます。

⑧ レーン情報

交差点の手前 500m 以内に近づくと、場所により表示します。

アドバイス

- レーン情報は、[表示する]/[表示しない] を選べます。→「機能設定」(P185)

⑨ 方面看板表示

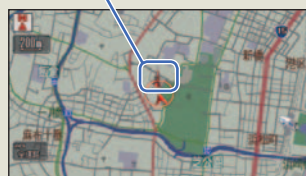
交差点の手前 500m 以内に近づくと、一般道方面看板を表示します。(東京、名古屋、大阪周辺の主要な交差点のみ)

お知らせ

- 方面看板表示は、実際の標識と異なる場合があります。
- 方面看板表示は、[すべての交差点]/[案内交差点]/[しない] を選べます。
→「機能設定」(P185)

アドバイス

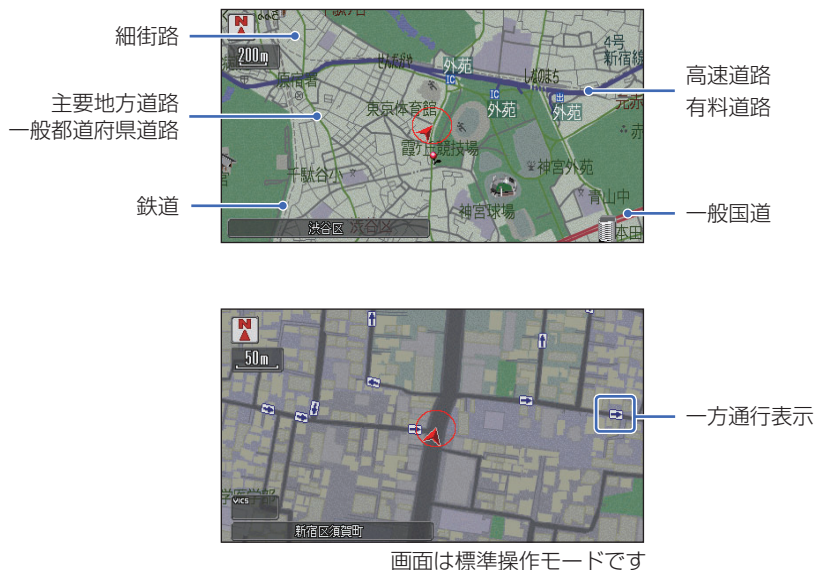
- スケールが 200m 以下の詳細表示のとき 3D アイコン、3D ポリゴン (3D マップ時) を表示させることができます。
3D アイコン表示、3D ポリゴン表示は、[する]/[しない] を選べます。
→「機能設定」(P182)

3D アイコン

3D ポリゴン

- 道幅 5m 未満の道路 (細街路) 以外を走行しているときは、細街路は表示されません。

地図記号の見かた 標準

地図表示

画面は標準操作モードです

お願い

- 画面に表示される一方通行表示は、実際の道路と異なった表示をすることがあります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。

アドバイス

- 道路のふち取り表示は、[する]/[しない] を選べます。(画面はふち取り表示なし)
  → *「機能設定」(P183)*

施設

交差点	大学・短期大学
サービスエリア	図書館
パーキングエリア	郵便局
インターチェンジ・ランプ	銀行
ジャンクション	ホテル
料金所	ショッピング
出口ランプ	工場・工場敷地
駐車場	美術館
路上パーキング	博物館
冬期閉鎖	競技場・スタジアム
空港	指示点
港・フェリー埠頭	史跡
都道府県庁	山
市役所・区役所（東京都のみ）	タワー
町、村役場、区役所（東京都以外）	動物園
官公庁	植物園
自衛隊	水族館
警察署・派出所・駐在所	ゴルフ場
消防署	温泉
病院	スキー場
学校	海水浴場

遊園地
キャンプ場
公園
マリーナ･ヨットハーバー
JRA 競技場 (WINS)
神社
寺
教会
墓地
城・城跡
ガソリンスタンド
カー用品
ホンダ店
交通教育センター
オートテラス
事故多発地点

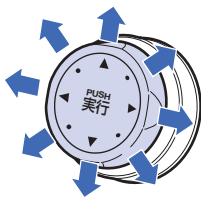
お知らせ

- 冬期閉鎖マークは、閉鎖区間の中央地点付近に表示されます。
- 冬期通行止めの情報は、過去の実績を考慮しています。実際の情報を確認してください。

見たい地図を探す 簡単 標準

地図をスクロールさせて、見たい場所の地図を探すことができます。

■近くの場所を探す

ジョイスティックを上下、左右、斜めに動かす (倒す)

ジョイスティックを倒している間、地図は動き続け、画面の上下左右にスクロール方面名称が表示されます。

▼

ジョイスティックから手を離すと、現在地からの直線距離などが表示されるスクロール画面になります。

お知らせ

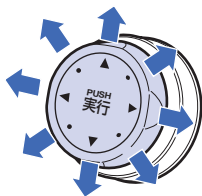
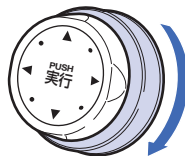
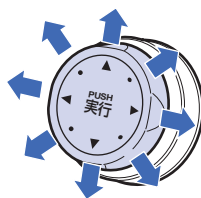
- 同じ方向に約 2 秒以上倒し続けると、地図が速く動きます。
- 3D マップ時にスクロールすると 2D マップになります。
- ドライビングマップ時にスクロールすると 1 画面地図になります
- 走行中にジョイスティックを 1 度倒すと倒した方向にある程度スクロールし、止まります。
- 走行中は、同じ方向に約 2 秒以上倒してもスクロールできません。
- 走行中に市街地図を表示しているときは、スクロールできません。
- [現在地] ボタンを押すと、現在地画面に戻ります。

アドバイス

- 地図の向きや表示を切り換えることができます。*(→ P52)*
- カーソル周辺にある施設を探すことができます。*(→ P93)*
- 探した場所にマークをつけることができます。*(→ P81)*
- 探した場所を目的地にすることができます。*(→ P113)*
- 市街地図表示のときは、建物の情報を見ることができます。*(→ P64)*
- スクロールの方面名称の表示は [する]/[しない] が設定できます。
  →「機能設定」(P184)
- 2 画面のとき、左画面に連動して右画面のスクロールを [する]/[しない」を設定できます。
  →「機能設定」(P184)

■遠くの場所を早く探す

コマンドホイールを回して広域の地図にする

2 ジョイスティックで場所を探す

3 コマンドホイールを回して詳細の地図にする

4 ジョイスティックで地図をスクロールし正確な場所を探す

音量を調節する / 消す 簡単 標準

音声による案内の音量を調節できます。
また、音声を消すこともできます。

簡単

[メニュー] ボタン ➜[音声音量を変える] を選んで [実行] を押す

標準

[メニュー] ボタン ➜[音声音量設定] を選んで [実行] を押す

2 コマンドホイールを左右に回して音量を設定する

- コマンドホイールで設定すると、設定した案内音が流れ、音量を確認できます。
- コマンドホイールを左いっぱいに回して、バーの点灯がなくなると、案内音を消すことができます。

[実行] を押す

案内音の音量が設定されます。

文字入力のしかた

場所の名称や電話番号などを登録するときは、文字や数字を入力する必要があります。
ここでは、メニュー操作中に表示される、文字または数字の入力画面の操作のしかたについて説明します。

お知らせ

- ひらがな、カタカナ、英数、記号、漢字が利用できます。
  ただし、文字の入力を必要とする項目によっては、使用できる文字の種類が制限されることがあります。例えば、[施設名称] やマークの [読み] の場合、ひらがな入力以外は選べません。

文字の入力操作の流れ

一般的な文字の入力操作の流れは、次のようになります。

1.文字種を切り換える

↓

2.全角 / 半角または大文字 / 小文字を切り換える

↓

3.文字を入力する

↓

4.無変換、変換を行う

↓

5.文字入力を終了する

■入力エリアと入力キーボード、機能メニューへのカーソルの切り換えかた

入力エリア

▲

カーソルを入力キーボードの一番上に移してジョイスティックを上に倒すと入力エリアに切り換わります。
入力エリアでジョイスティックを下に倒すと入力キーボードに戻ります。

入力キーボード

▲

カーソルを入力キーボードの一番下に移して、ジョイスティックを下に倒すと機能メニューに切り換わります。機能メニューで、ジョイスティックを上に倒すと入力キーボードに戻ります。

▼

機能メニュー

1. 文字種を切り換える

機能メニューを表示する

→「入力エリアと入力キーボード、機能メニューへのカーソルの切り換えかた」(P42)

2 [入力切換] を選んで [実行] を押す

[入力切換] を選んで [実行] を押すごとに、文字種は以下のように切り換わります。

ひらがな → **カタカナ** → **英数** → **記号** → **漢字表** → **ひらがな**

▼

切り換わった文字種が表示されます。

アドバイス

- ジョイスティックを左右に倒しても、文字種を切り換えることができます。

2. 全角 / 半角または大文字 / 小文字を切り換える

全角 / 半角 (カタカナ、英字、数字、記号) または大 / 小文字 (ひらがな、カタカナ、英字) を選びます。

全角 / 半角を切り換えるとき

1 入力キーボード中の [全角] または [半角] を選んで [実行] を押す

切り換わった内容が表示されます。

大文字 / 小文字を切り換えるとき

入力キーボード中の [大文字] または [小文字] を選んで [実行] を押す

切り換わった内容が表示されます。

3. 文字を入力する

1 入力キーボードからジョイスティックの上下左右、またはコマンドホイールの回転で入力したい文字を選んで [実行] を押す

▼

選んだ文字が入力されます。

4. 無変換、変換を行う

ひらがなをそのまま入力したり、ひらがなを漢字に変換します。

お知らせ

- 一度に変換、無変換できる文字は、全角で 12 文字までです。

変換を行わないとき

1 入力キーボード中の [無変換] を選んで [実行] を押す

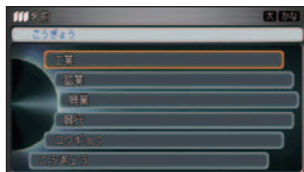
▼

入力した文字がひらがなで確定されます。

変換を行うとき

1 入力キーボード中の [変換] を選んで [実行] を押す

2 候補から入力したい漢字を選んで [実行] を押す

▼

選んだ漢字が入力されます。

5. 文字入力を終了する

1 入力キーボード中の [完了] を選んで [実行] を押す

▼

文字入力が終了します。

お知らせ

- 機能によっては [完了] は表示されず [検索] などが表示される場合があります。

漢字表から入力する

JIS 第二水準の漢字の一覧表から漢字入力します。

機能メニューを表示する

→「入力エリアと入力キーボード、機能メニューへのカーソルの切り換えかた」(P42)

[入力切換] を選んで漢字表に切り換わるまで [実行] を押す

→「1. 文字種を切り換える」(P43)

ジョイスティックを上に倒して漢字表画面を表示し、入力したい漢字を選び、[実行] を押す

▼

選んだ漢字が入力されます。

お知らせ

• [前ページ] または [次ページ] を選んで [実行] を押すと、前のページまたは次のページが表示されます。

文字を削除する

入力エリアを表示する

→「入力エリアと入力キーボード、機能メニューへのカーソルの切り換えかた」(P42)

お知らせ

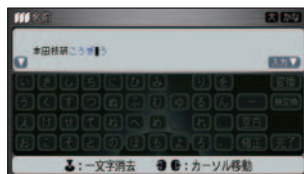
• 入力キーボード中の [修正] を選んでも入力エリアを表示できます。

ジョイスティックを左右に倒して、削除したい文字の右にカーソルを移動させる

お知らせ

• カーソルは、同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。
• カーソルを移動させなくても、カーソルの左の文字は削除できます。
• パスワードの入力画面などでは、カーソルを移動することはできません。

[実行] を押す

▼

カーソルの左の文字が削除されます。

お知らせ

• [実行] ボタンを約 2 秒以上押し続けると、同じ色で表示されているカーソルの左側の文字を一度に削除することができます。

スペースを空ける

1 **入力キーボード中の [空白] を選んで [実行] を押す**

▼

スペースが空きます。

文字を挿入する

1 **入力エリアを表示する**

→ *「入力エリアと入力キーボード、機能メニューへのカーソルの切り換えかた」(P42)*

お知らせ

- 入力キーボード中の [修正] を選んでも入力エリアを表示できます。

ジョイスティックを左右に倒して、挿入したい場所にカーソルを移動させる

お知らせ

- カーソルは、同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。
- パスワードの入力画面などでは、カーソルを移動することはできません。

ジョイスティックを下に倒して文字を選び、[実行] を押す

→ *「3. 文字を入力する」(P44)*

改行する

入力キーボード中の [改行] を選んで [実行] を押す

▼

改行され、次の行が入力できるようになります。

お知らせ

- [改行] は、メールや署名を編集するときに使用できます。

定型文を入力する

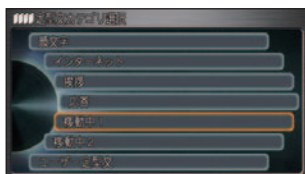
メールのタイトルや宛先、本文の入力では、定型文を使うことができます。

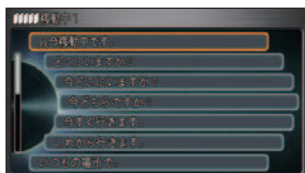
■入力する

1 **機能メニューを表示する**

→「入力エリアと入力キーボード、機能メニューへのカーソルの切り換えかた」(P42)

2 **[定型文] を選んで [実行] を押す**

3 **定型文のカテゴリを選んで [実行] を押す**

4 **定型文を選んで [実行] を押す**

▼

定型文が入力されます。

お知らせ

• [ユーザー定型文] では登録した定型文を使用できます。

■ユーザー定型文を登録する 標準

お知らせ

• 簡単操作モードではユーザー定型文を登録することはできません。
• ユーザー定型文は 20 件まで登録できます。

1 **[メニュー] ボタン ➔ [付加機能] を選んで [実行] を押す**

2 **[ユーザー定型文編集] を選んで [実行] を押す**

▼

ユーザー定型文編集画面が表示されます。

3 **[新規作成] を選んで [実行] を押す**

4 **定型文を入力する**

→「3. 文字を入力する」(P44)

お知らせ

• 定型文は全角で 32 文字 (半角で 64 文字) まで入力できます。

5 **[完了] を選んで [実行] を押す**

定型文が登録されます。

■ユーザー定型文を編集する 標準

お知らせ

- 簡単操作モードではユーザー定型文を編集することはできません。

1 **ユーザー定型文編集画面で、編集するユーザー定型文を選んで［実行］を押す**

→「ユーザー定型文を登録する」(P47)

2 **［編集］を選んで［実行］を押す**

以降の操作手順は、*「ユーザー定型文を登録する」（→ P47）*の手順４以降と同じです。

■ユーザー定型文を消去する

1 **ユーザー定型文編集画面で、消去するユーザー定型文を選んで［実行］を押す**

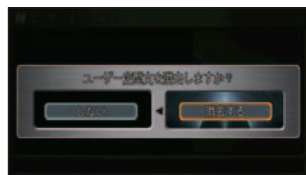
→「ユーザー定型文を登録する」(P47)

お知らせ

- すべてのユーザー定型文を消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して［全消去］を選び、［実行］を押します。

2 **［消去］を選んで［実行］を押す**

3 **ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す**

▼

ユーザー定型文が消去されます。

画面表示

地図のスケールを切り換える

10m ～ 300km までの範囲で地図のスケールを変えることができます。

地図を詳しく / 広く見る

 お知らせ

- 200m スケールより広域の地図のときは、細街路は表示しません。

コマンドホイールを左右に回す

スケールバーが表示され、スケールレベルを確認できます。

左	地図が広域表示され、広い範囲を見ることができます。
右	地図が詳細表示され、詳しく見ることができます。

お知らせ

- スケールバーで赤色に表示されているスケールでは、VICS 情報を表示することができます。→*「地図上で VICS 情報を見る」(P152)*

■ 2 画面で表示している場合 標準

コマンドホイールを回すと、左画面のスケールのみ変わります。

右画面のスケールを変えるには

[画面] ボタン ➜[右画面縮尺] を選んで [実行] を押す

2 コマンドホイールを回してスケールを変更する

 お知らせ

- スケールバーが表示されている間のみ右画面のスケールを変えることができます。

市街地図を表示させる

10m ～ 50m の地図のスケールで、道幅や建物の形などがわかる詳細な市街地図を表示することができます。

お知らせ

- 都市部では詳細な市街地図、都市部以外では簡易的な市街地図を表示させることができます。（簡易市街地図）
- 10m、25m スケールの市街地図を表示しているときに、およそ 90km/h 以上で走行すると、50m スケールの市街地図になります。（およそ 80km/h 以下の走行になると、再度元の 10m または 25m スケールの市街地図を表示します。）

■ 2D マップでの市街地図

各施設の名称や細街路、一方通行などの詳しい情報が表示されます。

お知らせ

- 詳細な市街地図と簡易的な市街地図の境目では、道路幅が異なる場合があります。

■ 3D マップでの市街地図 標準（ビル立体表示）

代表的なビルなどの建物が立体表示されます。（ある程度手前に来ると、表示されなくなります。）また、各施設の名称や細街路、一方通行などの詳しい情報が表示されます。

お知らせ

- すべての建物が立体表示されるわけではありません。
- 建物の外見は、実際と異なる場合があります。
- 簡易市街地図では、建物は立体表示されません。
- 地図をスクロールすると、2D マップ表示となります。また、走行中は地図をスクロールできません。

アドバイス

- ビル立体表示は、[する]/[しない] を選ぶことができます。
→ *「機能設定」(P182)*

地図の向きを変える

さまざまな状況に応じて、地図の向きを変えることができます。

簡単

[画面] ボタン ➜ [地図向きを変える] を選んで [実行] を押す

標準

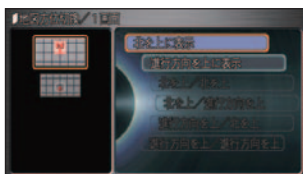
[画面] ボタン ➜ [地図方位切換] を選んで [実行] を押す

2

表示したい地図の向きを選んで [実行] を押す

簡単

標準

▼

地図画面に戻ります。

- 地図画面から [実行] を押して [地図方位] から切り換えることもできます。→ *「ポイントメニュー、カスタマイズメニュー (ワンプッシュメニュー) を表示する」(P30)*

- 3D マップでは地図の向きを変えることはできません。3D/2D マップで地図の向きを設定すると 2 画面地図 (2D/2D) になります。
- スケールが 300km のときは「進行方向を上に表示」はできません。
- 地図の向きは次のように設定することができます。

  1 画面地図 :
  北を上に表示
  進行方向を上に表示
  2 画面地図 :
  北を上 / 北を上
  北を上 / 進行方向を上
  進行方向を上 / 北を上
  進行方向を上 / 進行方向を上

マップモードを切り換える

標準操作モードでは、さまざまな状況に応じてマップモードを切り換えることができます。
簡単操作モードでは、1 画面地図が表示され高速道路を走行すると高速ガイドが表示されます。

マップモードを切り換える 標準

[画面] ボタン ➔[マップモード切換] を選んで [実行] を押す

2 表示方法を選んで [実行] を押す

▼

地図画面に戻ります。

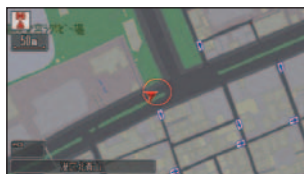
お知らせ

- 高速ガイドは、高速道路走行中のみ選ぶことができます。
- 行程ガイドは、ルート案内中のみ選ぶことができます。

表示方法の種類

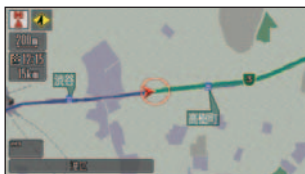
■ 1 画面地図 簡単 標準

通常の地図 (平面の地図) で表示されます。

都市部では、10m ～ 50m スケールのときに詳細な市街地図が表示されます。

お知らせ

- 10m、25m スケールの市街地図を表示しているときに、およそ 90km/h 以上で走行すると、50m スケールの市街地図になります。(およそ 80km/h 以下の走行になると、再度元の 10m または 25m スケールの市街地図を表示します。)

つづく ➔

都市高速道路を走行すると、高速道路、有料道路、主要な道路、インターチェンジのみ表示されます。(都市高速マップ)
(標準操作モードのみ)

アドバイス

- 50m ～ 5km スケールで表示できます。(市街地図は除きます。)
- 都市高速マップの表示は、[する]/[しない] を選ぶことができます。
  → *「機能設定」(P184)*

■2 画面地図 標準

画面が左右に 2 分割されて表示されます。詳細地図と広域地図を同時に見たいときに便利です。

アドバイス

- 2 画面のとき、左画面に連動して、右画面をスクロールさせることができます。(2 画面同時スクロール)
  → *「機能設定」(P184)*
- 右画面のスケールの変更は、*「地図のスケールを切り換える」(→ P50)* で変更できます。

■3D マップ 標準

上空から見ているような地図が表示されます。

都市部では、10m ～ 50m スケールのときに立体的な市街地図が表示されます。(ビル立体表示)

お知らせ

- 10m、25m スケールの市街地図を表示しているときに、およそ 90km/h 以上で走行すると、50m スケールの市街地図になります。(およそ 80km/h 以下の走行になると、再度元の 10m または 25m スケールの市街地図を表示します。)
- 地図をスクロールすると、3D マップは 2D マップに切り換わります。
- スケールが 300km のときは [3D マップ] を選んでも「北を上に表示」で表示され、3D マップは表示されません。

アドバイス

- 地図を見る角度は変更できます。
  → *「機能設定」(P182)*
- ビル立体表示は、[する]/[しない] を選ぶことができます。
  → *「機能設定」(P182)*

■3D/2D マップ 標準

画面が左右に2分割され、左画面には3Dマップ、右画面には2Dマップで地図が表示されます。3Dマップと2Dマップを同時に見たいときに便利です。

お知らせ

- 地図をスクロールすると、3Dマップは2Dマップに切り換わります。
- スケールが300kmのときは[3D/2Dマップ]を選んでも左画面が「北を上に表示」で表示され、2画面地図で表示されます。

アドバイス

- 左画面の地図は、スクロール、角度の変更などができます。
- 2画面のとき、左画面に連動して、右画面をスクロールさせることができます。(2画面同時スクロール)
→「機能設定」(P184)

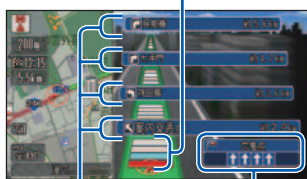
■ドライビングマップ 標準

ドライバーの視線から見たような地図が表示されます。
信号やお店などの目印となる建物が立体的に表示されます。(一部の地域では表示されないことがあります。)左側には地図が表示されます。

お知らせ

- ドライビングマップ時にスクロールすると1画面地図になります。
- 走行速度がおよそ90km/hを超えると表示できなくなり、およそ80km/h以下になると再表示します。

■行程ガイド 標準

ルート案内中、右側に現在地より前方の案内地点と現在地からの距離が表示されます。左側には地図が表示されます。

お知らせ

- ルート案内中に設定することができます。
- ジョイスティックを上に倒すと先の案内地点の情報を見ることができ、下に倒すと戻ります。
- 案内地点を選んで [実行] を押すと、案内地点周辺の地図を確認することができます。
- 一般道路を走行しているときは、次の交差点のレーン情報や、先の交差点の誘導方向が表示されます。
- 高速道路を走行中は、料金所に近づくと料金が表示されます。
- *「高速ガイドの施設情報を見る」(→ P57)* と同様の操作で高速道路のサービスエリア / パーキングエリアは情報を見ることができます。
- VICS 情報表示を設定している場合は、VICS 情報センターから受信した道路交通情報が表示されます。
  → *「地図上で VICS 情報を見る」(P152)*

アドバイス

- 通過すると IC(インターチェンジ) の表示を入口 IC と出口 IC のみにし、その間の IC を省略 [する]/[しない] を選ぶことができます。→ *「機能設定」(P183)*

■高速ガイド 簡単 標準

高速道路走行時に表示される専用画面で自動的に高速ガイドに切り換ります。高速ガイドでは前方の高速道路施設の情報が表示され、左側には地図が表示されます。

お知らせ

- 高速ガイド表示中に手動で別のマップモードに切り換えることもできます。(標準操作モードのとき)
- 一般道路に入ると通常の地図表示に切り換わります。
- 高速道路の施設情報を見ることができます。
  → *「高速ガイドの施設情報を見る」(P57)*
- 高速ガイドに表示される内容は、実際と異なる場合があります。
- 高速道路によっては、高速ガイドを表示できないことがあります。
- VICS 情報表示を設定している場合は、VICS 情報センターから受信した道路交通情報が表示されます。
  → *「地図上で VICS 情報を見る」(P152)*

アドバイス

- 高速ガイド自動表示は、[する]/[しない] を選ぶことができます。(標準操作モードのとき) → *「機能設定」(P183)*

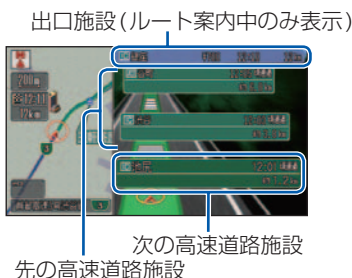
高速ガイドの施設情報を見る 簡単 標準

高速道路走行中に高速ガイドに切り換わると、前方のインターチェンジやサービスエリアまでの距離、および施設情報などを確認できます。
高速ガイドでは、車の走行に合わせて、自動的に次の施設情報に切り換わります。また、本線上や分岐先の施設情報をあらかじめ見ることも可能です。

■走行中の高速道路の施設を見る

高速道路を走行すると自動的に高速ガイドに切り換わります。

出口施設（ルート案内中のみ表示）

次の高速道路施設
先の高速道路施設

お知らせ

- 高速ガイドの自動表示は、［する］/［しない］を選ぶことができます。→*「機能設定」(P183)*（標準操作モードのみ）
- 複雑なジャンクションにおいては、同じ名称の施設や路線が表示される場合があります。
- 通過した施設は見ることができません。
- ジャンクションやインターチェンジなどの高速道路に併設されている施設を通過して高速道路を降りる場合は、高速道路を降りるまで高速ガイドで表示されます。一般道に入ると、通常の地図表示に戻ります。

■ジャンクションの分岐先の情報を見るには

お知らせ

- ルート案内中は分岐先を選ぶことはできません。

1 ジョイスティックを上または下に倒してジャンクションを選び、［実行］を押す

2 情報が見たい分岐先を選んで［実行］を押す

▼

分岐先の情報が表示されます。

お知らせ

- ［全画面地図］を選ぶと選んだジャンクション周辺の地図が表示されます。
- ［拡大図表示］を選ぶと選んだジャンクションの画像が表示されます。

■サービスエリアやパーキングエリアの情報を見る

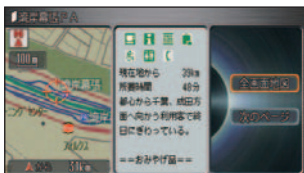
画面にサービスエリアやパーキングエリアの施設情報が表示されているときは、施設の詳細情報を見ることができます。

ジョイスティックを上または下に倒して施設を選び、[実行] を押す

ジョイスティックを上に倒すと先の施設にカーソルが移動し、下に倒すと戻ります。

カーソル

[詳細情報] を選んで [実行] を押す

▼

施設の詳細情報が表示されます。

お知らせ

- [全画面地図] を選ぶと選んだ施設周辺の地図が表示されます。
- 走行中は情報を表示することはできません。

サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

施設情報が表示されます
（最大８つまで表示できます。）

ガソリンスタンド (各ガソリンスタンドのロゴマークが表示されます。例 : 出光興産)	
FAX	レストラン
インフォメーション	休憩所
お風呂	軽食
コインシャワー	身障者施設
コインランドリー	ベビーベッド
コイン洗車	宝くじ
コーヒー	名産
ドラッグ	キャッシュコーナー
ハイウェイ情報ターミナル	トイレ
	自動販売機
ベッド	公衆電話
ポスト	

料金表示について

お知らせ

- 高速道路上でルートを指定した場合は、料金が表示されない場合があります。
- 早朝夜間割引などの特別な料金は考慮されません。
- 料金表示が可能なのは、都市高速・都市間高速・一部の有料道路です。表示される料金は、地図データ作成時点によるもので、表示されない場合があります。
- 実際の料金と異なる場合があります。

ランドマークを表示 / 非表示にする

表示させるランドマークをジャンルごとに細かく設定することができます。

アドバイス

- 新たにランドマークを登録することができます。(ユーザーランドマーク)
  → *「ユーザーランドマークを登録 / 編集する」(P202)*

ランドマークを表示する 簡単 標準

さまざまな施設のランドマークを地図上に表示させることができます。

■ すべての種類のランドマークを表示する

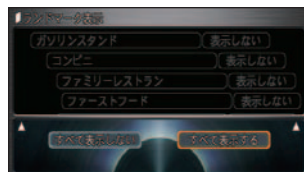
すべての種類のランドマークを地図上に表示させることができます。

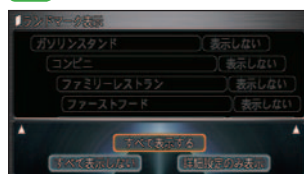
[画面] ボタン ➜[ランドマーク表示] を選んで [実行] を押す

簡単

標準

2 **ジョイスティックを下に倒して [すべて表示する] を選び、[実行] を押す**

簡単

標準

▼

すべての種類のランドマークが表示されます。

お知らせ

- 標準操作モードで、[詳細設定のみ表示] を選ぶと詳細設定で設定されたランドマークをすべて表示します。→ *「ランドマークの詳細表示設定をする」(P61)*

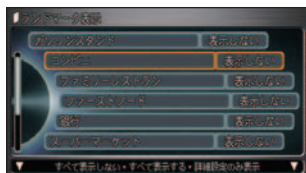
はじめに
基本操作
画面表示
自宅およびマークを登録、編集する
目的地を探す
目的地に行く
ルート案内
VICSを使う
ナビゲーションの設定をする
データを登録／編集する

■分類ごとにランドマークを表示する

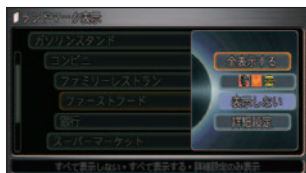
さまざまな施設のランドマークを地図上に表示させることができます。

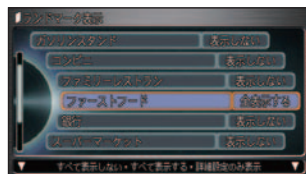
[画面] ボタン ➜[ランドマーク表示] を選んで [実行] を押す

ランドマーク表示設定画面が表示されます。

2 表示させたいランドマークの分類を選んで [実行] を押す

お知らせ

- 簡単操作モードでは、[表示する] と [表示しない] の切り換えのみになり、以降の操作は必要ありません。

[全表示する] または [(ランドマーク)] を選んで [実行] を押す

[全表示する]	すべての関連施設のランドマークが表示されます。
[(ランドマーク)]	詳細設定で設定された施設のランドマークが表示されます。
[表示しない]	ランドマークを表示しません。*(→ P62)*
[詳細設定]	表示するランドマークを設定します。*(→ P61)*

▼

表示する設定がされると、リストの項目の色が変わります。
引き続き施設を選ぶことができます。

ランドマークの詳細表示設定をする 標準

詳細設定では、ランドマークを表示するとき、各施設を最大３つまでに限定して表示することができます。

1 **[画面] ボタン ➜[ランドマーク表示] を選んで [実行] を押す**

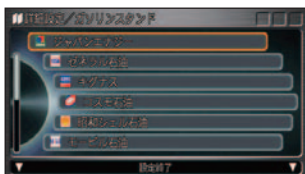
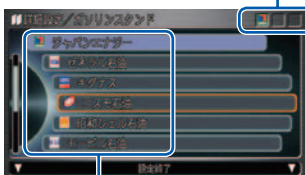
ランドマーク表示設定画面が表示されます。

2 **詳細設定したいランドマークの分類を選んで [実行] を押す**

ランドマークの表示方法を選択するメニューが表示されます。

3 **[詳細設定] を選んで [実行] を押す**

4 **ランドマークを表示させたい施設を選んで [実行] を押す**

▼

表示する設定がされるとリストの項目の色が変わります。また、選んだ施設のマークが右上に表示されます。引き続き選ぶことができます。

お知らせ

- 再度 [実行] を押すと、項目の色が戻り、選択が解除されます。

5 **ジョイスティックを下に倒して [設定終了] を選び、[実行] を押す**

▼

ランドマーク表示設定画面に戻り、選んだ施設マークが表示設定に表示されます。

ランドマークを非表示にする

簡単 標準

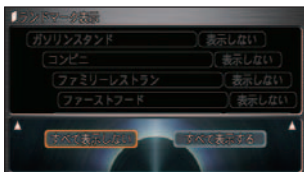
表示させているランドマーク (→ P59) を表示させないようにする (非表示) ことができます。

■すべての種類のランドマークを非表示にする

1 **[画面] ボタン ➜[ランドマーク表示] を選んで [実行] を押す**

ランドマーク表示設定画面が表示されます。

2 **ジョイスティックを下に倒して [すべて表示しない] を選び、[実行] を押す**

簡単

標準

▼

すべての種類のランドマークが非表示にされます。

■分類ごとにランドマークを非表示にする

1 **[画面] ボタン ➜[ランドマーク表示] を選んで [実行] を押す**

ランドマーク表示設定画面が表示されます。

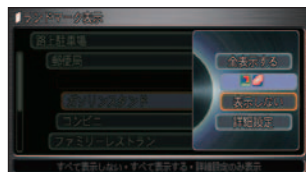
2 **非表示にしたいランドマークの分類を選んで [実行] を押す**

ランドマークの表示方法を選択するメニューが表示されます。

お知らせ

- 簡単操作モードでは、[表示する] と [表示しない](何も表示されません。) の切り換えのみになり、以降の操作は必要ありません。

3 **[表示しない] を選んで [実行] を押す**

▼

地図上に選んだ施設のランドマークが表示されなくなります。
引き続き施設を選ぶことができます。

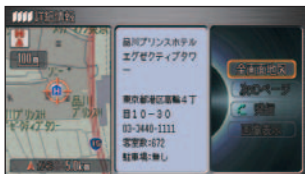
施設情報を表示する 簡単 標準

検索した施設の詳細情報を見ることができます。

施設を探して [実行] を押す

→ *「場所を探す」(P92)*

[詳細情報] を選んで [実行] を押す

▼

施設情報が表示されます。

お知らせ

- 施設に出入口の情報がある場合、[出入口] を選んで [実行] を押すと、出入口付近を目的地に設定することができます。
- 選んだ場所に複数の施設がある場合、施設のリストが表示されます。施設を選んで [実行] を押してください。
- 建物内に複数の会社、店などがある場合、建物内にある店舗リストが表示されます。店舗を選んで [実行] を押してください。
- [全画面地図] を選んで [実行] を押すと、詳細情報を表示している地点周辺の地図が表示されます。
- [次のページ] が表示されているときは、施設情報に続きがあることを示しています。続きを見るときは、[次のページ] を選んで [実行] を押してください。
- 携帯電話が接続されているときは、その施設に電話をかけることができます。電話をかけるには、[発信] を選んで [実行] を押してください。→ *「地図に登録された電話番号にかける」(P311)*
- [画像表示] を選んで [実行] を押すと、その場所に設定された画像が表示されます。

■建物の絵に合わせたとき

市街地図 (→ *P51*) では、建物の情報を見ることができます。

1 が表示される建物の絵にカーソルを合わせて [実行] を押す

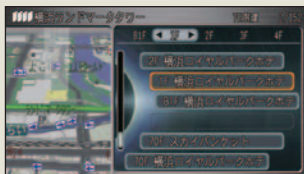
お知らせ

- カーソルを合わせた建物に名称の情報がある場合、画面の下に名称が表示されます。

2 [詳細情報] を選んで [実行] を押す

建物の詳細情報が表示されます。

お知らせ

- 建物内に複数の会社、店などがある場合、建物内にある店舗リストが表示されます。店舗を選んで [実行] を押してください。

■ランドマークに合わせたとき

ランドマークの詳細情報を確認することができます。

1 ランドマークにカーソルを合わせて [実行] を押す

お知らせ

- カーソルを合わせたランドマークにアイコンと名称の情報がある場合、画面の下にアイコンと名称が表示されます。

2 [詳細情報] を選んで [実行] を押す

ランドマークの詳細情報が表示されます。

お知らせ

- 選ばれているランドマークを表示させないようにすることができます。表示させないようにするには、[非表示] を選んで [実行] を押します。非表示にしたランドマークは [非表示設定データ] で確認することができます。→*「ランドマークを非表示設定にする」(P207)*

■ユーザーランドマークに合わせたとき

ユーザーランドマークの詳細情報を確認することができます。

ユーザーランドマークにカーソルを合わせて［実行］を押す

お知らせ

- カーソルを合わせたユーザーランドマークにアイコンと名称の情報がある場合、画面の下にアイコンと名称が表示されます。

［詳細情報］を選んで［実行］を押す

▼

ユーザーランドマークの詳細情報が表示されます。ユーザーランドマークの情報画面から名称、読み、マーク、電話番号、位置を*「自宅やよく行く地点を編集する」*（→*P72*）と同様に編集することができます。

■自宅やよく行く地点、マークに合わせたとき

自宅やよく行く地点、マークの詳細情報を確認することができます。

自宅やよく行く地点またはマークにカーソルを合わせて［実行］を押す

2 **［詳細情報］を選んで［実行］を押す**

▼

自宅や、よく行く地点またはマークの詳細情報が表示されます。情報画面から各情報を編集することができます。→*「自宅やよく行く地点を編集する」（P72）*、→*「マークを編集する」（P82）*

走行中の画面表示

ここでは走行中に行われるさまざまな案内について説明します。

お知らせ

- ルート走行中にのみ表示される案内については、*「いろいろな案内」(→P132)*を参照してください。

ふらつき検知警報

車のふらつきを検知すると、音声とテロップ表示で警報します。

アドバイス

- ふらつき検知警報は、[する]/[しない]を選ぶことができます。
  →「機能設定」(P193)

速い速度でカーブに近づくと

速い速度でカーブを走行しようとすると音声とマーク表示で警告します。

アドバイス

- カーブ警告の設定は、[舗装路]/[圧雪路]/[しない] を選ぶことができます。
  →「機能設定」(P193)

シートベルト警告

運転席のシートベルトが装着されていないときは音声で警告します。

アドバイス

- シートベルト警告は [する]/[しない] を選ぶことができます。
  →「機能設定」(P193)

パーキングブレーキ警告

パーキングブレーキがかかった状態で走行すると、音声で警告します。

アドバイス

- パーキングブレーキ警告は [する]/[しない] を選ぶことができます。
  →「機能設定」(P193)

県境に近づくと

県境に近づくと、音声とテロップ表示で案内します。

アドバイス

- 県境案内の表示は、[する]/[しない] を選ぶことができます。
  →「機能設定」(P193)

都市高速マップ

都市高速道路を走行しているときは、高速道路、有料道路、主要な道路のみを表示します。(標準操作モードのみ)

都市高速マップ表示中

通常 1 画面地図

アドバイス

- 50m ～ 5km スケールで表示できます。(市街地図は除きます。)
- 2 画面地図のときは、左画面のみ都市高速マップを表示します。
- 都市高速マップの表示は [する]/[しない] を選ぶことができます。
  → *「機能設定」(P184)*

Honda からのお知らせがあると

重要なお知らせや地図更新時期などをお知らせします。また、豪雨や地震の際の警告も文字で表示します。

→ *「Honda からのお知らせがあったとき」(P244)*

新しい道路の情報があると

ルート計算時にルート周辺に新しい道路が見つかったとき、新しい道路のデータを取得することができます。(新規道路データ配信)

→ *「新規開通した道路の情報があるとき」(P127)*

お知らせ

- Honda からのお知らせやインターナビ情報センターからの情報を取得するには、インターナビ・プレミアムクラブにご入会いただく必要があります。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」*の*「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→ P224)*
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話または通信カードの接続、インターナビ情報センターの認証 (ログイン) を行わないと Honda からのお知らせやインターナビ情報センターからの情報を取得できません。詳しくは*「通信機能を使う」*の*「準備」*を参照してください。*(→ P226)*

画面の明るさを調節する

画面の明るさ、コントラスト、黒レベルを調節することができます。

- 画面の色の設定は、*「機能設定」（→P182）*で設定します。ここで行う明るさの設定と合わせて、お好みの画面でご利用ください。

簡単

［画面］ボタン ➜［画面明るさ調整］を選んで［実行］を押す

標準

［画面］ボタン ➜［画面調整］を選んで［実行］を押す

2 **ジョイスティックを左右に倒して設定する項目を選択する**

3 **コマンドホイールを左右に回して調節する**

4 **［実行］を押す**

画面設定メニューに戻ります。

お知らせ

- 画面の調節は地図色が昼の場合と夜の場合で、別々に設定することができます。
- テレビ、DVD、ナビゲーション画面（その他オーディオ画面含む）ごとに設定することができます。
- メーターのイルミネーションコントロールで車幅灯点灯時の減光を解除すると、画面の明るさが昼間の設定に戻ります。

自宅およびマークを登録 / 編集する

自宅などよく行く地点を登録 / 編集する

お知らせ

- 標準操作モードで自宅の位置を変更する場合は、「よく行く地点」から行えます。→*「自宅やよく行く地点を編集する」(P72)*
- 標準操作モードで自宅を消去する場合は、「よく行く地点」から行えます。→*「自宅やよく行く地点を消去する」(P80)*

自宅を登録する 簡単 標準

自宅を登録しておくと、ルート設定などの操作が簡単になります。

お知らせ

- 登録すると自宅のマーク ( ) が地図上に表示されます。

1

簡単

[目的地] ボタン ➜[自宅を登録する] を選んで [実行] を押す

現在地周辺の地図が表示されます。以降の操作は手順 3 に進みます。

アドバイス

- [メニュー] ボタンを押し、ジョイスティックを下に倒して表示される項目からも [自宅登録] を選べます。

標準

[目的地] ボタン ➜[探し方 1] の [自宅登録] を選んで [実行] を押す

2

場所を探す

→ *「場所を探す」(P92)*

3

自宅にカーソルを合わせて [実行] を押す

4

[自宅セット] を選んで [実行] を押す

探した地点が自宅として登録されます。

お知らせ

- 自宅の登録後に [自宅へ誘導](簡単操作モード [自宅に帰る]) を選んで [実行] を押すと、自宅までのルート計算が始まります。

お知らせ

- 自宅を登録すると、[自宅] という名前と [じたく] という読みが自動的に入力されます。
- 自宅を登録した地点には、自宅マーク ( ) が自動的に設定されます。

自宅を変更する 簡単

登録した自宅の位置を変更することができます。

1 [メニュー] ボタン ➜ ジョイスティックを下に倒す

2 [自宅変更] を選んで [実行] を押す

▼

自宅周辺の地図が表示されます。

3 変更したい位置にカーソルを合わせて [実行] を押す

4 [自宅セット] を選んで [実行] を押す

▼

自宅の位置が変更されます。

自宅を消去する 簡単

登録した自宅を消去することができます。

1 [メニュー] ボタン ➜ ジョイスティックを下に倒す

2 [自宅変更] を選んで [実行] を押す

▼

自宅周辺の地図が表示されます。

3 再度 [実行] を押す

4 [自宅消去] を選んで [実行] を押す

▼

自宅が消去されます。

よく行く地点を登録する 標準

あらかじめ気に入った場所を探して、「よく行く地点」に登録することができます。

お知らせ

- よく行く地点は「自宅」を除き 5 ヶ所まで登録できます。
- 登録すると登録番号のマークが地図上に表示されます。

1 [目的地] ボタン ➜[探し方 1] の [よく行く地点] を選んで [実行] を押す

2 未登録の番号を選んで [実行] を押す

3 場所を探して [実行] を押す

→ *「場所を探す」(P92)*

4 [地点○セット] を選んで [実行] を押す

▼

探した場所が、よく行く地点のリストに登録されます。

アドバイス

- よく行く地点の名称などは変更することができます。→ *「自宅やよく行く地点を編集する」(本ページ)*

自宅やよく行く地点を編集する 標準

よく行く地点に関する情報 (名称、読み、接近音声、方向設定、距離、地図上に表示、位置修正、電話番号、メモ、画像、E-mail) の設定、変更をすることができます。

お知らせ

- マークは変更することができません。
- 自宅は名称、読み、マークを編集することはできません。

■よく行く地点の編集画面を表示する

よく行く地点の情報を編集するには次の手順で画面を表示させせます。

1 [目的地] ボタン ➜[探し方 1] の [よく行く地点] を選んで [実行] を押す

よく行く地点のリストが表示されます。

2 変更したい地点を選んで [実行] を押す

3 ［編集］を選んで［実行］を押す

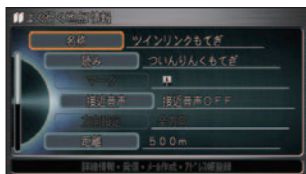
▼

よく行く地点の編集画面が表示されます。

■名称を変更するとき

登録時に付けられた名称を変更することができます。

1 編集画面から［名称］を選んで［実行］を押す

→「よく行く地点の編集画面を表示する」(P72)

2 名称を入力する

→「文字入力のしかた」(P42)

お知らせ

- 名称は、全角で 24 文字 (半角で 48 文字) まで入力することができます。

3 ［完了］を選んで［実行］を押す

よく行く地点の名称が変更されます。

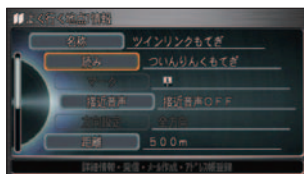
■読みを設定 / 変更するとき

音声操作でよく行く地点を呼び出すには、よく行く地点に設定されている「読み」が使われます。

よく行く地点の読みを覚えやすいものに変更して、音声操作を使いやすくすることができます。

接近音声 (→P74) を［マーク名称読み上げ］に設定すると、ここで設定した「読み」が読み上げられます。

1 編集画面から［読み］を選んで［実行］を押す

→「よく行く地点の編集画面を表示する」(P72)

2 読みを入力する

→「文字入力のしかた」(P42)

お知らせ

- 全角で 30 文字まで登録することができます。
- 音声操作を使用しないときは、読みの設定は不要です。
- 「ん○○」「っ○○」など日本語として発声できない読みは付けないでください。
- 「げんざいち」など、音声コマンドと同じ読みは付けないでください。誤動作の原因となります。

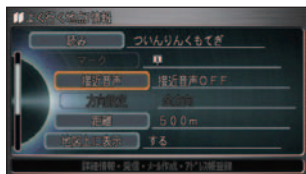
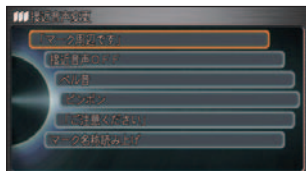
3 ［完了］を選んで［実行］を押す

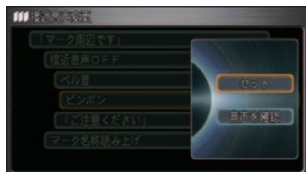
よく行く地点の読みが設定 / 変更されます。

■接近音声を設定 / 変更するとき

接近音声を設定すると、よく行く地点に自車が近づいたときに接近音声が鳴ります。

1 編集画面から [接近音声] を選んで [実行] を押す

→「よく行く地点の編集画面を表示する」(P72)

2 接近音声を選んで [実行] を押す

3 [セット] を選んで [実行] を押す

▼

よく行く地点の接近音声が設定 / 変更されます。

お知らせ

- [音声を確認] を選んで [実行] を押すと、選んだ音声が鳴ります。
- 自車が [距離] で設定された範囲 (100m、300m、500m) に 近づくと接近音声が鳴ります。

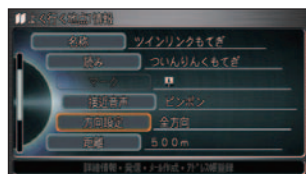
■接近する方向を設定 / 変更するとき

よく行く地点に自車が近づくときの方向を指定できます。指定した方向から近づくと接近音声を鳴らすことができます。

お知らせ

- 接近音声が [接近音声 OFF] に設定している場合は、指定した方向から近づいても接近音声は鳴りません。

1 編集画面から [方向設定] を選んで [実行] を押す

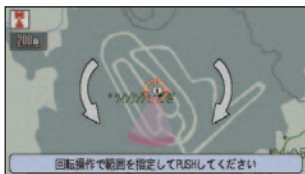
→「よく行く地点の編集画面を表示する」(P72)

お知らせ

- 接近音声が [接近音声 OFF] の場合は、[方向設定] を選ぶことはできません。

2 [方向指定] を選んで [実行] を押す

お知らせ

- [全方向] を選んだときは、手順 4 に進んでください。よく行く地点に、どの方向から接近しても音声が鳴ります。

3 コマンドホイールを左右に回して方向を指定する

60°の幅を約6°単位で回転させることができます。

4 [実行] を押す

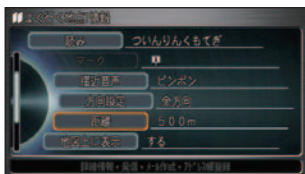
よく行く地点の接近する方向が設定 / 変更されます。

■距離を設定 / 変更するとき

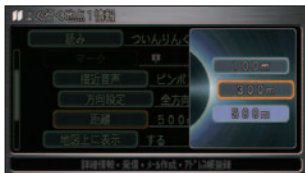
よく行く地点に何メートルまで自車が近づくと接近音声を鳴らすか､距離を設定できます。

お知らせ

- 接近音声が [接近音声 OFF] に設定している場合は、指定した距離まで近づいても接近音声は鳴りません。

編集画面から [距離] を選んで [実行] を押す

→「よく行く地点の編集画面を表示する」(P72)

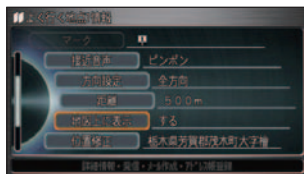
距離を選んで [実行] を押す

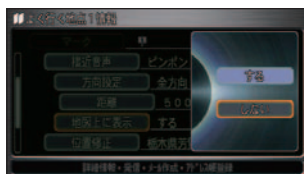
▼

よく行く地点の接近する距離が設定 / 変更されます。

■地図上に表示する / しないとき

よく行く地点のマークを地図上に表示させたくないときや、再度表示させたいときに以下の設定を行います。

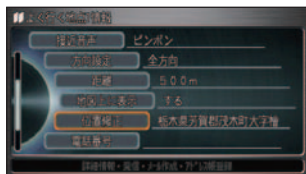
編集画面から [地図上に表示] を選んで [実行] を押す

→「よく行く地点の編集画面を表示する」(P72)

[する] または [しない] を選んで [実行] を押す

▼

よく行く地点のマークを地図上に表示する / しないの設定が完了します。

■自宅やよく行く地点の位置を変更するとき

1 **編集画面から [位置修正] を選んで [実行] を押す**

→ *「よく行く地点の編集画面を表示する」(P72)*

2 **新たに登録したい位置にカーソルを合わせて [実行] を押す**

3 **[地点○セット] を選んで [実行] を押す**

▼

よく行く地点の位置が変更されます。

■電話番号を設定 / 変更するとき

電話番号を設定しておくと、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、その場所に電話をかけられます。

1 **編集画面から [電話番号] を選んで [実行] を押す**

→ *「よく行く地点の編集画面を表示する」(P72)*

2 **電話番号を入力する**

→ *「文字入力のしかた」(P42)*

3 **[完了] を選んで [実行] を押す**

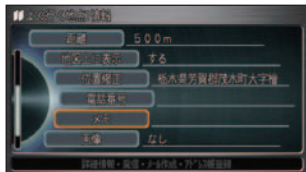
よく行く地点の電話番号が設定 / 変更されます。

お知らせ

- 施設ジャンル検索などで呼び出した施設などを登録する場合、その施設に電話番号のデータがあれば、自動的にその番号が登録されます。
- 携帯電話の番号も設定することができます。
- 電話番号が設定されている場合は、編集画面でジョイスティックを下に倒して [発信] を選び、[実行] を押すと、電話をかけることができます。→ *「施設情報の画面から電話をかける」(P311)*

■メモを設定 / 変更するとき

よく行く地点にメモをつけることができます。

編集画面から [メモ] を選んで [実行] を押す

→「よく行く地点の編集画面を表示する」(P72)

メモを入力する

→「文字入力のしかた」(P42)

お知らせ

- メモは、全角で 256 文字 (半角で 512 文字) まで入力することができます。
- すでにメモが入力済みの場合は、ジョイスティックを下に倒して [メモ編集] を選び、[実行] を押すことで、メモを編集することができます。

[完了] を選んで [実行] を押す

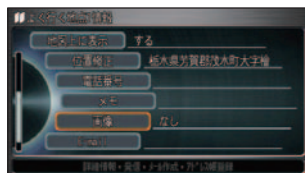
よく行く地点のメモが設定 / 変更されます。

■画像を設定 / 変更するとき

デジタルカメラなどで撮影した画像やインターナビ情報センターから取得した画像をよく行く地点情報や壁紙に設定することができます。

お知らせ

- 設定できる画像ファイルについては「画像を確認する」(→ P336) を参照してください。

編集画面から [画像] を選んで [実行] を押す

→「よく行く地点の編集画面を表示する」(P72)

画像を選んで [実行] を押す

※ 画像はサンプルのため、実車とは異なります。

[画像登録] を選んで [実行] を押す

▼

よく行く地点の画像が設定 / 変更されます。

つづく →

お願い

- 画像の設定(または変更)操作をした直後は、エンジンスイッチを"0"にしたり、PCカードを抜かないでください。登録にエラーが発生したり、PCカードのデータが壊れることがあります。

お知らせ

- PCカードをセットしている場合は、PCカード内の画像もリストに表示されます。
- すでに画像が設定されている場合は、古い画像を解除しないと新しい画像は設定できません。

画像を解除する

よく行く地点に設定した画像を解除することができます。

1 編集画面から[画像]を選んで[実行]を押す

→「よく行く地点の編集画面を表示する」(P72)

設定した画像が表示されます。

2 ジョイスティックを下に倒して[消去]を選び、[実行]を押す

3 ジョイスティックを右に倒して[消去する]を選び、[実行]を押す

▼

設定されていた画像が解除されます。

お知らせ

- 設定した画像を解除しても、画像はハードディスクから消去されません。マークリスト(→P81)の場合は消去されることがあります。

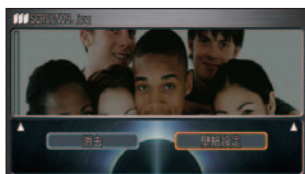
壁紙に設定する

よく行く地点に設定した画像を壁紙に設定することができます。

編集画面から [画像] を選んで [実行] を押す

→「よく行く地点の編集画面を表示する」(P72)

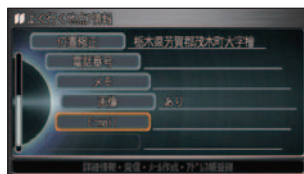
設定した画像が表示されます。

ジョイスティックを下に倒して [壁紙設定] を選び、[実行] を押す

設定されていた画像が壁紙に設定されます。

■メールを設定 / 変更するとき

よく行く地点にメールアドレスを設定することができます。

メールアドレスを設定すると、よく行く地点の編集画面からメールを作成することができます。

編集画面から [E-mail] を選んで [実行] を押す

→「よく行く地点の編集画面を表示する」(P72)

メールアドレスを入力する

→「文字入力のしかた」(P42)

お知らせ

- メールアドレスは、半角で 64 文字まで入力することができます。

[完了] を選んで [実行] を押す

よく行く地点のメールアドレスが設定 / 変更されます。

アドバイス

- メールアドレスが設定されている場合は、編集画面でジョイスティックを下に倒して [アドレス帳登録] を選び、[実行] を押すと、アドレス帳にメールアドレスを登録することができます。また、[メール作成] を選んで [実行] を押すと、メールを作成することができます。
→「メールを作成する」(P255)

自宅やよく行く地点を確認する 標準

登録した地点の位置を地図画面で確認することができます。

1 **[目的地] ボタン ➜[探し方 1] の [よく行く地点] を選んで [実行] を押す**

よく行く地点のリストが表示されます。

2 **確認したい地点を選んで [実行] を押す**

3 **[全画面地図] を選んで [実行] を押す**

▼

登録した地点の位置が全画面地図で表示されます。

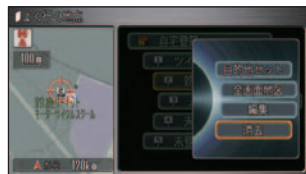
自宅やよく行く地点を消去する 標準

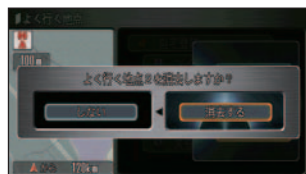
自宅やよく行く地点を消去することができます。

1 **[目的地] ボタン ➜[探し方 1] の [よく行く地点] を選んで [実行] を押す**

よく行く地点のリストが表示されます。

2 **消去したい地点を選んで [実行] を押す**

3 **[消去] を選んで [実行] を押す**

4 **ジョイスティックを右に倒して [消去する] を選び、[実行] を押す**

▼

よく行く地点が消去されます。

マークを登録 / 編集する 標準

友人宅やお気に入りの場所にマークを付けて登録 / 編集することができます。

お知らせ

- マークの登録は、最大 200 件までできます。それを超えて登録しようとしたときは、メッセージが表示され、登録はできません。不要なマークを消去してから再度登録してください。
  → *「マークを消去する」(P83)*
- シークレットモードを [ON] にしていると、マーク情報は表示されません。
  → *「シークレットモードを使う」(P351)*

アドバイス

- 登録したマークの名称やマーク、電話番号などの情報は、変更することができます。→ *「マークを編集する」(P82)*
- 登録したマークはお客様がパソコンなどで登録したパーソナル・ホームページの情報と同期させて、最新情報に更新することができます。
  → *「マークリストを同期する」(P84)*
- [メニュー] ボタン→ [付加機能] → [データ編集] → [マークリスト] でも同様にマークの登録 / 編集を行うことができます。

マークを新規登録する

お好みの場所をマークに登録するときは、以下のような操作で行います。

1 **場所を探して [実行] を押す**

→ *「場所を探す」(P92)*

2 **[マークセット] を選んで [実行] を押す**

▼

マークが登録されます。

アドバイス

- スクロール画面で [実行] を押してメニューを表示し、[マークセット] を選んで登録することもできます。*(→ P114)* また、カスタマイズメニューに [マークセット] が登録されている場合 *(→ P195)* も、同様の手順で現在地を登録することができます。

マークを編集する

マークに関する情報 (名称、 読み、 マーク、 接近音声、 方向設定、 距離、 地図上に表示、 位置修正、 電話番号、 メモ、 画像、 E-mail) の設定 / 変更をすることができます。

1 **[目的地] ボタン ➜[探し方 2] の [マークリスト] を選んで [実行] を押す**

▼

マークのリスト画面が表示されます。

2 **編集したいマークを選んで [実行] を押す**

アドバイス

- ジョイスティックを下に倒すと、[登録順に表示]、[マーク順に表示] でリストの表示を切り換えることができます。
- マーク順の場合、ジョイスティックを左右に倒してマークを切り換えることができます。

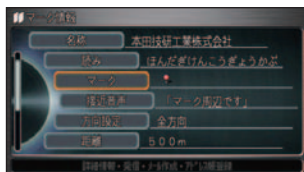
3 **[マーク情報] を選んで [実行] を押す**

▼

マーク情報の画面が表示されます。各データの以降の操作手順は、*「自宅やよく行く地点を編集する」(→ P72)* と同じです。

■マークを変更するとき

地図画面に表示させるマークを変更することができます。

1 **マーク情報の画面から [マーク] を選んで [実行] を押す**

2 **変更したいマークを選んで [実行] を押す**

▼

マークが変更されます。

マークを確認する

登録したマークの位置を地図画面で確認することができます。

[目的地] ボタン ➜[探し方 2] の [マークリスト] を選んで [実行] を押す

確認したいマークを選んで [実行] を押す

アドバイス

- ジョイスティックを下に倒すと、[登録順に表示]、[マーク順に表示] でリストの表示を切り換えることができます。
- マーク順の場合、ジョイスティックを左右に倒してマークを切り換えることができます。

[全画面地図] を選んで [実行] を押す

▼

マークが登録された地点の地図が表示されます。

マークを消去する

登録したマークを消去することができます。

[目的地] ボタン ➜[探し方 2] の [マークリスト] を選んで [実行] を押す

2

消去したいマークを選んで [実行] を押す

お知らせ

- すべてのマークを消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して、[全消去] を選びます。

アドバイス

- ジョイスティックを下に倒すと、[登録順に表示]、[マーク順に表示] でリストの表示を切り換えることができます。
- マーク順の場合、ジョイスティックを左右に倒してマークを切り換えることができます。

つづく ➜

3 [消去] を選んで [実行] を押す

4 ジョイスティックを右に倒して [消去する] を選び、[実行] を押す

▼

選んだマークが消去されます。

マークリストを同期する

登録していたマークリストと、お客様がパソコンなどで登録したパーソナル・ホームページの情報を同期させて、最新情報に更新します。

お知らせ

- パーソナル・ホームページとは、インターナビ・プレミアムクラブが提供するパソコン･携帯電話向けのサービスです。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」*の*「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→ P224)*
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話または通信カードの接続、インターナビ情報センターの認証 (ログイン) を行わないと、サーバーと同期することができません。詳しくは、*「通信機能を使う」*の*「準備」*を参照してください。*(→ P226)*
- サービス内容は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1 [目的地] ボタン ➔ [探し方 2] の [マークリスト] を選んで [実行] を押す

2 ジョイスティックを下に倒して [設定] を選び、[実行] を押す

3 [パーソナル HP と同期] を選んで [実行] を押す

お知らせ

• [同期設定] を選ぶと画像の同期を設定することができます。画像の同期は [する]/[しない] を選ぶことができます。（初期状態では[しない]に設定されています。）

サーバーとの同期が始まります。

お願い

• 同期中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを“0”にしたり、携帯電話や通信カードを取り外さないでください。

お知らせ

• パーソナル・ホームページと同期した日付が画面の上部に表示されます。
マークリストを編集すると最終同期日の色が変わります。パーソナル・ホームページと同期すると通常の表示に戻ります。

• マークリストの同期は、ナビゲーションシステム本体とパーソナル・ホームページで日付の新しい情報に更新されます。
• 現在時刻が GPS から受信されていない状態では、正しく同期できない場合があります。

PC カードへのマークの保存 / 読み込み

マークを PC カードに保存したり読み込んだりすることができます。

お知らせ

- PC カードの接続方法や利用方法について詳しくは、*「カードを接続する」(→ P288)*を参照してください。
- 読み込み可能数以上のマークを PC カードに保存した場合は、PC カードを初期化することでデータを消去することができます。
→「PC カードを初期化する」(P298)

1 **マークのリスト画面で、ジョイスティックを下に倒して [設定] を選び、[実行] を押す**

→「マークを編集する」(P82)

2 **[PC カード] を選んで [実行] を押す**

▼

PC カードのメニュー画面が表示されます。

■PC カードにマークを保存する

登録したマークを PC カードに保存することができます。

PC カードのメニュー画面で、[データ保存] を選んで [実行] を押す

▼

登録したマークのリストが表示されます。

2 **保存したいマークを選んで [実行] を押す**

お知らせ

- PC カード内にすべてのマークを保存する場合は、ジョイスティックを下に倒して [すべて保存] を選び、[実行] を押します。
- ジョイスティックを下に倒すと、[登録順に表示]、[マーク順に表示] でリストの表示を切り換えることができます。

▼

PC カードへの保存が完了します。

■PC カードからマークを読み込む

PC カードに保存されたマークを読み込むことができます。

PC カードのメニュー画面で、[データ読込み] を選んで [実行] を押す

→「PC カードへのマークの保存／読み込み」(P86)

▼

PC カード内のマークのリスト画面が表示されます。

読み込みたいマークを選んで [実行] を押す

お知らせ

- PC カード内のすべてのマークを読み込む場合は、ジョイスティックを下に倒して [すべて読込み] を選び、[実行] を押します。
- ジョイスティックを下に倒すと [登録順に表示]、[マーク順に表示] でリストの表示を切り換えることができます。

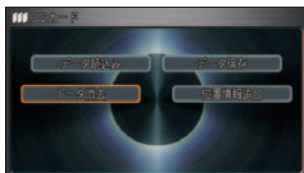
PC カードからの読み込みが完了します。

■PC カードのマークを消去する

PC カード内のマークを消去することができます。

PC カードのメニュー画面で、[データ消去] を選んで [実行] を押す

→「PC カードへのマークの保存／読み込み」(P86)

▼

PC カード内のマークのリスト画面が表示されます。

2

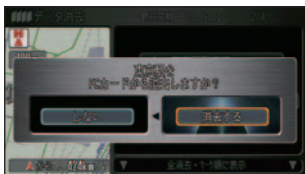
消去したいマークを選んで [実行] を押す

お知らせ

- PC カード内のすべてのマークを消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して [全消去] を選び、[実行] を押します。
- ジョイスティックを下に倒すと [登録順に表示]、[マーク順に表示] でリストの表示を切り換えることができます。

つづく →

[消去する] を選んで [実行] を押す

▼

PC カード内の選んだマークの消去が完了し、マークのリスト画面に戻ります。

マークの詳細情報を見る 標準

通信機能を利用して登録したマークや、施設ジャンルから登録したマークなどでは、情報や写真を確認することができます。

お知らせ

- 通信機能に関しては、*「インターナビ情報を見る」(→ P243)* を参照してください。
- 通信機能を利用して取得した同じマーク(位置、名称)の場合は、その情報の作成日の古いものから順に自動的に上書きされます。

アドバイス

- PC カードを接続していると、PC カード内のマークのデータをハードディスクに保存したり、ハードディスクの情報を PC カードに読み込んだりすることができます。詳しくは *「PC カードへのマークの保存 / 読み込み」(→ P86)* を参照してください。

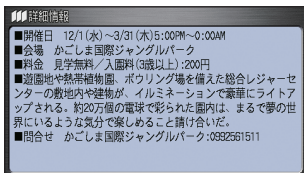
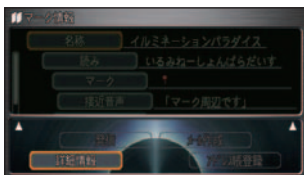
1 [目的地] ボタン ➔ [探し方 2] の [マークリスト] を選んで [実行] を押す

2 情報を見たいマークを選んで [実行] を押す

3 [マーク情報] を選んで [実行] を押す

つづく ➔

ジョイスティックを下に倒して［詳細情報］を選び、［実行］を押す

▼

詳細情報が表示されます。

お知らせ

- 通信機能を利用せずに取得したマークは、詳細情報の文章がないため［詳細情報］を選ぶことはできません。
- 電話番号が登録されている場合は、［発信］を選んで［実行］を押すと、電話をかけることができます。→ *「施設情報の画面から電話をかける」(P311)*
- 電話番号やメールアドレスが登録されている場合は［アドレス帳登録］を選んで［実行］を押すと、アドレス帳にメールアドレスおよび名称、読み、電話番号を登録することができます。また、［メール作成］を選んで［実行］を押すと、メールを作成することができます。→ *「メールを作成する」(P255)*
- インターナビ情報センターから取得した写真を確認するには、マーク情報の［画像］を選んで［実行］を押します。

■パーソナル・ホームページの位置情報を追加する

ご自宅のパソコンからパーソナル･ホームページよりダウンロードした位置情報を PC カードに保存し、その PC カードを使って位置情報をマークリストに追加することができます。

お知らせ

- パーソナル・ホームページとは、インターナビ・プレミアムクラブが提供するパソコン･携帯電話向けのサービスです。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」*の*「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→ P224)*

1 PC カードのメニュー画面で、［位置情報追加］を選んで［実行］を押す

→ *「PC カードへのマークの保存 / 読み込み」(P86)*

▼

PC カード内の位置情報がマークリストに追加されます。

目的地を探す

場所を探す

ナビゲーションの操作は場所を探すことから始まります。
目的地の地図を表示させることができれば、そこまでのルートを設定したり、施設情報を見たりすることができます。

検索方法の種類 簡単 標準

さまざまな状況に応じて場所を探せるように、以下のような検索方法が用意されています。

簡単

●地図を見ながら場所を探す (→ P93)
地図上で直接探す場合

●近くにある施設を探す (→ P94、P114)
現在地およびカーソル周辺の施設を探す場合

●ジャンルから施設を探す (→ P97)
各種施設をジャンルで探す場合

●施設の名前で場所を探す (→ P101)
施設の名称がわかっている場合

●地名で場所を探す (→ P103)
地名がわかっている場合

●住所で場所を探す (→ P104)
住所や地名などがわかっている場合

●電話番号で場所を探す (→ P105)
目的地の電話番号がわかっている場合

●自宅に帰る (→ P108)
自宅が登録されている場合

●前回探した場所を使う (→ P110)
前回、最後に検索した場所を利用する場合

●インターナビ VICS から近くの駐車場を探す (→ P111)
インターナビ VICS の情報から、現在地周辺やルート沿いの駐車場を探す場合

標準操作モードでは、[探し方 1] と [探し方 2] があります。[目的地] ボタン→ジョイスティックを左右に倒すと [探し方 1]、[探し方 2] を選ぶことができます。

●地図を見ながら場所を探す (→ P93)
地図上で直接探す場合

●近くにある施設を探す (→ P94、→ P114)
現在地およびカーソル周辺の施設、ルート周辺や目的地、経由地周辺の施設を探す場合

●ジャンルから施設を探す (→ P97)
各種施設をジャンルで探す場合

●施設の名前で場所を探す (→ P101)
施設の名称がわかっている場合

●地名で場所を探す (→ P103)
地名がわかっている場合

● 住所で場所を探す (→ P104)
住所や地名などがわかっている場合

● 電話番号で場所を探す (→ P105)
目的地の電話番号がわかっている場合

● 郵便番号で場所を探す (→ P106)
目的地の郵便番号がわかっている場合

● マップコードで場所を探す (→ P107)
目的地のマップコードがわかっている場合

● 自宅に帰る (→ P108)
自宅が登録されている場合

● よく行く地点から場所を探す (→ P108)
よく行く地点が登録されている場合

● 地図につけたマークから場所を探す (→ P109)
地図にマークが登録されている場合

● 目的地の履歴リストから場所を探す (→ P109)
過去に目的地とした場所から探す場合

● 前回探した場所を使う (→ P110)
前回、最後に検索した場所を利用する場合

● インターナビ VICS から近くの駐車場を探す (→ P111)
インターナビ VICS の情報から、現在地周辺やルート沿いの駐車場を探す場合

● インターナビドライブ情報で探す (→ P115)
インターナビドライブ情報センターに接続してお勧めの場所やコースから探す場合

● おすすめドライブナビゲーターで探す (→ P486)
日本の観光コースから探す場合

地図を見ながら場所を探す

簡単 標準

地図上で場所を探します。

1 **ジョイスティックで地図をスクロールし、目的地にカーソルを合わせる**

2 **[実行] を押す**

メニューが表示されます。以降の操作手順は *「場所が決まったら」* *(→ P113)* を参照してください。

アドバイス

• 標準操作モードでは [目的地] ボタンを押して、[探し方 1] の [地図から] を選んでも、同様に操作することができます。

近くにある施設を探す

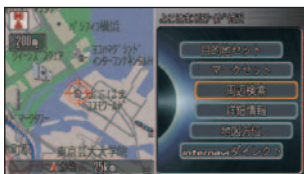
ガソリンスタンドやレストランなど、現在地やカーソル周辺の施設、またはルート案内中はルート周辺や目的地、経由地周辺の施設を探すことができます。

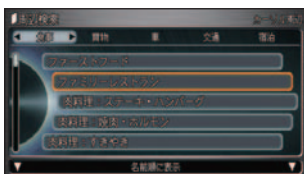
■ 探した場所周辺の施設を探す

 標準

ポイントメニュー（→ P30）から周辺の施設を探すことができます。

場所を探して［実行］を押す

→ *「場所を探す」（P92）*

［周辺検索］を選んで［実行］を押す

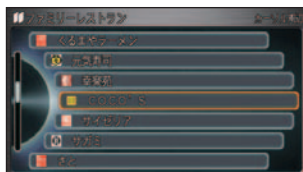
3 探している施設のジャンルを選んで［実行］を押す

お知らせ

- ジャンルから［ビル］を選ぶと、選んだビル内の各階ごとの施設を検索できます。また、選んだ施設の施設情報を確認することができます。→ *「ビル内の施設情報を見る」（P96）*

お知らせ

- ジャンルから［駐車場］を選んだ場合は駐車場リストを表示したり、駐車場の空車状況などの情報を表示することができます。
→ *「駐車場情報を見る」（P98）*
- 選ぶジャンルによっては、施設のジャンルをさらに詳細にしたメニューが表示されます。

4 探している施設を選んで［実行］を押す

▼

施設付近の地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は *「場所が決まったら」*（→ P113）を参照してください。

■現在地やルート周辺の施設を探す 標準

[目的地] ボタン ➜[探し方 1] の [周辺検索] を選んで [実行] を押す

2

[現在地周辺] または [経由地周辺]、[目的地周辺]、[ルート周辺] を選んで [実行] を押す

お知らせ

- [経由地周辺]、[目的地周辺]、[ルート周辺] は、それぞれルートや経由地が設定されている場合に選ぶことができます。
- 経由地が複数設定されている場合は、[経由地周辺] を選ぶと、経由地を選ぶ画面が表示されます。その中から経由地を選んでその周辺の検索をすることができます。

探している施設のジャンルを選んで [実行] を押す

お知らせ

- ジャンルから [ビル] を選ぶと、選んだビル内の各階ごとの施設を検索できます。また、選んだ施設の施設情報を確認することができます。→ *「ビル内の施設情報を見る」(P96)*

お知らせ

- ジャンルから [駐車場] を選んだ場合は駐車場リストを表示したり、駐車場の空車状況などの情報を表示することができます。
→ *「駐車場情報を見る」(P98)*
- 選ぶジャンルによっては、施設のジャンルをさらに詳細にしたメニューが表示されます。

探している施設を選んで [実行] を押す

施設付近の地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は *「場所が決まったら」(→ P113)* を参照してください。

■ビル内の施設情報を見る 簡単 標準

選んだビル内の各階ごとの施設を検索できます。また、選んだ施設の施設情報を確認することができます。

1 施設のジャンルリスト画面で［ビル］を選んで［実行］を押す

→「近くにある施設を探す」(P94)

2 探しているビルを選んで［実行］を押す

3 探している施設を選んで［実行］を押す

アドバイス

- ジョイスティックを左右に倒すとビルの階数を切り換えてリストを表示することができます。

▼

施設の詳細情報が表示されます。

お知らせ

- ［全画面地図］を選んで［実行］を押すと、ビル周辺の地図が表示されます。
- ［次のページ］が表示されているときは、施設情報に続きがあることを示しています。続きを見るときは、［次のページ］を選んで［実行］を押してください。
- 携帯電話が接続されているときは、その施設に電話をかけることができます。電話をかけるには、［発信］を選んで［実行］を押してください。→*「地図に登録された電話番号にかける」(P311)*

ジャンルから施設を探す

簡単 標準

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設をジャンルで探すことができます。

1

簡単

[目的地] ボタン ➜[施設のジャンルで探す] を選んで [実行] を押す

標準

[目的地] ボタン ➜[探し方 1] の [施設ジャンル] を選んで [実行] を押す

2

探している施設のジャンルを選んで [実行] を押す

お知らせ

- 学習機能により、過去に目的地や経由地として設定した回数が多いジャンルが表示されます。
- [一覧から探す] を選んで [実行] を押すと、その他のジャンルを選ぶことができます。

お知らせ

- ジャンルによっては、さらに分類を選ぶメニューが表示されます。

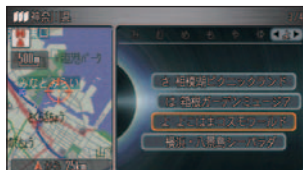
3

施設の所在地域 (都道府県名) を選んで [実行] を押す

アドバイス

- ジョイスティックを左右に倒すと地方を切り換えてリストを表示することができます。
- 施設によって所在地域の選択画面は表示されない場合があります。

4

探している施設を選んで [実行] を押す

アドバイス

- ジョイスティックを左右に倒すと、「あいう・・・」と施設名を 50 音で切り換えてリストを表示することができます。

施設付近の地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は *「場所が決まったら」(→ P113)* を参照してください。

ジャンル一覧について

[一覧から探す] を選ぶと最初に表示されているジャンルとは別のジャンルを選ぶことができます。

アドバイス

- ジョイスティックを左右に倒すと、ジャンルの種類を切り換えてリストを表示することができます。

お知らせ

- ジャンルで [観光] の [祭事] を選んだ場合、ジョイスティックを下に倒すとリストの並びを切り換えることができます。
  - [月順に表示] を選んで [実行] を押すと、月順で並べられたリストが表示されます。
  - [名前順に表示] 選んで [実行] を押すと、名前順で並べられたリストが表示されます。

- 選ぶジャンルによっては、施設のジャンルをさらに詳細にしたメニューが表示されます。

■駐車場情報を見る

指定する地域の駐車場を探すことができます。

簡単

[目的地] ボタン ➜[施設のジャンルで探す] を選んで [実行] を押す

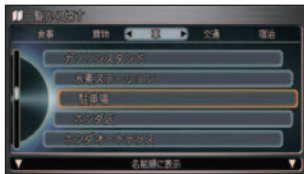
施設ジャンルの画面が表示されます。

標準

[目的地] ボタン ➜[探し方 1] の [施設ジャンル] を選んで [実行] を押す

施設ジャンルの画面が表示されます。

2 [一覧から探す] を選んで [実行] を押す

3 [駐車場] を選んで [実行] を押す

駐車場のメニュー画面が表示されます。

アドバイス

- ジョイスティックを左右に倒し、[車] を選ぶと [駐車場] を早く選べます。

4 ［駐車場データ］を選んで［実行］を押す

5 駐車場の所在地域（都道府県）を選んで［実行］を押す

アドバイス

- ジョイスティックを左右に倒すと地方を切り換えてリストを表示することができます。

▼

駐車場リスト画面が表示されます。

6 駐車場を選んで［実行］を押す

アドバイス

- ジョイスティックを左右に倒すと、「あいう・・・」と施設名を50音で切り換えてリストを表示することができます。

駐車場付近の地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は*「場所が決まったら」*（→ *P113*）を参照してください。

車両の大きさを考慮して駐車場を探す

駐車場リストを、車両の大きさを考慮して絞り込んで検索することができます。

1 駐車場リスト画面でジョイスティックを下に倒す

→ *「駐車場情報を見る」（P98）*

2 ［車体制限で絞る］を選び［実行］を押す

▼

車両の大きさを考慮して絞り込んだ駐車場リストが表示されます。

- 車両の大きさでの絞り込みは、キャリア、ルーフボックスなどの大きさは考慮されません。

3 駐車場を選んで［実行］を押す

駐車場付近の地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は*「場所が決まったら」*（→ *P113*）を参照してください。

■ VICS 情報から駐車場の利用状況を確認する

VICS 情報やインターナビ VICS から駐車場の利用状況や詳細情報を確認することができます。

お知らせ

- インターナビ VICS から駐車場の利用状況を確認するには、インターナビ・プレミアムクラブにご入会いただく必要があります。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」* の *「インターナビ・プレミアムクラブとは」* を参照してください。*(→ P224)*
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話または通信カードの接続、インターナビ情報センターの認証 (ログイン) を行わないとインターナビ VICS はご利用できません。詳しくは *「通信機能を使う」* の *「準備」* を参照してください。*(→ P226)*
- VICS およびインターナビ VICS については、*「VICS とは」 (→ P150)* を参照してください。

1 駐車場のメニュー画面で [VICS 駐車場] を選んで [実行] を押す

→ *「駐車場情報を見る」(P98)*

お知らせ

- [メニュー] ボタン→ [VICS] → [駐車場情報] でも同様に駐車場の情報を確認することができます。→ *「駐車場情報を見る」(P156)*
- 駐車場の情報が 1 つもない場合、[VICS 駐車場] を選ぶことができません。

2 情報を見たい駐車場を選んで [実行] を押す

お知らせ

- 現在地から近い順に一般道路の駐車場、続けて SA/PA(サービスエリア / パーキングエリア) がリストで表示されます。
- リストの駐車場名の左には駐車場の利用状況を示すアイコンが表示されます。アイコンについては、*「VICS 情報マークの種類」 (→ P153)* を参照してください。
- 走行中は安全のため 2 件分のリストが表示されます。
- ジョイスティックを下に倒して、[SA/PA] を選んで [実行] を押すとサービスエリア / パーキングエリアの駐車場リストの先頭へスキップします。元に戻すときは、[一般駐車場] を選びます。

3 ［詳細情報］を選んで［実行］を押す

▼

選んだ駐車場の情報が表示されます。

施設の名前で場所を探す

簡単 標準

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名前で探すことができます。

1 簡単

［目的地］ボタン ➜［名称で探す］を選んで［実行］を押す

標準

［目的地］ボタン ➜［探し方 2］の［名称で探す］を選び、［実行］を押す

2 ［施設名］を選んで［実行］を押す

お知らせ

- ［地名］を選んで［実行］を押すと、地名を入力して検索することができます。➜ *「地名で場所を探す」(P103)*

つづく ➜

3 名称を入力する

→「文字入力のしかた」(P42)

お知らせ

- ひらがな以外の文字種に切り換えることはできません。
- 名称はわかっている部分だけ入力して、検索することができます。(キーワード検索)
- 濁音(゛)や半濁音(゜)の入力は不要です。
- 名前による絞り込みの結果、検索対象が1万件以下になると、ジャンルや地域(都道府県など)での絞り込みが可能になります。
- 部分一致検索(入力した文字が含まれる場所をすべて検索)では、検索対象が多すぎて絞り込みができるまでの間は、自動的に先頭一致検索(先頭部分が入力した文字と完全に一致する場所を検索)を行います。
- 部分一致、先頭一致の区別および絞り込まれている件数は、画面上部に表示されます。

4 [検索]を選んで[実行]を押す

5 探している施設を選んで[実行]を押す

アドバイス

- ジョイスティックを下に倒すと絞り込みができます。
- [地域で絞る]を選んで[実行]を押すと、エリア選択のリストが表示され、地域(都道府県名、市区町村名)による絞り込みができます。選んだ項目の都道府県内のすべての市区町村を選びたい場合は、ジョイスティックを下に倒します。(例:[青森県すべて])
- [ジャンルで絞る]を選んで[実行]を押すと、ジャンルによる絞り込みができます。選んだ項目すべてを選びたい場合は、ジョイスティックを下に倒します。(例:[食事すべて]) また、このとき、[名前順に表示]と[カテゴリ別に表示]でリストの順序を切り換えることができます。

施設付近の地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は*「場所が決まったら」(→P113)*を参照してください。

地名で場所を探す 簡単 標準

地名を入力して探すことができます。

1

簡単

[目的地]ボタン➜[名称で探す]を選んで[実行]を押す

標準

[目的地]ボタン➜[探し方2]の[名称で探す]を選び、[実行]を押す

2

[地名]を選んで[実行]を押す

お知らせ

- [施設名]を選んで[実行]を押すと、施設名を入力して検索することができます。→*「施設の名前で場所を探す」(P101)*

3

地名を入力する

→*「文字入力のしかた」(P42)*

お知らせ

- ひらがな以外の文字種に切り換えることはできません。
- 名称はわかっている部分だけ入力して、検索することができます。(キーワード検索)
- 濁音(゛)や半濁音(゜)の入力は不要です。
- 部分一致検索(入力した文字が含まれる場所をすべて検索)では、検索対象が多すぎて絞り込みができるまでの間は、自動的に先頭一致検索(先頭部分が入力した文字と完全に一致する場所を検索)を行います。
- 部分一致、先頭一致の区別および絞り込まれている件数は、画面上部に表示されます。

4

[検索]を選んで[実行]を押す

5

探している場所を選んで[実行]を押す

▼

選んだ場所付近の地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は*「場所が決まったら」(→P113)*を参照してください。

住所で場所を探す 簡単 標準

住所で探すことができます。

1

簡単

[目的地] ボタン ➜[住所で探す] を選んで [実行] を押す

標準

[目的地] ボタン ➜[探し方 1] の [住所] を選んで [実行] を押す

2

都道府県名を選んで [実行] を押す

アドバイス

- ジョイスティックを左右に倒すと、地方を切り換えてリストを表示することができます。

3

市区町村名を選んで [実行] を押す

アドバイス

- ジョイスティックを左右に倒すと、「あいう・・・」と市区町村名を 50 音で切り換えてリストを表示することができます。

4

地名 (丁目) を選んで [実行] を押す

5

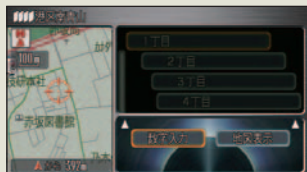
番地を選んで [実行] を押す

6 号を選んで [実行] を押す

▼

選んだ住所を中心とする地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は *「場所が決まったら」（→ P113）* を参照してください。

お知らせ

- 丁目および番地は、ジョイスティックを下に倒し、[数字入力] を選んで [実行] を押すと、数字入力することができます。入力後、[完了] を選んで [実行] を押すと入力した住所を中心とする地図が表示されます。

- 丁目や番地、号を入力しないでジョイスティックを下に倒して [地図表示] を選ぶと、入力したところまでの住所の代表地点の地図が表示されます。
- 入力した丁目や番地、号がデータにない場合は、主要部の代表地点が表示されます。

電話番号で場所を探す 簡単 標準

目的地の電話番号を入力して探すことができます。

アドバイス

- マークリストやよく行く地点も電話番号を登録していた場合は、検索することができます。

1

簡単

[目的地] ボタン ➜ [電話番号で探す] を選んで [実行] を押す

標準

[目的地] ボタン ➜ [探し方 1] の [電話番号] を選んで [実行] を押す

2 電話番号を入力する

→ *「文字入力のしかた」（P42）*

3 [完了] を選んで [実行] を押す

▼

該当する地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は *「場所が決まったら」（→ P113）* を参照してください。

つづく ➜

お知らせ

- 市外、市内局番は、必ず入力してください。その他の番号は、すべて入力しなくても検索できます。[完了] を選んで [実行] を押すと、その時点で入力された番号で検索が始まります。
- 該当する電話番号がない、または番号をすべて入力しなかった場合は、入力した電話番号に近い地点の地図が表示されます。
- 個人宅の電話番号は検索できません。

郵便番号で場所を探す 標準

目的地の郵便番号を入力して探すことができます。

1 **[目的地] ボタン ➜ [探し方 2] の [郵便番号] を選んで [実行] を押す**

2 **郵便番号を入力する**

→ *「文字入力のしかた」(P42)*

お知らせ

- 番号は 7 桁まで入力してください。

3 **[完了] を選んで [実行] を押す**

4 **場所を選ぶ**

お知らせ

- 場所を選んで [実行] を押すと詳細な住所を検索できます。(大口事務所などの場合は [実行] で地図を表示する場合があります。)

5 **ジョイスティックを下に倒して [地図表示] を選び、[実行] を押す**

▼

該当する地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は *「場所が決まったら」(→ P113)* を参照してください。

マップコードで場所を探す 標準

目的地のマップコードを入力して探すことができます。

マップコードとは

- マップコードは、特定の場所の位置データをコード化し、1 ～ 12 桁の番号と「＊」(アスタリスク) でその場所を特定することができるものです。従来、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。
- マップコードに関することは、下記へお問い合わせください。

株式会社デンソー
マップコードプロジェクト
電話番号 0566-61-4210
受付時間 10:00 ～ 12:00
　　　　 13:00 ～ 16:00
　　　　 (土・日、会社休日を除く)
ホームページ
http://guide2.e-mapcode.com/

※マップコードは、特定の場所の位置データをコード化し…

1 [目的地] ボタン ➜[探し方 2] の [マップコード] を選んで [実行] を押す

2 マップコードを入力する

→「文字入力のしかた」(P42)

お知らせ

- [完了] を選んで [実行] を押した時点で、入力されているコードを基に検索が始まります。

3 [完了] を選んで [実行] を押す

マップコードに該当する地図とメニューが表示されます。
以降の操作手順は「場所が決まったら」(→ P113) を参照してください。

自宅に帰る 簡単 標準

自宅が登録されている場合は、自宅へルート案内することができます。

簡単

[目的地] ボタン ➜[自宅に帰る] を選んで [実行] を押す

標準

[目的地] ボタン ➜[探し方 1] の [自宅へ誘導] を選んで [実行] を押す

▼

自動的にルート計算が開始されます。以降は*「目的地に行くまでのルートを計算させる」(→ P120)* を参照してください。

お知らせ

- 自宅が登録されていない場合は、[自宅登録] が表示されます。
  → *「自宅を登録する」(P70)*

よく行く地点から場所を探す 標準

[よく行く地点] として登録された場所がある場合は、そのリストから場所を探すことができます。

お知らせ

- よく行く地点には、5 件までの地点を登録することができます。詳しくは*「自宅などよく行く地点を登録 / 編集する」(→ P70)* を参照してください。

1 **[目的地] ボタン ➜[探し方 1] の [よく行く地点] を選んで [実行] を押す**

2 **地点を選んで [実行] を押す**

お知らせ

- 走行中は、選んだ地点が目的地としてセットされます。

よく行く地点周辺の地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は*「場所が決まったら」(→ P113)* を参照してください。

地図につけたマークから場所を探す　標準

地図につけたマークやインターナビ情報センターに接続して取得したデータから場所を探すことができます。

[目的地] ボタン ➜[探し方 2] の [マークリスト] を選んで [実行] を押す

地点を選んで [実行] を押す

お知らせ

- 走行中は、選んだ地点が目的地としてセットされます。

アドバイス

- ジョイスティックを下に倒すと、[登録順に表示]、[マーク順に表示] でリストの表示を切り換えることができます。
- マーク順の場合、ジョイスティックを左右に倒してマークを切り換えることができます。

マーク周辺の地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は*「場所が決まったら」*（*→ P113*）を参照してください。

目的地の履歴リストから場所を探す　標準

目的地や経由地を設定した場合、その場所が履歴として最大 100 件保存されます。その履歴から場所を探すことができます。

お知らせ

- 履歴は 100 件を超すと古いものから上書きされます。

[目的地] ボタン ➜[探し方 2] の [目的地履歴] を選んで [実行] を押す

2　探している施設を選んで [実行] を押す

▼

施設周辺の地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は*「場所が決まったら」*（*→ P113*）を参照してください。

- 走行中は、選んだ履歴が目的地としてセットされます。

■履歴を消去する

1 **[目的地] ボタン ➜[探し方 2] の [目的地履歴] を選んで [実行] を押す**

目的地の履歴リストが表示されます。

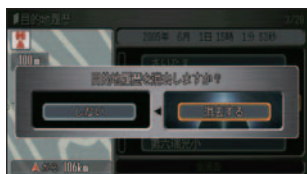
2 **消去する履歴を選んで [実行] を押す**

お知らせ

- すべての履歴を消去する場合は、ジョイスティックを下に倒し、[全消去] を選んで [実行] を押します。

3 **[消去] を選んで [実行] を押す**

4 **ジョイスティックを右に倒して [消去する] を選び、[実行] を押す**

▼

選んだ履歴が消去されます。

前回探した場所を使う

簡単 標準

カスタマイズメニュー *(→ P30)* の初期の設定では [前回の検索地点] 機能があります。この機能では、前回探した場所を簡単に目的地や経由地に設定することができます。

1 **ナビゲーションの現在地画面で [実行] を押す**

ワンプッシュメニュー(簡単操作モード)、カスタマイズメニュー (標準操作モード) が表示されます。

2 **[前回の検索地点] を選んで [実行] を押す**

簡単

標準

▼

前回検索した場所周辺の地図が表示されます。

以降の操作手順は *「場所が決まったら」(→ P113)* を参照してください。

インターナビ VICS から近くの駐車場を探す　簡単　標準

インターナビダイレクト (*→ P246)* の初期の設定では [駐車場セレクト] 機能があります。この機能では、インターナビ VICS の情報から現在地周辺やルート沿いの駐車場を探すことができます。

アドバイス

- 「駐車場セレクト」とは、インターナビ VICS の駐車場情報をあらかじめ設定した条件で表示する優先順位を決めたり表示件数を絞り込むことができる機能のことです。
- *「駐車場情報の条件設定」(→ P175)* であらかじめ条件を設定しておくと、表示する優先順位を決めたり表示件数を絞り込むことができます。
- 条件を設定していないときは、車両の大きさ、現在地から駐車場までの距離、駐車場から目的地までの距離などを考慮した駐車場を推奨します。

1 ナビゲーションの現在地画面で [実行] を押す

ワンプッシュメニュー (簡単操作モード)、カスタマイズメニュー (標準操作モード) が表示されます。

[internavi ダイレクト] を選んで [実行] を押す

簡単

標準

3 [駐車場セレクト] を選んで [実行] を押す

▼

推奨する駐車場周辺の地図が表示されます。

アドバイス

- [前の候補] または [次の候補] を選ぶことで駐車場を選ぶことができます。
- [リスト表示] を選んで [実行] を押すと候補となる駐車場のリストが表示され、選ぶことができます。*「手動で駐車場を指定する」(→ P112)* と同様の操作となります。

■自動で駐車場を指定する

自動的に推奨の駐車場までのルートを案内させることができます。(駐車場オートガイド)

1 **[オートガイド]を選んで[実行]を押す**

▼

推奨の駐車場までのルート案内が開始されます。
最初の駐車場候補に到着するとメッセージが表示されます。

2 案内された駐車場に車を止めるとき

ジョイスティックを左に倒して[しない]を選び、[実行]を押す

▼

駐車場オートガイドが終了します。

お知らせ

- 別の駐車場を選ぶ場合は、[誘導する]を選びます。以降の操作は手順1以降と同じです。

■手動で駐車場を指定する

リストを表示して、利用したい駐車場を指定することができます。

1 **[リスト表示]を選んで[実行]を押す**

2 **利用したい駐車場を選んで[実行]を押す**

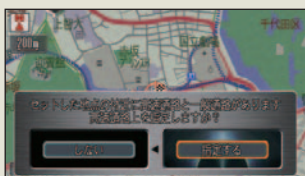
▼

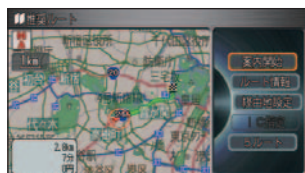
指定した駐車場周辺の地図が表示されます。
以降の操作手順は*「場所が決まったら」(→P113)*を参照してください。

場所が決まったら 簡単 標準

目的地など探していた場所が決まったら、画面にメニューが表示されます。
各メニュー項目を操作すると、以下のようになります。

お知らせ

- 場所を選んで [実行] を押したとき、地点が高速道路付近の場合、以下の選択画面が表示され、選んだ地点を高速道路上に設定するかしないかを選ぶことができます。

■ [目的地セット] [経由地セット] を選んだとき (→ P120)

選んだ場所を目的地または経由地として設定して、ルートを計算することができます。

計算されたルートの画面が表示されます。

■その他のメニュー項目を選んだとき

その他のメニューには主に次のような項目があります。場所の探しかたによって表示される項目は異なります。

マークセット（→P81）

選んだ場所にマークをつけて登録します。場所を探すときに使用したり、地図上にマークを表示したりできます。登録した場所はリストで管理できます。また登録情報に電話番号やメールアドレスがあれば、電話やメールをすることもできます。

周辺検索（→P94）

現在地またはスクロール地点（地図上のカーソルの位置）などの周辺から、施設を検索することができます。

詳細情報（→P63）

選んだ施設や地点に詳細情報があれば、情報や地図を表示したり、電話をかけたりできます。自宅やよく行く地点、ランドマークの場合は、編集画面が表示され編集することができます。施設の詳細画面では、酒（）、タバコ（）、ATM（）、24時間営業（）、ドライブスルー（）の取り扱いがわかるようにアイコンが表示されます。

全画面地図

選んだ場所を中心とした地図を、全画面で表示します。場所をさらに細かく探すことができます。

マーク情報（→P82）

マークの編集画面が表示されます。マークを編集することができます。

編集（→P72）

よく行く地点の編集画面が表示されます。よく行く地点の編集をすることができます。

消去（→P80、P83、P110）

マークやよく行く地点、目的地履歴を消去することができます。

提携駐車場

選んだ施設に提携駐車場がある場合は、リストと地図を表示することができます。

出入口

駅や空港を検索したとき、選んだ駅や空港に出入り口がある場合は、リストと地図を表示することができます。

出入口／提携駐車場

選んだ施設に提携駐車場と出入り口がある場合は、リストと地図を表示することができます。

インターナビドライブ情報で目的地を探す 標準

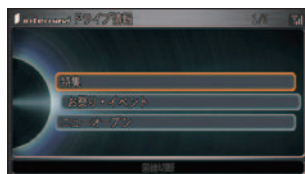
インターナビ情報センターに接続して、お勧めの場所やイベントなどを調べたり、お好みの場所をジャンルから探したりできます。

お知らせ

- インターナビドライブ情報を使うには、インターナビ・プレミアムクラブにご入会いただく必要があります。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」*の*「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→ P224)*
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話または通信カードの接続、インターナビ情報センターの認証 (ログイン) を行わないとメールはご利用できません。詳しくは*「通信機能を使う」*の*「準備」*を参照してください。*(→ P226)*
- サービスの内容は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
ここでは、特集スポットから目的地を探す方法を代表例として説明します。

メニューを見る

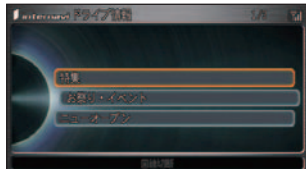
1 [目的地] ボタン ➜ [探し方 2] の [internavi ドライブ情報] を選んで [実行] を押す

▼

internavi ドライブ情報画面が表示されます。

特集スポットから選ぶ

1 internavi ドライブ情報画面を表示する

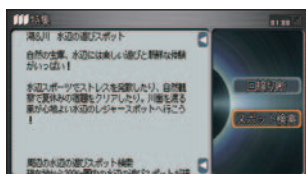
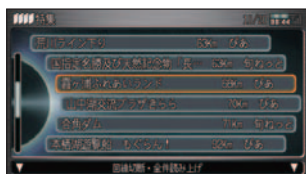
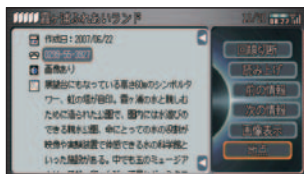
→「メニューを見る」(P115)

2 [特集] を選んで [実行] を押す

3 お好みの項目を選んで [実行] を押す

▼

特集の内容を読むことができます。

4 [スポット検索] を選んで [実行] を押す

特集のテーマに沿ったスポットのリストが表示されます。

5 お好みのスポットを選んで [実行] を押す

6 [地点] を選んで [実行] を押す

アドバイス

- サーバーとの接続を切断する場合は、[回線切断] を選び、[実行] を押します。
- 音声で読み上げる場合は、[読み上げ] を選んで [実行] を押します。
- ほかの情報を見る場合は、[前の情報]、[次の情報] を選んで [実行] を押します。
- スポットに画像が登録されている場合は、[画像表示] を選んで [実行] を押すと、スポットの画像を見ることができます。→「スポットの画像を見る」(P117)
- 情報画面でジョイスティックを左に倒すと本文が操作対象になり、コマンドホイールを回転すると本文をスクロールすることができます。また、電話番号にカーソルを合わせて [実行] を押すと、スポットに電話をかけることができます。→「ハンズフリー電話を使う」(P306)

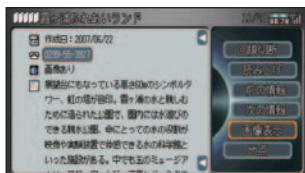
選んだスポットの地図画面が表示されます。以降の操作手順は「場所が決まったら」(→ P113) を参照してください。

■スポットの画像を見る

特集の情報画面を表示する

→ *「特集スポットから選ぶ」(P116)*

[画像表示] を選んで [実行] を押す

▼

画像が表示されます。

お知らせ

- ほかの画像を見る場合は、ジョイスティックを下に倒して [次の画像] を選び、[実行] を押します。画像が 1 枚のみの場合は [次の画像] を選ぶことはできません。
- 画像をハードディスクに保存する場合は、ジョイスティックを下に倒して [画像保存] を選び、[実行] を押します。また、保存した画像を確認することもできます。
→ *「画像を確認する」(P336)*

目的地に行く

目的地に行くまでのルートを計算させる

検索した場所を目的地として設定すると、現在地から目的地までのルートが計算され、ルート案内開始画面が表示されます。

目的地を探して [実行] を押す

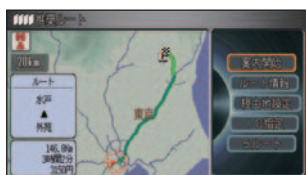
→「場所を探す」(P92)

[目的地セット] を選んで [実行] を押す

▼

目的地までのルート計算が始まり、ルート案内開始画面が表示されます。

簡単

標準

[ルート計算条件](→P186) に従い、始めに 1 本のルートが計算されます。

お知らせ

- 現在地、目的地、経由地 (→ P124) 付近では、道幅 5m 未満の細街路を含めてルート計算し、誘導経路を表示します。
- 目的地が高速道路付近にあるときは、高速道路を指定するか確認する画面が表示されることがあります。ジョイスティックで [しない] または [指定する] を選んで [実行] を押してください。
- 有料道路によっては、料金が実際と異なったり、料金が表示されないことがあります。
- サービスエリアなど高速道路施設を目的地とした場合、料金が表示されないことがあります。

アドバイス

- [5 ルート] を選ぶと、5 本のルートから選ぶことができます。(→ P123) ただし、以下の場合は複数のルートは計算できません。([ルート計算条件](→ P186) に従い、ルートが 1 本だけ計算されます。)
  - 経由地を設定したとき (→ P124)
  - 乗り降り IC(インターチェンジ) を設定したとき (→ P125)
  - 音声操作でルート計算したとき (→音声操作編)
  - おすすめドライブナビゲーターでルートを設定したとき (→ P486)

ルート案内開始画面の見かた

計算条件
現在選ばれているルートの計算条件が表示されます。

メニュー表示
経由地や乗り降りインターチェンジを設定した場合は、[5 ルート] は選べません。
→ *「他のルートを選ぶ」(P123)*
(簡単操作モードでは [ルート情報]、[経由地設定]、[IC 設定] は表示されません。)

推奨ルート（インターチェンジ）
利用する高速道路の最初の IC と最後の IC が表示されます。

画面は標準操作モードのものです。

情報表示
現在選ばれているルートの総距離、所要時間、料金が表示されます。

ルート表示
現在選ばれているルートが概略表示されます。

ルート案内開始画面のメニュー

- 案内開始 *(→ P128)* 簡単 標準
- ルート情報 *(→ P123)* 標準
- 経由地設定 *(→ P124)* 標準
- IC 指定 *(→ P125)* 標準
- 5 ルート *(→ P123)* 簡単 標準
- 新規道取得 *(→ P127)* 簡単 標準

お知らせ

- 簡単操作モードでは [案内開始] と [5 ルート] のみメニュー表示されます。
- [ルート情報]、[経由地設定]、[IC 指定] の表示に時間がかかることがあります。
- [新規道取得] はルート周辺に新しい道路がある場合のみメニュー表示されます。

計算条件

最初にルート計算させる条件は、*「機能設定」(→ P186)* の [ルート計算条件] で設定された条件となります。
[5 ルート] の場合は、[推奨]、[一般道]、[距離]、[道幅] の各ルートと [別ルート] が計算条件となります。→ *「他のルートを選ぶ」(P123)*

はじめに
基本操作
画面表示
自宅およびマークを登録、編集する
目的地を探す
目的地に行く
ルート案内
VICSを使う
ナビゲーションの設定をする
データを登録／編集する

学習ルート計算

いつも通る道をルート計算に考慮させることができます。

- 学習した道が必ず使われるとは限りません。

アドバイス

- 学習ルート計算は、[する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P186)*
- ルートの学習内容をいったん消去し、学習し直すことができます。→ *「ルートの学習内容を消去する」(P219)*

VICS 情報を考慮したルート計算

VICS 情報をもとに渋滞や交通規制を考慮したルート計算ができます。→ *「VICS を使ったルート計算について」(P164)*

また、インターナビ情報センターから VICS 情報を取得してルート計算を行えば、直前までの交通状況変化と過去の統計に基づいた渋滞予測情報を活用することができます。

→ *「インターナビ VICS」(P166)*

お知らせ

- VICS 情報が取得できないときは、VICS 情報を考慮した計算ができないことがあります。

アドバイス

- VICS ルート計算は、[する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P187)*

回避エリアを考慮したルート計算

回避エリアを登録すると、その場所をなるべく通らないようにルート計算します。

→ *「回避エリアを登録 / 編集する」(P213)*

アドバイス

- 回避エリアを考慮したルート計算は [する]/[しない] を選べます。
→ *「機能設定」(P185)*

時間曜日規制を考慮したルート計算

地図データに含まれる時間曜日規制を考慮したルート計算ができます。

アドバイス

- 時間曜日規制考慮計算は、[する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P188)*

冬期閉鎖道路を考慮したルート計算

冬期期間中 (11 月 1 日〜翌年 3 月 31 日まで) に閉鎖している道路をなるべく通らないようにルート計算ができます。

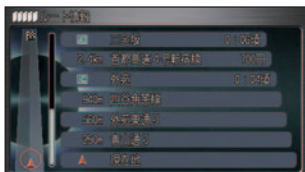
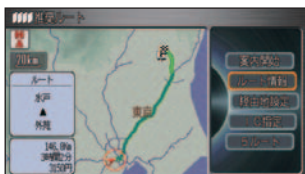
アドバイス

- 冬期閉鎖道路を考慮したルート計算は、[する]/[しない] を選べます。
→ *「機能設定」(P187)*

ルートを確認する 標準

設定されたルートの情報をリスト形式で表示させて、現在地から目的地までの間に通る道路名や区間距離、高速道路の料金 (高速道路を使用する場合) などの情報を確認できます。

目的地を設定してルート案内開始画面が表示された後、以下の手順を行います。

[ルート情報] を選んで [実行] を押す

ルート情報画面が表示されます。

他のルートを選ぶ 簡単 標準

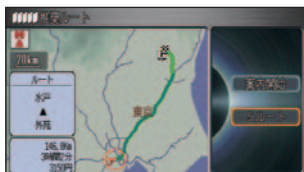
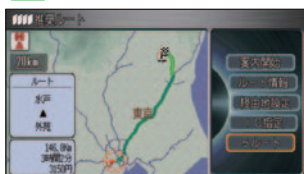
通常のルート計算では、異なる条件によって 5 本のルートが計算されます。この中から、お好みのルートを選ぶことができます。

お知らせ

- 以下の場合、[5 ルート] は選ぶことができません。
  - 経由地を設定したとき (→ *P124*)
  - 乗り降り IC(インターチェンジ) を設定したとき (→ *P125*)
  - 音声操作でルート計算したとき (→*音声操作編*)
  - おすすめドライブナビゲーターでルートを設定したとき (→ *P486*)

目的地を設定してルート案内開始画面が表示された後、以下の手順を行います。

1 [5 ルート] を選んで [実行] を押す

つづく →

設定したいルートの条件を選んで [実行] を押す

▼

ルートが変更され、ルート案内開始画面に戻ります。

お知らせ

- [推奨] では、目的地まで高速道路や幹線道路を優先して使うルートを案内します。
- [一般道] では、目的地まで一般道を優先して使うルートを案内します。(高速道路を優先して使うこともあります)
- [距離] では、目的地まで、できるだけ最短なルートを案内します。
- [道幅] では、目的地まで道幅の広い道路を優先したルートを案内します。
- [別ルート] では、目的地まで推奨ルートとは別のルートを案内します。
- 道路の状況によっては [距離] が最短とならない場合があります。
- 計算条件が異なっても、同じルートを案内することがあります。
- [推奨] または [一般道] では、VICS 情報 (リンク旅行時間情報、規制情報) を考慮したルートを案内します。[距離]、[道幅]、[別ルート] では、VICS 情報 (規制情報) を考慮したルートを案内します。

ルートを詳細に設定する 標準

目的地までのルートの途中に、立ち寄りたい場所 (経由地) や乗り降りしたい IC(インターチェンジ) を設定することができます。

お知らせ

- ルートを詳細に設定すると、ルートは 1 本のみ計算され、[5 ルート] は選べません。

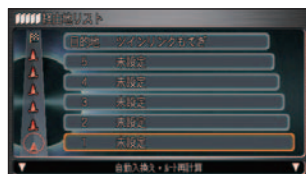
■経由地を設定する

目的地までのルートの途中に立ち寄りたい場所 (経由地) を設定します。
目的地を設定してルート案内開始画面が表示された後、以下の手順を行います。

1 [経由地設定] を選んで [実行] を押す

▼

経由地リスト画面が表示されます。

2 [未設定] を選んで [実行] を押す

アドバイス

- 経由地はお好みの場所 ([1 未設定] ～ [5 未設定]) に設定できます。

3 経由地を探して [実行] を押す

→「場所を探す」(P92)

4 [経由地セット]を選んで[実行]を押す

さらに経由地を追加したいときは、手順２～４を繰り返します。

お知らせ

- 経由地を設定するとインターチェンジの指定は自動的に解除されます。

5 ジョイスティックを下に倒して[ルート再計算]を選び、[実行]を押す

経由地を通るルート計算が始まり、ルート案内開始画面に戻ります。

お知らせ

- 複数の経由地を指定した場合は、リストの並び順に経由地を通るように、ルート計算されます。
- 複数の経由地を現在地から近い順に並び換える場合は、ジョイスティックを下に倒して[自動入換え]を選び、[実行]を押します。

アドバイス

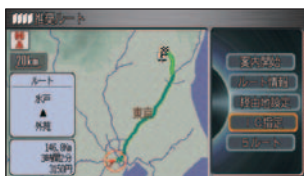
- 経由地を選んで[実行]を押すと、経由地を編集できます。→ *「経由地を追加／変更する」(P142)*

■入口、出口IC(インターチェンジ)を指定する

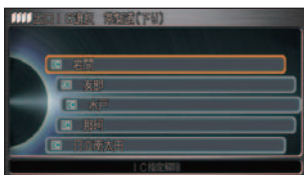
高速道路を使うルートを設定した場合は、入口と出口のインターチェンジを指定することができます。
目的地を設定してルート案内開始画面が表示された後、以下の手順を行います。

お知らせ

- 指定できるインターチェンジは、ルートの全行程における最初と最後の入口または出口のみです。途中で乗り降りするインターチェンジは変更できません。

1 [IC指定]を選んで[実行]を押す

2 入口ICまたは出口ICを選んで[実行]を押す

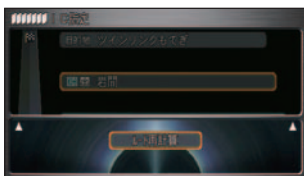
つづく →

3 入口または出口にしたいインターチェンジを選んで [実行] を押す

乗り降り IC 変更画面に戻ります。

お知らせ

- 入口 IC、出口 IC は、現在指定されているインターチェンジを除いて前後 2 つの中から指定できます。ただし、ジャンクション (JCT) は含まれません。
- ジャンクション (JCT) を選ぶと、分岐先の高速道路の路線リストが表示されます。
- 複雑なジャンクション付近では、候補として表示されないインターチェンジ、ジャンクションがある場合があります。

ジョイスティックを下に倒して [ルート再計算] を選び、[実行] を押す

▼

指定したインターチェンジを通るルート計算が始まり、ルート案内が開始されます。

入口、出口 IC(インターチェンジ) を解除する

ルート案内開始画面から次の操作を行います。

[IC 指定] を選んで [実行] を押す

IC 指定画面が表示されます。

解除したい入口 IC または出口 IC を選んで [実行] を押す

3 ジョイスティックを下に倒して [IC 指定解除] を選び、[実行] を押す

入口または出口のインターチェンジが解除され、ルートが再計算されます。

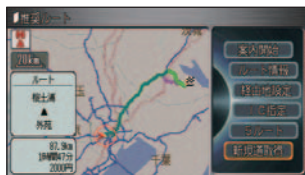
新規開通した道路の情報があるとき 簡単 標準

ルート計算時にインターナビ情報センターからの情報で、ルート周辺に新規道路があった場合、通信でデータを取得し、短時間で地図を更新することができます。(新規道路データ配信)

お知らせ

- データ配信する「新規道路」とは、道路ネットワーク上で重要な高速道路および一部の国道を示しています。
  すべての新しく開通した道路データを配信するものではありません。
- インターナビ情報センターからの情報を取得するには、インターナビ・プレミアムクラブにご入会いただく必要があります。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」の「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→ P224)*
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話または通信カードの接続、インターナビ情報センターの認証 (ログイン) を行わないとインターナビ情報センターからの情報を取得できません。詳しくは*「通信機能を使う」の「準備」*を参照してください。*(→ P226)*

ルート計算時に新規開通した主要道路の情報があるとき

[新規道取得] を選んで [実行] を押す

ルート周辺の新規道路が強調表示されます。

[実行] を押す (「確認」する)

▼

認証が行われます。認証後、新規道路データのダウンロードが行われます。

ダウンロード完了後、システムの再起動が必要となります。

ジョイスティックを右に倒して [再起動する] を選び、[実行] を押す

▼

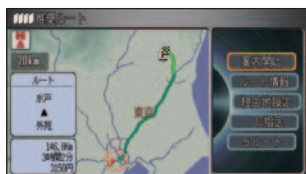
新しい道路のデータの取得が完了します。

- インターナビ情報からも新しく開通した道路データを取得することができます。
  → *「新規開通した道路データを取得する」(P245)*

目的地までのルートを案内させる

目的地までのルート設定 *(→ P120)* が終了したら、ルート案内に従って出発します。

■ルート案内を開始する

ルート案内開始画面のメニューから［案内開始］を選んで［実行］を押す

ルート情報が音声で案内され、ルート案内ができる状態になります。

設定されたルート上を走行する

到着予想時刻、到着距離

走行を始めると自動的にルート案内が始まり、目的地に近づくとルート案内は終了します。

お知らせ

- 通信機器が接続されているときは自動的にインターナビ情報センターに接続し、目的地までの交通情報や気象情報を受信します。
  受信した情報を元にルートの再計算が行われ到着予想時刻にも反映されます。
- VICS 情報 *(→ P150)* を受信しているときは、VICS 情報の内容が到着予想時刻に反映されます。
- 場所によっては、方面案内とレーンの情報が表示されないことがあります。
- 場所によっては、目的地付近や経由地付近まで、ルートに誘導経路が表示されないことがあります。ルート計算については、*「おすすめルートについて」(→ P474)* を参照してください。
- 場所によっては、交差点案内図が表示されないことがあります。
- 画面をスクロールしている間は、交差点に近づいても交差点案内図は表示されません。
- 標準操作モードでは、経由地を設定しているときに表示されている到着予想時刻は、経由地に到着する推定時刻です。設定により目的地の到着予想時刻を表示させることもできます。→ *「機能設定」(P185)*
- 到着距離とは、目的地または次の経由地までのルート残距離です。
- 到着距離の表示は、到着予想時刻の設定に連動して目的地と経由地が切り換わります。(標準操作モードのみ)

目的地を消す 簡単 標準

ルート案内を中止 (→ P148) しても経由地や目的地の情報は残っています。
設定した経由地や目的地の情報を消去したい場合は以下の手順を行います。

[目的地] ボタンを押してジョイスティックを下に倒す

[目的地消去] を選んで [実行] を押す

標準

▼

目的地が消去されます。

ルート案内

いろいろな案内

ここではルート案内中に行われるさまざまな案内について説明します。

■表示による誘導・案内

直線誘導線表示　案内地点表示

案内地点

アドバイス

- 直線誘導線表示は、[する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P185)*

案内地点に近づくと

案内地点の手前 300m(高速道路では手前 1km) に近づくと、拡大図となり、交差点の曲がる方向や目印となる施設、交差点までの距離が表示されます。

拡大図

お知らせ

- 拡大図の場合、通過したルートの誘導経路は消去されます。
- [現在地] ボタンを押すと拡大図を解除します。再度 [現在地] ボタンを押すと拡大図を再表示します。

リアル拡大図

案内地点の手前 300m に近づくとリアル拡大図の情報がある交差点で表示され、曲がる方向や目印となる施設、交差点までの距離が表示されます。(データがある交差点のみ)

アドバイス

- リアル拡大図表示は、[する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P185)*

方面看板表示

交差点の手前 500m 以内に近づくと、一般道方面看板を表示します。(東京、名古屋、大阪周辺の主要な交差点のみ)

方面看板表示

アドバイス

- 方面看板内の案内方面を示す方向は、色が変わって表示されます。
- 方面看板表示は、[すべての交差点]/[案内交差点のみ]/[しない] を選べます。
→ *「機能設定」(P185)*

レーン情報

ルート案内中に複数のレーンが存在する場合、レーン情報が表示されます。

レーン情報

アドバイス

- レーン情報の表示は、[表示する]/[表示しない] を選べます。
→ *「機能設定」(P185)*

繁華街に近づくと

目的地が繁華街にある場合、繁華街に近づくと、周辺の駐車場を検索して表示します。

アドバイス

- 繁華街駐車場の設定は、[通知する]/[通知しない] が選べます。
→ *「機能設定」(P187)*
- ルート案内中に、最寄りの駐車場に目的地を変更することができます。
→ *「駐車場を指定する」(P146)*

合流地点に近づくと

高速道路および都市高速を走行中、700m 前方に合流地点が存在する場合、音声とマーク表示で案内します。

JCT 渡り路を走行中、300m 前方に合流地点が存在する場合、音声とマーク (◆、◆) 表示で案内します。

アドバイス

- 合流案内の表示は、[する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P188)*

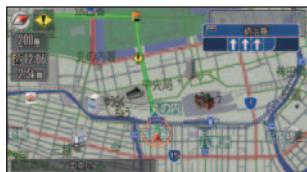
踏み切りに近づくと

ルート案内中、300m 前方に踏み切りが存在する場合、音声とマーク表示 ( ) で案内します。

アドバイス

- 踏み切り案内の表示は、[する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P188)*

事故多発地点に近づくと

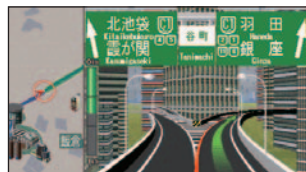
ルート案内中、600m 前方に事故多発地点が存在する場合、音声とマーク表示 ( ) で案内します。

アドバイス

- 事故多発地点案内の表示は、[する]/[しない] を選べます。→*「機能設定」(P188)*

都市高速入口に近づくと

ルート上の都市高速入口の手前 300m に近づくと、イラストが表示されます。(データがある都市高速入口のみ)

高速道路の分岐に近づくと

ルート上の高速道路分岐 (ジャンクション) の手前 1km に近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。都市高速・都市間高速ではイラストが表示されます。(データがあるジャンクションのみ)

料金所に近づくと

高速道路や有料道路の料金所手前 1km に近づくと、料金所案内を表示します。
また、ETC が使用可能な状態であれば、ETC レーンの方向を矢印で示します。
→ *「料金所通過のしかた」(P325)*

行程ガイド

ルート案内中に [マップモード切換] で [行程ガイド] を選ぶと、以下のような画面が表示されます。
→ *「マップモードを切り換える」(P53)*

目的地 (経由地) に近づくと

目的地 (経由地) の約 100m 手前に近づくと、「まもなく目的地 (経由地) 周辺です。」と案内します。

■音声による誘導・案内

ルート走行中は、運転の状況や車の速度に応じて、音声で道案内を行います。

進行方向案内

進行方向 (8 方向) は、音声で図のように案内されます。

種類	案内例
右左折方向案内	およそ○○ m 先、右折です (左折です)
方面案内	およそ○○ m 先、左方向、○○方面です。
高速 (有料) 道路入口 / 出口案内	およそ○○ m 先、○○インターチェンジ、左方向、出口です。
高速 (有料) 道路料金所案内	およそ○○ km 先、料金所です。
交差点目印案内	まもなく左方向です。○○が目印です。
直前案内	左折です。

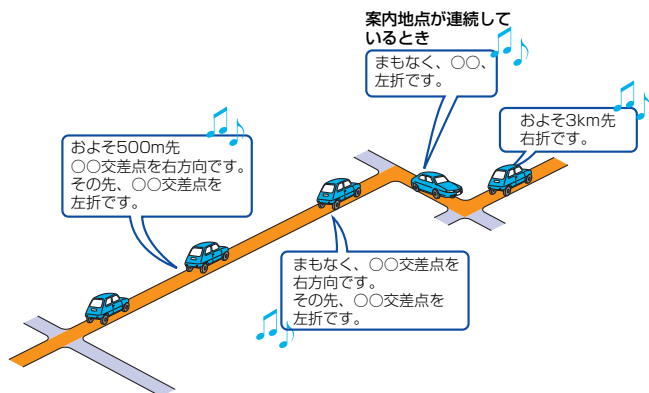
お知らせ

- 誘導される右左折の方向は実際の道路の形状とは合わない場合があります。
- 料金案内では、高速道路に入る前にルート設定した、入口から出口までの料金が案内されます。高速道路に入ってからルートを設定した場合は、料金案内が実際と異なったり、料金が案内されないことがあります。
- 都市高速・都市間高速・一部高速道路の料金案内は、データの作成時点のものです。正しくは料金窓口で確認してください。
- 交差点目印や交差点名称などの音声案内は、[する]/[しない] を選べます。
  → *「機能設定」(P189)*
- 音声案内中にオーディオへ切り換えると音声が途切れることがあります。

音声での案内を聞き逃したとき

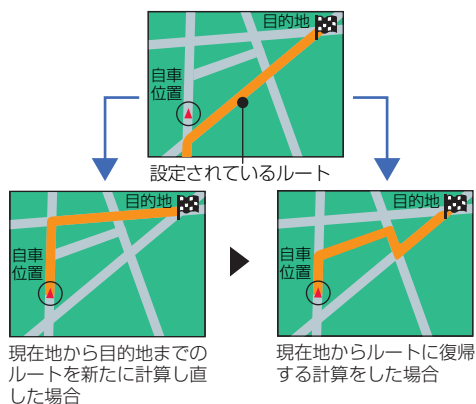
[現在地] ボタンを押すと、再度音声による案内を聞くことができます。

一般道路走行時の案内例

車の速度に合わせ、交差点の手前で音声の案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内が表示されます。

■ルートから外れた場合

案内中のルートから外れた場合、状況に合わせて自動的にルートを計算し直すことができます。(オートリルート)

現在地から目的地までのルートを新たに計算し直した場合

現在地からルートに復帰する計算をした場合

お知らせ

- ルート再計算の判断は、オートリルートを繰り返した回数およびルートから外れた場所の進入角度、走行している道路の有効性などをもとに行われます。(センシングリルート)
- センシングリルートは、[する]/[しない] を選ぶことができます。→ *「機能設定」(P186)*
- 自車位置がルートから外れた場合は、しばらく走行しているとオートリルートが働きます。

アドバイス

- 手動で行うことができます。→ *「ルートを再計算する」(P141)*

ルートを確認する 標準

案内ルートの道路や距離などの情報をリスト形式で表示（ルート情報）することができます。また、目的地までのルートをスクロール表示（ルートスクロール）させることや現在地から経由地 / 経由地から目的地までの区間地図を表示（区間表示）することができます。

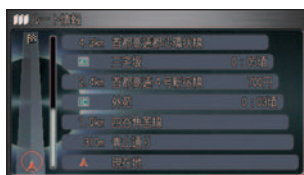
[メニュー] ボタン ➜ [ルート] を選んで [実行] を押す

2 [全ルート表示] を選んで [実行] を押す

▼

全ルート画面が表示されます。

3 [ルート情報] を選んで [実行] を押す

▼

ルート情報画面が表示されます。

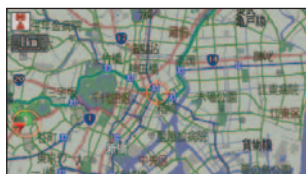
- ルート全体を全画面に表示する場合は、[全画面地図] を選んで [実行] を押します。

ルートスクロールする

出発地から目的地までのルートをなぞるように地図を動かして、設定されたルートを確認できます。

全ルート画面で [ルートスクロール] を選んで [実行] を押す

→「ルートを確認する」(P137)

▼

ルートが自動スクロールされます。

アドバイス

- 自動スクロールする方向を、“目的地から現在地”、“現在地から目的地”に変えることができます。自動スクロール中に [実行] を押し、[目的地方向] または [現在地方向] を選んで [実行] を押してください。
- 自動スクロール中に区間を“目的地から経由地”、“経由地から経由地”、“経由地から現在地”に変えることができます。自動スクロール中に [実行] を押し、[前の区間] または [次の区間] を選んで [実行] を押すとその区間にスキップします。

区間表示する

現在地から経由地、経由地から目的地などの区間地図を表示します。

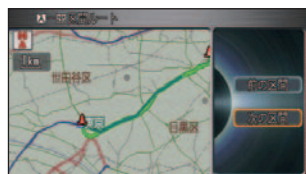
1 全ルート画面で [区間表示] を選んで [実行] を押す

→「ルートを確認する」(P137)

▼

最初の区間が表示されます。

2 [前の区間] または [次の区間] を選んで [実行] を押す

▼

前の区間または次の区間が表示されます。

ルートを変更する

迂回ルートにする　標準

ルート案内中に、現在地から2km、5km、10km先までを迂回して、元のルートに戻ることができます。高速道路を走行中は、高速道路を使用しないルートに設定したり、高速道路を一時回避するルートを選ぶことができます。

1 **[メニュー] ボタン ➔ [ルート] を選んで [実行] を押す**

ルートのメニューが表示されます。

2 **[迂回計算] を選んで [実行] を押す**

3 **一般道路走行時**

迂回距離を選んで [実行] を押す

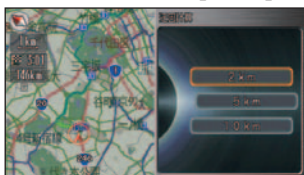
高速道路走行時

迂回方法を選んで [実行] を押す

▼

ルートが再計算され、迂回したルートが表示されます。

お知らせ

- 高速道路走行時に [高速を一時回避] を選んで [実行] を押した場合は、約10kmを迂回距離として再計算されます。
- 高速道路走行時に [高速を利用しない] を選んで [実行] を押した場合は、一般道路優先で再計算されます。

別のルート候補から選ぶ

計算条件の違う別のルート候補 (最大 5 本) から、お好みのルートを選んでルート案内することができます。

お知らせ

- 以下の場合は、[5 ルート計算] は選ぶことができません。
  - 経由地を設定したとき *(→ P124)*
  - 乗り降り IC(インターチェンジ) を設定したとき *(→ P125)*
  - 音声操作でルート計算を行ったとき
  - おすすめドライブナビゲーターでルートを設定したとき *(→ P486)*

1

簡単

[メニュー] ボタン ➜[ルートを変える]➜[ルート表示]➜[5 ルート] を選んで [実行] を押す

標準

[メニュー] ボタン ➜[ルート] ➜[5 ルート計算] を選んで [実行] を押す

2

お好みの計算条件を選んで [実行] を押す

ルート案内開始画面が表示されます。

お知らせ

- [推奨] では、目的地まで高速道路や幹線道路を使ったルートを案内します。
- [一般道] では、目的地まで一般道を使うルートを案内します。(高速道路を使うこともあります)
- [距離] では、目的地までの最短ルートを案内します。
- [道幅] では、目的地まで道幅の広い道路を優先したルートを案内します。
- [別ルート] では、目的地まで推奨ルートとは別のルートを案内します。
- 道路の状況によっては [距離] が最短とならない場合があります。
- 計算条件が異なっても、同じルートを案内することがあります。
- [推奨] または [一般道] では、VICS 情報 (リンク旅行時間情報、規制情報) を考慮したルートを案内します。[距離]、[道幅]、[別ルート] では、VICS 情報 (規制情報) を考慮したルートを案内します。

ルートを再計算する 簡単 標準

設定されているルートを、もう一度同じ計算条件で計算し直すことができます。

簡単

[メニュー] ボタン ➜[ルートを変える]➜[ルート再計算] を選んで [実行] を押す

標準

[メニュー] ボタン ➜[ルート] ➜[ルート再計算] を選んで [実行] を押す

▼

ルートの再計算が始まります。

ルートの条件を変える 標準

設定されているルートを、計算条件を変えて再計算させることができます。

1 [メニュー] ボタン ➜[ルート] を選んで [実行] を押す

ルートのメニューが表示されます。

2 [計算条件変更] を選んで [実行] を押す

3 お好みの計算条件を選んで [実行] を押す

▼

新しい条件でルート計算が開始されます。

お知らせ

- ルートを走行中でも、再計算できます。ただし、走行中のルートと同じルートが設定されることがあります。
- すでに通過した経由地は、ルートを再設定しても考慮されません。

経由地を追加 / 変更する 標準

経由地を追加または削除したいときは、経由地を編集してルートを設定し直すことができます。

お知らせ

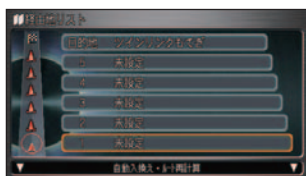
- 経由地を設定するとインターチェンジの指定は自動的に解除されます。

以下の手順で経由地追加 / 変更画面を表示して、設定した経由地の一覧を確認することができます。

[メニュー] ボタン ➜[ルート] を選んで [実行] を押す

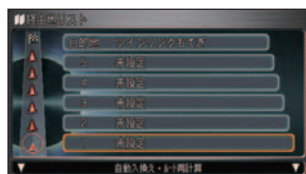
ルートのメニューが表示されます。

[経由地リスト] を選んで [実行] を押す

▼

経由地リスト画面が表示されます。

■経由地を追加する

ルート設定後に経由地を設定することができます。

経由地リスト画面から [未設定] を選んで [実行] を押す

▼

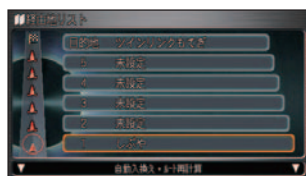
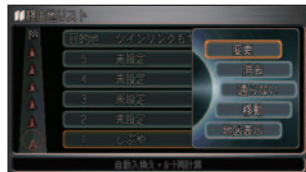
経由地の探しかたを選ぶ画面が表示されます。以降の操作手順は *「経由地を設定する」(→ P124)* の手順 3 以降と同じです。

■経由地を変更する

ルート設定後に経由地を変更することができます。

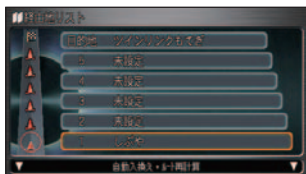
経由地リスト画面から変更したい経由地を選んで [実行] を押す

2 [変更] を選んで [実行] を押す

▼

経由地の探しかたを選ぶ画面が表示されます。以降の操作手順は *「経由地を設定する」(→ P124)* の手順 3 以降と同じです。

■経由地を消去する

ルート設定後に経由地を消去することができます。

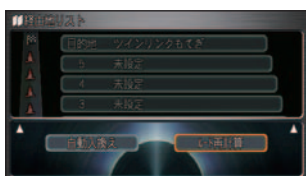
経由地リスト画面から消去したい経由地を選んで [実行] を押す

→「経由地を追加／変更する」(P142)

[消去] を選んで [実行] を押す

▼

経由地が消去されます。

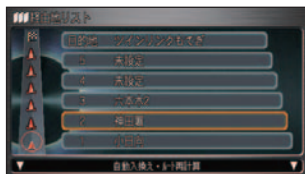
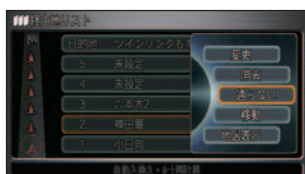
ジョイスティックを下に倒して [ルート再計算] を選び、[実行] を押す

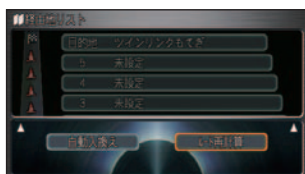
▼

経由地を消去してルートを再計算します。

■経由地を通らないようにする

設定した経由地に立ち寄る必要がなくなったときなどに、ルートを再計算することができます。

経由地リスト画面から通らない経由地を選んで [実行] を押す

→「経由地を追加／変更する」(P142)

2 **[通らない] を選んで [実行] を押す**

3 **ジョイスティックを下に倒して [ルート再計算] を選び、[実行] を押す**

▼

「通らない」に設定した経由地をスキップして、ルートが再計算されます。

お知らせ

- [通らない] はルート案内中にのみ選ぶことができます。
- 再び通過するように設定する場合は、[通らない] に設定した経由地を選んで [実行] を押し、[再誘導] を選んで [実行] を押します。

■走行中に経由地を通らないようにする

走行中に現在地から最寄りの経由地を通らないルートを探し、案内することができます。

1 **[メニュー] ボタン ➜[ルート] を選んで [実行] を押す**

ルートのメニューが表示されます。

2 **[経由地○スキップ] を選んで [実行] を押す**

▼

現在地から最寄りの経由地を通らないルートが再計算され、ルート案内が再開されます。

■経由地を移動 (並び換え) する

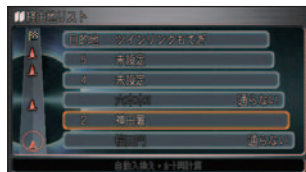
ルート設定後に経由地に立ち寄る順番を、現在地から近い順に並び換え (自動入換え) たり、任意の順番に移動することができます。

経由地リスト画面から移動したい経由地を選んで [実行] を押す

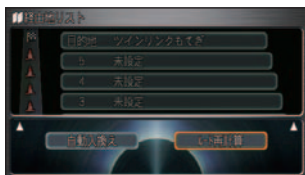
→*「経由地を追加 / 変更する」(P142)*

お知らせ

- ジョイスティックを下に倒して [自動入換え] を選ぶと、複数の経由地を現在地から近い順に並び換えることができます。自動入れ換え後、手順 4 に進んでください。

[移動] を選んで [実行] を押す

移動先を選んで [実行] を押す

4 ジョイスティックを下に倒して[ルート再計算]を選び、[実行]を押す

▼

経由地を並び換えてルートを再計算します。

■経由地を確認する

ルート設定後に経由地を確認することができます。

1 経由地リスト画面から確認したい経由地を選んで[実行]を押す

→「経由地を追加/変更する」(P142)

2 [地図表示]を選んで[実行]を押す

▼

経由地を地図画面で確認できます。

入口、出口IC(インターチェンジ)を指定する 標準

ルート上で高速道路を使用するときは、入口と出口のインターチェンジを指定し直すことができます。

お知らせ

- 指定できるインターチェンジは、ルートの全行程における最初と最後の入口または出口のみです。途中で乗り降りするインターチェンジは変更できません。

1 [メニュー]ボタン➔[ルート]を選んで[実行]を押す

ルートのメニューが表示されます。

2 [IC指定]を選んで[実行]を押す

▼

インターチェンジを選ぶ画面が表示されます。以降の操作手順は*「入口、出口IC(インターチェンジ)を指定する」(→P125)*の手順2以降と同じです。

お知らせ

- 入口、出口ICを指定済みで走行中の場合は、[IC指定]は[入口IC指定解除]や[出口IC指定解除]と表示されます。

駐車場を指定する 標準

繁華街に目的地を設定した場合、目的地に近づくと最寄りの駐車場に目的地を変更することができます。

お知らせ

- 駐車場 (繁華街駐車場) の案内は、[通知する]/[通知しない] を選ぶことができます。
→「機能設定」(P187)

ルート走行中、目的地付近になったとき、駐車場の表示をうながすテロップが表示されます。

[表示する] を選んで [実行] を押す

▼

駐車場候補周辺の地図と駐車場を選ぶメニュー画面が表示されます。

■駐車場オートガイドで指定する

自動的に最寄りの駐車場候補までのルートを案内させることができます。

駐車場を選ぶメニュー画面を表示する

[オートガイド] を選んで [実行] を押す

▼

最寄りの駐車場までのルート案内が開始されます。
最初の駐車場候補に到着するとメッセージが表示されます。

3 案内された駐車場に車を停めるときは、[しない] を選んで [実行] を押す

お知らせ

- 別の駐車場を選ぶ場合は、[誘導する] を選んで [実行] を押します。以降の操作は手順 2 以降と同じです。

▼

駐車場オートガイドが終了します。

■手動で駐車場を指定する

手動で最寄りの駐車場候補を選び、選んだ駐車場までのルートを案内させることができます。

駐車場を選ぶメニュー画面を表示する

→「駐車場を指定する」(P146)

[リスト表示] を選んで [実行] を押す

アドバイス

• [前の候補] または [次の候補] を選んで [実行] を押すことでも駐車場を選ぶことができます。

3 お好みの駐車場を選んで [実行] を押す

お知らせ

• ジョイスティックを下に倒して [車体制限で絞る] を選び、[実行] を押すと駐車場の条件を絞りこんで検索することができます。以降の操作手順は *「車両の大きさを考慮して駐車場を探す」(→ P99)* の手順 2 以降と同じです。

4 [目的地セット] を選んで [実行] を押す

▼

ルート案内開始画面が表示されます。

ルート案内を一時中止 / 再開する

ルート案内が不要になった場合は、案内を一時中止することができます。また、再度ルート案内を開始することもできます。

 お知らせ

- 目的地を消去する場合は、*「目的地を消す」(→ P129)* を参照してください。

ルート案内を一時中止する

目的地を設定したままルート案内を中止することができます。

簡単

[メニュー] ボタン ➜[ルートを変える]➜[誘導中止] を選んで [実行] を押す

標準

[メニュー] ボタン ➜[ルート]➜[誘導中止] を選んで [実行] を押す

▼

ルート案内が一時中止されます。

 お知らせ

- ルート案内を中止しても、設定した目的地や経由地は消えません。

ルート案内を再開する

「ルート案内を一時中止する」(本ページ) の手順でルート案内を一時中止した場合は、中止前に設定した目的地や経由地のままで、再度ルート案内を開始することができます。

簡単

[メニュー] ボタン ➜[ルートを変える]➜[誘導開始] を選んで [実行] を押す

標準

[メニュー] ボタン ➜[ルート]➜[誘導開始] を選んで [実行] を押す

ルートの再計算が行われ、ルート案内が再開されます。

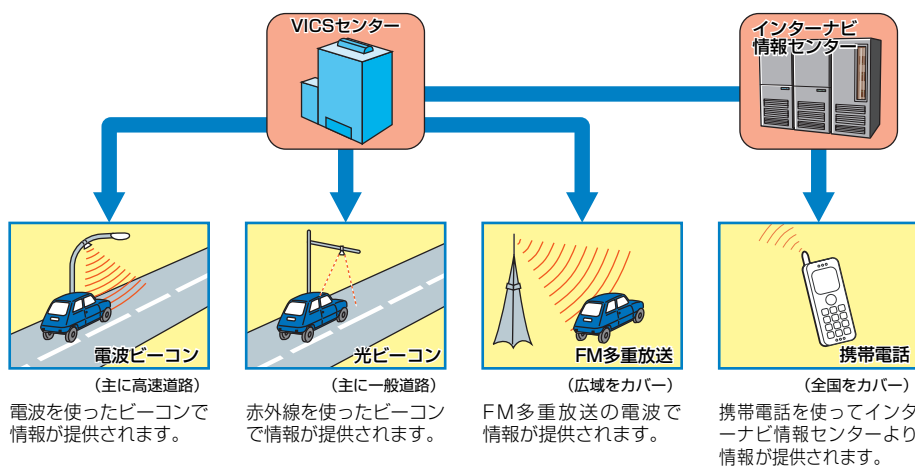
VICS を使う

VICS とは

VICS(Vehicle Information and Communication System: 道路交通情報通信システム)とは、1996 年春、首都圏からサービスが開始された、最新の交通情報を運転者に伝えるための通信システムです。VICS 情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、簡単な地図イラストや文字で見ることもできます。

VICS 情報の提供方法

道路･交通に関するさまざまな情報は、一度 VICS センターに集められます。その後、次の４つの方法で、最新の道路交通情報 (VICS 情報) が提供されます。

(主に高速道路)	(主に一般道路)	(広域をカバー)	(全国をカバー)
電波を使ったビーコンで情報が提供されます。	赤外線を使ったビーコンで情報が提供されます。	FM多重放送の電波で情報が提供されます。	携帯電話を使ってインターナビ情報センターより情報が提供されます。

ビーコンとは、道路脇に一定間隔で設置された、VICS情報を送信する装置です。
設置された場所周辺の交通情報がここから送信されます。
電波ビーコンと光ビーコンは、別売のビーコンアンテナキットを装着することにより受信できます。ビーコンアンテナキットの装置やご利用についてはHonda販売店にご相談ください。

ナビゲーションシステム本体に内蔵のVICS/FM多重チューナーで、FM多重放送によるVICS情報を受信できます。

インターナビ情報センターでは、VICSセンターからリアルタイムで受信する全国のVICS情報に加え、会員の走行情報によるインターナビフローティングカー情報や渋滞予測、気象情報などの独自の情報を付加したより詳細な情報を配信します。

アドバイス

- VICS センターからの情報は、VICS サービスエリア内でのみ情報の提供を受けることができます。また、サービスエリアの詳しい情報は VICS センターにお問い合わせください。*(→ P478)*

お知らせ

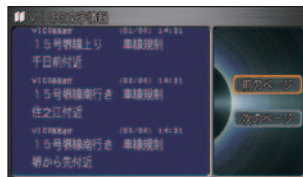
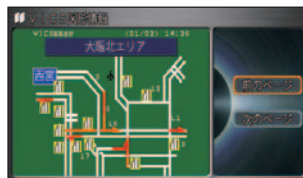
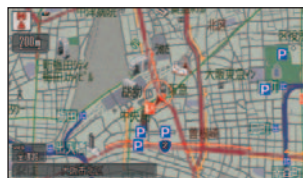
- VICS 情報は月々の情報料をお支払いいただくことなく、ご利用いただけます。情報料は、お買い上げいただいたシステムの価格に含まれており、その一部が FM 多重放送の有料放送視聴料となっていますので、巻末の「VICS 情報有料放送サービス契約約款」をご一読ください。(ただし、インターナビ情報センターから情報を受信する場合は、通信料が発生します。)
- 提供される VICS 情報はあくまで参考情報としてご利用ください。
- 提供される VICS 情報は最新のものではない場合もあります。
- インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」*の*「インターナビ・プレミアムクラブとは」*(*→ P224*) を参照してください。

※ VICS は、(財) 道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。VICS

VICS 情報の表示形態

VICS 情報には、レベル 1 からレベル 3 までの 3 種類の表示形態があります。運転者は VICS センターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

●渋滞情報 (順調情報も含む)　●旅行時間情報　●交通障害情報
●交通規制情報　●駐車場情報

レベル 1: 文字
文字で道路交通情報が表示されます。

レベル 2: 簡易図形
簡単な地図イラストなどで道路交通情報が表示されます。

レベル 3: 地図
ナビゲーションの地図上に道路交通情報が直接表示されます。

お知らせ

- 情報提供側の問題により、文字化けやネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。
- VICS の地図表示は、10m スケール表示から 1km スケール表示のときに表示されます。(通行止めなど一部の規制マークは、 1km 以上のスケールでも表示されます。)

地図上で VICS 情報を見る

レベル 3(地図) の表示形態では、VICS センターから受信した道路交通情報を渋滞の矢印や VICS 情報マークで地図上に表示します。

インターナビ情報センターで作成した交通情報 (インターナビ・フローティングカー情報) の渋滞情報 (渋滞、混雑、順調) については、点線で表示されます。

一般道路への表示

(赤線)	**渋滞**	赤色
(橙線)	**混雑**	橙色
(青線)	**順調**	青色

有料道路への表示

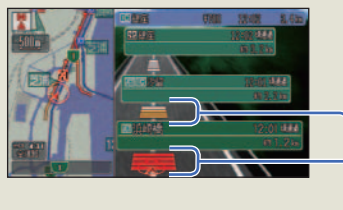
(赤線)	**渋滞**	赤色に黒い縁取り
(橙線)	**混雑**	橙色に黒い縁取り
(青線)	**順調**	青色に黒い縁取り

VICS 情報提供時刻表示

お知らせ

- エンジンスイッチを“I”または“II”にしてから受信した VICS 情報が表示されるまで、時間がかかる場合があります。
- 希望するエリアの放送が受信できないときは、放送局を切り換えてください。
  → *「VICS 放送局を選ぶ」(P161)*
- 表示される VICS 情報提供時刻は 12 時間表示と 24 時間表示の選択ができます。(時間表示)
  → *「機能設定」(P184)*
- VICS 情報は、保持する時間を [30 分]/[60 分] と選ぶことができます。(標準操作モードのみ) → *「機能設定」(P191)* 情報受信後、VICS 設定で情報保持時間に設定した時間が経過しても、データが更新されない場合は VICS 情報は消去されます。
- 工場出荷時の設定では「順調」は表示されません。
- 表示される VICS 情報の渋滞表示が見えにくいときは、VICS 情報を強調することができます。(標準操作モードのみ)VICS 情報を強調すると、VICS 対象路線が目立たない色になるため、渋滞矢印などの VICS 情報が強調されてわかりやすい表示になります。→ *「機能設定」(P191)*
- 表示される VICS 情報の渋滞表示を点滅させないようにすることができます。(標準操作モードのみ) → *「機能設定」(P190)*

お知らせ

- 行程ガイドや高速ガイドを表示しているときは、行程ガイドや高速ガイドにも VICS 情報が表示されます。赤色は渋滞、橙色は混雑、青色は順調を示しています。
- 行程ガイドや高速ガイドでの VICS 情報は各案内区間や施設間を 4 区間または 3 区間に区切って表示されます。

VICS 情報表示

VICS 情報マークの種類

VICS 情報により、次のようなマークも地図上に表示されます。地図上に表示されている VICS 情報マークの詳細情報を見ることも可能です。→「VICS 情報マークの詳細を見るには」(P157)

大型通行止め	故障車
作業	路上障害(豪雨·地震※)
チェーン規制	凍結
進入禁止	入口制限
通行止め・閉鎖	入口閉鎖
工事中	オフランプ規制
片側交互通行	対面通行
車線規制	徐行
速度規制(数字は制限速度)	タイムズ 24(空き:青)※
駐車場閉鎖	タイムズ 24(混雑:橙)※
駐車場(空き:青)	タイムズ 24(満車:赤)※
駐車場(混雑:橙)	タイムズ 24(不明:無色)※
駐車場(満車:赤)	
駐車場(不明:黒)	

※インターナビ情報センターから取得する情報です。

VICS 情報提供時刻について

受信した VICS 情報の提供時刻を表示します。

VICS 4:31 全道路 ― VICS 情報の提供時刻

VICS 情報の提供時刻は、受信した情報に入っている時刻であり、情報を受信した時刻ではありません。(おもに情報の収集や編集時の時刻のため、受信した時の時刻より数分前の時刻になります。) 提供時刻は、ナビゲーションシステムが受信しているレベル 3 表示用の VICS 情報で画面内に表示されている情報の最新の提供時刻を表示しています。そのため、受信している情報の内容、場所によっては、表示している時刻より提供時刻が古い場合があります。また、地図のスケール変更時や、自車位置の移動にともなって提供時刻が変化する場合もあります。

2 つの放送エリアが重なる地域を走行しているときは

ナビゲーションシステムは、現在地周辺の VICS 情報 (渋滞表示など) と別のエリア (隣接する都道府県など) の VICS 情報を同時に表示することができます。したがって、県境などの放送エリアが重なる地域を走行しても、必要な情報を見ることができます。

■ビーコン情報の自動表示

別売のビーコンアンテナキットが装着されているときは、ビーコンから送られてくる図形または文字の情報を受信すると、自動的にその内容が表示されます。
表示された情報は、しばらくすると自動的に消えます。また [戻る] ボタンを押して消すこともできます。

お知らせ

- 交差点案内表示中は、ビーコン文字図形情報は表示されません。

アドバイス

- 自動割込した情報を再表示したい場合は、*「VICS ビーコン情報を見る」(→ P158)* を参照してください。
- 自動的に表示させないようにすることができます。→*「機能設定」(P190)*

■緊急情報の自動表示

緊急情報を受信した場合、自動的にその内容が表示されます。
[確認] を選んで [実行] を押すと、地図画面に戻ります。

VICS 情報を見る

VICS による文字情報と図形情報を見ることができます。

VICS FM 多重の文字情報を見る 簡単 標準

VICS FM 多重から受信した文字情報を表示することができます。

1

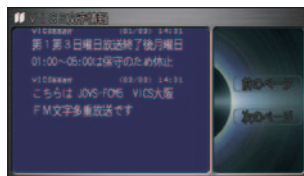
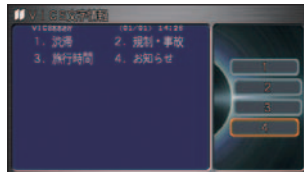
簡単

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る]➜[VICS 文字情報] を選んで [実行] を押す

標準

[メニュー] ボタン ➜[VICS]➜[VICS 文字情報] を選んで [実行] を押す

2 見たい情報を選んで [実行] を押す

▼

渋滞や交通規制などに関する文字情報が表示されます。

お知らせ

- 停車中は 3 件分の文字情報が 1 画面に表示されます。
- 走行中は安全のため、1 件分の文字情報のみ表示されます。
- 情報画面が複数のページにおよぶときは、[次のページ]、[前のページ] を選んで [実行] を押し、ページを送ります。また、ジョイスティックを左右に倒しても、同様に操作できます。

VICS FM多重の図形情報を見る 簡単 標準

VICS FM多重から受信した簡易図形情報を表示することができます。

1

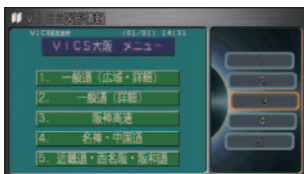
簡単

[メニュー]ボタン➜[VICS交通情報を見る]➜[VICS図形情報]を選んで[実行]を押す

標準

[メニュー]ボタン➜[VICS]➜[VICS図形情報]を選んで[実行]を押す

2 **見たい情報を選んで[実行]を押す**

▼

渋滞や交通規制などに関する簡易図形情報が表示されます。

お知らせ

- 情報画面が複数のページにおよぶときは、[次のページ]、[前のページ]を選んで[実行]を押し、ページを送ります。また、ジョイスティックを左右に倒しても、同様に操作できます。

駐車場情報を見る 標準

VICSやインターナビ情報センターから受信した駐車場情報を見ることができます。

1 **[メニュー]ボタン➜[VICS]➜[駐車場情報]を選んで[実行]を押す**

▼

駐車場のリストが表示されます。

2 情報を見たい駐車場を選んで[実行] を押す

お知らせ

- 走行中は、安全のため駐車場のリストは 2 件のみ表示されます。
- ジョイスティックを下に倒して、[SA/PA] を選んで [実行] を押すとサービスエリア / パーキングエリアの駐車場リストの先頭へスキップします。元に戻すときは、[一般駐車場] を選びます。

3 [詳細情報] を選んで [実行] を押す

▼

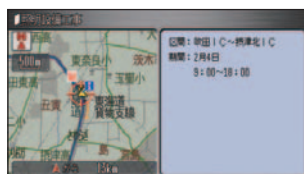
選んだ駐車場の情報が表示されます。

VICS 情報マークの詳細を見るには 簡単 標準

地図上に表示されている VICS 情報 (規制情報など) マークの詳細な情報を見ることができます。

1 ジョイスティックで VICS 情報マークにカーソルを合わせて [実行] を押す

2 [詳細情報] を選んで [実行] を押す

▼

VICS 情報マークの詳細情報が表示されます。

お知らせ

- 選んだ場所に複数の情報がある場合、情報のリストが表示されます。情報を選んで [実行] を押してください。

VICS ビーコン情報を見る

簡単 標準

別売りのビーコンキット装着車は、ビーコンから受信した簡易図形情報や文字情報を表示することができます。

簡単

[メニュー] ボタン ➔[VICS 交通情報を見る]➔[割込情報] を選んで [実行] を押す

標準

[メニュー] ボタン ➔[VICS]➔[割込情報] を選んで [実行] を押す

▼

一番最近割り込んだビーコン図形が表示されます。

お知らせ

- 受信済みの割込情報が複数ある場合は、[次のページ]、[前のページ] が表示され、選ぶと表示を切り換えることができます。また、ジョイスティックを左右に倒しても切り換わります。
- VICS 設定の [図形情報割込み] や [文字情報割込み] を [する] に設定していないと割り込み表示できません。また簡単操作モードでは文字情報の割り込み表示はしません。
- 緊急情報、注意警戒情報、ことわり情報など、文字情報を受信しているときは、[メッセージ] を選ぶことができ、選ぶと再表示することができます。
- 緊急情報と注意警戒情報を同時に受信したときは、緊急情報が先に表示され、[次のページ] を選んで [実行] を押すと注意警戒情報が表示されます。
- 緊急情報などの文字情報を表示中に図形情報が受信された場合、「ビーコンを受信しました」とメッセージのみが表示されます。
- 文字情報表示中に [図形] を選ぶと、図形情報画面に戻ります。
- 簡単操作モードでは、情報を受信後 30 分経過すると消去されます。標準操作モードでは、情報を保持する時間を設定することができます。情報を保持する時間は、[30 分]/[60 分] を選ぶことができます。→ *「機能設定」(P191)*

ルート上の交通情報を見るには 簡単 標準

ルート案内中に、渋滞情報や規制情報がある場合、これから向かうルート上の渋滞や規制を画面に表示することができます。

簡単

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る]➜[この先の交通情報] を選んで [実行] を押す

標準

[メニュー] ボタン ➜[VICS]➜[この先の交通情報] を選んで [実行] を押す

▼

渋滞ポイントまたは規制ポイント周辺の地図が表示されます。

お知らせ

- [音声案内] を選んで [実行] を押すと、表示中の情報の音声案内を確認することができます。

お知らせ

- 情報が複数ある場合は、[次の情報]、[前の情報] が表示され、選ぶと表示を切り換えることができます。
- [音量調整] を選んで [実行] を押すと、音量調節の画面が表示されます。

VICS 情報を表示 / 非表示にする 簡単

VICS 情報を地図上に表示するかしないかを選ぶことができます。

お知らせ

- 簡単操作モードでは渋滞表示、混雑表示、順調表示、規制表示、駐車場表示の 5 種類の情報をこの操作で一括して表示 / 非表示にすることができます。

1 **[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る] を選んで [実行] を押す**

VICS メニューが表示されます。

ジョイスティックを下に倒して [VICS 情報表示] を選び、[実行] を押す

▼

地図上から VICS 情報が表示 / 非表示されます。

VICS の表示設定を変更する

標準

高速道路や一般道路の渋滞や規制情報の表示 / 非表示など、VICS に関する設定を行うことができます。

1 **[メニュー] ボタン ➔[VICS] を選んで [実行] を押す**

VICS メニューが表示されます。

2 **ジョイスティックを下に倒して [VICS 設定] を選び、[実行] を押す**

▼

設定を変更するメニュー画面が表示されます。

3 **変更したい設定項目を選んで [実行] を押す**

VICS 設定の設定内容については *「機能設定」* *(→ P190)* を参照してください。

VICS 放送局を選ぶ

VICS 情報を受信する場合、自車位置でもっとも受信感度のよい放送局を選ぶ (自動選局) ことや、地域を固定して受信する (リスト選択) ことができます。また、周波数を指定して受信する (マニュアル選局) こともできます。エンジンスイッチを“I”または“II”にすると、自動選局になります。

都道府県リストから選局する

これから向かおうとする地域やその他の地域の VICS 情報を受信したいときに、放送局を都道府県のリストから選ぶことができます。

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る] を選んで [実行] を押す

標準

[メニュー] ボタン ➜[VICS] を選んで [実行] を押す

VICS メニューが表示されます。

[VICS 地域選択] を選んで [実行] を押す

VICS FM 多重放送を行っている都道府県のリストが表示されます。

3 都道府県を選んで [実行] を押す

 アドバイス

• ジョイスティックを左右に倒すと、地方を切り換えてリストを表示することができます。

▼

選んだ地域に VICS 局が固定されます。

 お知らせ

• 固定された都道府県に色が付き「固定」と表示されます。

地域固定の表示

マニュアルで選局する

VICS FM 多重放送を行っている放送局の周波数を指定して、放送局を選ぶことができます。

1

簡単

[メニュー] ボタン ➔[VICS 交通情報を見る]➔[VICS 地域選択] を選んで [実行] を押す

標準

[メニュー] ボタン ➔[VICS]➔[VICS 地域選択] を選んで [実行] を押す

VICS FM 多重放送を行っている都道府県のリストが表示されます。

2

ジョイスティックを下に倒して [マニュアル選局] を選び、[実行] を押す

周波数を指定する表示画面が表示されます。

3

コマンドホイールを左右に回す

コマンドホイールを左右に回すと周波数が変化します。希望の放送局に合わせます。

お知らせ

- ジョイスティックを下に倒して [リスト選局] を選び、[実行] を押すと、都道府県のリストに戻ります。

4

[実行] を押す

周波数が設定されます。

自動選局に戻す

地域または周波数を固定していた場合、自動選局に戻すことができます。

1

簡単

[メニュー] ボタン ➔[VICS 交通情報を見る]➔[VICS 地域選択] を選んで [実行] を押す

標準

[メニュー] ボタン ➔[VICS]➔[VICS 地域選択] を選んで [実行] を押す

VICS FM 多重放送を行っている都道府県のリストが表示されます。

2

ジョイスティックを下に倒して [自動選局] を選び、[実行] を押す

▼

自動選局になります。

お知らせ

- 自動選局された都道府県に色が付きます。

自動選局の表示

VICS を使ったルート計算について

VICS 情報を考慮してルート計算を行うことができます。
VICS ルート計算を設定する場合は、*「機能設定」(→P187)* **をご覧ください。**

お知らせ

- VICS ルート計算は、リンク旅行時間情報、規制情報 (通行止め、ランプ閉鎖など) を使用して行います。リンク旅行時間情報は、高速道路では電波ビーコン、FM 多重、インターナビ VICS から提供され、一般道路では、光ビーコン、インターナビ VICS から提供されます。また、規制情報は、電波ビーコン、光ビーコン、FM 多重、インターナビ VICS から提供されます。
- 5 ルートからルートを選ぶ場合、[推奨] または [一般道] では、VICS 情報 (リンク旅行時間情報、規制情報) を考慮したルートを案内します。[距離]、[道幅]、[別ルート] では、VICS 情報 (規制情報) を考慮したルートを案内します。
- VICS ルート計算によるルート案内は、あくまで参考情報としてご利用ください。
- 提供される VICS 情報は、最新の情報がそろっていない場合があるため、実際の交通状況とは異なる場合があります。また、適切な迂回ルートがない場合や遠方の通行止め・ランプ閉鎖については、通行止め・ランプ閉鎖の箇所を通るルートを案内する場合があります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。

ルート計算について

誘導設定 *(→P187)* で [VICS ルート計算] を [する] に設定している場合は、ルート計算やルート再計算を行ったときに受信済みの VICS 情報が考慮されます。
一般道路で渋滞情報を考慮して VICS ルート計算を行うには光ビーコンまたはインターナビ VICS からの VICS 情報が必要です。また、高速道路では、電波ビーコン、FM 多重、インターナビ VICS のいずれかからの VICS 情報が必要です。

■代替ルート計算

ルート走行中に渋滞や規制などの VICS 情報を受信した場合、渋滞や規制の情報を考慮して自動でルート再計算が行われ、渋滞区間の回避や迂回ルートを案内します。

お知らせ

- 代替ルート計算は、著しく進行を妨げると判断された場合のみ行われます。また、再計算されたルートにも渋滞が発生している場合があります。
- 代替ルート計算が [する] に設定されている必要があります。
  →「機能設定」(P185)

■インターナビ VICS を使ったルート計算について

ルート計算に使用する VICS 情報は、インターナビ情報センターから取得することもできます。情報の取得は場所や周期などを任意に設定することができます。詳しくは *「インターナビ VICS」(→P166)* を参照してください。

お知らせ

- 自動ルート再計算が [する] に設定されている場合は、ルート計算後に自動的にインターナビ情報センターに接続して VICS 情報を取得します。取得した VICS 情報を考慮し、新たなルートが見つかった場合、ルートを更新します。
→ *「機能設定」(P192)*

VICS の音声による案内について

ルート案内中は、通常のナビゲーションシステムの音声による案内に加え、VICS 情報による交通規制、災害、事故、渋滞の発生や故障車の存在なども音声により案内します。VICS の音声による案内は、VICS 情報の更新のたびにルート上の VICS 情報を案内します。

お知らせ

- ルート案内中に [現在地] ボタンを押すと、ナビゲーションシステムの音声による案内と共に、VICS の音声による案内もします。

インターナビ VICS

「インターナビ VICS」では、VICS 情報に加え、インターナビ情報センターが独自に収集、加工、処理を施し、「VICS」と同じデータ形式で提供する「インターナビ VICS 情報」を通信で取得することができます。
目的地までのルート計算に必要な情報を取得することもできます。また、会員の走行情報 (フローティング・カー情報) によるインターナビ・フローティングカー情報、リアルタイムに予測処理を行う渋滞予測情報、独自の簡易図形情報、駐車場情報の提供も行います。

お知らせ

- インターナビ VICS を使うには、インターナビ・プレミアムクラブにご入会いただく必要があります。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」の「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→ P224)*
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話または通信カードの接続、インターナビ情報センターの認証 (ログイン) を行わないとインターナビ VICS はご利用できません。詳しくは*「通信機能を使う」の「準備」*を参照してください。*(→ P226)*
- 目的地が遠方 (約 200km 以上) の場合は、案内ルートの途中までしか VICS 情報を受信しません。また、途中の区間は高速道路の情報のみ受信します。
- 管理者システムで情報収集されていない道路については、VICS 情報は提供されません。
- VICS センターのメンテナンスなどにより VICS 情報が提供されない場合があります。

インターナビ VICS を使ったルート計算について

インターナビ情報センターに接続して、VICS 情報を取得します。

ルート計算について

VICS 設定*(→P192)*で [自動ルート再計算] を [する] に設定している場合は、通常のルート計算後に、自動的にインターナビ VICS の情報を受信しルート再計算が行われます。
また、ルート案内中にインターナビ情報センターに接続し、VICS 情報を取得したときは、渋滞情報などを考慮したルートの再計算が行われます。その結果、新しいルートが見つかった場合、自動でルートの更新が行われます。

お知らせ

- 5 ルートからルートを選ぶ場合、[推奨] または [一般道] では、VICS 情報 (リンク旅行時間情報、規制情報) を考慮したルートを案内します。[距離]、[道幅]、[別ルート] では、VICS 情報 (規制情報) を考慮したルートを案内します。
- 情報受信中でも、[回線切断] を選んで [実行] を押すと、接続を中止することができます。

インターナビ情報センターに接続している経過時間が表示されます。

- 電話の通話状態が悪いと接続されないことがあります。
- 通話などで携帯電話を使用しているときは、VICS 情報を受信できません。

渋滞予測情報について

インターナビ VICS では、過去の VICS 情報から、統計・予測処理を行って作成した渋滞予測情報 (予測リンク旅行時間情報) が提供されます。渋滞予測情報は、VICS を使ったルート計算や、到着予想時刻に使用します。

お知らせ

- 予測リンク旅行時間情報が提供されている箇所においても、地図上に表示している渋滞、混雑、順調矢印は予測情報ではありません。
  よって、地図上が順調矢印でも予測リンク旅行時間情報が長いとその箇所を避けるルートを案内したり、渋滞矢印でも予測リンク旅行時間情報が短いとその箇所を通るルートを案内する場合があります。

受信ポイントでは

ルートを走行しているときに自動更新ポイントに近づくと、自動的にインターナビ情報センターに接続し、目的地方面の VICS 情報を受信します。自動でインターナビ情報センターに接続する地点にはマーク (VICS) が表示されます。

また、インターチェンジ手前では目的地方面の高速道路情報などを、インターナビ VICS から取得し、簡易図形として表示します。

一部、表示されない場所もあります。

アドバイス

- 自動更新ポイント設定では、自動的に受信を [する]/[しない] を選べます。
  → *「機能設定」(P192)*
- 受信ポイントを登録することができます。
  → *「受信地点を登録する」(P171)*
- 簡易図形の割り込み表示は、[する]/[しない] を選べます。→*「機能設定」(P192)*

お知らせ

- [状況変化時] を選んだときは、自動更新ポイントでの受信はしません。
  → *「時間を決めて自動受信するには」(本ページ)*

時間を決めて自動受信するには

自動受信する周期 (時間) を決めて、自動的にインターナビ情報センターに接続し、目的地方面の VICS 情報を受信することができます。

設定できる周期は [状況変化時]/[5 分]/[15 分]/[30 分]/[60 分]/[しない] から設定できます。詳しくは、*「機能設定」(→ P191)* を参照してください。

現在地またはスクロール地点の VICS 情報を取得する

現在地やスクロールしたカーソル周辺の VICS 情報を取得することができます。またルート案内中であれば渋滞情報を考慮したルートの再計算が行われます。

1 **現在地画面またはスクロール画面で [実行] を押す**

カスタマイズメニュー (簡単操作モードの場合はワンプッシュメニュー) またはポイントメニューが表示されます。

2 **[internavi ダイレクト] を選んで [実行] を押す**

簡単

標準

はじめに / 基本操作 / 画面表示 / 自宅およびマークを登録編集する / 目的地を探す / 目的地に行く / ルート案内 / VICSを使う / ナビゲーションの設定をする / データを登録／編集する

3 [internavi VICS 接続] を選んで [実行] を押す

簡単

標準

▼

インターナビ情報センターに接続し、現在地または、カーソル周辺の VICS 情報を受信します。

選んだ地点の VICS 情報を取得する

情報を取得したい地点を目的地や経由地、検索した地点など、お好みの場所にすることができます。

■場所を探して VICS 情報を取得する

1 簡単

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る]➜[internavi VICS] を選んで [実行] を押す

標準

[メニュー] ボタン ➜[VICS]➜[internavi VICS] を選んで [実行] を押す

2 [検索して選択] を選んで [実行] を押す

場所を探して [実行] を押す

→「場所を探す」(P92)

4 情報を取得したい場所にカーソルを合せて [実行] を押す

インターナビ情報センターに接続し、選んだ地点周辺の VICS 情報が受信されます。

お知らせ

- [戻る] ボタンを押すとインターナビ VICS のメニューに戻りますので、引き続き地点を探すことができます。

■登録した地点の VICS 情報を取得する

あらかじめ受信地点を登録しておくと (→ *P171*)、その地点の VICS 情報を取得することができます。

簡単

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る]➜[internavi VICS] を選んで [実行] を押す

インターナビ VICS のメニューが表示されます。

[メニュー] ボタン ➜[VICS]➜ [internavi VICS] を選んで [実行] を押す

インターナビ VICS のメニューが表示されます。

[登録リスト] を選んで [実行] を押す

あらかじめ登録した地点を選んで [実行] を押す

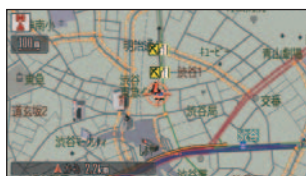
▼

編集メニューが表示されます。

[VICS 情報受信] を選んで [実行] を押す

お知らせ

- 地図を画面全体に表示する場合は、[地図表示] を選んで [実行] を押します。
- 登録した地点の情報 (名称、読み、接近音声、方向設定、位置修正、距離) を編集する場合は、[詳細設定] を選んで [実行] を押します。編集の操作手順は、*「自宅やよく行く地点を編集する」(→ P72)* と同じです。

▼

インターナビ情報センターに接続し、選んだ地点周辺の VICS 情報が受信されます。

■ルート周辺の VICS 情報を取得する

現在地、目的地、経由地周辺の VICS 情報を取得することができます。

1

簡単

[メニュー] ボタン ➔[VICS 交通情報を見る]➔[internavi VICS] を選んで [実行] を押す

インターナビ VICS のメニューが表示されます。

標準

[メニュー] ボタン ➔[VICS]➔[internavi VICS] を選んで [実行] を押す

インターナビ VICS のメニューが表示されます。

2

[現在地周辺] または [目的地周辺]、[経由地○周辺] を選んで [実行] を押す

3

情報を取得したい地点にカーソルを合わせて、[実行] を押す

▼

インターナビ情報センターに接続し、選んだ地点周辺の VICS 情報が受信されます。

受信地点を登録する

よく通る地点などを登録しておくと走行中、登録された地点に近づいたとき、自動でインターナビ情報センターに接続し、VICS 情報を受信します。

■地点登録のしかた

簡単

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る]➜[internavi VICS] を選んで [実行] を押す

インターナビ VICS のメニューが表示されます。

[メニュー] ボタン ➜[VICS]➜[internavi VICS] を選んで [実行] を押す

インターナビ VICS のメニューが表示されます。

2 **[登録リスト] を選んで [実行] を押す**

3 **[新規登録] を選んで [実行] を押す**

4 **場所を探して [実行] を押す**

→ *「場所を探す」(P92)*

5 **登録したい場所にカーソルを合わせて [実行] を押す**

▼

選んだ地点が登録され、登録リストに戻ります。

登録された地点には VICS のマーク ( ) が表示されます。

アドバイス

- 登録した地点は、編集メニュー *(→ P172)* より [詳細設定] を選び、名称、読み、接近音声、方向設定などを編集することができます。編集のしかたは、*「自宅やよく行く地点を編集する」(→ P72)* と同じです。

■地点リストを消去する

1

簡単

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る]➜[internavi VICS] を選んで [実行] を押す

インターナビ VICS のメニューが表示されます。

標準

[メニュー] ボタン ➜[VICS]➜[internavi VICS] を選んで [実行] を押す

インターナビ VICS のメニューが表示されます。

2 **[登録リスト] を選んで [実行] を押す**

登録リストが表示されます。

3 **消去したい地点を選んで [実行] を押す**

▼

編集メニューが表示されます。

4 **[消去] を選んで [実行] を押す**

5 **ジョイスティックを右に倒して [消去する] を選び、[実行] を押す**

▼

選んだ地点が消去され、登録リストに戻ります。

交通情報を音声で案内する

すでに受信済みの渋滞情報や規制情報がある場合、それらの交通情報を音声で確認することができます。

お知らせ

- 情報を受信していないときや、情報を受信してからある一定の時間が経過したときは、再度交通情報を受信します。

簡単

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る]➜[internavi VICS] を選んで [実行] を押す

インターナビ VICS のメニューが表示されます。

標準

[メニュー] ボタン ➜[VICS]➜[internavi VICS] を選んで [実行] を押す

インターナビ VICS のメニューが表示されます。

[交通情報読み上げ] を選んで [実行] を押す

3

確認したい交通情報を選んで [実行] を押す

選んだ交通情報の本文表示画面が表示されます。

アドバイス

- すべての交通情報を音声で読み上げる場合は、ジョイスティックを下に倒して [全件読み上げ] を選び、[実行] を押します。

4

[読み上げ] を選んで [実行] を押す

自動的に読み上げが開始されます。

お知らせ

- [停止] を選んで [実行] を押すと、読み上げが停止します。
- [次の情報]、[前の情報] を選ぶと読み上げる内容を切り換えることができます。
- [戻る] ボタンを押すか、[本文表示] を選んで [実行] を押すと、元の本文表示画面に戻ります。
- [音量調整] を選んで [実行] を押すと、音量調節の画面が表示されます。

インターナビ・フローティングカーシステムについて

お客様が走行した路線 / 時間の情報をナビゲーションシステムで記憶して、インターナビ情報センターに提供していただき、提供いただいた情報 (フローティングカー情報) を蓄積、編集処理を行い、該当路線の交通情報 (インターナビ・フローティングカー情報) を作成します。フローティングカー情報は、インターナビ VICS 情報受信時にインターナビ情報センターに通知します。また、インターナビ情報センターで作成されたインターナビ・フローティングカー情報も、インターナビ VICS 情報受信時に VICS 情報と合わせて提供します。都市高速などのジャンクションの手前では、フローティングカー情報をもとにして、車線別の走行所要時間を考慮したルートを提供します。

お知らせ

- インターナビ・フローティングカー情報での渋滞 / 混雑 / 順調の情報は点線で表示されます。
- フローティングカー情報のインターナビ情報センターへの提供およびインターナビ·フローティングカー情報の受信は、[フローティングカーシステム] が [する] に設定されている場合です。→ *「機能設定」(P192)*
- インターナビ・フローティングカー情報は、統計処理した情報ですので、あくまでも参考情報としてご利用ください。
- フローティングカー情報の対象となる道路は事前に設定された特定の道路です。お客様が走行した全ての区間が記憶されるわけではありません。
- 提供いただいたフローティングカー情報は、提供いただいたお客様が特定できない形式で処理 / 保存します。
- 提供いただいたフローティングカー情報は、交通情報作成のための処理を行う以外の目的では一切使用しません。

駐車場情報の条件設定 標準

インターナビ VICS の駐車場情報では、取得する駐車場の条件を設定することができます。設定した条件で取得した駐車場情報は、「インターナビ VICS から近くの駐車場を探す」(→P111) で確認することができます。

お知らせ

- 設定した駐車場情報の検索条件に合わせて駐車場情報を取得するときは、ナビゲーションシステムの［駐車場セレクト設定］をあらかじめ行う必要があります。→「機能設定」(P192)
- 駐車場情報を表示するには、あらかじめ [VICS 駐車場マーク表示] を [する] に設定しておく必要があります。→「機能設定」(P191)

■表示する優先順位を決める

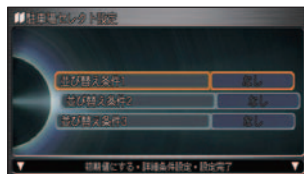
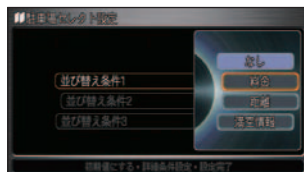
リスト表示などの優先順位を決めるための条件を設定できます。

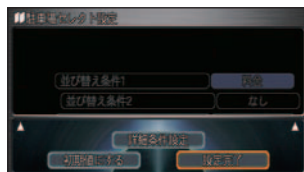
1 [メニュー] ボタン ➜ ジョイスティックを下に倒して [VICS 設定] を選び、[実行] を押す

2 [駐車場セレクト設定] を選んで [実行] を押す

お知らせ

- [駐車場セレクト設定] を設定して駐車場情報を受信すると、インターナビ情報センターから受信した駐車場以外は表示されなくなります。

3 [並び替え条件○] を選んで [実行] を押す

4 優先したい項目を選んで [実行] を押す

5 ジョイスティックを下に倒して [設定完了] を選び、[実行] を押す

▼

駐車場情報の表示する優先順位が設定されます。次回、「インターナビ VICS から近くの駐車場を探す」(→P111) で駐車場情報を取得すると、設定した優先順位で表示されます。

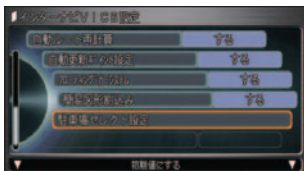
お知らせ

- [初期値にする] を選ぶとすべての条件を [なし] にすることができます。

■詳細に条件を設定する

詳細に条件を設定すると、インターナビVICS で取得する駐車場情報を、設定した条件で絞り込むことができます。

1 ［メニュー］ボタン ➔ ジョイスティックを下に倒して［VICS 設定］を選び、［実行］を押す

2 ［駐車場セレクト設定］を選んで［実行］を押す

お知らせ

- ［駐車場セレクト設定］を設定して駐車場情報を受信すると、インターナビ情報センターから受信した駐車場以外は表示されなくなります。

3 ジョイスティックを下に倒して［詳細条件設定］を選び、［実行］を押す

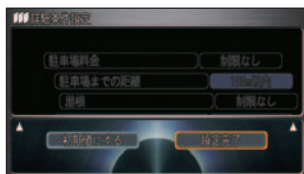
4 設定したい条件を選んで［実行］を押す

5 条件の内容を選んで［実行］を押す

▼

条件が変更されます。
引き続き条件を選んで変更することができます。

6 ジョイスティックを下に倒して［設定完了］を選び、［実行］を押す

▼

詳細な駐車場情報の条件が設定されます。

お知らせ

- ［初期値にする］を選ぶとすべての条件を［制限なし］にすることができます。
- 検索条件にあてはまる駐車場が 1 件もない場合は、駐車場セレクト (→ P111) を行っても表示されません。

FM 文字多重放送を見る 簡単 標準

FM 放送局の文字放送（見えるラジオなど）を受信して、交通情報やニュースなどの情報を見ることができます。

リストから選局する

自車の位置で受信可能な放送局をリストから選ぶことができます。

簡単

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る]➜[FM 文字多重] を選んで [実行] を押す

標準

[メニュー] ボタン ➜[VICS]➜ [FM 文字多重] を選んで [実行] を押す

2 放送局を選んで [実行] を押す

▼

FM 文字多重放送を受信します。

マニュアルで選局する

受信可能な放送局の周波数を指定して、放送局を選ぶことができます。

簡単

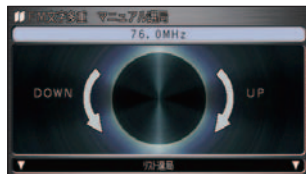
[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る]➜[FM 文字多重] を選んで [実行] を押す

リスト選局画面が表示されます。

[メニュー] ボタン ➜[VICS]➜ [FM 文字多重] を選んで [実行] を押す

リスト選局画面が表示されます。

2 ジョイスティックを下に倒して [マニュアル選局] を選び、[実行] を押す

3 コマンドホイールを左右に回す

コマンドホイールを左に回すと低い周波数、右に回すと高い周波数に変化します。希望の放送局に合わせます。

[実行] を押す

FM 文字多重放送を受信します。

リスト選局に戻す

マニュアル選局画面でジョイスティックを下に倒して [リスト選局] を選び、[実行] を押す

▼

リスト選局の画面に戻ります。

FM 文字多重放送を見る

見たい番組の番号を選んで [実行] を押す

▼

番組が表示されます。

お知らせ

- 情報画面が複数のページにおよぶときは、[次のページ]、[前のページ] を選んで [実行] を押し、ページを送ります。また、ジョイスティックを左右に倒しても、同様に操作できます。
- 停車中は、1 画面に最大 3 件分の文字情報が表示されます。
- 走行中は安全のため、緊急情報、交通情報、気象情報など一部の情報しか表示できません。
- 図形情報の目次を受信したとき、[図形] が表示されます。[図形] を選んで [実行] を押すと、図形情報の目次を表示することができます。
- 文字情報の目次を受信したとき、[メッセージ] が表示されます。[メッセージ] を選んで [実行] を押すと、文字情報の目次を表示することができます。

ナビゲーションの設定をする

機能設定

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。
ナビゲーションの設定項目は、簡単操作モード、標準操作モードごとに機能がそれぞれ次のように分類されています。

簡単

- 表示設定 (→P182)
- VICS 情報表示 (→P190)
- 通信機能設定 (→P234)
- 電話設定 (→P301)

標準

- 表示設定 (→P182)
- 誘導設定 (→P185)
- VICS 設定 (→P190)
- 通信機能設定 (→P234)
- 電話設定 (→P301)
- その他設定 (→P193)
- 現在地修正 (→P199)

設定を変更する

ナビゲーションの機能設定を変更することができます。

お知らせ

- 通信機能設定は *「通信機能の設定をする」* (→P234) をご覧ください。
- 電話設定は *「電話の設定をする」* (→P301) をご覧ください。
- 現在地修正は *「現在地を修正する」* (→P199) をご覧ください。

1 [メニュー] ボタン ➜ ジョイスティックを下に倒して設定変更したい機能を選び、[実行] を押す

簡単

標準

2 変更したい設定項目を選んで [実行] を押す

機能

設定項目　設定

 アドバイス

- すべての設定項目を初期状態に戻す場合は、ジョイスティックを下に倒して [初期値にする] を選び、[実行] を押します。

3 設定を選んで [実行] を押す

▼

設定が変更され、直前の画面に戻ります。引き続き設定項目を選んで変更することができます。

アドバイス

- [表示設定] や [VICS 設定](簡単操作モードは [VICS 情報表示])、[通信機能設定]、[電話設定] は各機能のメニューから表示させることができます。
  - [表示設定] は [画面] ボタンを押し、ジョイスティックを下に倒すと選ぶことができます。
  - [VICS 設 定]([VICS 情 報 表示]) は [メニュー] ボタンを押し [VICS](簡単操作モードは [VICS 交通情報を見る]) を選び、ジョイスティックを下に倒すと選ぶことができます。
  - [通信機能設定] と [電話設定] は [メニュー] ボタンを押し、[電話](簡単操作モードは [電話をかける]) を選び、ジョイスティックを下に倒すと選ぶことができます。

設定内容の詳細

■表示設定 簡単 標準

設定値の太字は、購入直後に選ばれている設定 (初期状態) です。
※簡単操作モードでは [時計表示]、[サマータイム表示] のみ設定を行うことができます。

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
ビル立体表示	市街地図表示 (10、25、50m スケール) で 3D(立体) マップのとき、付近のビルを立体的に表示させることができます。	[**する**] : ビルを立体表示します。	[しない] 固定
		[しない] : ビルを立体表示しません。	
3D アイコン表示	地図に目印になる建物を立体的なマーク (3D アイコン) で表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 3D アイコンを表示します。	
		[しない] : 3D アイコンを表示しません。	
3D ポリゴン表示	3D マップを表示したとき、目印になる建物を立体図形 (3D ポリゴン) で表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 3D ポリゴンを表示します。	
		[しない] : 3D ポリゴンを表示しません。	
走行軌跡表示	画面に走行軌跡を表示するかしないかを選ぶことができます。	[する] : 走行軌跡を表示します。	
		[**しない**] : 走行軌跡を表示しません。	
走行軌跡表示消去	それまでの走行軌跡をナビゲーションシステムから消去します。		消去できません。
軌跡自動消去	自宅を目的地設定し自宅到着時に軌跡を自動消去させることができます。*(→ P35)*	[自宅到着時] : 自宅に到着すると自動的に消去します。	[しない] 固定
		[**しない**] : 自動で消去しません。	
施設文字	地図に施設の名前を表示するかしないかを選ぶことができます。また、文字の表示サイズを選ぶことができます。	[**標準**] : 標準サイズで表示します。	[標準] 固定
		[小文字] : 小さいサイズで表示します。	
		[表示しない] : 施設の名前を表示しません。	
3D 角度調整	地図を 3D マップにしたときの視野角度を調節できます。	[**5**] : ジョイスティックを上下に倒して 10 段階で選択できます。	設定はありません。
地図色 昼	昼間 (車幅灯を消しているとき) の地図色を 4 色の中から選ぶことができます。	[**ホワイト**] : 地図色をホワイトに設定します。	[ホワイト] 固定
		[ブルー] : 地図色をブルーに設定します。	
		[グリーン] : 地図色をグリーンに設定します。	
		[ベージュ] : 地図色をベージュに設定します。	

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
地図色 夜	夜間 (車幅灯をつけているとき) の地図色を 4 色の中から選ぶことができます。	[ホワイト] : 地図色をホワイトに設定します。	[ブルー] 固定
		[**ブルー**] : 地図色をブルーに設定します。	
		[グリーン] : 地図色をグリーンに設定します。	
		[ベージュ] : 地図色をベージュに設定します。	
操作パネル色	画面 (操作パネル) の色を 4 色の中から選ぶことができます。	**[ホワイト]** : 表示色をホワイトに設定します。	[ホワイト] 固定
		[アンバー] : 表示色をアンバーに設定します。	
		[ブルー] : 表示色をブルーに設定します。	
		[グリーン] : 表示色をグリーンに設定します。	
道路ふち取り表示	道路のふち取りを表示するかしないかを選ぶことができます。	[する] : 道路のふち取りを表示します。	[しない] 固定
		[**しない**] : 道路のふち取りを表示しません。	
現在地情報の表示	現在地画面に地名または路線名を表示するかしないかを選ぶことができます。	[**地名**] : 市区町村名などを表示します。	[地名] 固定
		[路線名] : 路線名を表示します。	
		[しない] : 何も表示しません。	
路線番号表示	走行中の道路の路線番号を表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 路線番号を表示します。	[しない] 固定
		[しない] : 路線番号を表示しません。	
高速ガイド表示	高速道路に入った場合、自動的に高速ガイドを表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 高速道路で高速ガイドにします。	[する] 固定
		[しない] : 高速ガイドにしません。現状の地図表示モードを維持します。	
行程ガイド IC 省略	行程ガイド中で通過する IC(インターチェンジ) の表示を入口 IC と出口 IC のみにし、その間の IC を省略するかしないかを選ぶことができます。	[する] : 通過する IC の表示を省略します。	[しない] 固定
		[**しない**] : 通過する IC を全て表示します。	

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
都市高速マップ表示	都市高速道路を走行しているときは、高速道路、有料道路、主要な道路のみ表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]：都市高速を走行中に都市高速マップを表示します。 [しない]：都市高速マップを表示しません。現状の地図表示モードを維持します。	[しない] 固定
スクロール方面表示	地図をスクロールさせている間、画面の上下左右に方面案内を表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]：スクロール中、方面案内を表示します。 [しない]：方面案内を表示しません。	[する] 固定
時計表示	画面上に時計を表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]：時計を表示します。 [しない]：時計を表示しません。	
サマータイム表示	時計の表示を夏季に 1 時間進める (サマータイム表示) かどうかを設定します。	[する]：サマータイム表示します。時計の文字が黄色になります。 [**しない**]：サマータイム表示しません。	
時間表示	時計の表示を 12 時間表示 /24 時間表示から選ぶことができます。	[**12 時間表示**]：12 時間表示します。 [24 時間表示]：24 時間表示します。	[12 時間表示] 固定
地図色時刻連動	日没 / 日出時刻連動で画面の配色を切り換えるか切り換えないかを選ぶことができます。	[する]：日没 / 日出時刻連動で切り換えます。 [**しない**]：車幅灯の ON/OFF で画面の配色が切り換わります。	[しない] 固定
行政界色分け表示	市街地図において、行政界 (市区町村、大字など) ごとに各境界の背景色を色分けするかしないかを選ぶことができます。	[する]： 色分けします。 [**しない**]：色分けしません。	[しない] 固定
2 画面同時スクロール	2 画面表示中、スクロールするときに左右の地図が連動してスクロールするかしないかを選ぶことができます。	[する]：左右連動でスクロールします。 [**しない**]：左画面のみスクロールします。	[しない] 固定

■誘導設定 標準

設定値の太字は、購入直後に選ばれている設定 (初期状態) です。

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
リアル拡大図表示	主要な交差点でリアルな拡大図 (3D イラスト表示) を表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]：リアル拡大図を表示します。 [しない]：平面拡大図表示します。	[する] 固定
到着予想時刻表示	到着予想時刻と残距離の対象となるポイントの選択および表示をするかしないかを選ぶことができます。	[目的地]：目的地まで到着予想時刻と距離を表示します。 [**経由地**]：次の経由地までの到着予想時刻と距離を表示します。 [しない]：到着予想時刻と距離を表示します。	[目的地] 固定
直線誘導線表示	ルート案内中に目的地 (経由地) までの方向を示す直線誘導線を表示するかしないかを選ぶことができます。	[する]：直線誘導線を表示します。 [**しない**]：直線誘導線を表示しません。	[しない] 固定
方面看板表示	東京、名古屋、大阪周辺の主要な交差点で方面看板を表示するかしないかを選ぶことができます。	[**すべての交差点**]：ルート上にある交差点で方面看板を表示します。 [案内交差点のみ]：曲がる必要がある交差点のみ方面看板が表示されます。 [しない]：方面看板を表示しません。	[すべての交差点] 固定
レーン情報	レーン情報を表示するかしないかを選ぶことができます。	[**表示する**]：レーン情報を表示します。 [表示しない]：レーン情報を表示しません。	[表示する] 固定
代替ルート計算	ルート走行中、渋滞や規制などの情報から別ルートが見つかった場合、自動的にルートを再計算し案内を開始するかしないかを選べます。	[**する**]：自動的にルートを再計算し案内を開始します。 [しない]：ルートの更新を行いません。	[する] 固定
回避エリア考慮	ルート計算時、回避エリアを通らないルートを計算するかしないか、回避エリアを地図画面に表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]：回避エリアを通らないルートが計算され、回避エリアが地図画面に表示されます。 [しない]：回避エリアは考慮されません。また、回避エリアは地図画面に表示されません。	設定できません。

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
センシングリルート	ルート案内中、意図的にルートから外れた場合、ドライバーの意図を考慮してルートを再計算するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]：ドライバーの意図を考慮したルートに再計算します。 [しない]：案内中だったルートに戻るルートを計算します。	[する] 固定
一般道路の車速	一般道路走行時、到着予想時刻を計算するときの基準となる速度を選ぶことができます。	[**25km/h**]：コマンドホイールを回して、5km/h ～ 80km/h の間を 5km/h 刻みで選択できます。	[25km/h] 固定
高速道路の車速	高速道路走行時、到着予想時刻を計算するときの基準となる速度を選ぶことができます。	[**70km/h**]：コマンドホイールを回して、5km/h ～ 120km/h の間を 5km/h 刻みで選択できます。	[70km/h] 固定
有料道路の車速	有料道路走行時、到着予想時刻を計算するときの基準となる速度を選ぶことができます。	[**50km/h**]：コマンドホイールを回して、5km/h ～ 100km/h の間を 5km/h 刻みで選択できます。	[50km/h] 固定
ルート計算条件	ルートを計算させるとき、最初に計算させる基準を設定します。(設定後のルート計算から反映されます。)	[**推奨**]：おすすめの基準でルートが計算されます。 [一般道]：有料道路を使わないルートが計算されます。 [距離]：距離を優先してルートが計算されます。 [道幅]：道幅の広い道路を優先してルートが計算されます。	標準操作モードの設定と同じになります。
ルート学習	ルート計算時に学習機能を使うか使わないかを選ぶことができます。ルート学習とは元のルートから外れて同じルートを数回走行するとそのルートを学習する機能です。次回走行時よりそのルートを計算しやすくなります。走行ルートによっては学習しないこともあります。	[**する**]：学習したルートを考慮します。 [しない]：学習したルートを考慮しません。 [リセット]：ルート学習の記録を消去します。	[する] 固定

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
冬期閉鎖考慮	11 月から 3 月までの冬の間、通行止めになる道路を避けてルートを計算するかしないかを選ぶことができます。冬期通行止め情報は過去の実績を考慮しています。実際の情報を確認してください。	[する] : 冬期期間中に、冬期閉鎖道路を避けてルートを計算します。4 月から 10 月は通常のルートを計算します。	[しない] 固定
		[**しない**] : 通常のルートを計算します。	
繁華街駐車場	繁華街などの入りくんだ場所に目的地を設定した場合、近隣の駐車場まで案内するかしないかを選ぶことができます。※設定時も案内しない場合があります。	[**通知する**] : 繁華街などでは、近隣の駐車場まで案内します。	[通知しない] 固定
		[通知しない] : 通常の案内で、目的地を設定した地点までの案内となります。	
フェリー使用	フェリーを利用できる場合に、フェリーを利用するルートを計算するかしないかを選ぶことができます。	[する] : フェリーを優先的に利用します。フェリーを利用するルートを計算できない場合もあります。一般道路を優先したルート計算では、フェリー使用を [する] にしてもなるべくフェリーを利用しないルートを案内します。	[しない] 固定
		[**しない**] : フェリーをなるべく利用しないようにルート計算します。フェリーを利用しないと目的地に行くことができない場合、フェリー使用を [しない] にしてもフェリーを利用するルートを計算します。	
横付けルート計算	中央分離帯がある道路などで、目的地が反対車線に位置する場合、目的地が進行方向となるように考慮したルートを計算することができます。	[**する**] : 考慮したルートを計算します。	[する] 固定
		[しない] : 考慮せずにルートを計算します。	
VICS ルート計算	目的地までのルートを計算するときに VICS 情報やインターナビ VICS 情報を考慮するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : VICS 情報を考慮したルートを探します。	
		[しない] : VICS 情報を考慮しません。	

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
時間曜日規制考慮	曜日や時間帯で規制の入る道路を避けて計算するかしないかを選ぶことができます。 時間曜日規制は現在地周辺の情報を考慮します。	[**する**]：時間、曜日の規制を考慮します。	[する] 固定
		[しない] : 考慮しません。	
合流案内	ルート案内中、合流地点に近づいたときに案内するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]：合流地点に近づくと のマークを表示して音声で案内します。	
		[しない] : 案内しません。	
踏み切り案内	ルート案内中、踏み切りに近づいたときに案内するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 踏み切りに近づくと のマークを表示して音声で案内します。	
		[しない] : 案内しません。	
右左折専用レーン案内	直進レーンが右折または左折専用レーンに変化する地点を案内するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 案内します。	
		[しない] : 案内しません。	
事故多発地点案内	事故多発地点を案内するかしないかを選ぶことができます。※ルート走行中に 50m ～ 200m スケールの地図で表示させることができます。	[**する**]：事故多発地点に近づくと のマークを表示して音声で案内します。	
		[しない] : 案内しません。	
音声案内設定	詳細に音声案内を行う状況を設定することができます。		

音声案内設定

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
VICS 案内	VICS 情報を音声で案内するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] :VICS 情報を音声で案内します。	標準操作モードの設定と同じになります。
		[しない] : 音声案内を行いません。	
到着予想時刻案内	到着予想時刻を音声で案内するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 到着予想時刻を音声で案内します	
		[しない] : 音声案内を行いません。	
交差点目印案内	交差点に近づいたとき交差点目印を音声で案内するかしないかを選ぶことができます。	[する] : 交差点目印を音声で案内します	
		[**しない**] : 音声案内を行いません。	

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
料金案内	料金所に近づいたとき料金を音声で案内するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 料金を音声で案内します。	標準操作モードの設定と同じになります。
		[しない] : 音声案内を行いません。	
交差点名称案内	交差点に近づいたとき交差点名称を音声で案内するかしないかを選ぶことができます。	[する] : 交差点名称を音声で案内します。	
		[**しない**] : 音声案内を行いません。	
JCT 名称案内	高速道路のジャンクションに近づいたときジャンクション名称を音声で案内するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : ジャンクション名称を音声で案内します。	
		[しない] : 音声案内を行いません。	
一般道方面名称案内	一般道路走行中に方面名称を音声で案内するかしないかを選ぶことができます。	[する] : 方面名称を音声で案内します。	
		[**しない**] : 音声案内を行いません。	
高速道方面名称案内	高速道路走行中に方面名称を音声で案内するかしないかを選ぶことができます。	[する] : 方面名称を音声で案内します。	
		[**しない**] : 音声案内を行いません。	
交通状況変化時案内	[する] に設定すると、インターナビ VICS などの受信情報に、ルート上の状況変化 (重要な規制の有無や渋滞発生など) の音声情報が含まれる場合、これを音声で案内することができます。	[**する**] : 交通状況の変化があれば案内します。	
		[しない] : 交通状況の変化を案内しません。	

※ジョイスティックを下に倒して [シンプル設定に変更] を選ぶと、音声案内設定の [VICS 案内] のみが [する] になります。

※ジョイスティックを下に倒して [詳しい設定に変更] を選ぶと、音声案内設定のすべての項目が [する] になります。

■VICS 設定 (VICS 情報表示) 簡単 標準

設定値の太字は、購入直後に選ばれている設定 (初期状態) です。

※簡単操作モードの VICS 情報表示には設定画面がありません。[VICS 情報表示] を選び、
[実行] を押すごとに、VICS 情報の表示 / 非表示が切り換えられます。

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
図形情報割込み	地図上に受信した VICS 図形情報を割込み表示するかどうかを選ぶことができます。	[**する**] : 割込み表示をします。	[する] 固定
		[しない] : 割込み表示をしません。	
文字情報割込み	地図上に受信した VICS 文字情報を割込み表示するかどうかを選ぶことができます。	[する] : 割込み表示をします。	[しない] 固定
		[**しない**] : 割込み表示をしません。	
一般道情報表示	受信した VICS 情報を一般道路に表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 一般道路に VICS 情報を表示します。	[する] 固定
		[しない] : 一般道路に VICS 情報を表示しません。	
高速道情報表示	受信した VICS 情報を高速道路に表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 高速道路に VICS 情報を表示します。	
		[しない] : 高速道路に VICS 情報を表示しません。	
渋滞表示	地図上に渋滞矢印を表示するかしないかを選ぶことができます。	[する] : 渋滞矢印を表示します。	VICS 情報表示が ON の場合は、すべて [点滅表示] になります。OFF の場合は、すべて [しない] となります。初期値は ON となります。
		[**点滅表示**] : 渋滞矢印を点滅表示します。	
		[しない] : 渋滞矢印を表示しません。	
混雑表示	地図上に混雑矢印を表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 混雑矢印を表示します。	
		[点滅表示] : 混雑矢印を点滅表示します。	
		[しない] : 混雑矢印を表示しません。	
順調表示	地図上に順調矢印を表示するかしないかを選ぶことができます。	[する] : 順調矢印を表示します。	
		[点滅表示] : 順調矢印を点滅表示します。	
		[**しない**] : 順調矢印を表示しません。	

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
規制表示	交通規制に関する VICS 情報マークと規制区間を表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]：規制情報を表示します。 [しない]：規制情報を表示しません。	VICS 情報表示が ON の場合は、すべて [する] になります。OFF の場合は、すべて [しない] となります。初期値は ON となります。
VICS 駐車場マーク表示	地図上に VICS 駐車場マークを表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]：駐車場マークを表示します。 [しない]：駐車場マークを表示しません。	
VICS 強調地図表示	VICS 対象路線を緑色に塗り VICS 情報の矢印表示を強調して表示するかしないかを選ぶことができます。	[する]：強調表示します。 [**しない**]：強調表示しません。	[しない] 固定
情報保持時間	受信した VICS 情報を保持する時間を選ぶことができます。	[**30 分**]：受信した VICS 情報を 30 分間保持します。 [60 分]：受信した VICS 情報を 60 分間保持します。	[30 分] 固定
インターナビ VICS 設定			
情報受信接続設定	インターナビ情報センターに自動で接続する周期を選ぶことができます。	[状況変化時]：ルート案内中に 10 分おきに自動接続し、ルート上に状況変化 (重要な規制の有無や渋滞発生や渋滞解消など) があるときのみ、交通情報を取得します。他の項目とは異なり接続時間を短くすることができます。また、[ルート案内開始時連動取得] を [する] に設定していると接続時に天気情報も同時に取得します。(状況変化時) → *「取得情報の設定をする」(P283)* [5 分]：5 分おきに自動接続し、情報を取得します。 [15 分]：15 分おきに自動接続し、情報を取得します。 [30 分]：30 分おきに自動接続し、情報を取得します。 [60 分]：60 分おきに自動接続し、情報を取得します。 [**しない**]：自動接続しません。	標準操作モードの設定と同じになります。

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
自動ルート再計算	ルート計算後やルート案内中に、インターナビ VICS の情報を取得してから、自動的にルート再計算をするかしないかを選ぶことができます。	[**する**]:自動でルートを再計算します。	標準操作モードの設定と同じになります。
		[しない]:ルートを再計算しません。	
自動更新ポイント設定	自動更新ポイントに近づくと、自動的にインターナビ VICS の情報を取得するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]:自動的に受信します。	
		[しない]:自動受信しません。	
フローティングカーシステム	インターナビ・フローティングカー情報を取得するかしないかを設定します。 *→「インターナビ・フローティングカーシステムについて」(P174)*	[**する**]:車両から走行データをインターナビ情報センターへ送信すると共に、他のメンバーが収集した交通情報を取得します。	
		[しない]:走行データを送信しないと共に、他のメンバーが収集した交通情報を取得しません。	
簡易図形割込み	受信した VICS 情報の簡易図形を割込み表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]:簡易図形を割込み表示します。	
		[しない]:簡易図形を割込み表示しません。	
駐車場セレクト設定	インターナビ VICS から取得する駐車場情報(駐車場セレクト)の表示する優先順位や表示件数を絞り込むための条件を設定することができます。	設定方法については*「駐車場情報の条件設定(→P175)」*を参照してください。 設定した内容は、*「インターナビ VICS から近くの駐車場を探す」(→P111)*で確認できます。	

■その他設定 標準

設定値の太字は、購入直後に選ばれている設定 (初期状態) です。

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
メニュー音声読み上げ	メニューの表示内容を音声で読上げるか読上げないかを選ぶことができます。	[する] : メニューの読上げをします。 [しない] : メニューの読上げをしません。 [**走行中のみ**] : 走行中のみメニューを読上げます。	[走行中のみ] 固定
ふらつき検知警報	ルートの案内中に関係なく、車両のふらつきを感知した場合、音声と画面表示で警告するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : ふらつきを感知した場合、メッセージを表示して音声で警告します。 [しない] : 警告しません。	[する] 固定
カーブ警告	ルートの案内中に関係なく、速い速度でカーブを走行しようとしたとき、音声と画面表示で警告するかしないかを選ぶことができます。	[**舗装路**] : 状況に応じてメッセージを表示して音声で警告します。 [圧雪路] : [舗装路] を選んだときよりも警告が出やすくなります。 [しない] : 警告しません。	[舗装路] 固定
シートベルト警告	ルートの案内中に関係なく、運転席のシートベルトを着用していない状態で走行しようとしたとき、音声で警告するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 音声で警告します。 [しない] : 警告しません。	[する] 固定
パーキングブレーキ警告	ルートの案内中に関係なく、パーキングブレーキをかけた状態で走行しようとしたとき、音声で警告するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 音声で警告します。 [しない] : 警告しません。	
県境案内	ルートの案内中に関係なく、県境に近づいたとき、音声と画面表示で案内するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : メッセージを表示して音声で案内します。 [しない] : 案内しません。	

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
ETC 案内※	ETC 情報を案内するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]：ETC 情報を案内します。	[する] 固定
		[しない]：ETC 情報を案内しません。	
回転操作音	コマンドホイールを回転させたときやジョイスティックを倒すときの操作音の音量を選ぶことができます。	[**2**]：コマンドホイールを回して [1]、[2]、[3] の 3 段階で選択できます。	標準操作モードの設定と同じになります。
PUSH 実行操作音	[実行] を押したときや [目的地] ボタン、[メニュー] ボタンなどを押したときの操作音の音量を選ぶことができます。	[**2**]：コマンドホイールを回して [1]、[2]、[3] の 3 段階で選択できます。	
警告灯情報センター送信	点灯した車両メーターの警告灯の内容をインターナビ情報センターへ送信するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]：インターナビ情報センターへ警告灯情報を送信します。(前回送信した情報と同じ情報の場合は送信しません。)	[する] 固定
		[しない]：インターナビ情報センターへ警告灯情報を送信しません。	
警告灯メッセージ表示	車両メーターの警告灯が点灯した場合、割り込み表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]：警告灯の内容を割り込み表示します。	
		[しない]：警告灯の内容を割り込み表示しません。	

※ ETC 車載器をセットアップしていなくても [する] に設定しているときは、ルート案内中に都市高速道路 (首都高速道路など) を走行すると、料金所の案内図が表示されます。(データがある地点のみ)

※ ETC の案内図は、実際のレーンの位置と異なる場合があります。

メニューをカスタマイズする 標準

カスタマイズメニューおよびインターナビダイレクトは、よく使う項目などを登録して、メニューをカスタマイズすることができます。

お知らせ

- 簡単操作モードのワンプッシュメニューはカスタマイズできません。

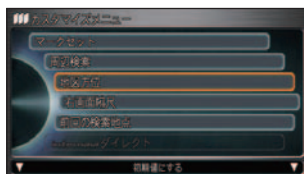
1 [メニュー] ボタン➜[付加機能] を選んで [実行] を押す

2 [カスタマイズ] を選んで [実行] を押す

3 [カスタマイズメニュー] を選んで [実行] を探す

お知らせ

- [internavi ダイレクト] を選ぶと [internavi ダイレクト] 内に表示されるメニューを同様の操作でカスタマイズすることができます。
→ *「internavi ダイレクトを設定する」(P249)*

4 変更したい項目を選んで [実行] を押す

現状のカスタマイズメニューの項目が表示されます。

お知らせ

- カスタマイズメニューの [internavi ダイレクト] を入れ換えることはできません。

5 新たにメニューに入れたい項目を選んで [実行] を押す

▼

カスタマイズメニューが変更されます。

つづく ➔

アドバイス

• メニュー項目を初期状態に戻す場合は、ジョイスティックを下に倒して [初期値にする] を選んで [実行] を押します。

お知らせ

• カスタマイズメニューで入れ換え可能な項目は以下の通りです。
- 表示設定の項目 *(→ P182)*
- 誘導設定の項目 *(→ P185)*
- VICS 設定の項目 *(→ P190)*
※駐車場セレクト条件設定を除く
- 電話設定の項目 *(→ P301)*
- その他設定の項目 *(→ P193)*
- 現在地修正 *(→ P199)*
- PC カード編集 *(→ P291)*
- 音声メモ *(→ P348)*
- ハードディスク容量 *(→ P484)*
- マークセット *(→ P81)*
- 地図方位 *(→ P52)*
- 右画面縮尺 *(→ P50)*
- 周辺検索 *(→ P94)*

壁紙の設定をする 標準

画面を消したときの画面表示 (壁紙) をメールなどで取り込んだお好みの画像に設定することができます。
壁紙は、ハードディスクにあらかじめ登録されている [Honda ナビゲーション]、[星空] のほか、PC カード内の画像データも設定することができます。

- 壁紙として設定できる画像ファイルについては、*「画像を確認する」(→ P336)* を参照してください。

[画面] ボタン ➜ [画面消] を選んで [実行] を押す

2 ジョイスティックを下に倒して [壁紙設定] を選び、[実行] を押す

3 壁紙にしたい画像を選んで [実行] を押す

※ 壁紙の画像はサンプルのため、実車とは異なります。

お知らせ

- PC カードをセットしている場合は、PC カード内の画像もリストに表示されます。

[壁紙セット] を選んで [実行] を押す

▼

壁紙が設定されます。

- 画像の設定 (または変更) 操作をした直後は、エンジンスイッチを "0" にしたり、PC カードを抜かないでください。登録にエラーが発生したり、PC カードのデータが壊れることがあります。

つづく ➔

お知らせ

- PC カード内の画像データを選んでいた場合、[壁紙セット] と同時にハードディスク内にその画像が保存されます。
- 壁紙表示中に走行すると画面が暗くなります。停車すると元の明るさに戻ります。

アドバイス

- [メニュー] ボタン→ [付加機能] → [壁紙設定] からも同様に壁紙を設定することができます。
  → *「画像を確認する」(P336)*
- 画像を確認したいとき、[画像確認] を選んで [実行] を押します。
- 画像を消去したいとき、[消去] を選んで [実行] を押します。

現在地を修正する 標準

GPS の測位の状態によっては、現在地のずれを自動的に修正できないことがあります。現在地がずれたときは、以下の方法で修正してください。

1 [メニュー] ボタン ➜ ジョイスティックを下に倒して [現在地修正] を選び、[実行] を押す

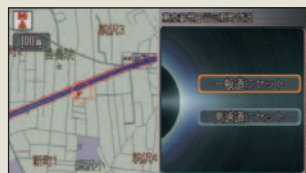
2 ジョイスティックで自車がいる地点にカーソルを合わせて [実行] を押す

3 コマンドホイールを左右に回して自車マークの向きを合わせ、[実行] を押す

▼

自車位置が修正されます。

お知らせ

- 一般道路と高速道路が併設する道路にカーソルを合わせた場合、自車の位置を一般道路と高速道路のどちらに修正するかを選ぶ画面が表示されます。

[一般道にセット] または [高速道にセット] を選んで [実行] を押します。

データを登録 / 編集する 標準

ユーザーランドマークを登録 / 編集する

標準

ユーザーランドマークを登録する

ナビゲーションシステムが用意しているランドマークとは別に、ランドマークを登録することができます。(非表示設定データとあわせて最大 100 件)
新たに開業した施設のランドマークを表示させたいときなどに、この操作をします。登録したランドマークは、「ユーザーランドマーク」として登録されます。

ユーザーランドマークについて次の操作ができます。

- 新しく登録する
- 登録したユーザーランドマークの情報を見る / 編集する *(→ P203)*
- 登録したユーザーランドマークを消去する *(→ P204)*

1 **[メニュー] ボタン ➔ [付加機能] を選んで [実行] を押す**

2 **[データ編集] を選んで [実行] を押す**

3 **[ランドマークデータ] を選んで [実行] を押す**

お知らせ

- 地図データ更新したあとに、この操作を行うと、ランドマークの更新画面が表示されます。→ *「地図データ更新時のデータ登録について」(P220)*

4 **[ユーザーランドマーク] を選んで [実行] を押す**

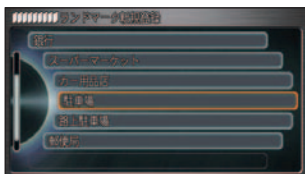
▼

ユーザーランドマークのリストが表示されます。

5 **[新規登録] を選んで [実行] を押す**

6 **場所を探して [実行] を押す**

→ *「場所を探す」(P92)*

7 分類を選んで［実行］を押す

選んだ分類によっては、さらに詳細なランドマークを選ぶことができます。

ユーザーランドマークが登録されます。

登録したユーザーランドマークの情報を見る / 編集する

登録したユーザーランドマークの情報（名称、読み、マーク、電話番号、位置修正）を確認したり、編集したりすることができます。

1 ユーザーランドマークのリスト画面で、情報を見たい / 編集したいユーザーランドマークを選んで［実行］を押す

→「ユーザーランドマークを登録する」(P202)

2 ［マーク情報］を選んで［実行］を押す

お知らせ

- 地図を画面全体に表示する場合は、［全画面地図］を選んで［実行］を押します。
- ユーザーランドマークのリストを並び変える場合は、ジョイスティックを下に倒して［マーク順］または［登録順］を選び［実行］を押します。

ユーザーランドマーク情報が表示されます。以降の操作手順は、*「自宅やよく行く地点を編集する」(→P72)* と同様に行います。

登録したユーザーランドマークを消去する

登録したユーザーランドマークは消去することができます。

1 **ユーザーランドマークのリスト画面で、消去したいユーザーランドマークを選んで [実行] を押す**

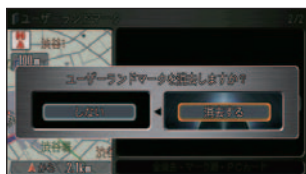
→ *「ユーザーランドマークを登録する」(P202)*

アドバイス

- すべてのユーザーランドマークを消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して [全消去] を選び、[実行] を押します。

2 **[消去] を選んで [実行] を押す**

3 **ジョイスティックを右に倒して [消去する] を選び、[実行] を押す**

▼

選んだユーザーランドマークが消去されます。

PC カードへのユーザーランドマークの保存 / 読み込み

ユーザーランドマークを PC カードに保存したり、読み込んだりすることができます。

お知らせ

- PC カードの接続方法や利用方法について詳しくは、*「カードを接続する」(→ P288)* を参照してください。
- 読み込み可能数以上のユーザーランドマークを PC カードに保存した場合は、PC カードを初期化することでデータを消去することができます。
→ *「PC カードを初期化する」(P298)*

1 **ユーザーランドマークのリスト画面で、ジョイスティックを下に倒す**

→ *「ユーザーランドマークを登録する」(P202)*

2 **[PC カード] を選んで [実行] を押す**

▼

PC カードのメニュー画面が表示されます。

■ PC カードにユーザーランドマークを保存する

登録したユーザーランドマークを PC カードに保存することができます。

PC カードのメニュー画面で [データ保存] を選んで [実行] を押す

→「PC カードへのユーザーランドマークの保存 / 読み込み」(P204)

保存したいユーザーランドマークを選んで [実行] を押す

お知らせ

- PC カードにすべてのユーザーランドマークを保存する場合は、ジョイスティックを下に倒して [すべて保存] を選び、[実行] を押します。
- 登録したユーザーランドマークのリストを並び換える場合は、ジョイスティックを下に倒して [マーク順に表示] または [登録順に表示] を選び、[実行] を押します。

▼

PC カードにユーザーランドマークを保存します。

■ PC カードからユーザーランドマークを読み込む

PC カードに保存されたユーザーランドマークを読み込むことができます。

PC カードのメニュー画面で [データ読込み] を選んで [実行] を押す

→「PC カードへのユーザーランドマークの保存 / 読み込み」(P204)

▼

PC カード内のユーザーランドマークのリスト画面が表示されます。

読み込みたいランドマークを選んで [実行] を押す

お知らせ

- PC カード内のすべてのユーザーランドマークを読み込む場合は、ジョイスティックを下に倒して [すべて読込み] を選び、[実行] を押します。
- PC カード内のユーザーランドマークのリストを並び換える場合は、ジョイスティックを下に倒して [マーク順に表示] または [登録順に表示] を選び、[実行] を押します。

▼

PC カードからユーザーランドマークを読み込みます。

■ PCカードのユーザーランドマークを消去する

PCカード内のユーザーランドマークを消去することができます。

PCカードのメニュー画面で[データ消去]を選んで[実行]を押す

→ *「PCカードへのユーザーランドマークの保存/読み込み」(P204)*

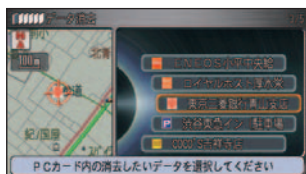
▼

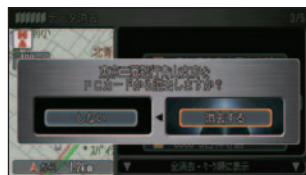
PCカード内のユーザーランドマークのリスト画面が表示されます。

消去したいユーザーランドマークを選んで[実行]を押す

🔊 **お知らせ**

- PCカード内のすべてのユーザーランドマークを消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して[全消去]を選び、[実行]を押します。
- PCカード内のユーザーランドマークのリストを並び換える場合は、ジョイスティックを下に倒して[マーク順に表示]または[登録順に表示]を選び、[実行]を押します。

3

ジョイスティックを右に倒して[消去する]を選び、[実行]を押す

▼

PCカード内の選んだユーザーランドマークが消去されます。

ランドマークを非表示設定にする 標準

非表示設定データに登録する

ナビゲーションシステムが用意しているランドマークは個別に表示させないようにすることができます。
(ユーザーランドマークとあわせて最大 100 件)
なくなった施設のランドマークを表示させないときなどに、この操作をします。非表示にしたランドマークは「非表示設定データ」として登録されます。

お知らせ

- ユーザーランドマークは非表示設定データに登録することはできません。

1 **ランドマークにカーソルを合わせて [実行] を押す**

お知らせ

- カーソルを合わせたランドマークにアイコンと名称の情報がある場合、画面下にアイコンと名称が表示されます。

2 **[詳細情報] を選んで [実行] を押す**

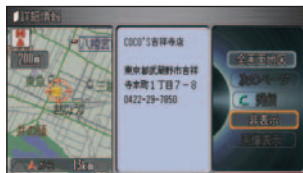
お知らせ

- カーソルを合わせた位置に複数の施設があった場合、施設のリストが表示されます。いずれかを選んで [実行] を押します。

▼

ランドマークの詳細情報が表示されます。

3 **[非表示] を選んで [実行] を押す**

▼

選んだランドマークが地図上から消え、非表示設定データとして登録されます。

お知らせ

- 地図データを更新したあとは、[非表示] を選ぶことはできません。ランドマークの更新を行ってください。→*「地図データ更新時のデータ登録について」(P220)*

はじめに
基本操作
画面表示
自宅およびマークを登録、編集する
目的地を探す
目的地に行く
ルート案内
VICSを使う
ナビゲーションの設定をする
データを登録／編集する

非表示設定データを解除する

非表示設定データの登録を解除し、再び元の位置にランドマークを表示させることができます。

1 ［メニュー］ボタン➜［付加機能］➜［データ編集］を選んで［実行］を押す

2 ［ランドマークデータ］を選んで［実行］を押す

3 ［非表示設定データ］を選んで［実行］を押す

▼

非表示設定データのリストが表示されます。

4 再び表示させたいランドマークを選んで［実行］を押す

お知らせ

- ジョイスティックを左右に倒すと、マークの種類ごとにリストを切り換えることができます。
- すべての非表示設定データを再び表示させる場合は、ジョイスティックを下に倒して［全解除］を選び、［実行］を押します。
- 非表示設定データのリストを並び換える場合は、ジョイスティックを下に倒して［マーク順］または［登録順］を選び、［実行］を押します。

5 ［非表示設定解除］を選んで［実行］を押す

お知らせ

- 地図を画面全体に表示する場合は、［全画面地図］選んで［実行］を押します。

非表示設定データの登録が解除され、選んだ非表示設定データが再び地図上の元の位置に表示されます。

PC カードへの非表示設定データの保存 / 読み込み

非表示設定データを PC カードに保存したり、読み込んだりすることができます。

お知らせ

- PC カードの接続方法や利用方法について詳しくは、*「カードを接続する」(→ P288)* を参照してください。
- 読み込み可能数以上の非表示設定データを PC カードに保存した場合は、PC カードを初期化することでデータを消去することができます。
  →「PC カードを初期化する」(P298)

1 非表示設定データのリスト画面で、ジョイスティックを下に倒す

→「非表示設定データを解除する」(P208)

2 [PC カード] を選んで [実行] を押す

▼

PC カードのメニュー画面が表示されます。

■ PC カードに非表示設定データを保存する

登録した非表示設定データを PC カードに保存することができます。

1 PC カードのメニュー画面で [データ保存] を選んで [実行] を押す

2 保存したい非表示設定データを選んで [実行] を押す

お知らせ

- PC カード内にすべての非表示設定データを保存する場合は、ジョイスティックを下に倒して [すべて保存] を選び、[実行] を押します。
- 登録した非表示設定データのリストを並び換える場合は、ジョイスティックを下に倒して [マーク順に表示] または [登録順に表示] を選び、[実行] を押します。

▼

PC カードに非表示設定データを保存します。

■ PC カードから非表示設定データを読み込む

PC カードに保存された非表示設定データを読み込むことができます。

PC カードのメニュー画面で [データ読込み] を選んで [実行] を押す

→ *「PC カードへの非表示設定データの保存 / 読み込み」(P209)*

▼

PC カード内の非表示設定データのリスト画面が表示されます。

読み込みたい非表示設定データを選んで [実行] を押す

お知らせ

- PC カード内のすべての非表示設定データを読み込む場合は、ジョイスティックを下に倒して [すべて読込み] を選び、[実行] を押します。
- PC カード内の非表示設定データのリストを並び換える場合は、ジョイスティックを下に倒して [マーク順に表示] または [登録順に表示] を選び、[実行] を押します。

PC カードから非表示設定データを読み込みます。

地図データのバージョンが異なったとき

PC カード内とナビゲーションシステムの地図データベースのバージョンが異なったとき、PC カード内の非表示設定データの情報を保持して読み込むか保持しないで読み込むかを選ぶことができます。

お知らせ

- 地図データを更新したあと、非表示にした施設が表示されている場合に PC カードの非表示設定データを使って、再び非表示にするか、表示したままとするかを選ぶことができます。

1 PC カードのメニュー画面で [データ読込み] を選んで [実行] を押す

2 読み込みたい非表示設定データを選んで [実行] を押す

▼

ランドマーク更新画面が表示されます。

3 設定したい非表示設定データを選んで [実行] を押す

お知らせ

- [すべて読込み] を選んでいた場合は、PC カード内のすべての非表示設定データが表示されます。

お知らせ

- すでにナビゲーションシステムの地図データが以下のように更新されており、読み込む必要がなくなったデータは、施設名称のあとに [読み込まない] と表示され、選ぶことはできません。
  - 施設がなくなっている。
  - 施設の位置が変更されている。
  - 別の施設になっている。

4 **[保持する] または [保持しない] を選んで [実行] を押す**

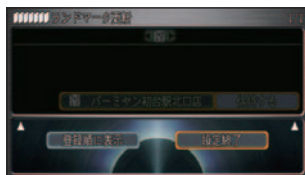
[保持する]	PC カード内の非表示設定データを読み込み、選んだ施設を非表示に設定します。
[保持しない]	PC カード内の非表示設定データを読み込まずに、選んだ施設は、表示させたままにします。

お知らせ

- 選んだ非表示設定データ周辺の地図を確認するときは、[全画面地図] を選んで [実行] を押します。

▼

ランドマーク更新画面に戻ります。すべての非表示設定データを読み込んでいた場合は、手順 3 ～ 4 を繰り返し、読み込む非表示設定データをすべて設定します。

5 **ジョイスティックを下に倒して [設定終了] を選び、[実行] を押す**

PC カードから選んだ非表示設定データだけを読み込みます。

■ PC カードの非表示設定データを消去する

PC カード内の非表示設定データを消去することができます。

1 **PC カードのメニュー画面で [データ消去] を選んで [実行] を押す**

→「PC カードへの非表示設定データの保存 / 読み込み」(P209)

PC カード内の非表示設定データのリスト画面が表示されます。

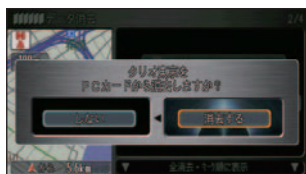
2 **消去したいランドマークを選んで [実行] を押す**

つづく →

お知らせ

- PC カード内のすべての非表示設定データを消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して [全消去] を選び、[実行] を押します。
- PC カード内の非表示設定データのリストを並び換える場合は、ジョイスティックを下に倒して [マーク順に表示] または [登録順に表示] を選び、[実行] を押します。

3 ジョイスティックを右に倒して [消去する] を選び、[実行] を押す

▼

PC カード内の選んだ非表示設定データが消去されます。

回避エリアを登録／編集する 標準

回避エリアを登録する

工事中の道路や渋滞しがちな道路など通りたくない場所（回避エリア）を、5か所まで登録しておくことができます。
回避エリアを登録しておくと、これらの場所を通らないようにルートを計算させることができます。

1 ［メニュー］ボタン➔［付加機能］を選んで［実行］を押す

2 ［データ編集］を選んで［実行］を押す

3 ［回避エリア］を選んで［実行］を押す

▼

回避エリアのリストが表示されます。

4 ［新規登録］を選んで［実行］を押す

5 場所を探して［実行］を押す

→「場所を探す」（P92）

6 ジョイスティックで場所を合わせて［実行］を押す

7 コマンドホイールを回して範囲を指定し、［実行］を押す

お知らせ

- 指定範囲の中央付近の地名などが、回避エリアの名称として登録されます。

つづく➔

8 **ジョイスティックを右に倒して[登録する] を選び、[実行] を押す**

▼

回避エリアが登録されます。

お知らせ

- 回避エリアは桃色で表示されます。
- 100m ～ 800m 四方を回避エリアとして登録できます。
- ルート計算時に他に適切な道路の候補がない場合、回避エリアを通るルートが計算されることがあります。

アドバイス

- 名称は自動的に登録されますが、あとで変更することができます。→ *「回避エリアの情報を見る / 編集する」(本ページ)*
- 回避エリア考慮の設定は [する]/[しない] を選ぶことができます。→ *「機能設定」(P185)*

回避エリアの情報を見る / 編集する

回避エリアの名称、読み、範囲、曜日指定、時間指定、位置修正を変更することができます。

1 **回避エリアのリスト画面で、情報を確認 / 編集したい回避エリアを選んで [実行] を押す**

→ *「回避エリアを登録する」(P213)*

2 **[回避エリア情報] を選んで [実行] を押す**

お知らせ

- 地図を画面全体で表示する場合は [全画面地図] を選んで [実行] を押します。

回避エリアの情報画面が表示されます。以降の操作手順は、*「自宅やよく行く地点を編集する」(→ P72)* と同様に行います。

範囲を編集するとき

1 **回避エリアの情報画面で [範囲] を選んで [実行] を押す**

→「回避エリアの情報を見る / 編集する」(P214)

2 **コマンドホイールを回して範囲を指定し、[実行] を押す**

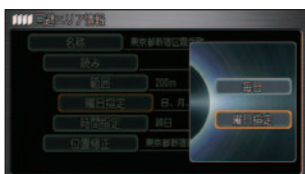
▼

範囲が変更されます。

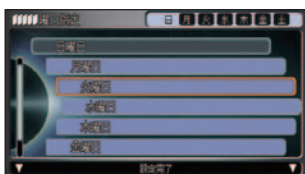
曜日指定を編集するとき

1 **回避エリアの情報画面で [曜日指定] を選んで [実行] を押す**

→「回避エリアの情報を見る / 編集する」(P214)

2 **[曜日指定] を選んで [実行] を押す**

お知らせ

- 曜日指定を解除する場合は [毎日] を選んで [実行] を押します。

3 **回避する曜日を選んで [実行] を押す**

お知らせ

- 回避する曜日は色付きで表示されます。
- 解除するときは色付きの曜日を選んで [実行] を押します。

4 **ジョイスティックを下に倒して [設定完了] を選び、[実行] を押す**

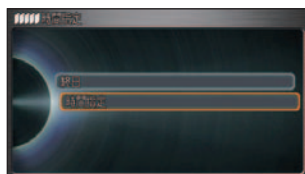
▼

回避する曜日が変更されます。

時間指定を編集するとき

1 **回避エリアの情報画面で [時間指定] を選んで [実行] を押す**

→「回避エリアの情報を見る / 編集する」(P214)

2 **[時間指定] を選んで [実行] を押す**

お知らせ

- 時間指定を解除するときは、[終日] を選んで [実行] を押します。

3 **回避する時間を入力する**

→「文字入力のしかた」(P42)

4 **[完了] を選んで [実行] を押す**

回避する時間が変更されます。

回避エリアを消去する

回避エリアを消去することができます。

1 **回避エリアのリスト画面で、消去したい回避エリアを選んで [実行] を押す**

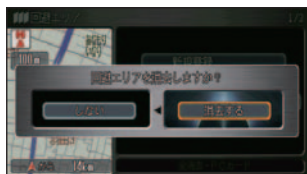
→「回避エリアを登録する」(P213)

アドバイス

- すべての回避エリアを消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して [全消去] を選び、[実行] を押します。

2 **[消去] を選んで [実行] を押す**

3 **ジョイスティックを右に倒して [消去する] を選び、[実行] を押す**

▼

選んだ回避エリアが消去されます。

PC カードへの回避エリア情報の保存 / 読み込み

回避エリア情報を PC カードに保存したり、読み込んだりすることができます。

お知らせ

- PC カードの接続方法や利用方法について詳しくは、「カードを接続する」(→ P288) を参照してください。
- 読み込み可能数以上の回避エリア情報を PC カードに保存した場合は、PC カードを初期化することでデータを消去することができます。

→「PC カードを初期化する」(P298)

1 **回避エリアのリスト画面で、ジョイスティックを下に倒す**

→「回避エリアを登録する」(P213)

2 **[PC カード] を選んで [実行] を押す**

▼

PC カードのメニュー画面が表示されます。

■ PC カードに回避エリア情報を保存する

登録した回避エリアの情報を PC カードに保存することができます。

PC カードのメニュー画面で [データ保存] を選んで [実行] を押す

→ *「PC カードへの回避エリア情報の保存 / 読み込み」(P216)*

保存したい回避エリアを選んで [実行] を押す

お知らせ

- PC カード内のすべての回避エリア情報を保存する場合は、ジョイスティックを下に倒して [すべて保存] を選び、[実行] を押します。

▼

PC カードに回避エリアの情報を保存します。

■ PC カードから回避エリア情報を読み込む

PC カードに保存された回避エリア情報を読み込むことができます。

PC カードのメニュー画面で [データ読み込み] を選んで [実行] を押す

→ *「PC カードへの回避エリア情報の保存 / 読み込み」(P216)*

▼

PC カード内の回避エリアのリスト画面が表示されます。

読み込みたい回避エリアを選んで [実行] を押す

お知らせ

- PC カード内のすべての回避エリア情報を読み込む場合は、ジョイスティックを下に倒して [すべて読み込み] を選び、[実行] を押します。

▼

PC カードから回避エリアの情報を読み込みます。

■ PCカードの回避エリア情報を消去する

PCカード内の回避エリアの情報を消去することができます。

PCカードのメニュー画面で[データ消去]を選んで[実行]を押す

→「PCカードへの回避エリア情報の保存／読み込み」(P216)

▼

PCカード内の回避エリアのリスト画面が表示されます。

消去したい回避エリアを選んで[実行]を押す

お知らせ

- PCカード内のすべての回避エリアの情報を消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して[全消去]を選び、[実行]を押します。

ジョイスティックを右に倒して[消去する]を選び、[実行]を押す

▼

PCカード内の選んだ回避エリアの情報が消去されます。

ルートの学習内容を消去する 標準

本機はふだん使用する道を学習しており、ルート設定では学習した道を優先的に計算します。([ルート学習] が [する] のとき→ *P186*) したがって、他に効率のよい道が見つかっても、ルート設定に反映されないことがあります。このようなときは、ルートの学習内容をいったん消去し、学習し直すことをおすすめします。

1 [メニュー] ボタン ➜ ジョイスティックを下に倒す

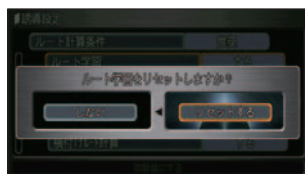
2 [誘導設定] を選んで [実行] を押す

3 [ルート学習] を選んで [実行] を押す

4 [リセット] を選んで [実行] を押す

お知らせ

- [する] を選んで [実行] を押すとルートを学習する設定になります。
- [しない] を選んで [実行] を押すとルートを学習しない設定になります。

5 ジョイスティックを右に倒して [リセットする] を選び、[実行] を押す

▼

学習したルートが消去されます。

地図データ更新時のデータ登録について

標準

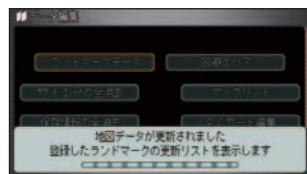
地図データをバージョンアップすると、ランドマークの更新を行うまで新たにユーザーランドマークや非表示設定データを登録できません。

お知らせ

- ユーザーランドマーク（→*P202*）および非表示設定データ（→*P207*）が1件も登録されていない場合は、以下の操作は必要ありません。

1 ［メニュー］ボタン➜［付加機能］➜［データ編集］を選んで［実行］を押す

2 ［ランドマークデータ］を選んで［実行］を押す

▼

情報の検索が開始されます。

検索が終了すると、ランドマーク更新画面が表示されます。

3 更新したい施設を選んで［実行］を押す

- 施設のリストを並び換える場合は、ジョイスティックを下に倒して［登録順に表示］または［マーク順に表示］を選び、［実行］を押します。

4 [保持] または [登録]、[消去] を選んで [実行] を押す

選んだ施設によってメニューは以下のように表示されます。

ユーザーランドマークのとき

[登録]	更新後の地図にユーザーランドマークを表示します。
[消去]	ユーザーランドマークを削除します。

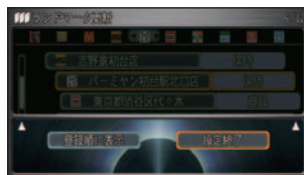
非表示設定データのとき

[保持]	地図データ更新後の施設も非表示設定にします。
[消去]	非表示設定データを消去し、更新後の地図に施設を表示させます。

お知らせ

- ナビゲーションシステムの地図データが、以下のように更新されており、保持する必要がなくなった非表示設定データは [消去] のみになります。
  - 施設がなくなっている
  - 施設の位置が変更されている
  - 別の施設になっている
- 選んだ施設周辺の地図を確認するときは、[全画面地図] を選んで [実行] を押します。

5 ジョイスティックを下に倒して [設定終了] を選び、[実行] を押す

▼

ユーザーランドマークおよび非表示設定データが更新されます。

通信機能を使う

インターナビ・プレミアムクラブとは

簡単 標準

インターナビ・プレミアムクラブとは、Honda 車に乗るオーナーのための新しいサービス・ネットワークです。
もっと快適に、自由に、安心してドライブを楽しんでいただくためのさまざまなサービスをご利用できます。
サービスのご利用にあたっては、インターナビ・プレミアムクラブにご入会いただき、携帯電話を使ってインターナビ情報センターに接続する必要があります。

● インターナビ・プレミアムクラブのホームページ
http://www.premium-club.jp/

■もっと快適に

「より新しく正確な情報を提供し、ストレスなく快適なドライブを実現します」

- 全国どこからでも最新の交通情報を入手して、目的地までの最短時間ルートを案内します。*(→ P164)*
- お好みの条件にあわせた駐車場情報を取得することができます。*(→ P175)*
- 初回車検前に (1 回のみ) 無償にて最新の地図データへの更新サービスがあります。(スマート全地図更新)

■もっと自由に

「運転中でも使える、自由にコミュニケーションできる、情報環境を実現します」

- メールやニュースなどの音声呼び出し / 読み上げができます。*(→ P285)*
- 待ち合わせなどに便利な位置情報付きメールを送ることができます。*(→ P259,260)*
- パソコンや携帯電話にお客様専用のホームページ「パーソナル・ホームページ」を開設し、メンテナンス情報などを記録できます。

■もっと安心を

「Honda ネットワークによる安心のカーライフサポートをお届けします」

- 総走行距離に基づき、適切なメンテナンス時期をお知らせします。
- Honda ネットワークによる安心のカスタマーケア「QQ コール」をご利用いただけます。(有料サービス)
詳しくは Honda 販売店にご相談ください。

QQコール

お知らせ

- 通信機能を使って、インターナビ・プレミアムクラブの各種サービスをご利用いただくためには、インターナビ・プレミアムクラブへのご入会があらかじめ必要となります。詳しくはHonda 販売店にご相談ください。
- 携帯電話の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- Bluetooth 方式以外の携帯電話を接続する場合は、別売の接続ケーブルが必要になります。Honda 販売店にご相談ください。
- 携帯電話や通信カードの対応機種については、インターナビ·プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
- Bluetooth 通信機能のない、ソフトバンクの「3G」には対応しておりません。
- au は、パケット通信のみ利用できます。
- サービスの内容は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。最新のサービス内容は、インターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。

準備

インターナビを使う前に通信機能の設定や携帯電話の接続を行います。

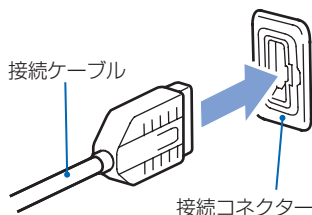
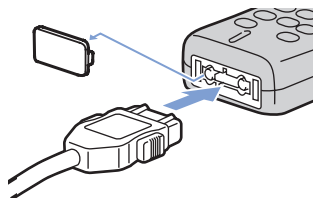
携帯電話を接続する

簡単 標準

■携帯電話を接続する

お知らせ

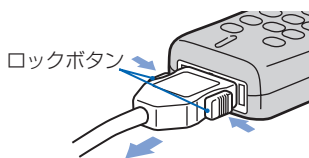
- エンジンスイッチを“I”にする前に携帯電話および接続ケーブルを接続コネクターに接続してください。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」、「オートロック」などの機能を解除してから接続してください。
- 接続コネクターの場所については、車両本体の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話を有線で接続する場合は、別売の接続ケーブルが必要になります。Honda 販売店にご相談ください。
- Bluetooth 対応機の接続方法については*「Bluetooth 対応機を接続する」(→P227)*を参照してください。

1 **接続コネクターに接続ケーブルを「カチッ」と音がするまで差し込む**

2 **携帯電話の接続端子カバーを外し、接続ケーブルを「カチッ」と音がするまで押し込む**

お知らせ

- 携帯電話の種類によって、接続ケーブルの向きが変わります。お使いの携帯電話に合わせて接続してください。
- 携帯電話の接続コネクターからは、携帯電話の電源は供給されていません。
- Honda インターナビシステムに携帯電話を接続すると、携帯電話の電源が一度 OFF になり、その後自動的に ON になります。(呼び出し中の場合も一度電源が OFF になります。)
- Honda インターナビシステムに携帯電話を接続すると、携帯電話の電源ボタンは働かなくなります。(携帯電話の電源は、エンジンスイッチの位置に連動します。)

■携帯電話を外す

左右のロックボタンを押しながら接続ケーブルを取り外す

お願い

- 携帯電話の接続コネクターを頻繁に抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 接続コネクターは携帯電話を使用していないときに抜き差ししてください。

Bluetooth 対応機を接続する

簡単 標準

お手持ちの携帯電話が Bluetooth (ブルートゥース) 対応機の場合、ケーブルを接続することなく無線通信接続をすることができます。

Bluetooth(ブルートゥース) とは

- Bluetooth とは、産業団体 Bluetooth SIG により提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.45GHz 帯の電波を利用して Bluetooth 対応機器どうしで通信を行います。

Bluetooth®

- Honda インターナビシステムでは、Bluetooth 対応の携帯電話をケーブルを使わずに接続し、通信機能、ハンズフリー電話、電話帳の転送を行うことができます。

※ Bluetooth ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG,Inc. の所有であり、本田技研工業株式会社のマーク使用は許可を得ています。その他のトレードマーク及びトレードネームは各所有者のものです。

お知らせ

- 携帯電話の収納場所、距離によっては、通信速度が低下する場合があります。できるだけ通信状態の良い場所 (ナビゲーション本体の周辺など) に置くことをお勧めします。
- Bluetooth 接続でデータ通信中は、Honda インターナビシステムで電話を受けることができません。
- Bluetooth 対応の携帯電話の取り扱いについては携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

1 [メニュー] ボタン ➜ ジョイスティックを下に倒す

簡単

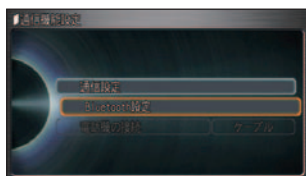
標準

つづく ➜

[通信機能設定] を選んで [実行] を押す

標準

3 [Bluetooth 設定] を選んで [実行] を押す

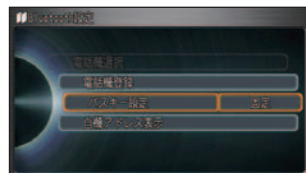
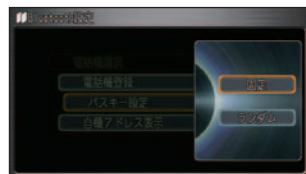
▼

Bluetooth 設定画面が表示されます。
この後、以下の設定を行ってください。

- パスキーの設定 (→本ページ)
- 携帯電話の登録 (→ P229)
- 携帯電話の選択 (→ P230)

■パスキーを設定する

お手持ちの携帯電話と、Honda インターナビシステムを無線接続するためのパスキー(暗証番号)を設定します。

Bluetooth 設定画面で [パスキー設定] を選んで [実行] を押す

→「Bluetooth 対応機を接続する」(P227)

2 [固定] を選んで [実行] を押す

お知らせ

- [ランダム] を選ぶと、新たに携帯電話を登録するたびに違うパスキーを自動的に生成します。

3 お好みの数字 4 桁を入力する

→「文字入力のしかた」(P42)

お知らせ

- 初期設定では「1212」となっています。
  通常は変更する必要はありません。

4 [完了] を選んで [実行] を押す

▼

パスキーの設定が完了します。
この操作の後、携帯電話の登録をしてください。(→本ページ)

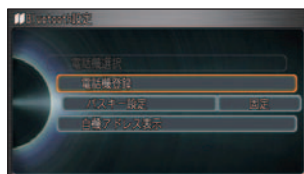
■携帯電話を登録する

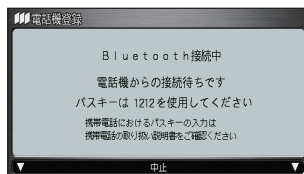
Bluetooth 対応の携帯電話を Honda インターナビシステムに登録し、無線接続できるように設定します。携帯電話は、最大 5 台まで登録することができます。

お知らせ

- Honda インターナビシステムに設定したパスキーを携帯電話に設定すると、Bluetooth 接続ができるようになります。
- 携帯電話を登録し、Bluetooth 接続が完了すると、再度以下の操作を行う必要はありません。
- 携帯電話のパスキーを変更したときは、再度以下の操作を行う必要があります。

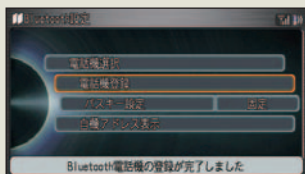
Bluetooth 設定画面で [電話機登録] を選んで [実行] を押す

→「Bluetooth 対応機を接続する」(P227)

画面に表示されたパスキーをお手持ちの携帯電話に設定する

▼

お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧になり、携帯電話にパスキーを設定してください。
携帯電話の登録および Bluetooth 接続が完了します。

つづく →

お知らせ

- Bluetooth 対応の携帯電話の登録方法について、詳しくはインターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
  ホームページアドレス：
  http://www.premium-club.jp/
- パスキーの初期値は「1212」です。お好みのパスキー（暗証番号）を設定する場合は、*「パスキーを設定する」（→ P228）*を参照してください。
- 登録を中止する場合は、ジョイスティックを下に倒して［中止］を選び、［実行］を押します。
- Bluetooth 接続が完了すると、画面の右上に マークが表示されます。また、地図画面の場合は画面の左下に表示されます。

マークは Honda インターナビシステムと Bluetooth 対応の携帯電話との接続状況（無線接続）を示すもので、電話回線の接続状況を示したものではありません。

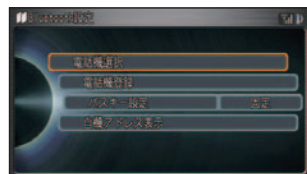
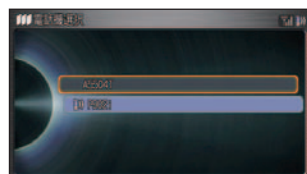
■携帯電話を選択する

Honda インターナビシステムに Bluetooth 対応の携帯電話を複数登録している場合は、使用する携帯電話を選ぶ必要があります。

お知らせ

- 登録している Bluetooth 対応の携帯電話が 1 台のときは、以下の操作は必要ありません。

1 **Bluetooth 設定画面で［電話機選択］を選んで［実行］を押す**

→*「Bluetooth 対応機を接続する」(P227)*

2 **使用する携帯電話を選んで［実行］を押す**

お知らせ

- 接続中の携帯電話には マークが表示されます。

3 **［決定］を選んで［実行］を押す**

接続する携帯電話の選択が完了します。Bluetooth 接続が完了するまで時間がかかることがありますので、しばらくお待ちください。

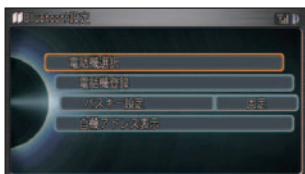
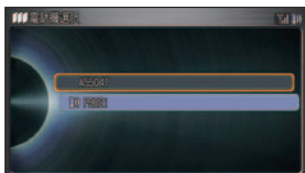
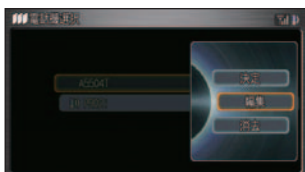
お知らせ

- 接続先のプロバイダが異なる携帯電話を選択した場合は、接続先を変更する必要があります。
→ *「携帯電話の接続先 (プロバイダ) を変更する」(P242)*

■登録した携帯電話名称を変更する

携帯電話のリストに表示されている携帯電話の名称を変更することができます。

1 Bluetooth 設定画面で [電話機選択] を選んで [実行] を押す

→ *「Bluetooth 対応機を接続する」(P227)*

2 携帯電話のリスト画面で変更したい携帯電話を選んで [実行] を押す

3 [編集] を選んで [実行] を押す

4 [機器名称] を選んで [実行] を押す

お知らせ

- [機器アドレス] は編集できません。

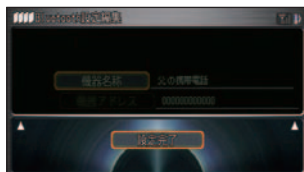
5 携帯電話の名称を入力する

→ *「文字入力のしかた」(P42)*

お知らせ

- 名称は、全角で最大 6 文字 (半角で最大 12 文字) まで入力することができます。

6 [完了] を選んで [実行] を押す

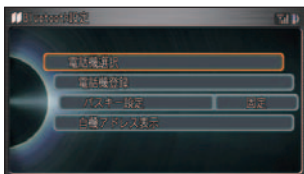
7 ジョイスティックを下に倒して [設定完了] を選んで [実行] を押す

▼

携帯電話の名称が変更されます。

■登録した携帯電話を消去する

Honda インターナビシステムに登録した携帯電話を消去します。

Bluetooth 設定画面で [電話機選択] を選んで [実行] を押す

→「Bluetooth 対応機を接続する」(P227)

2 消去したい携帯電話を選んで [実行] を押す

お知らせ

- 携帯電話の接続方法に Bluetooth 接続が選択されている状態では、使用中の携帯電話を消去することはできません。接続方法をケーブル接続 (有線接続) に変更してから以下の操作を行ってください。→「接続方法の切り換え」(P233)

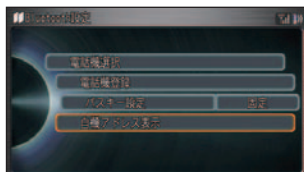
3 [消去] を選んで [実行] を押す

▼

選択した携帯電話が消去されます。

■Honda インターナビシステムの名称、アドレスを確認する

Bluetooth の携帯電話側から、接続先 (Honda インターナビシステム) を探すときの機器名称、機器アドレスを確認することができます。

1 Bluetooth 設定画面で [自機アドレス表示] を選んで [実行] を押す

→「Bluetooth 対応機を接続する」(P227)

▼

Honda インターナビシステムの機器名称および機器アドレスが表示されます。

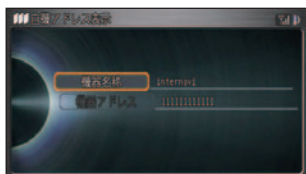
機器名称を変更する

機器名称を変更することができます。

お知らせ

- [機器アドレス] を編集することはできません。

自機アドレスを表示する

→ *「Honda インターナビシステムの名称、アドレスを確認する」(P232)*

[機器名称] を選んで [実行] を押す

機器名称を変更する

→ *「文字入力のしかた」(P42)*

- 名称は、全角で最大 6 文字 (半角で最大 12 文字) まで入力することができます。

[完了] を選んで [実行] を押す

→ *「文字入力のしかた」(P42)*

▼

機器名称が変更されます。

接続方法の切り換え

簡単 標準

携帯電話の Honda インターナビシステムへの接続方法をケーブル接続 (有線接続) か Bluetooth 接続 (無線接続) に切り換えます。

お知らせ

- Bluetooth 対応携帯電話を *「携帯電話を登録する」(→ P229)* で Honda インターナビシステムに登録したあとは、自動的に Bluetooth 接続に設定されますので以下の操作は必要ありません。
- Bluetooth 対応携帯電話からケーブル接続の携帯電話に切り換えるときに、以下の操作を行ってください。

[メニュー] ボタン ➜ ジョイスティックを下に倒して [通信機能設定] を選び、[実行] を押す

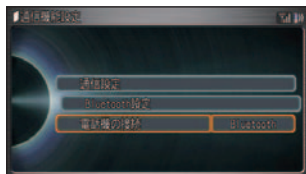
簡単

標準

▼

通信機能設定画面が表示されます。

つづく ➜

[電話機の接続] を選んで [実行] を押す

[ケーブル] または [Bluetooth] を選んで [実行] を押す

▼

接続方法の切り換えが完了します。

お知らせ

- 接続先のプロバイダが異なる携帯電話を選択した場合は、接続先を変更する必要があります。→ *「携帯電話の接続先 (プロバイダ) を変更する」(P242)*

通信機能の設定をする

通信機能をご利用になるには、会員登録手続き完了後にインターナビ情報センターから発行される暗証番号を登録するなどの通信機能の設定を行う必要があります。
通信機能の設定方法には、あらかじめ用意されている接続先を選ぶだけで簡単に通信機能の設定を行うことができる *「かんたん設定で通信の設定をする」(→ P235)* と新たな接続先を追加したり、設定内容を変更するのに便利な *「マニュアル設定で通信の設定をする」(→ P237)* があります。
設定の際、会員登録手続き完了後にインターナビ情報センターから発行される暗証番号の入力が必要ですのでご用意ください。

お知らせ

- ここで必要になる暗証番号は会員登録後、インターナビ情報センターから郵送されてくる登録完了のご案内に記載されています。
- 登録されている暗証番号を Honda インターナビシステムで変更することができます。→ *「暗証番号を変更する」(P241)*
- あらかじめ用意されている接続先 (プロバイダ) のアクセスポイントが変更された場合は、インターナビ情報センターに接続しコンテンツを閲覧することで自動的に更新されます。
  マニュアル設定で新規に追加した接続先は更新されません。

■かんたん設定で通信の設定をする

簡単 標準

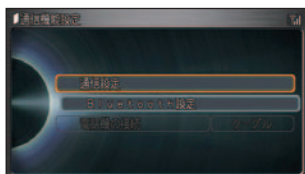
1 [メニュー] ボタン ➔ ジョイスティックを下に倒して [通信機能設定] を選び、[実行] を押す

簡単

標準

▼

通信機能設定画面が表示されます。

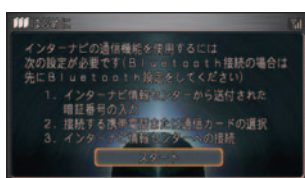
2 [通信設定] を選んで [実行] を押す

3 [かんたん通信設定] を選んで [実行] を押す

簡単

標準

お知らせ

- 設定を初期の状態に戻す場合は、ジョイスティックを下に倒して [初期値に戻す] を選びます。
→ *「通信機能設定を初期値に戻す」(P242)*

4 [スタート] を選んで [実行] を押す

お知らせ

- 以前に通信設定が完了している場合は、この画面は表示されません。手順 6 に進んで下さい。

つづく ➔

5 暗証番号を入力し [完了] を選び、[実行] を押す

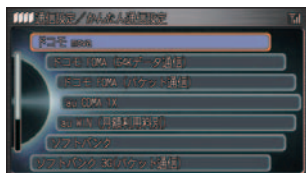
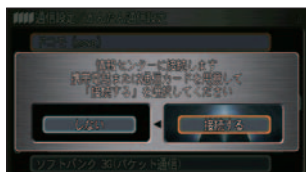
→「文字入力のしかた」(P42)

▼

接続先のプロバイダのリスト画面が表示されます。

お知らせ

- すでに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号が入力された状態の画面が表示されます。

6 接続先を選んで [実行] を押す

7 ジョイスティックを左右に倒して [接続する] または [しない] を選び、[実行] を押す

[接続する]	インターナビ情報センターと通信します。 →「インターナビ情報センターに接続する」(P243)
[しない]	インターナビ情報センターとの通信を中止します。

はじめて通信設定を行ったときは、設定完了後にパーソナル・ホームページとの同期が行われます。同期完了後「接続設定が完了しました」と表示されます。

お願い

- [接続する] を選んで [実行] を押す前に携帯電話または通信カードを接続してください。

お知らせ

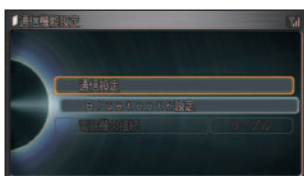
- 携帯電話の「ダイヤルロック」、「オートロック」などの機能を解除してから接続してください。

■マニュアル設定で通信の設定をする 標準

あらかじめ用意されている接続先を選んだり、さらに接続先を新規に設定や変更することができます。また、追加した接続先を消去することもできます。

接続先を設定する

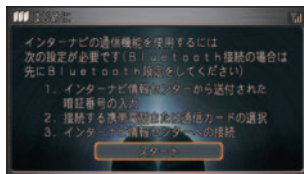
あらかじめ用意されている接続先に設定したり､新規に接続先を設定することができます。

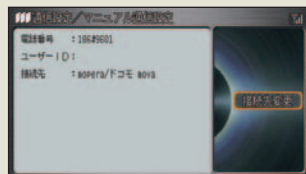
1 [メニュー] ボタン ➜ ジョイスティックを下に倒して [通信機能設定] を選び、[実行] を押す

2 [通信設定] を選んで [実行] を押す

3 [マニュアル通信設定] を選んで [実行] を押す

お知らせ

- 設定を初期の状態に戻す場合は、ジョイスティックを下に倒して [初期値に戻す] を選びます。
  → *「通信機能設定を初期値に戻す」(P242)*

4 [スタート] を選んで [実行] を押す

お知らせ

- 以前に通信設定が完了している場合は、この画面は表示されず、以下の画面が表示されます。

接続先を変更する場合は、[接続先変更] を選んで [実行] を押します。この後､手順 6 に進みます。

5 暗証番号を入力し [完了] を選んで、[実行] を押す

→ *「文字入力のしかた」(P42)*

▼

接続先のプロバイダのリスト画面が表示されます。

お知らせ

- すでに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号が入力された状態の画面が表示されます。

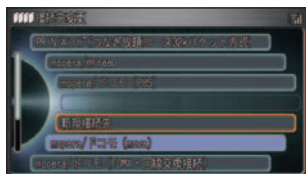
つづく ➔

6 接続先を選ぶ

用意されている接続先を選ぶ場合

接続先を選んで［実行］を押し、［決定］を選んで［実行］を押します。接続先が設定された後、手順23に進みます。また、以前に通信設定が完了している場合は、この操作で接続先の設定が完了します。

新規に接続先を登録する場合

［新規接続先］を選んで［実行］を押し、手順7に進みます。

7 設定する項目を選んで［実行］を押す

設定できる項目と設定内容は次のとおりです。

設定項目	設定内容
［接続先名称］	プロバイダの名称
［電話番号］	アクセスポイントの電話番号
［ユーザーID］	プロバイダ入会時に発行されたID
［パスワード］	プロバイダ入会時に発行されたパスワード
［DNS設定］	自動か手動かを選びます。
［DNS1］/［DNS2］	DNS(IPアドレス)
［通信手段］	「モデム」「モデム(packet)」「カードモデム」から選びます。
［Proxy設定］	プロキシを使用するかしないかを選びます。
［Proxyアドレス］	プロキシのIPアドレスまたはホスト名
［Proxyポート］	プロキシのポート

お知らせ

- 第三者に車を譲渡する場合は、新規に登録した接続先を消去しておいてください。
  →「接続先を消去する」(P241)
- 接続先は20ヶ所まで追加できます。

8 接続先名称、電話番号、ユーザーID、パスワードを設定するときは、文字や数字を入力する

→「文字入力のしかた」(P42)

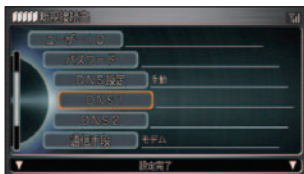
9 ［完了］を選んで［実行］を押す

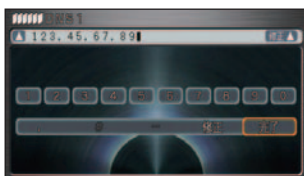
10 手順7～9を繰り返し、必要な項目を設定する

11 DNS設定を手動で行うときは、［DNS設定］➔［手動］を選んで［実行］を押す

DNS設定を自動で行うときは

DNS設定の［自動］を選んで［実行］を押し、手順14に進みます。

12 [DNS1] または [DNS2] を選んで [実行] を押す

13 DNS を入力し [完了] を選んで [実行] を押す

→「文字入力のしかた」(P42)

お知らせ

- DNS(IP アドレス) がわからないときは、ご利用になっているプロバイダにご確認ください。
- DNS(IP アドレス) は、プロバイダによって 2 か所まで設定できます。2 か所設定する場合は手順 12 ～ 13 を繰り返してください。

14 通信手段を設定するときは、[モデム]、[モデム (packet)] または [カードモデム] を選んで [実行] を押す

お知らせ

- パケット通信方式以外で接続するときは [モデム] を選びます。
- パケット通信方式で接続するときは [モデム (packet)] を選びます。
- 通信カードで接続する場合は、[カードモデム] を選びます。

15 プロキシを設定するときは、[Proxy 設定]➔[使用する] を選んで [実行] を押す

お知らせ

- プロキシを使用しない場合は手順 20 に進みます。

16 [Proxy アドレス] を選んで [実行] を押す

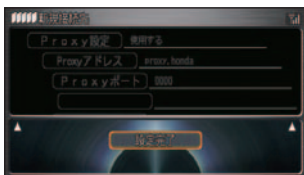
17 プロキシアドレスを入力し [完了] を選んで [実行] を押す

18 [Proxy ポート] を選んで [実行] を押す

19 プロキシポートを入力し [完了] を選んで [実行] を押す

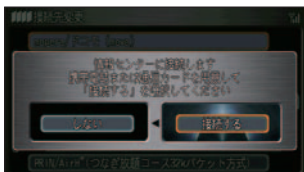
つづく ➔

20 ジョイスティックを下に倒して［設定完了］を選び、［実行］を押す

▼

接続先のプロバイダのリスト画面が表示されます。

21 設定した接続先を選んで［実行］を押す

22 ［決定］を選んで［実行］を押す

23 ジョイスティックを左右に倒して［接続する］または［しない］を選び、［実行］を押す

［接続する］	インターナビ情報センターと通信します。 → *「インターナビ情報センターに接続する」(P243)*
［しない］	インターナビ情報センターとの通信を中止します

はじめて通信設定を行ったときは、設定完了後にパーソナル・ホームページとの同期が行われます。同期完了後「接続設定が完了しました」と表示されます。

お願い

- ［接続する］を選んで［実行］を押す前に携帯電話または通信カードを接続してください。

お知らせ

- 携帯電話の「ダイヤルロック」、「オートロック」などの機能を解除してから接続してください。

設定内容を編集する

新規に設定した接続先を編集することができます。

お知らせ

- あらかじめ用意されている接続先を編集することはできません。

1 接続先のプロバイダのリスト画面で接続先を選んで［実行］を押す

→ *「接続先を設定する」(P237)*

2 ［編集］を選んで［実行］を押す

以降の操作手順は、*「接続先を設定する」(→ P238)* の手順 7 以降と同じです。

接続先を消去する

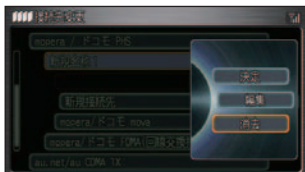
お客さまが追加した接続先が不要になったときは、接続先を消去できます。

お知らせ

- あらかじめ用意されている接続先を消去することはできません。

1 **接続先のプロバイダのリスト画面で接続先を選んで［実行］を押す**

→「接続先を設定する」（P237）

2 **［消去］を選んで［実行］を押す**

3 **ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す**

▼

登録されていた接続先が消去されます。

■暗証番号を変更する 簡単 標準

Honda インターナビシステムとパーソナル・ホームページに登録した暗証番号を変更することができます。Honda インターナビシステムの暗証番号を変更するとパーソナル・ホームページに登録された暗証番号も変更されます。

暗証番号を変更するときは、インターナビ情報センターに接続する必要がありますので、あらかじめ携帯電話または通信カードを接続しておいてください。

お知らせ

- パーソナル・ホームページの暗証番号を変更した場合は、Honda インターナビシステムの暗証番号も変更してください。
- パーソナル・ホームページとは、インターナビ・プレミアムクラブが提供するパソコン・携帯電話向けサービスです。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」の「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*（→ P224）*

1 **［メニュー］ボタン ➜ ジョイスティックを下に倒して［通信機能設定］を選び［実行］を押す**

2 **［通信設定］を選んで［実行］を押す**

3 **ジョイスティックを下に倒して［暗証番号変更］を選び、［実行］を押す**

簡単

標準

つづく ➜

4 新しい暗証番号を入力し [完了] を選んで [実行] を押す

→「文字入力のしかた」(P42)

再度、暗証番号の入力画面が表示されます。

5 確認のため再度、暗証番号を入力し [完了] を選んで [実行] を押す

→「文字入力のしかた」(P42)

暗証番号が設定されます。
インターナビ情報センターに接続し、パーソナル・ホームページの暗証番号も変更されます。

携帯電話の接続先 (プロバイダ) を変更する 簡単 標準

接続するプロバイダを変更するときは、接続先を設定し直します。

プロバイダの異なる携帯電話や通信カードで通信機能を使用するときに行う必要があります。*「かんたん設定で通信の設定をする」(→ P235)* または *「マニュアル設定で通信の設定をする」(→ P237)* で接続先を変更してください。

通信機能設定を初期値に戻す 簡単 標準

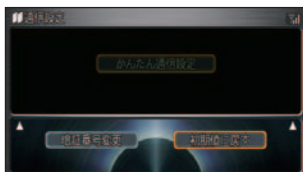
お客様が登録された通信機能の登録内容を消去する場合は、初期値に戻します。

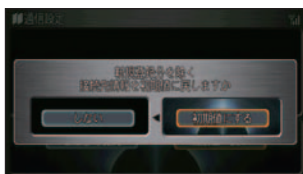
お知らせ

- お客様が新しく登録した接続先 (→ P238) については、この操作で消去することはできません。

1 [メニュー] ボタン ➜ ジョイスティックを下に倒して [通信機能設定] を選び、[実行] を押す

2 [通信設定] を選んで、[実行] を押す

3 ジョイスティックを下に倒して [初期値に戻す] を選び [実行] を押す

4 ジョイスティックを右に倒して [初期値にする] を選び、[実行] を押す

▼

接続先の設定が初期の状態に戻ります。

インターナビ情報を見る

インターナビ情報センターに接続すると、最新のニュースや交通情報などを取得することができます。

お知らせ

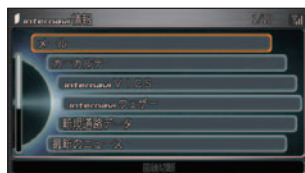
- インターナビ情報を見るには、インターナビ・プレミアムクラブにご入会いただく必要があります。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」の「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→ P224)*
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話または通信カードの接続、インターナビ情報センターの認証 (ログイン) を行わないとインターナビ情報はご利用できません。詳しくは*「通信機能を使う」の「準備」*を参照してください。*(→ P226)*
- インターナビ・プレミアムクラブが用意するコンテンツは随時更新されますので、コンテンツメニューなどは、本書に記載のものとは変わることがあります。

インターナビ情報センターに接続する　簡単　標準

1 [メニュー] ボタン ➜[internavi 情報] を選んで [実行] を押す

簡単

標準

▼

インターナビ情報画面が表示されます。

アドバイス

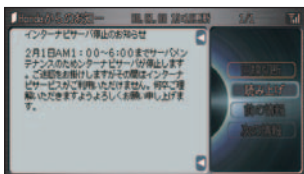
- internavi ダイレクトを使ってインターナビ情報センターに接続することができます。→ *「internavi ダイレクトを使う」(P246)*

Honda からのお知らせがあったとき 簡単 標準

新しい地図データや Honda 販売店の情報など、状況の変化があれば Honda からお知らせします。

Honda からのお知らせがあると・・・

1 **ジョイスティックを右に倒して [詳細情報] を選び、[実行] を押す**

▼

詳細な情報が表示されます。

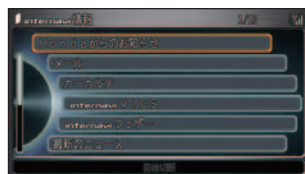
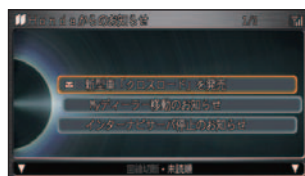
お知らせ

- [後で確認する] を選ぶと、このときは内容を表示せずに、*「履歴を確認する」* *(→本ページ)* で後から確認することができます。
- お知らせ内容が複数ある場合、[詳細情報] を選んだあと、表示する詳細情報を選ぶ画面が表示されることがあります。
- [読み上げ] を選んで [実行] を押すと、表示中の内容を読み上げます。
- お知らせ内容が複数ある場合、[前の情報] または [次の情報] を選んで [実行] を押すと、他の情報に切り換えることができます。

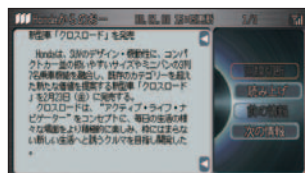
■履歴を確認する

Honda からのお知らせはあとで確認することができます。
最大で 20 件まで履歴として残っています。
履歴が 20 件以上になると既読の古いものから消えます。

1 **[メニュー] ボタン ➔ [internavi 情報] を選んで [実行] を押す**

2 **[Honda からのお知らせ] を選んで [実行] を押す**

3 **確認したい情報を選んで [実行] を押す**

アドバイス

- 未確認の情報には マークが表示されています。

▼

選んだ情報の詳細な内容が表示されます。

お知らせ

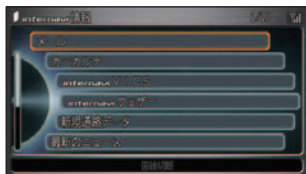
- [読み上げ] を選んで [実行] を押すと、表示中の内容を読み上げます。
- [前の情報] または [次の情報] を選んで [実行] を押すと、他の情報に切り換えることができます。
- 情報の内容によっては、[画像表示] や [地点] を選んで [実行] を押すと、画像や地点情報を表示することができます。

新規開通した道路データを取得する 簡単 標準

インターナビ情報センターに新規開通した道路のデータがあれば取得することができます。(新規道路データ配信)

■道路の有無を確認する

ルート計算中、ルート周辺に新しい道路があれば (→ *P127*) 取得することができますが、ルート設定前でもあらかじめ道路データの有無を確認することができます。

[メニュー] ボタン ➔[internavi 情報] を選んで [実行] を押す

internavi 情報画面のリストが表示されます。
道路のデータがある場合、メニュー内に [新規道路データ] が表示されるようになります。

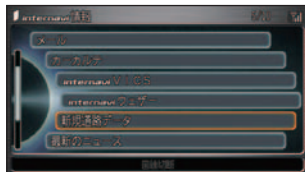
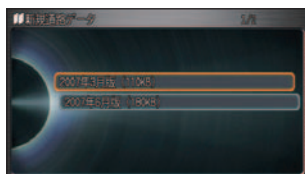
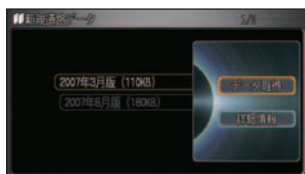
■道路のデータを取得する

道路データがあったときの取得方法について説明します。
また、この操作で道路データを取得した後、最後に再起動が必要になります。

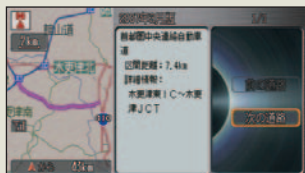
アドバイス

- PC カードを使ってパーソナル・ホームページから新しい道路のデータを取得することもできます。→ *「PC カードから道路データを取得する」(P295)*

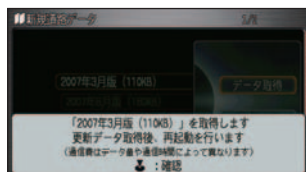
1 **[メニュー] ボタン ➔[internavi 情報] を選んで [実行] を押す**

2 **[新規道路データ] を選んで [実行] を押す**

3 **更新したいデータを選んで [実行] を押す**

4 **[データ取得] を選んで [実行] を押す**

つづく ➔

お知らせ

- [詳細情報] を選んで [実行] を押すと、あらかじめ追加される道路の情報を確認できます。

新しい道路のデータが複数ある場合、[前の情報] または [次の情報] を選んで [実行] を押すと、他の情報に切り換えることができます。

5 [実行] を押す（「確認」する）

▼

データを更新するための認証が行われます。認証後、新規道路データのダウンロードが行われます。

▼

ダウンロード完了後、システムの再起動が必要となります。

6 ジョイスティックを右に倒して [再起動する] を選び、[実行] を押す

▼

再起動後、新しい道路データの更新を行います。[しない] に選択した場合は次の起動時に新しい道路データの更新を行います。

internavi ダイレクトを使う 簡単 標準

カスタマイズメニュー (ワンプッシュメニュー) から、インターナビ情報センターに接続し、よく使うインターナビ情報をすばやく呼び出すことができます。

1 ナビゲーションの現在地画面で [実行] を押す

カスタマイズメニュー (標準操作モード)、ワンプッシュメニュー (簡単操作モード) が表示されます。

2 [internavi ダイレクト] を選んで [実行] を押す

簡単

標準

▼

internavi ダイレクトのメニューが画面右側に表示されます。

お知らせ

- インターナビ情報センターに接続すると、[internavi ダイレクト] の項目は [回線切断] に変わります。→*「接続を終了する」(本ページ)*
- internavi ダイレクトのメニューは、お好みの内容に設定することができます。(標準操作モードのみ) → *「internavi ダイレクトを設定する」(P249)*

接続を終了する　簡単　標準

インターナビ情報画面やカスタマイズメニュー (ワンプッシュメニュー) からインターナビ情報センターとの接続を終了します。

■インターナビ情報画面から終了する場合

1 **インターナビ情報画面でジョイスティックを下に倒して [回線切断] を選び、[実行] を押す**

→ *「インターナビ情報センターに接続する」(P243)*

▼

インターナビ情報センターとの接続が終了します。

■カスタマイズメニュー (ワンプッシュメニュー) から終了する場合

1 **ナビゲーションの現在地画面で [実行] を押す**

カスタマイズメニュー (標準操作モード)、ワンプッシュメニュー (簡単操作モード) が表示されます。

2 **[回線切断] を選んで [実行] を押す**

簡単

標準

▼

インターナビ情報センターとの接続が終了します。

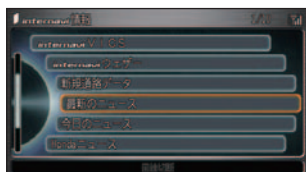
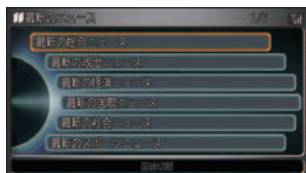
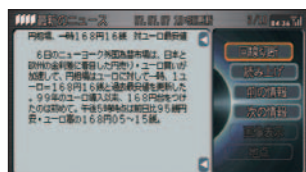
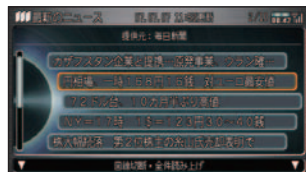
コンテンツを閲覧する

簡単 標準

インターナビ情報画面のメニューにあるコンテンツは、表示された項目を選んで閲覧できます。ここでは、[最新の総合ニュース] を例にして操作を説明しています。

1 **インターナビ情報画面を表示する**

→ *「インターナビ情報センターに接続する」(P243)*

2 **[最新のニュース] を選んで [実行] を押す**

3 **[最新の総合ニュース] を選んで [実行] を押す**

4 **お好みのニュースを選んで [実行] を押す**

選んだニュースが表示されます。

お知らせ

- [読み上げ] を選んで [実行] を押すと、表示中の内容を読み上げます。
- [前の情報] または [次の情報] を選んで [実行] を押すと、他の情報に切り換えることができます。
- コンテンツ画面で [画像表示] や [地点] を選んで [実行] を押すと、画像や地点情報を表示することができます。
- コンテンツ画面でジョイスティックを左に倒すと本文が操作対象になり、コマンドホイールを回転すると本文をスクロールすることができます。また、電話番号にカーソルを合せて [実行] を押すと、表示されている番号に電話をかけることができます。→ *「ハンズフリー電話を使う」(P306)*

internavi ダイレクトを設定する 標準

internavi ダイレクトのメニューは、お好みの内容に設定することができます。よく使う項目を登録しておくと便利です。

お知らせ

- 簡単操作モードの場合は、標準操作モードで行った設定が反映されます。

1 [メニュー] ボタン➔[付加機能] を選んで [実行] を押す

2 [カスタマイズ] を選んで [実行] を押す

3 [internavi ダイレクト] を選んで [実行] を押す

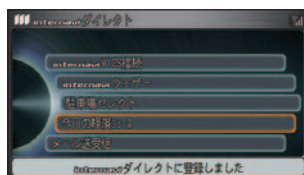
現在の internavi ダイレクトのメニューが表示されます。

4 変更したい項目を選んで [実行] を押す

アドバイス

- メニュー項目を初期状態に戻す場合は、ジョイスティックを下に倒して [初期値にする] を選び、[実行] を押します。

5 新たに登録したい項目を選んで [実行] を押す

▼

internavi ダイレクトのメニューが変更されます。

お知らせ

- 入れ換え可能な項目は、インターナビ情報センターからダウンロードした項目です。なお、[読み上げ再開] は変更できません。

登録した情報をパーソナル・ホームページと同期する

簡単 標準

カーカルテ（→ P267）やマークリスト（→ P81）の情報をお客さまがパソコンなどで登録したパーソナル・ホームページの情報と同期させて、最新情報に更新します。

お知らせ

- パーソナル・ホームページとは、インターナビ・プレミアムクラブが提供するパソコン・携帯電話向けのサービスです。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」の「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*（→ P224）*

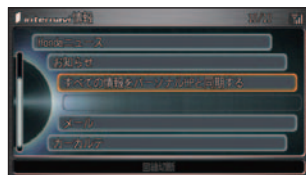
［メニュー］ボタン ➜［internavi 情報］を選んで［実行］を押す

簡単

標準

2

［すべての情報をパーソナル HP と同期する］を選んで［実行］を押す

▼

情報が同期されます。

お知らせ

- 情報の同期は、Honda インターナビシステムとパーソナル・ホームページで日付の新しい情報に更新されます。
- 現在時刻が GPS から受信されていない状態では、正しく同期できない場合があります。

メールを使う

お知らせ

- メールを使うには、インターナビ・プレミアムクラブにご入会いただく必要があります。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」の「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→ P224)*
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話または通信カードの接続、インターナビ情報センターの認証（ログイン）を行わないとメールはご利用できません。詳しくは*「通信機能を使う」の「準備」*を参照してください。*(→ P226)*
- シークレットモードを ON にしていると、メールの操作はできません。→ *「シークレットモードを使う」(→ P351)*

メール画面を表示する

メールを使うときはメール画面を表示します。

■ メール画面を表示する 簡単 標準

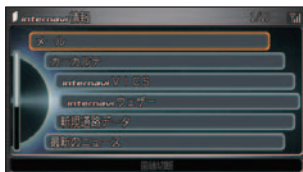
メール操作をするには次の手順で画面を表示させます。

[メニュー] ボタン →[internavi 情報] を選んで [実行] を押す

簡単

標準

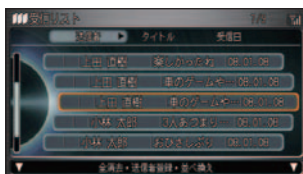
2 **[メール] を選んで [実行] を押す**

▼

メール画面が表示されます。

■ 受信メールのリストを表示する

簡単 標準

1 **メール画面で [受信リスト] を選んで [実行] を押す**

▼

受信リストが表示されます。

	未読メール
	画像付きメール
	位置情報付きメール
	画像と位置情報付きメール
表示なし	既読メール

お知らせ

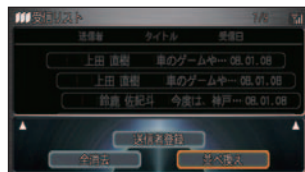
- 受信メールがない場合は選べません。
- 受信リストに保存できるメールは最大 200 件です。200 件を超えると、メールを消去しない限り、新しいメールを受信できません。
→ *「メールを消去する」(P265)*
- 受信できるメールの文字数は、最大で全角 1000 文字です。
- 次のファイルをそれぞれ 1 点、添付ファイルとして受信できます。

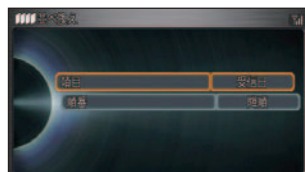
種類	ファイル形式	ファイル容量
位置情報ファイル	POIX-H	10KB 以下
画像ファイル	BMP GIF JPEG PNG	1 件あたり 50KB 以下

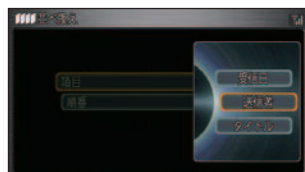
受信リストを並び換える 簡単 標準

受信リストは選んだ項目の順番に並び換えることができます。

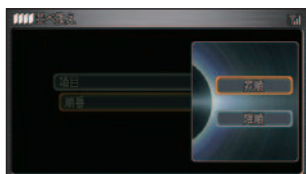
受信リスト画面でジョイスティックを下に倒して [並び換え] を選び、[実行] を押す

→ *「受信メールのリストを表示する」(P251)*

アドバイス

- リスト画面でジョイスティックを左右に倒すと、「送信者」、「タイトル」、「受信日」で並び換えの項目を変更できます。

[項目] を選んで [実行] を押す

3 **並び換える項目を選んで [実行] を押す**

4 **[順番] を選んで [実行] を押す**

5 [昇順] または [降順] を選んで [実行] を押す

▼

受信リストが並び換わります。

お知らせ

- [送信者]、[タイトル] を [降順] にすると五十音順や、アルファベット順になり [昇順] にすると、[降順] の逆に並べます。
- [受信日] を [降順] にすると日付の新しいものから順に並び、[昇順] にすると日付の古いものから順に並びます。

■ 送信メールのリストを表示する 標準

お知らせ

- 簡単操作モードでは、送信リスト画面を表示することはできません。

1 メール画面で [送信リスト] を選んで [実行] を押す

→「メール画面を表示する」(P251)

▼

送信リストが表示されます。

	位置情報付きメール
	保存したメール
	送信予約したメール
表示なし	送信済のメール

お知らせ

- 送信リストに保存できる送信メールは最大 200 件です。200 件を超えると、メールを消去しない限り、新しいメールを作成できません。→「メールを消去する」(P265)
- 送信できるメールの文字数は、署名を含めて最大で全角 5,000 文字です。(返信、転送も同様)
- 次のファイルを 1 点のみ、添付ファイルとして送信できます。

種類	ファイル形式	ファイル容量
位置情報ファイル	POIX-H	10KB 以下

アドバイス

- 送信リストは送信日、宛先、タイトルの順番に並び換えることができます。「受信リストを並び換える」(→ P252) と同様の操作となります。

メール設定 標準

メールの署名に関する設定ができます。

お知らせ

- 名前、メールアドレスは、編集できません。

■署名を入力 / 編集する

1 メール画面でジョイスティックを下に倒して [メール設定] を選び、[実行] を押す

→「メール画面を表示する」(P251)

▼

メール設定画面が表示されます。

2 [署名] を選んで [実行] を押す

お知らせ

- まだ、署名がなにも入力されていない場合は、手順 4 に進みます。

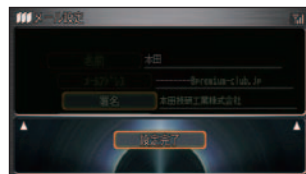
3 ジョイスティックを下に倒して [署名編集] を選び、[実行] を押す

4 署名を入力 / 編集し [完了] を選んで [実行] を押す

→「文字入力のしかた」(P42)

5 署名の内容を確認し [戻る] ボタンを押す

6 ジョイスティックを下に倒して [設定完了] を選び、[実行] を押す

▼

編集した署名が設定されます。

■署名の自動添付を設定する

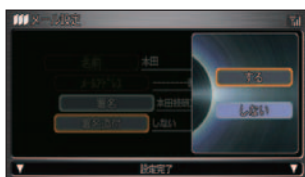
入力した署名 *「署名を入力 / 編集する」(→ 本ページ)* をメール作成時に自動的に添付するかしないかを選ぶことができます。

お知らせ

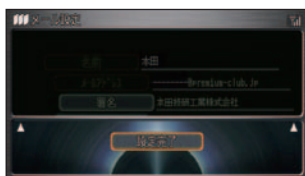
- 署名 (→ 本ページ) が一文字も入力されていない場合、[署名添付] を選ぶことはできません。

1 メール設定画面で [署名添付] を選んで [実行] を押す

→「署名を入力 / 編集する」(P254)

2 [する] または [しない] を選んで [実行] を押す

[する]	署名をメール作成時、自動的に添付します。
[しない]	署名を添付しません。

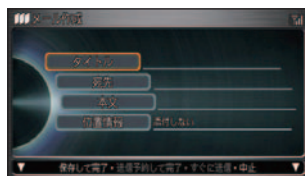
3 ジョイスティックを下に倒して [設定完了] を選び、[実行] を押す

▼

署名添付の設定が完了します。

メールを作成する 標準

1 メール画面で [メール作成] を選んで [実行] を押す

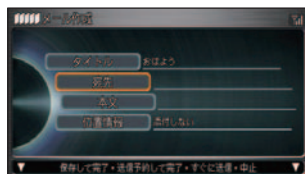
→「メール画面を表示する」(P251)

2 [タイトル] を選んで [実行] を押す

3 タイトルを入力する

→「文字入力のしかた」(P42)

4 [完了] を選んで [実行] を押す

5 [宛先] を選んで [実行] を押す

▼

宛先一覧画面が表示されます。

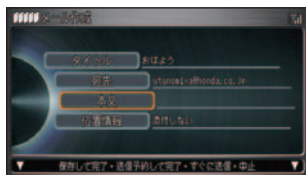
6 宛先を入力する

- 宛先をアドレス帳から選択するとき→「宛先をアドレス帳から選ぶとき」(P257)
- アドレス帳に宛先が登録されていないとき→「アドレスを入力するとき」(P258)

アドバイス

- 宛先は 32 件 (To/Cc/Bcc の合計) まで入力できます。

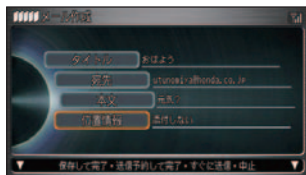
つづく →

7 [本文] を選んで [実行] を押す

8 本文を入力する

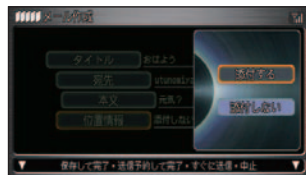
→「文字入力のしかた」(P42)

9 [完了] を選んで [実行] を押す

- 位置情報を添付するときは、手順 10 に進みます。
- 位置情報を添付しないときは、手順 12 に進みます。

10 [位置情報] を選んで [実行] を押す

お知らせ

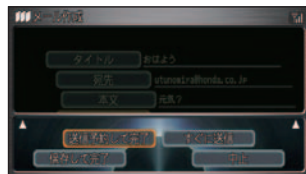
- インターナビ・プレミアムクラブに会員登録されているナビゲーションシステムに位置情報を送ることができます。送受信した位置情報を地図上で確認したり、目的地などに設定することができます。
- メールに添付した位置情報をパソコンで受信し確認することができます。詳しくはインターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
  ホームページアドレス：
  http://www.premium-club.jp/
- 位置情報は POIX 形式で添付されます。

11 [添付する] を選んで [実行] を押す

位置情報添付画面が表示されます。

- マークリストの登録地点を添付するとき (→ P259)
- 地図から選んだ地点を添付するとき (→ P260)
- 目的地を添付するとき (→ P260)
- 現在地を添付するとき (→ P260)

お知らせ

- 位置情報の添付をしない、または添付をやめる場合は、[添付しない] を選んでください。

12 ジョイスティックを下に倒して次の動作を選び、[実行] を押す

[送信予約して完了]
送信を予約して終了します。→「メールを送信する / 受信する」(P261)

[保存して完了]
作成中のメールが送信メールリストに保存されます。後で編集して送信することができます。→「送信したメールを編集する」(P262)

[すぐに送信]
作成したメールを送信します。

[中止]
メール作成を中止します。

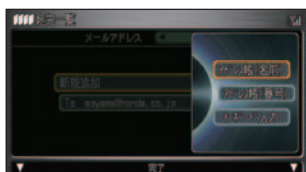
お知らせ

- 送信するメールに署名を添付することができます。
  →「メール設定」(P254)

■宛先をアドレス帳から選ぶとき

宛先一覧画面で [新規追加] を選んで [実行] を押す

→「メールを作成する」(P255)

2 [アドレス帳 (名前)] または [アドレス帳 (番号)] を選んで [実行] を押す

お知らせ

- [アドレス帳 (名前)] を選ぶとアドレスの名前が五十音順にリストを表示します。
- [アドレス帳 (番号)] を選ぶとアドレスのメモリ番号順にリストを表示します。

宛先を選んで [実行] を押す

4 [To で送る] を選んで [実行] を押す

お知らせ

- 宛先はメール 1 件に 1 人以上設定してください。
- Cc または Bcc で送りたいときは [Cc で送る] または [Bcc で送る] を選んで [実行] を押します。
- Cc や Bcc はメールを同報するときに使います。「参考までに」といった意味があります。Cc はメールの受信者に他の誰宛に同報されているかわかるのに対し、Bcc はわかりません。ただし、受信者のメールソフトによっては Bcc が見えてしまう場合があります。

つづく →

手順１～４を繰り返して、送りたい相手を選ぶ

お知らせ

- すでに宛先に設定したアドレスを選んで［実行］を押すと、［To に変更］、［Cc に変更］、［Bcc に変更］が行えます。
- すでに宛先に設定したアドレスを編集して別のアドレスに変更することができます。すでに宛先に設定したアドレスを選んで［実行］を押し、［アドレス編集］を選び、［実行］を押します。文字入力画面が表示されますのでアドレスを編集してください。
  →「文字入力のしかた」（P42）
- すでに宛先に設定したアドレスを消去することができます。消去したいアドレスを選んで［実行］を押し、［消去］を選び、［実行］を押します。

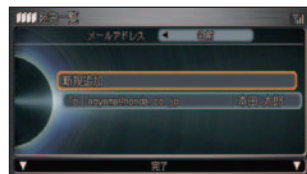
6 ジョイスティックを下に倒して［完了］を選び、［実行］を押す

▼

宛先が設定されます。

■アドレスを入力するとき

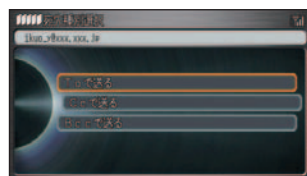
宛先一覧画面で［新規追加］を選んで［実行］を押す

→「メールを作成する」（P255）

2 ［キーボード入力］を選んで［実行］を押す

3 アドレスを入力する

→「文字入力のしかた」（P42）

4 ［完了］を選んで［実行］を押す

5 ［To で送る］を選んで［実行］を押す

お知らせ

- 宛先はメール 1 件に 1 人以上設定してください。
- Cc または Bcc で送りたいときは [Cc で送る] または [Bcc で送る] を選んで [実行] を押します。
- Cc や Bcc はメールを同報するときに使います。「参考までに」といった意味があります。Cc はメールの受信者に他の誰宛に同報されているかわかるのに対し、Bcc はわかりません。ただし、受信者のメールソフトによっては Bcc が見えてしまう場合があります。

6 手順 1 ～ 5 を繰り返して、送りたい相手を選ぶ

お知らせ

- すでに宛先に設定したアドレスを選んで [実行] を押すと、[To に変更]、[Cc に変更]、[Bcc に変更] が行えます。
- すでに宛先に設定したアドレスを編集して別のアドレスに変更することができます。すでに宛先に設定したアドレスを選んで [実行] を押し、[アドレス編集] を選び、[実行] を押します。文字入力画面が表示されますのでアドレスを編集してください。→ *「文字入力のしかた」(P42)*
- すでに宛先に設定したアドレスを消去することができます。消去したいアドレスを選んで [実行] を押し、[消去] を選び、[実行] を押します。

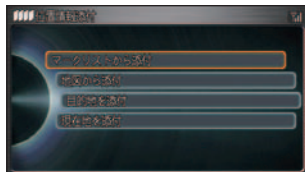
7 ジョイスティックを下に倒して [完了] を選び、[実行] を押す

▼

宛先が設定されます。

■マークリストの登録地点を添付するとき

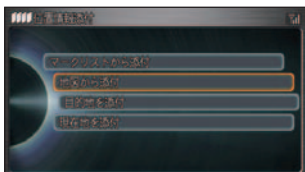
1 位置情報添付画面で [マークリストから添付] を選んで [実行] を押す

→ *「メールを作成する」(P255)*

 マークを選んで [実行] を押す

マークリストの登録地点が添付されます。

■地図から選んだ地点を添付するとき

1 位置情報添付画面で [地図から添付] を選んで [実行] を押す

→ *「メールを作成する」(P255)*

現在地画面が表示されます。

2 ジョイスティックで添付する地点にカーソルを合わせて [実行] を押す

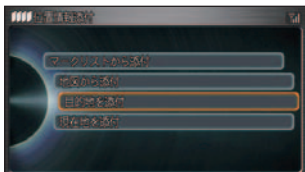
▼

選んだ地点が添付されます。

■目的地を添付するとき

1 位置情報添付画面で [目的地を添付] を選んで [実行] を押す

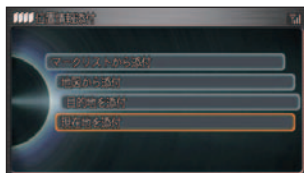
→ *「メールを作成する」(P255)*

▼

目的地が添付されます。

■現在地を添付するとき

1 位置情報添付画面で [現在地を添付] を選んで [実行] を押す

→ *「メールを作成する」(P255)*

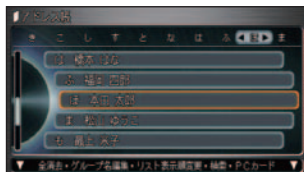
▼

現在地が添付されます。

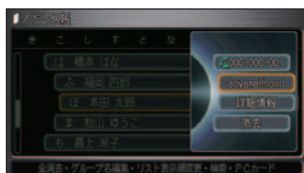
アドレス帳からメールを作成するとき 標準

アドレス帳画面からアドレスを選んで、メールを作成することができます。

1 アドレス帳を表示する

→ *「アドレス帳を表示する」(P328)*

2 メールを送りたい相手のアドレスを選んで [実行] を押す

3 宛先にするメールアドレスを選んで [実行] を押す

▼

メール作成画面が表示されます。以降の操作手順は、*「メールを作成する」(→P255)* の手順 2 以降と同じです。

メールを送信する / 受信する 簡単 標準

送信予約したメールを送信したり、メールを受信します。

お知らせ

- 簡単操作モードでは、メールの送信はできません。

メール画面で [メール送受信] を選んで [実行] を押す

→「メール画面を表示する」(P251)

簡単

標準

▼

メールが送受信され、受信リストが表示されます。

お知らせ

- 電波状態が悪いと接続されないことがあります。
- インターナビ情報センターのメンテナンスなどにより、接続されないことがあります。
- 受信リストに 1 件もメールがない場合は表示されません。

メールを読む 簡単 標準

受信したメールや送信したメールの内容を確認します。

お知らせ

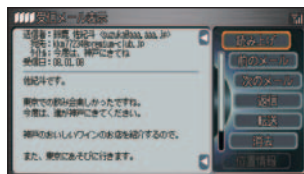
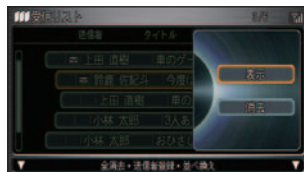
- 簡単操作モードでは、送信したメールを読むことはできません。

1 メール画面で [受信リスト] または [送信リスト] を選んで [実行] を押す

→「メール画面を表示する」(P251)

2 表示するメールを選んで [実行] を押す

3 [表示] を選んで [実行] を押す

▼

メールの内容が表示されます。

つづく →

- メール本文をスクロールさせるときは、メール表示中にジョイスティックを左に倒し、コマンドホイールを回してください。
- 受信メールでは、[読み上げ] を選んで [実行] を押すと、表示中のメールの内容を読み上げます。
  → *「メールの読み上げ」(P285)*
- [次のメール]、[前のメール] を選んで [実行] を押すと、前後のメールに表示を切り換えることができます。
- [返信] を選んで [実行] を押すと、表示中のメールの送信者にメールを送ることができます。
  → *「メールを返信する」(P263)*
- [転送] を選んで [実行] を押すと、表示中のメールを転送することができます。→ *「受信したメールを転送する」(P264)*
- [消去] を選んで [実行] を押すと、表示中のメールを消去することができます。
  → *「メールを消去する」(P265)*
- 画像付きのメールであれば、[画像表示] を選んで [実行] を押すと、画像を表示することができます。[画像保存] を選んで [実行] を押すと、画像リストに追加されます。
- 位置情報付きのメールであれば、[位置情報] を選んで [実行] を押すと、位置情報の画面が表示されます。

お知らせ

- 簡単操作モードでは、[返信]、[転送] は表示されません。
- 送信メールは読み上げることは出来ません。

送信したメールを編集する

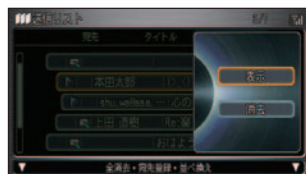
標準

宛先を変えて送り直したり、作成途中で保存したメールを編集することができます。

メール画面で [送信リスト] を選んで [実行] を押す

→ *「メール画面を表示する」(P251)*

2 編集するメールを選んで [実行] を押す

3 [表示] を選んで [実行] を押す

4 [再編集] を選んで [実行] を押す

メール作成画面が表示されます。以降の操作手順は、*「メールを作成する」(→ P255)* の手順 2 以降と同様に行います。

お知らせ

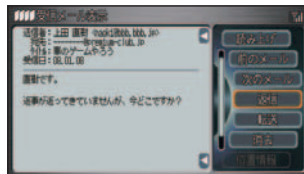
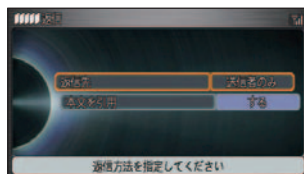
- [次のメール]、[前のメール] を選んで [実行] を押すと、前後のメールに表示を切り換えることができます。
- 位置情報付きのメールであれば、[位置情報] を選んで [実行] を押すと、位置情報の画面が表示されます。
- [消去] を選んで [実行] を押すと、表示中のメールを消去することができます。
  →「メールを消去する」(P265)

メールを返信する　標準

送信者にメールを送ることができます。

1 返信するメールを表示する

→「メールを読む」(P261)

2 [返信] を選んで [実行] を押す

3 設定する項目を選んで [実行] を押す

設定できる項目と設定は次のとおりです。

設定項目	設定
[返信先]	[送信者のみ]、[全員]
[本文を引用]	[する]、[しない]

- 宛先を追加する場合は、手順 6 以降のメール作成画面で行います。

4 設定の内容を選んで [実行] を押す

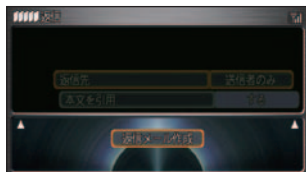
設定が変更されます。

つづく →

通信機能を使う
カードを使う
ハンズフリー電話を使う
ETCを使う
便利な機能
オーディオ・テレビ
サウンドコンテナ
その他
困ったときの手引き
機能設定一覧
索引

5 手順３～４を繰り返し、必要な項目を設定する

6 ジョイスティックを下に倒して［返信メール作成］を選び、［実行］を押す

▼

メール作成画面が表示されます。以降の操作手順は、*「メールを作成する」*（→ *P255*）の手順 2 以降と同様に行います。

お知らせ

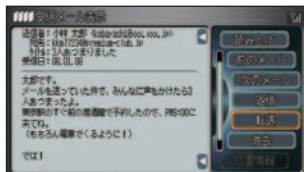
- タイトルには、もとのメールのタイトルの頭に“RE:”が付加されたものが入ります。
- 本文を引用する場合は、引用する本文の行頭に“>”が自動的に付きます。

受信したメールを転送する 標準

1 転送するメールを表示する

→ *「メールを読む」（P261）*

2 ［転送］を選んで［実行］を押す

▼

メール作成画面が表示されます。以降の操作手順は、*「メールを作成する」*（→ *P255*）の手順 2 以降と同様に行います。

お知らせ

- タイトルには、もとのメールのタイトルの頭に“FW:”が付加されたものが入ります。

メールを消去する 簡単 標準

お知らせ

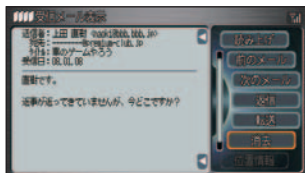
- 簡単操作モードでは、送信メールの消去はできません。

1 受信リスト画面または送信リスト画面を表示する

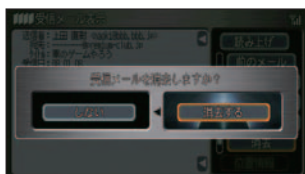
→「受信メールのリストを表示する」(P251)
→「送信メールのリストを表示する」(P253)

2 消去するメールを選んで [実行] を押す

アドバイス

- リストのメールを一括で消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して [全消去] を選び、[実行] を押します。

3 [消去] を選んで [実行] を押す

4 ジョイスティックを右に倒して [消去する] を選び、[実行] を押す

▼

選んだメールが消去されます。

アドバイス

- メール表示中に [消去] を選んで [実行] を押しても消去することができます。

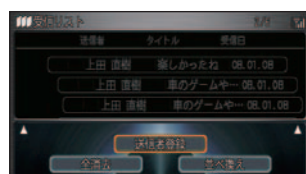
メールの送信者や宛先をアドレス帳に登録する 簡単 標準

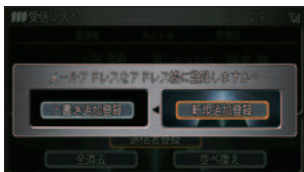
お知らせ

- 簡単操作モードでは、宛先のアドレスを登録することはできません。
- 宛先は“To”に設定された最初の一人目が登録の対象となります。

1 受信リスト画面または送信リスト画面で登録したいメールを選ぶ

→「受信メールのリストを表示する」(P251)
→「送信メールのリストを表示する」(P253)

2 ジョイスティックを下に倒して [送信者登録] または [宛先登録] を選び、[実行] を押す

3 ジョイスティックを左右に倒して［新規追加登録］または［上書き追加登録］を選び、［実行］を押す

▼

［新規追加登録］を選んだときは、アドレス帳登録画面が表示されます。
［上書き追加登録］を選んだときは、アドレス帳上書き追加画面が表示されます。

お知らせ

- アドレス帳に登録できるアドレスは最大 1000 件です。
- 登録したアドレスはアドレス帳で編集することができます。
→「アドレスを編集する」（P328）

新規追加登録

［新規追加登録］を選んだ場合は、アドレス帳に新たにアドレスを追加して登録します。

1 アドレス帳登録画面を表示する

→「メールの送信者や宛先をアドレス帳に登録する」（P265）

2 各項目の内容を入力する

→「アドレスを登録する」（P328）

3 ジョイスティックを下に倒して［入力完了］を選んで［実行］を押す

▼

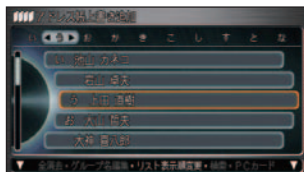
送信者または宛先のメールアドレスがアドレス帳に登録されます。

上書き追加登録

［上書き追加登録］を選んだ場合は、アドレス帳ですでにあるアドレスに送信者または宛先のメールアドレスを上書きして登録します。

1 アドレス帳上書き追加画面を表示する

→「メールの送信者や宛先をアドレス帳に登録する」（P265）

2 上書きする登録者を選んで［実行］を押す

3 上書き登録したいアドレスの番号を選んで［実行］を押す

▼

送信者または宛先のメールアドレスがアドレス帳に上書きされて登録されます。

カーカルテ 簡単 標準

インターナビ・プレミアムクラブが提供するパーソナル・ホームページのカーカルテと登録情報を同期させて使用します。

メンテナンス記録で部品（パーツ）の交換時期を管理したり、愛車メモに車検や保険の期限など、お車に関する重要な情報を登録して、更新時期を管理したりできます。

お知らせ機能により、更新時期が近づくと画面に表示したり、メールで通知したりできるので、重要な更新を見逃しません。

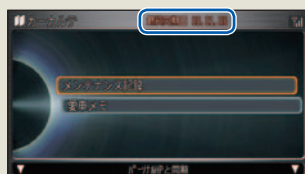
お知らせ

- パーソナル・ホームページとは、インターナビ・プレミアムクラブが提供するパソコン・携帯電話向けサービスです。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」の「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→ P224)*
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話または通信カードの接続、インターナビ情報センターの認証（ログイン）を行わないとカーカルテはご利用できません。詳しくは*「通信機能を使う」の「準備」*を参照してください。*(→ P226)*
- サービス内容は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

カーカルテの登録情報をパーソナル・ホームページと同期する

カーカルテのメンテナンス情報や愛車メモ情報をパーソナル・ホームページと同期することにより、自宅からパソコンなどを使ってメンテナンス情報や愛車メモ情報を確認できます。

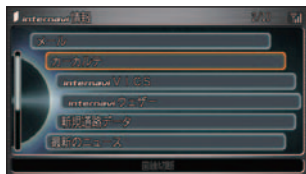
お知らせ

- メンテナンス記録や愛車メモを編集したときには、パーソナル・ホームページとの同期を行ってください。
- パーソナル・ホームページとの同期が必要なときは、画面上の最終同期日の日付が以下のように表示されます。

1 ［メニュー］ボタン➜[internavi 情報］を選んで［実行］を押す

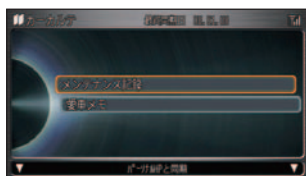
簡単

標準

2 [カーカルテ] を選んで [実行] を押す

▼

カーカルテ画面が表示されます。

3 ジョイスティックを下に倒して [パーソナルHPと同期] を選び、[実行] を押す

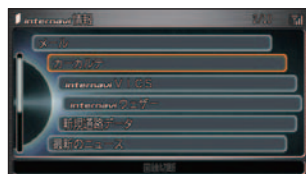
▼

同期が完了すると 、カーカルテ画面に戻ります。

お知らせ

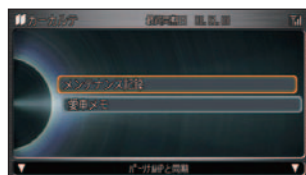
- 現在時刻が GPS から受信されていない状態では、正しく同期できない場合があります。

メンテナンス記録を見る

1 [メニュー] ボタン ➜[internavi 情報]➜[カーカルテ] を選んで [実行] を押す

▼

カーカルテ画面が表示されます。

2 [メンテナンス記録] を選んで [実行] を押す

▼

メンテナンス記録画面が表示されます。

3 交換項目を選んで [実行] を押す

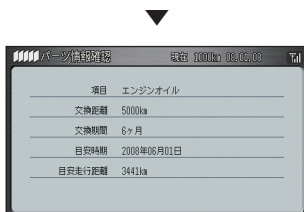
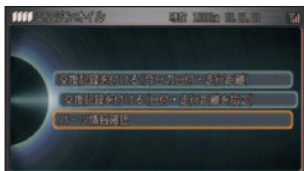
パーツには次の 4 種類のアイコンが表示されます。

アイコン	説明
(青):	Honda 指定パーツ
(橙):	Honda 指定パーツ (メンテナンス期限切れ)
(緑):	お客様の登録したパーツ
(橙):	お客様の登録したパーツ (メンテナンス期限切れ)

お知らせ

- 交換項目(パーツ)は、パーソナル・ホームページとの同期を行うと表示されます。詳しくは*「カーカルテの登録情報をパーソナル・ホームページと同期する」*を参照してください。*(→P267)*

4 **[パーツ情報確認] を選び、[実行] を押す**

▼

パーツ情報確認画面が表示されます。登録された各パーツの情報を見ることができます。

お知らせ

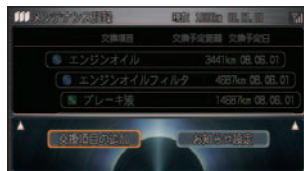
- Honda 指定のパーツ以外に自由にパーツを追加することができます。追加したパーツは編集や消去も行えます。
→「パーツを追加する」(本ページ)
→「パーツの交換サイクルを変更する」(P272)
→「パーツを消去する」(P273)

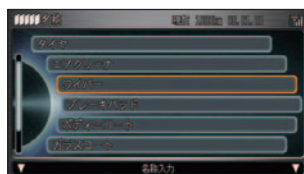
パーツを追加する

メンテナンス記録にパーツを追加できます。

1 **メンテナンス記録画面を表示する**

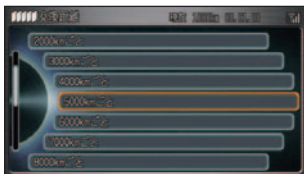
→「メンテナンス記録を見る」(P268)

2 **ジョイスティックを下に倒して [交換項目の追加] を選び、[実行] を押す**

3 **[名称] を選んで [実行] を押す**

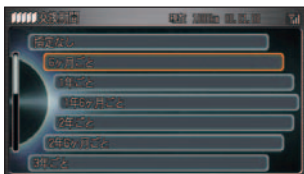
4 **登録したいパーツを選んで [実行] を押す**

リストにないパーツを登録する場合は、ジョイスティックを下に倒して [名称入力] を選び、[実行] を押すと作成することができます。

つづく →

5 [交換距離] を選んで [実行] を押す

6 登録したい距離を選んで [実行] を押す

[指定なし] または [1000km ごと] ～ [10000km ごと](1000km 単位)、[20000km ごと] ～ [100000km ごと](10000km 単位) の範囲で選択できます。

7 [交換期間] を選んで [実行] を押す

8 登録したい期間を選んで [実行] を押す

[指定なし] または [6 ヶ月ごと] ～ [10 年ごと] の範囲で 6 ヶ月単位で選択できます。

9 ジョイスティックを下に倒して [完了] を選び、[実行] を押す

▼

パーツが登録されます。

お知らせ

- あらかじめ Honda が指定するパーツは除き、登録できるパーツは 20 個までです。
- 「交換距離」および「交換期間」で共に [指定なし] を設定した場合は、[完了] を選ぶことができません。
- [名称]、[交換距離]、[交換期間] 以外の項目は設定できません。

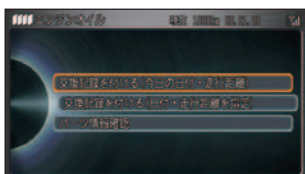
パーツ交換当日に記録する

パーツを交換した当日に日付や走行距離を記録することができます。

1 **メンテナンス記録画面を表示する**

→「メンテナンス記録を見る」(P268)

2 **記録を付けたいパーツを選んで［実行］を押す**

3 **［交換記録を付ける（今日の日付･走行距離）］を選んで［実行］を押す**

お知らせ

- お客様の指定パーツを選んでいた場合は、［記録をする］を選んで［実行］を押します。

4 **ジョイスティックを右に倒して［記録する］を選び、［実行］を押す**

▼

日付と走行距離が記録されます。

パーツ交換の日付や距離を指定して記録する

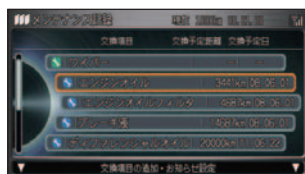
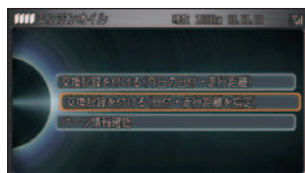
パーツ交換の日付や走行距離を指定して記録することができます。

お知らせ

- Honda 指定のパーツで以下の操作が行えます。

1 **メンテナンス記録画面を表示する**

→「メンテナンス記録を見る」(P268)

2 **記録を付けたいパーツを選んで［実行］を押す**

3 **［交換記録を付ける（日付・走行距離を指定）］を選んで［実行］を押す**

4 **［交換時走行距離］を選んで［実行］を押す**

5 **距離を入力し、［完了］を選んで［実行］を押す**

→「文字入力のしかた」(P42)

▼

走行距離が記録されます。

6 [交換実施日] を選んで [実行] を押す

7 日付を選んで [実行] を押す

プログレッシブコマンダーを次のように操作して日付を選び、[実行] を押します。

倒す	左 / 右	前 / 次の日へ
	上 / 下	前 / 後の週へ
回す	左	前の日へ
	右	次の日へ

日付が記録されます。

パーツの交換サイクルを変更する

お客様が追加登録したパーツは、記録されているメンテナンス情報の交換サイクルを変更することができます。

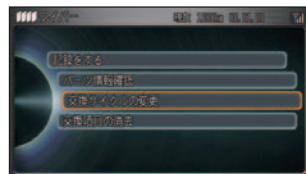
お知らせ

- 変更できるのは、お客様が追加登録したパーツのみで、あらかじめ Honda が指定するパーツは変更できません。

1 メンテナンス記録画面を表示する

→*「メンテナンス記録を見る」(P268)*

2 変更したいパーツを選んで [実行] を押す

3 [交換サイクルの変更] を選んで [実行] を押す

4 変更したい項目を選んで [実行] を押す

以降の操作手順は、*「パーツを追加する」(→ P269)* の手順 5 以降と同じです。

パーツを消去する

お客様が追加登録したパーツは、リストから消去することができます。

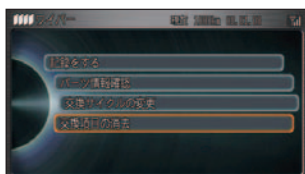
お知らせ

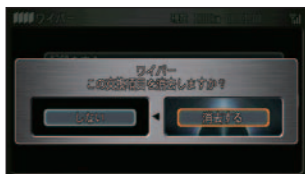
- 消去できるのは、お客様が追加登録したパーツのみで、あらかじめ Honda が指定するパーツは消去できません。

1 メンテナンス記録画面を表示する

→「メンテナンス記録を見る」(P268)

2 消去したいパーツを選んで [実行] を押す

3 [交換項目の消去] を選び [実行] を押す

4 ジョイスティックを右に倒して [消去する] を選び、[実行] を押す

▼

パーツが消去されます。

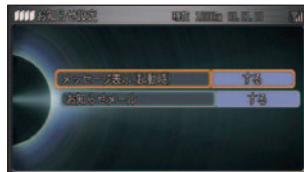
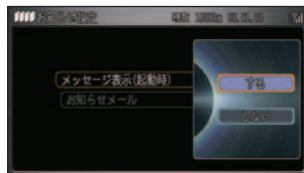
お知らせの設定をする

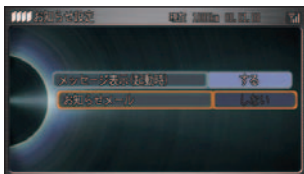
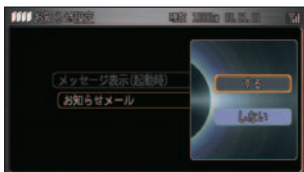
パーツ交換時期が近づいたことを知らせる方法について設定します。

1 メンテナンス記録画面を表示する

→「メンテナンス記録を見る」(P268)

2 ジョイスティックを下に倒して [お知らせ設定] を選び、[実行] を押す

3 [メッセージ表示 (起動時)] を選んで [実行] を押す

4 [する] または [しない] を選んで [実行] を押す

[する] に設定すると、交換時期のおよそ 30 日前にエンジンスイッチを“I”または“II”にすると、お知らせメッセージを画面に表示します。[しない] に設定すると、メッセージは表示されません。

5 [お知らせメール] を選んで [実行] を押す

6 [する] または [しない] を選んで [実行] を押す

[する] に設定すると交換時期のおよそ 30 日前にメールで通知します。[しない] に設定すると、メールによる通知はありません。

お知らせが設定されます。
お知らせ設定を有効にするにはパーソナル・ホームページの同期が必要です。
→ *「カーカルテの登録情報をパーソナル・ホームページと同期する」(P267)*

愛車プロフィールを設定する

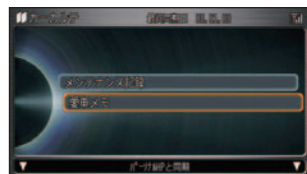
適切なメンテナンス時期をお知らせするために、普段の車の利用状態を設定します。

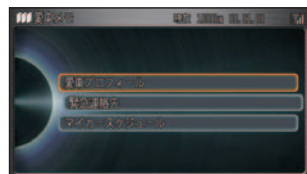
お知らせ

- 愛車プロフィールをご利用になるには、パーソナル・ホームページとの同期が必要です。詳しくは、*「カーカルテの登録情報をパーソナル・ホームページと同期する」(→ P267)* を参照してください。

1 カーカルテ画面を表示する

→ *「メンテナンス記録を見る」(P268)*

2 [愛車メモ] を選んで [実行] を押す

3 [愛車プロフィール] を選んで [実行] を押す

▼

愛車プロフィール画面が表示されます。

お知らせ

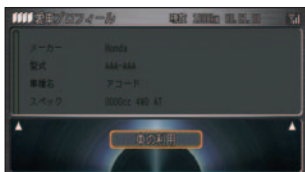
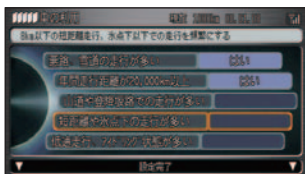
- [車の利用] 以外の項目は、本機の操作で編集できません。パーソナル・ホームページで編集してください。

車の利用状態を設定する

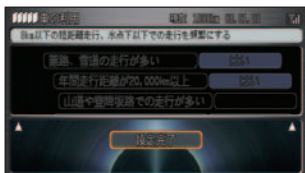
普段の車の利用状態について条件を設定します。

1 **愛車プロフィール画面を表示する**

→ *「愛車プロフィールを設定する」(P274)*

2 **ジョイスティックを下に倒して [車の利用] を選び、[実行] を押す**

3 **該当する項目を選んで [実行] を押す**

[実行] を押すたびに、[はい] と空欄が入れ換わります。走行距離の30% 以上が当てはまる項目のみ [はい] にしてください。

4 **ジョイスティックを下に倒して [設定完了] を選び、[実行] を押す**

▼

車の利用状態が設定されます。

緊急連絡先を設定する

緊急時の連絡先として Honda 販売店の担当者や保険会社、ロードサービスの電話番号などを登録します。

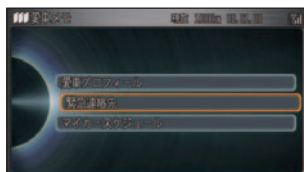
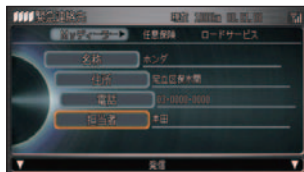
お知らせ

- 緊急連絡先を設定するには、パーソナル・ホームページとの同期が必要です。詳しくは、*「カーカルテの登録情報をパーソナル・ホームページと同期する」(→ P267)* を参照してください。

1 **カーカルテ画面を表示する**

→ *「メンテナンス記録を見る」(P268)*

2 **[愛車メモ] を選んで [実行] を押す**

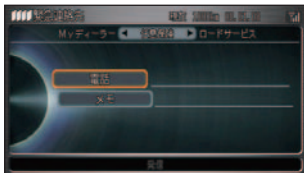
3 **[緊急連絡先] を選んで [実行] を押す**

4 **ジョイスティックを左右に倒して [My ディーラー] を選び、[担当者] を選んで [実行] を押す**

お知らせ

- My ディーラーの [担当者] 以外の項目は、本機の操作で編集できません。パーソナル・ホームページで編集してください。

つづく →

5 名前を入力し、[完了] を選んで、[実行] を押す

→「文字入力のしかた」(P42)

6 ジョイスティックを左右に倒して [任意保険] を選び、項目を選んで [実行] を押す

7 文字や数字を入力し、[完了] を選んで [実行] を押す

→「文字入力のしかた」(P42)

8 ジョイスティックを左右に倒して [ロードサービス] を選び、項目を選んで [実行] を押す

9 文字や数字を入力し、[完了] を選んで [実行] を押す

→「文字入力のしかた」(P42)

緊急連絡先が登録されます。

お知らせ

- 緊急連絡先画面から電話をかける場合は、ジョイスティックを下に倒して [発信] を選び、[実行] を押します。
- 電話のメニューから緊急連絡先に電話をかけることもできます。→「緊急連絡先に電話する」(P317)

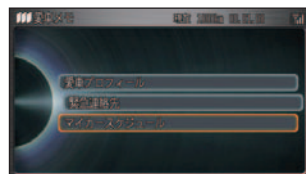
マイカースケジュールを設定する

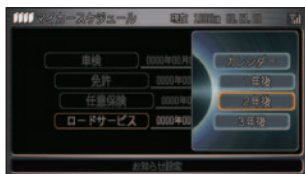
マイカースケジュールに設定しておくと、車検時期が近づいたときなどに画面のメッセージやメールで教えてくれます。

1 カーカルテ画面を表示する

→「メンテナンス記録を見る」(P268)

2 [愛車メモ] を選んで [実行] を押す

3 [マイカースケジュール] を選んで [実行] を押す

4 項目を選んで [実行] を押す

5 予定を選んで [実行] を押す

[車検]、[任意保険]、[ロードサービス] は、[1 年後]、[2 年後]、[3 年後] から選べます。
[免許] は、[2 年後]、[3 年後]、[5 年後] から選べます。
必要な項目すべてに手順 4 ～ 5 を繰り返してスケジュールを入力します。

直接日付を指定する場合

[カレンダー] を選んで [実行] を押すと、カレンダー画面が表示されます。プログレッシブコマンダーを次のように操作して日付を選び、[実行] を押します。

倒す	左 / 右	前 / 次の日へ
	上 / 下	前 / 後の週へ
回す	左	前の日へ
	右	次の日へ

6 ジョイスティックを下に倒して [お知らせ設定] を選び、[実行] を押す

7 お知らせ設定をする

以降の操作手順は、*「お知らせの設定をする」(→ P273)* の手順 3 以降と同じです。

通信機能を使う
カードを使う
ハンズフリー電話を使う
ETCを使う
便利な機能
オーディオ・テレビ
サウンドコンテナ
その他
困ったときの手引き
機能設定一覧
索引

インターナビ・ウェザーを見る

インターナビ情報センターの専用サーバーから地域の気象情報を取得して、気象状況を画面に表示させることができます。

お知らせ

- インターナビ・ウェザーを見るには、インターナビ・プレミアムクラブにご入会いただく必要があります。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」*の*「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→ P224)*
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話または通信カードの接続、インターナビ情報センターの認証 (ログイン) を行わないとインターナビ・ウェザーのサービスはご利用できません。詳しくは*「通信機能を使う」*の*「準備」*を参照してください。*(→ P226)*
- サービスの内容は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

情報画面の種類

気象情報

気象情報は、目的地または任意の地点の気象情報を見る操作を行ったときのほか、目的地を設定して最初のルート計算を行うときなどに取得されます。
気象情報のデータの取得が終わったあとに現在地画面で [現在地] ボタンを押すか、スクロールすると、自車位置周辺または、カーソル地点周辺の天気が気象予報アイコンで画面左上に表示されます。

気象予報アイコンは、天気情報を受信した時の天気および 3 時間後の天気予報を示しています。
現在地やカーソル地点周辺が気象情報の取得エリア外のときは、画面の左上に「未受信」と表示されます。
[詳細な天気情報表示] を [する] に設定していると、気象情報の取得後に天気予報や台風情報、警報・注意報、雨雪の動きなどの詳細な天気情報を表示させることができます。
→ *「取得情報の設定をする」(P283)*
→ *「詳細な天気情報を見る」(P282)*
3D マップ、3D/2D マップ、ドライビングマップ表示時は、気象情報に応じて空の色が変化します。

気象警戒エリアの表示

地図のスケールが 20km 以下の場合に、表示している地図内に降雨・降雪、津波の気象情報がある気象警戒エリアを含んでいれば、そのエリアに対して各マークを表示します。

降雨・降雪

降水量によって変わります。

降水量	地図スケール			
	1km 以下		2km ～ 20km	
	雨	雪	雨	雪
1 ～ 4mm				
5 ～ 29mm				
30mm 以上				

津波

予報の規模によって表示が変わります。

津波注意報	津波警報	大津波警報

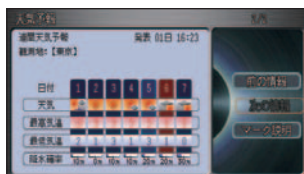
お知らせ

- 地図上に降雨・降雪、津波のマークは以下のすべての状態がそろっているとき表示できます。
  -20km 以下のスケールのとき
  -[気象警戒エリア表示] が [する] のとき
  → *「取得情報の設定をする」(P283)*
- 気象予報アイコンの天気マークは、表示されている時刻の予報天気を示しています。
- 津波の現況情報は取得後 30 分、降雨・降雪は最大 1 時間 30 分を期限として表示されます。
- 気象情報は、要求に応じて専用サーバーから取得します。データが取得できていないときは、気象情報は表示されません。
- 専用サーバーによる天気予報サービスは、予告なく中断、停止される場合があります。

天気予報表示

受信した気象情報に天気予報の情報が含まれているときは、「今日·明日の天気」または「週間天気予報」を見ることができます。

今日・明日の天気

週間天気予報

お天気のアイコンには次の種類があります。

今日・明日の天気アイコン

今日・明日の天気アイコン
快晴
晴れ
薄曇り
曇り
弱い雨（10mm/h 未満）
強い雨（10mm/h 以上）
みぞれ
弱い湿雪（5mm/h 未満）
強い湿雪（5mm/h 以上）
弱い乾雪（5mm/h 未満）
強い乾雪（5mm/h 以上）

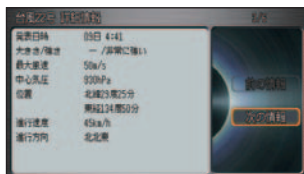
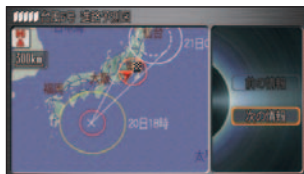
週間天気予報アイコン

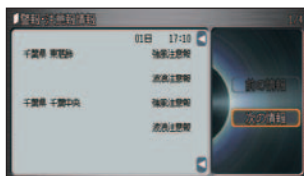
週間天気予報アイコン	
晴れ	雨
晴れのち曇り	雨のち晴れ
晴れのち雨	雨のち曇り
晴れのち雪	雨のち雪
晴れ時々曇り	雨時々晴れ
晴れ時々雨	雨時々曇り
晴れ時々雪	雨時々雪
曇り	雪
曇りのち晴れ	雪のち晴れ
曇りのち雨	雪のち曇り
曇りのち雪	雪のち雨
曇り時々晴れ	雪時々晴れ
曇り時々雨	雪時々曇り
曇り時々雪	雪時々雨

お知らせ

- ［マーク説明］を選んで［実行］を押すと、天気アイコンの説明を表示させることができます。

台風情報

受信した気象情報に台風の情報が含まれているときは、進路や詳細情報を表示します。

警報・注意報

受信した気象情報に警報・注意報の情報が含まれているときは、発表時刻、該当地域、内容を表示します。

雨雪の動き

取得した気象情報に降雨・降雪情報が含まれているとき、現在から 1 時間おきに 3 時間後までの雨雪の動きの予報が確認できます。

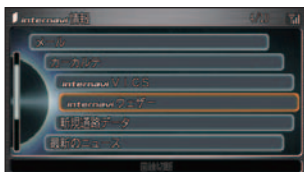
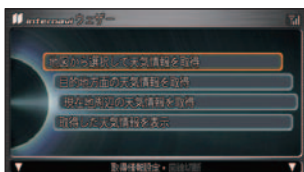
気象情報を取得する

目的地や任意の地点の気象情報を見ることができます。

[メニュー] ボタン ➔[internavi 情報] を選んで [実行] を押す

簡単

標準

2 [internavi ウェザー] を選んで [実行] を押す

3 [○○○○天気情報を取得] のいずれかを選んで [実行] を押す

[目的地方面の天気情報を取得] または [現在地周辺の天気情報を取得] を選んだ場合は、気象情報の画面 *(→ P278)* が表示されます。
[地図から選択して天気情報を取得] を選んだ場合は、手順 4 へ進みます。

アドバイス

- 回線を切断する場合は、internavi ウェザー画面でジョイスティックを下に倒して [回線切断] を選び、[実行] を押します。

4 気象情報が知りたい地点にカーソルを合わせて [実行] を押す

▼

気象情報が取得されます。
→ *「気象情報」(P278)*

お知らせ

- サーバー側からメンテナンスなどの事前予告情報があるときはメッセージが表示され、気象情報の取得処理は継続されます。

アドバイス

- 目的地を設定しているときに、カスタマイズメニューから [internavi ダイレクト] を選び [internavi ウェザー] を選ぶと、目的地周辺の気象情報を表示させることができます。→ *「internavi ダイレクトを使う」(P246)*
- [ルート案内開始時連動取得] を [する] に設定しておくと、目的地設定後の最初のルート計算時に自動的に気象情報が取得されます。
→ *「取得情報の設定をする」(P283)*
この時、取得した情報の内、表示されるのは台風情報のみです。
それ以外で取得した情報は *「取得情報の履歴を確認する」(→ P283)* で確認できます。

詳細な天気情報を見る

気象情報を取得すると、さらに「今日・明日の天気」と「週間天気予報」を見ることができます。台風情報や警報・注意報、雨雪の動きがある場合は、優先して表示されます。

お知らせ

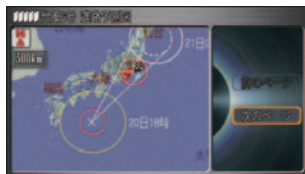
- 詳細な天気情報を見るには、[詳細な天気情報表示] を [する] に設定しておく必要があります。
→「取得情報の設定をする」(P283)

気象情報を取得する

→「気象情報を取得する」(P281)

今日・明日の天気予報が表示されます。
→「天気予報表示」(P279)

台風情報があるとき

取得した気象情報に台風情報が含まれていて、案内中のルートが台風の予想進路にあたる場合には、台風情報の画面が表示されます。

→「台風情報」(P280)

警報・注意報があるとき

取得した気象情報に警報・注意報が含まれていると、警報・注意報情報の画面が表示されます。

→「警報・注意報」(P280)

雨雪の動きがあるとき

取得した気象情報に降雨・降雪の情報が含まれているとき、現在から 1 時間おきに 3 時間後までの雨雪の動きの予報が確認できます。

→「雨雪の動き」(P280)

[次のページ] または [前のページ] を選んで [実行] を押し、見たい情報を表示する

お知らせ

- 取得した気象情報に詳細な天気情報が含まれていないときは、表示されません。
- インターナビ情報センターからのお知らせ情報を受信した場合は、最初にお知らせが表示されます。
- インターナビ VICS の簡易図形を受信した場合は、気象情報の前に表示されます。(「簡易図形割込み」(→ P192) が [する] のとき)

お知らせ

- 取得した気象情報に台風情報や警報・注意報、雨雪の動きなどが含まれる場合は、天気予報画面の前にこれらの情報が表示されます。
- ルート計算時、自動的に取得した気象情報に、台風情報や警報・注意報、雨雪の動きなどが含まれていても、安全のため台風進路予測図の表示と警報・注意報、目的地の天気の読み上げのみ行います。他の取得した情報は、*「取得情報の履歴を確認する」(→本ページ)*で確認することができます。

取得情報の履歴を確認する

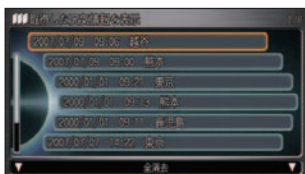
これまで取得した気象情報を 20 件まで表示することができます。

1 **[メニュー] ボタン ➔[internavi 情報]➔[internavi ウェザー] を選んで [実行] を押す**

internavi ウェザー画面が表示されます。

2 **[取得した天気情報を表示] を選んで [実行] を押す**

履歴リストが表示されます。

3 **確認したい履歴を選んで [実行] を押す**

お知らせ

- 履歴を消去するときは、ジョイスティックを下に倒して [全消去] を選び、[実行] を押します。

4 **確認したい詳細情報を選んで [実行] を押す**

[天気予報]、[警報注意報]、[台風情報]、[雨雪の動き] から選択できます。なお、選んだ履歴に存在しない詳細情報は表示されません。

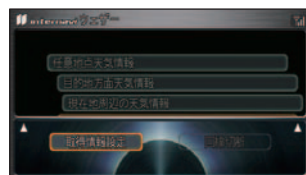
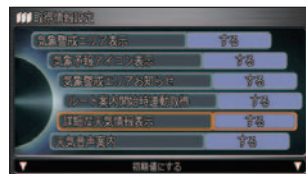
▼

詳細情報が表示されます。

取得情報の設定をする

1 **[メニュー] ボタン ➔[internavi 情報]➔[internavi ウェザー] を選んで [実行] を押す**

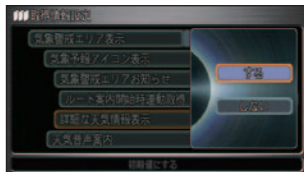
internavi ウェザー画面が表示されます。

2 **ジョイスティックを下に倒して [取得情報設定] を選び、[実行] を押す**

3 **項目を選んで [実行] を押す**

つづく ➔

設定項目	設定内容
[気象警戒エリア表示]	降雨、降雪、津波のマークを地図に表示するかしないかを選びます。
[気象予報アイコン表示]	地図画面の左上に気象予報アイコンを表示するかしないかを選びます。
[気象警戒エリアお知らせ]	ルート上に注意すべき警戒エリアがあった場合に、案内をするかしないかを選びます。
[ルート案内開始時連動取得]	[する] に設定すると、目的地設定後のルート計算時にインターナビ VICS の交通情報を受信したとき、同時に天気情報を取得することができます。 また、VICS 設定の [情報受信接続設定] を [状況変化時]*(→ P191)* に設定していたとき、サーバーに接続して天気情報に変化があれば自動的に情報を取得することができます。
[詳細な天気情報表示]	天気情報取得後に詳細な天気情報を表示するかしないかを選びます。
[天気音声案内]	[する] に設定すると、[ルート案内開始時連動取得] が [する] のとき、ルート計算後、取得した到着予想時刻の天気予報および警報・注意報の内容を読み上げます。 また、ルート案内中に [目的地周辺の天気情報を取得] または、カスタマイズメニュー *(→ P30)* の [internavi ダイレクト] → [internavi ウェザー] を選んだときも同様に読み上げます。

アドバイス

- すべての設定を初期値に戻す場合は、ジョイスティックを下に倒して [初期値にする] を選び、[実行] を押します。

4 [する] または [しない] を選んで [実行] を押す

5 手順 3 ～ 4 を繰り返し、各項目を設定する

取得情報の設定が完了します。

読み上げ機能について 簡単 標準

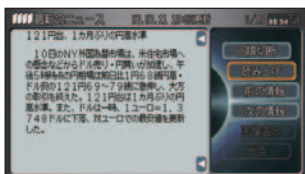
走行中は安全のため、コンテンツ画面の文字情報やメールの内容は画面に表示されません。
受信したメールや読み上げ機能に対応したコンテンツ画面では、内容を読み上げることができます。

お知らせ

- 読み上げる内容が表示されている内容と若干異なる場合があります。

コンテンツ画面の読み上げ

1 コンテンツ表示画面で [読み上げ] を選んで [実行] を押す

▼

読み上げ画面が表示され、自動的に読み上げが開始します。

お知らせ

- [停止] を選んで [実行] を押すと、読み上げを終了します。再度読み上げる場合は、[再生] を選んで [実行] を押します。
- [前の情報] または [次の情報] を選んで [実行] を押すと、読み上げる内容を選ぶことができます。

お知らせ

- 音量を調節する場合は、[音量調整] を選んで [実行] を押し、コマンドホイールを回して音量を選んで [実行] を押します。
- 元の情報画面に戻る場合は、[本文表示] を選んで [実行] を押します。

メールの読み上げ

1 メール画面で [メール読み上げ] を選んで [実行] を押す

→「メール画面を表示する」(P251)

簡単

標準

▼

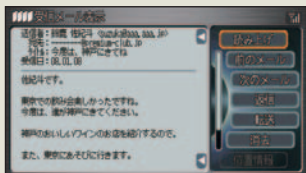
読み上げ画面が表示され、自動的に読み上げが開始します。

つづく →

お知らせ

- 読み上げさせることができるのは、受信メールのみです。
- [次のメール] または [前のメール] を選んで [実行] を押すと、他のメールを読み上げることができます。

アドバイス

- 受信メール表示画面でも右側のメニューから [読み上げ] を選んで [実行] を押すと、メールを音声で読み上げることができます。

- 簡単操作モードでは送信メール画面を表示することはできません。

再度読み上げるには

直前に読み上げたメールや情報画面の内容を再度読み上げることができます。

internavi ダイレクトメニューを表示する

→ *「internavi ダイレクトを使う」(P246)*

2 [読み上げ再開] を選んで [実行] を押す

▼

読み上げ画面が表示され、直前の内容が読み上げられます。

お知らせ

- 読み上げた内容がない場合、[読み上げ再開] は表示されません。
- 読み上げた内容は、エンジンスイッチを“0”にするまで消えません。
- 読み上げを開始しないときもあります。

カードを使う

カードを接続する 標準

ご自宅のパソコンでインターナビ・プレミアムクラブのホームページからスポット情報をPCカードにダウンロードすると、そのスポット情報をナビゲーションシステムのマークリストに追加することができます。
また、ナビゲーションシステムに登録された画像やマークリストを、保存したり読み込むことができます。さらに、PCカードに保存された画像を壁紙に設定することができます。
その他、MP3ファイルやWMAファイルの音楽ファイルを記録しておくと、サウンドコンテナで再生することができます。
通信カードも同様に接続できます。

お知らせ

- USBデバイス *(→P368)* にスポット情報をダウンロードしてもHondaインターナビシステムで読み込むことはできません。
- USBデバイスに画像やマークリストを保存したり読み込むことはできません。

お願い

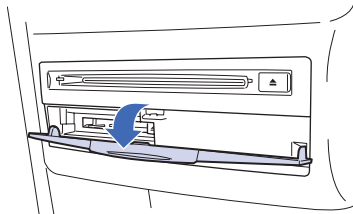
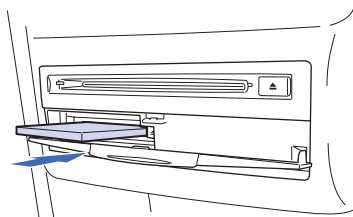
- 読み込みや書き込みの最中にPCカードを抜くと保存されたデータが消えてしまう場合がありますので、カードを途中で抜かないでください。
- PCカードは精密機器です。製品の取扱説明書をよく読んでから使用してください。
- 通信カードの動作確認はしておりますが、動作保証はしておりません。ご使用に際しましては、各カードの使用条件でのご利用をお願いします。
- 車内に放置するなどの要因による破損がありましても、保証いたしかねますのであらかじめご了承ください。
- 走行中などPCカードを使用しないときは、ナビゲーションシステム本体のふたを閉めてください。
- 画像の設定(または変更)操作をした直後は、エンジンスイッチを“0”にしたり、PCカードを抜かないでください。登録にエラーが発生したり、PCカードのデータが壊れることがあります。

お知らせ

- PCカードは、Hondaインターナビシステム対応のPCカードを使用してください。
- PCカードの使いかたに関する情報は、インターナビ・プレミアムクラブのホームページで掲載しています。
  ホームページアドレス:
  http://www.premium-club.jp/
- Hondaインターナビシステムでお使いのPCカードにHondaインターナビシステム以外のデータを保存するとデータが破損するおそれがあります。PCカードはHondaインターナビシステム専用でご使用になることをお勧めします。

PC カードの入れかた

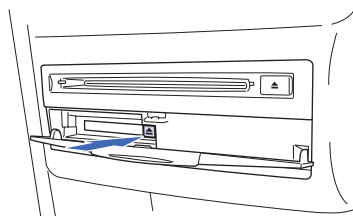
ナビゲーションシステム本体に PC カードを差し込みます。

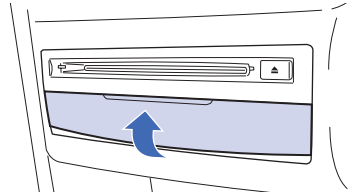
ふたを手前に引き下げる

2 PC カード挿入口に PC カードを差し込む

お知らせ

- おもて面を上にして、カードに記載されている矢印の向きに差し込んでください。
- PC カードの [▲] ボタン (PC カード取り出しボタン) が手前に出るまでしっかりと差し込んでください。

PC カードの出しかた

1 PC カードの [▲] ボタン (PC カード取り出しボタン) を押す

▼

PC カードが出てきます。
取り出した PC カードはケースに入れて保管してください。

2 ふたを閉める

■ MP3/WMA ファイルについて

ご自宅のパソコンなどで MP3 ファイルや WMA ファイルを PC カードに記録すると、サウンドコンテナで再生することができます。

→ *「MP3 ファイルについて」(P361)*
→ *「WMA ファイルについて」(P363)*
→ *「サウンドコンテナの聞きかた」(P428)*

カードの操作 標準

PC カードは工夫しだいでさまざまな用途に利用できます。例えば、大切なデータのバックアップや友人とのデータ交換などのように、Honda インターナビシステムをさらに活用するための補助記憶媒体として役立ちます。

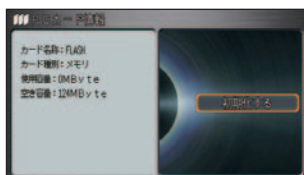
カードの詳細情報を確認する

PC カードの名称、種別、使用容量、空き容量を確認することができます。

1 [メニュー] ボタン➜[付加機能] を選んで [実行] を押す

2 [各種情報] を選んで [実行] を押す

3 [PC カード情報] を選んで [実行] を押す

▼

PC カードの詳細情報が表示されます。

お知らせ

- [初期化する] を選んで [実行] を押すと PC カードを初期化することができます。→ *「PC カードを初期化する」(P298)*

カードの保存情報を確認する

PC カードに保存されている情報を確認することができます。

お知らせ

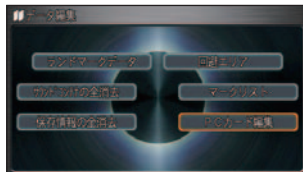
- 本機で PC カードの保存情報を確認できる件数は次のとおりです。

壁紙	200 件
アドレス帳	1000 件
スケジュール	全てのスケジュール
マークリスト	200 件
ユーザーランドマーク非表示設定データ	100 件
回避エリア	100 件

- PC カードの容量によって、上記の件数を保存できないことがあります。
- 1 つあたり 2MB 以上のファイルは認識されません。
- 壁紙、アドレス帳では、PC カード内のフォルダ (ディレクトリ) は 8 階層 (ルートディレクトリを含む) まで認識できます。(スケジュールはルートディレクトリのみ)
- 壁紙で保存できる画像ファイルの形式は JPEG、BMP です。
- 画像が付いたマークも保存できます。
- アドレス帳は本機の操作で、PC カードに保存することはできません。アドレス帳を本機に読み込むには、あらかじめご自宅のパソコンなどで、vCard 形式のデータを PC カードに保存しておく必要があります。
- シークレットモードが設定されているとアドレス帳を確認することができません。
→ *「シークレットモードを使う」(P351)*

1 **[メニュー] ボタン ➜ [付加機能] を選んで [実行] を押す**

2 **[データ編集] を選んで [実行] を押す**

3 **[PC カード編集] を選んで [実行] を押す**

4 **ジョイスティックを左に倒して [PC カードデータ] を選ぶ**

▼

PC カードデータのリスト画面が表示されます。

つづく ➜

お知らせ

- ジョイスティックを右に倒して［ナビ本体データ］を選ぶと、ナビ本体側の情報を編集することができます。→ *「ナビ本体側の情報を編集する」(P293)*

お願い

- 保存中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを“0”にしたり、PC カードを抜かないでください。

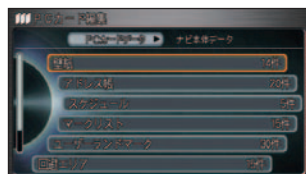
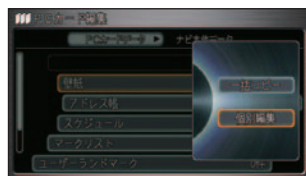
お知らせ

- PC カードの容量が不足していると、メッセージが表示され、保存することができません。

カードの保存情報を編集する

PC カード内に保存された各情報を編集することができます。

PC カードデータのリスト画面で編集したい項目を選んで［実行］を押す

→ *「カードの保存情報を確認する」(P291)*

2 ［個別編集］を選んで［実行］を押す

お知らせ

- 選んだ項目すべてのデータをハードディスク内に保存する場合は、［一括コピー］を選んで［実行］を押します。

各項目の編集画面が表示されます。以降の操作は、次の参照項目と同様に行います。

PC カードの編集項目

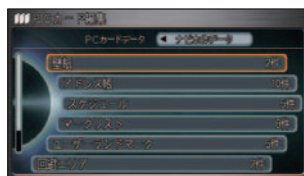
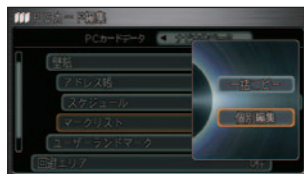
[壁紙]	*「画像を確認する」(→ P336)* と同様の操作で、壁紙の設定、確認、消去が行えます。
[アドレス帳]	*「PC カードからアドレス帳を読み込む」(→ P333)* と同様の操作で、PC カードからのデータ読み込み、消去が行えます。
[スケジュール]	*「PC カードへのスケジュールの保存 / 読み込み」(→ P345)* と同様の操作で、PC カードへの保存、読み込み、消去を行うことができます。
[マークリスト]	*「PC カードへのマークの保存 / 読み込み」(→ P86)* と同様の操作で、PC カードへの保存、読み込み、消去を行うことができます。
[ユーザーランドマーク]	*「PC カードへのユーザーランドマークの保存 / 読み込み」(→ P204)* と同様の操作で、PC カードへの保存、読み込み、消去を行うことができます。
[回避エリア]	*「PC カードへの回避エリア情報の保存 / 読み込み」(→ P216)* と同様の操作で、PC カードへの保存、読み込み、消去を行うことができます。
[非表示設定データ]	*「PC カードへの非表示設定データの保存 / 読み込み」(→ P209)* と同様の操作で、PC カードへの保存、読み込み、消去を行うことができます。

ナビ本体側の情報を編集する

ハードディスク内に保存された各情報を編集することができます。

1 **PC カードデータのリスト画面で、ジョイスティックを右に倒して [ナビ本体データ] を表示する**

→ *「カードの保存情報を確認する」(P291)*

2 **編集したい項目を選んで [実行] を押す**

3 **[個別編集] を選んで [実行] を押す**

お知らせ

- 選んだ項目すべてのデータを PC カード内に保存する場合は、[一括コピー] を選んで [実行] を押します。
- アドレス帳は [一括コピー] を選ぶことはできません。(本機から PC カードにアドレス帳のデータを保存することはできません。)

▼

各項目の編集画面が表示されます。以降の操作は、次の参照項目と同様に行います。

つづく →

ナビ本体側の編集項目

［壁紙］	壁紙画面が表示され、*「画像を確認する」（→ P336）*と同様の操作で、壁紙の設定、確認、消去が行えます。
［アドレス帳］	アドレス帳のリストが表示され、*「アドレス帳を登録／編集する」（→ P328）*と同様の操作で、新規登録、詳細情報の編集、消去などが行えます。
［スケジュール］	スケジュールリストが表示され、*「スケジュールリストを見る」（→ P344）*と同様の操作で、実行、編集、消去が行えます。
［マークリスト］	マークのリスト画面が表示され、*「マークを登録／編集する」（→ P81）*と同様の操作で、目的地セット、マーク情報編集、消去、パーソナル・ホームページとの同期などが行えます。
［ユーザーランドマーク］	ユーザーランドマークのリストが表示され、*「ユーザーランドマークを登録／編集する」（→ P202）*と同様の操作で、新規登録、マーク情報編集、消去などが行えます。
［回避エリア］	回避エリアのリストが表示され、*「回避エリアを登録／編集する」（→ P213）*と同様の操作で、新規登録、回避エリア情報編集、消去などが行えます。
［非表示設定データ］	非表示設定データのリストが表示され、*「非表示設定データを解除する」（→ P208）*と同様の操作で、非表示にしたランドマークを再び地図上に表示させることができます。

- 保存中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを“0”にしたり、PC カードを抜かないでください。

PC カードから道路データを取得する

PC カードを使って、パーソナル・ホームページから新しい道路のデータを取得することができます。（新規道路データ配信）

PC カードを使って新しい道路のデータを取得するには次の手順が必要です。

PC カードに認証用ナビ情報をコピーする（→本ページ）

▼

パーソナル・ホームページから道路データを取得する（→ P296）

▼

PC カードから新しい道路データを読み込む（→ P296）

PC カードに認証用ナビ情報をコピーする

パーソナル・ホームページから新しい道路データを取得するために必要な認証用ナビ情報を PC カードにコピーします。

1

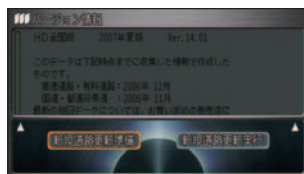
簡単

［メニュー］ボタン➜［付加機能］➜［各種情報］➜［地図バージョン］を選んで［実行］を押す

標準

［メニュー］ボタン➜［付加機能］➜［各種情報］➜［バージョン情報］を選んで［実行］を押す

2

ジョイスティックを下に倒して［新規道路更新準備］を選び、［実行］を押す

3 ジョイスティックを右に倒して[コピーする] を選び、[実行] を押す

▼

PC カードに認証用ナビ情報がコピーされます。

パーソナル・ホームページから道路データを取得する

PC カードにコピーした認証用ナビ情報を使って、パーソナル・ホームページから新しい道路データを取得してください。
取得するとき、新しい道路データをPC カードに保存します。

PC カードから新しい道路データを読み込む

パーソナル・ホームページから取得した新しい道路データを Honda インターナビシステムに読み込みます。

1

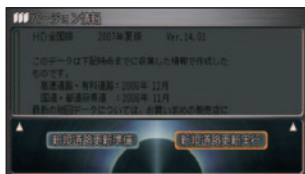
簡単

[メニュー] ボタン➜[付加機能]➜[各種情報]➜[地図バージョン] を選んで [実行] を押す

標準

[メニュー] ボタン➜[付加機能]➜[各種情報]➜[バージョン情報] を選んで [実行] を押す

2 ジョイスティックを下に倒して［新規道路更新実行］を選び、［実行］を押す

▼

データを更新するための認証が行われます。認証後、新しい道路データの読み込みが行われます。

読み込み完了後、自動でシステムを再起動します。PC カードは抜かずにしばらくお待ちください。

再起動後、新しい道路のデータの取得が完了します。

PCカードを初期化する 標準

PCカードを初期化すると、PCカード内のデータをすべて消去することができます。

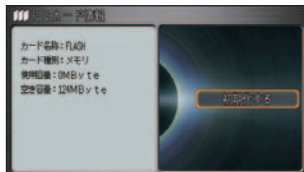
お願い

- データを消去すると、復元することはできません。重要なデータでないことを確認してから消去してください。

1 ［メニュー］ボタン➔［付加機能］を選んで［実行］を押す

2 ［各種情報］を選んで［実行］を押す

3 ［PCカード情報］を選んで［実行］を押す

4 ［初期化する］を選んで［実行］を押す

5 ジョイスティックを右に倒して［初期化する］を選び、［実行］を押す

▼

PCカードが初期化されます。

お願い

- 初期化中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを“0”にしたり、PCカードを抜かないでください。

ハンズフリー電話を使う

準備 簡単 標準

ハンズフリー電話を使う前に携帯電話を接続します。

ハンズフリー電話について

話しかたによっては相手先に声が伝わりにくい場合や、相手の声が聞こえにくい場合があります。ハンズフリー電話同士の通話、騒音の大きい環境下での通話など、使用条件によっては通話しづらい場合があります。また相手の電話の種類や電話回線の組み合わせにより不自然な音となる場合があります。

お願い

- 交通量の多い市街地や狭い道での操作は避けてください。

お知らせ

- 通話時は、大きめの声ではっきりとお話しください。
- 電話機のノイズキャンセラー機能、パワーセーブ機能はなるべく「OFF」に設定しておいてください。
- 通話中は窓を閉めてお話しください。
- Bluetooth 方式以外の携帯電話を接続する場合は、別売の接続ケーブルが必要になります。Honda 販売店にご相談ください。
- 携帯電話の接続コネクターからは、携帯電話用の電源は供給されていません。
- 携帯電話の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。

お知らせ

- Bluetooth 接続された携帯電話を直接操作して発信すると、携帯電話の機種によっては、ハンズフリー通話にならない場合があります。
- Bluetooth 通信機能のないソフトバンクの「3G」には対応しておりません。
- Bluetooth 接続でデータ通信中は、Honda インターナビシステムで電話を受けることができません。
- 携帯電話や通信カードの対応機種については、インターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
  ホームページアドレス：
  http://www.premium-club.jp/

携帯電話を接続する

携帯電話の接続のしかたについては*「通信機能を使う」の「準備」（→ P226）*を参照してください。

お知らせ

- 携帯電話の「ダイヤルロック」、「オートロック」などの機能を解除してから接続してください。

ハンズフリー電話の設定 簡単 標準

お知らせ

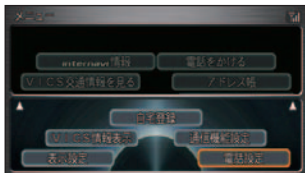
- ワンタッチダイヤル、電話帳、発信着信履歴にはシークレットモードが設定されています。シークレットモードを設定すると電話帳、発信着信履歴はメニュー画面から選択できなくなります。また、ワンタッチダイヤルでは、登録されている項目が「＊」で表示されます。
→ *「シークレットモードを使う」(P351)*

電話の設定をする

通話中画面表示や自動着信の設定、通話音量、着信音量の設定方法を説明します。

1 [メニュー] ボタン ➔ ジョイスティックを下に倒して [電話設定] を選び、[実行] を押す

簡単

標準

お知らせ

- [メニュー] ボタン→ [電話](簡単操作モードは [電話をかける]) を選んで [実行] を押し、ジョイスティックを下に倒して表示される [電話設定] からも同様に設定できます。

2 設定する項目を選んで [実行] を押す

設定できる項目と設定は次のとおりです。

設定項目	設定
[アドレス帳読み込み]	→ *「携帯電話の電話帳を読み込む」(P303)*
[アドレス帳追加]	→ *「携帯電話の電話帳を読み込む」(P303)*
[通話中画面表示]	**[する]**、[しない]
[自動着信]	**[する]**、[しない]
[電話通話音量]	7段階(0含まず)**[4]**
[電話着信音量]	7段階(0含まず)**[4]**

※太字は初期状態を示します。

つづく ➔

お知らせ

- [自動着信] を [する] に設定しても、携帯電話のメッセージサービス、留守番サービス、転送サービスを５秒より短い設定にしていた場合や、呼出しなしにしておいた場合は、自動着信せず、携帯電話の設定が優先されます。

3 **設定を選んで [実行] を押す**

設定が変更されます。

4 **手順２～３を繰り返し、項目を設定する**

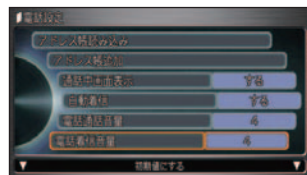
アドバイス

- 設定を初期状態に戻す場合は、ジョイスティックを下に倒して [初期値にする] を選び、[実行] を押します。

通話音量 / 着信音量を調節する

スピーカーから聞こえてくる相手の声の大きさ、または電話がかかってきたときにスピーカーから聞こえてくる着信音の大きさを調節することができます。

1 **電話設定画面で [電話通話音量] または [電話着信音量] を選んで [実行] を押す**

→ *「電話の設定をする」(P301)*

2 **コマンドホイールを左右に回して、音量を設定する**

3 **[実行] を押す**

▼

音量が設定されます。

アドバイス

- 通話中に通話音量を調節するには [通話音量] を選んで [実行] を押し、コマンドホイールを回して音量を選び、[実行] を押します。

電話帳

電話帳は、アドレス帳 *(→ P328)* に登録された名前と電話番号を抜粋して表示したものです。アドレス帳に登録した電話番号を確認したり電話をかけることができます。

■携帯電話の電話帳を読み込む

携帯電話に登録されている電話番号のリストをアドレス帳 *(→ P328)* に読み込むと、ハンズフリー機能の電話帳として使用できます。電話番号は、最大 1000 件の転送ができます。

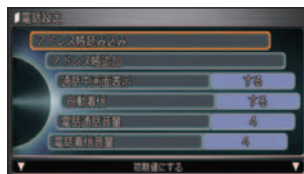
アドバイス

- アドレス帳の登録 / 編集について詳しくは、*「アドレス帳を登録 / 編集する」(→ P328)* を参照してください。

お知らせ

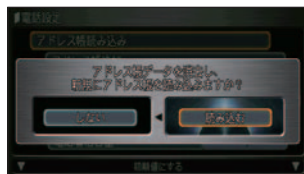
- 読み込み中に [実行] を押すと、読み込みを中止します。
- 一度読み込みを完了したアドレス帳は、[アドレス帳読み込み] で新しく読み込むまで保持されます。
- [アドレス帳読み込み] で新しく読み込むと、すべてが上書きされ、古いアドレス帳は消去されます。
- グループ番号が 20 番以降の電話帳を読み込むとアドレス帳 *(→ P328)* をグループ番号順に表示したとき、"＊" で管理されます。
- 「 読み 」のない電話帳を読み込むとアドレス帳 *(→ P328)* を名前順に表示したとき、"＊" で管理されます。
- 携帯電話の機種によっては、電話番号を 1000 件まで読み込めない場合があります。
- 携帯電話側にシークレットの設定がされているものは、読み込まれません。
- 携帯電話の種類によっては、読み込んだ登録名称が正しく表示できないことがあります。

1 **電話設定画面で [アドレス帳読み込み] または [アドレス帳追加] を選んで [実行] を押す**

→ *「電話の設定をする」(P301)*

[アドレス帳読み込み]	現在のアドレス帳のデータがすべて消去され、携帯電話からデータを読み込みます。
[アドレス帳追加]	携帯電話からデータを読み込み、現在のアドレス帳のデータに追加されます。[アドレス帳追加] を選んで [実行] を押したら、手順 3 に進みます。

お知らせ

- 名前のないデータは電話帳には表示されません。

2 **ジョイスティックを右に倒して [読み込む] を選び、[実行] を押す**

FOMA をケーブルで接続していた場合、この後は携帯電話側から暗証番号を入力する操作を行ってください。Bluetooth 接続の場合、この後は携帯電話側から電話帳データを転送する操作を行ってください。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

つづく →

お知らせ

- Bluetooth 対応の携帯電話から電話帳を読み込む方法について、詳しくはインターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
  ホームページアドレス：
  http://www.premium-club.jp/

3 携帯電話の暗証番号を入力する

→「文字入力のしかた」(P42)

4 [完了] を選んで [実行] を押す

▼

データが転送されます。

お知らせ

- 暗証番号を入力すると、他人に読み取られないように“＊”で表示されます。
- 携帯電話の事業者によっては、暗証番号を次の２種類用意している場合があります。
  - 電話機本体の各種機能を操作するためのもの
  - 通信会社による各種サービスを一般電話から利用するためのもの (携帯電話契約時に登録した暗証番号)

  ご利用の携帯電話によっては、どちらの暗証番号を入力するかが異なります。一方の暗証番号で転送できないときは、もう一方の暗証番号を入力してください。

■電話帳を確認する

電話帳を確認することができます。

1 簡単

[メニュー] ボタン ➜ [電話をかける] を選んで [実行] を押す

標準

[メニュー] ボタン ➜ [電話] を選んで [実行] を押す

▼

電話のメニューが表示されます。

2 [電話帳] を選んで [実行] を押す

電話帳画面が表示されます。

■電話帳を消去する

電話帳画面から電話帳のデータを消去することはできません。電話帳のデータを消去する場合は、アドレス帳から行います。→ *「アドレスを消去する」(P330)*

ワンタッチダイヤル

■登録する

携帯電話からアドレス帳に電話番号データを読み込むと、メモリー番号の小さい順に５件のデータが、自動的にワンタッチダイヤルに登録されます。
登録された電話番号データは次の手順で変更できます。

電話帳画面を表示する

→ *「電話帳を確認する」(P304)*

登録したい相手を選んで［実行］を押す

3 ［詳細情報］を選んで［実行］を押す

▼

アドレス帳の詳細情報が表示されます。

お知らせ

- ［発信］を選んで［実行］を押すと、選んだ相手に電話をかけることができます。→ *「電話帳でかける」(P307)*

4 登録するワンタッチ番号を選んで［実行］を押す

▼

選んだワンタッチ番号に電話番号データが登録されます。

- 再度、携帯電話からアドレス帳に電話番号を読み込むと、メモリー番号の小さい順に５件のデータでワンタッチダイヤルが上書きされます。
- 別の電話番号をワンタッチダイヤルに登録、またはアドレス帳のデータを消去 *(→ P330)* するまで、ワンタッチダイヤルは消去できません。
- 読み込んだデータに情報がない詳細項目は空白になります。また、各項目の内容を編集する場合は、アドレス帳から行います。
→ *「アドレスを編集する」(P329)*

ハンズフリー電話を使う

電話をかける

1　ハンドルの [☎] オフフックスイッチを押す

電話のメニューが表示されます。

- [メニュー] ボタンを押して [電話](簡単操作モードでは [電話をかける]) を選び、[実行] を押しても電話のメニューが表示されます。→「*電話帳を確認する*」*(P304)*

2　[ダイレクト発信] を選んで [実行] を押す

3　電話番号を入力する

→「*文字入力のしかた*」*(P42)*

4　[発信] を選んで [実行] を押す

▼

通話が開始されます。

お知らせ

- ハンドルの [☎] オフフックスイッチを押すことでも通話が開始されます。
- 通話中画面表示を [しない] に設定し、現在地を表示している場合、通話中は画面左に ☎ が表示されます。

5　通話が終了したら、ハンドルの [☎] オンフックスイッチを押して、電話を切る

アドバイス

- 通話中画面表示を [する] に設定している場合は、通話中に次の操作ができます。
  - [通話録音]
    通話内容を約 30 秒録音します。
    →「*通話録音するには*」*(P315)*
  - [通話音量]
    相手の声の大きさを調節します。
    →「*通話音量 / 着信音量を調節する*」*(P302)*
  - [終了]
    電話を切ります。

ワンタッチダイヤルでかける

お知らせ

- ワンタッチダイヤルは走行中も操作することができます。

ハンドルの [ ] オフフックスイッチを押す

電話のメニューが表示されます。

- [メニュー] ボタンを押して [電話](簡単操作モードでは [電話をかける]) を選び、[実行] を押しても電話のメニューが表示されます。→「電話帳を確認する」(P304)

電話をかける相手を選んで [実行] を押す

▼

通話が開始されます。

お知らせ

- 電話をかける相手を選んだ後、ハンドルの [ ] オフフックスイッチを押しても通話を開始することができます。

3

通話が終了したら、ハンドルの [ ] オンフックスイッチを押して、電話を切る

- 通話中画面表示を [する] に設定している場合は、[終了] を選んで [実行] を押しても電話を切ることができます。

電話帳でかける

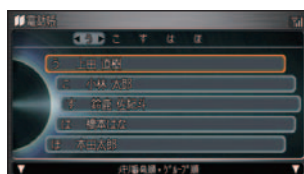
ハンドルの [ ] オフフックスイッチを押す

電話のメニューが表示されます。

- [メニュー] ボタンを押して [電話](簡単操作モードでは [電話をかける]) を選び、[実行] を押しても電話のメニューが表示されます。→「電話帳を確認する」(P304)

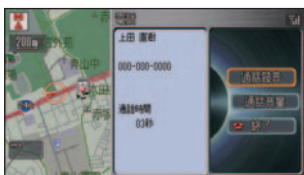
[電話帳] を選んで [実行] を押す

3

電話をかける相手を選んで [実行] を押す

つづく →

アドバイス

- ジョイスティックを左右に倒すと「あ、い、う・・・(名前順)」、「0～49、50～99・・・(メモリ番号順)」または「Gr1、Gr2・・・(グループ番号順)」とリストを切り換えることができます。
- ジョイスティックを下に倒して[メモリ番号順]、[グループ順]を選び、[実行]を押すと、電話帳の表示を並び換えることができます。

4 [発信]を選んで[実行]を押す

▼

通話が開始されます。

お知らせ

- ハンドルの[ ]オフフックスイッチを押すことでも通話が開始されます。

5 通話が終了したら、ハンドルの[ ]オンフックスイッチを押して、電話を切る

アドバイス

- 通話中画面表示を[する]に設定している場合は、[終了]を選んで[実行]を 押しても電話を切ることができます。

履歴から電話をかける

1 ハンドルの[ ]オフフックスイッチを押す

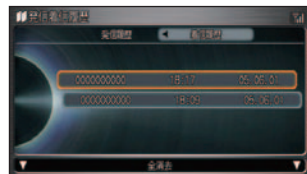
電話のメニューが表示されます。

お知らせ

- [メニュー]ボタンを押して[電話](簡単操作モードでは[電話をかける])を選び、[実行]を押しても電話のメニューが表示されます。→「電話帳を確認する」(P304)

2 [発信着信履歴]を選んで[実行]を押す

3 ジョイスティックを左右に倒して[発信履歴]または[着信履歴]を選ぶ

4 電話をかける履歴を選んで[実行]を押す

5 [発信] を選んで [実行] を押す

▼

通話が開始されます。

お知らせ

- ハンドルの [ ] オフフックスイッチを押すことでも通話が開始されます。

6 通話が終了したら、ハンドルの [ ] オンフックスイッチを押して、電話を切る

アドバイス

- 通話中画面表示を [する] に設定している場合は、[終了] を選んで [実行] を押しても電話を切ることができます。

履歴をアドレス帳に登録する

履歴の電話番号をアドレス帳 (→ P328) に登録すると、電話帳 (→ P303) で使用できるようになります。

1 簡単

[メニュー] ボタン ➔ [電話をかける] を選んで [実行] を押す

電話のメニューが表示されます。

標準

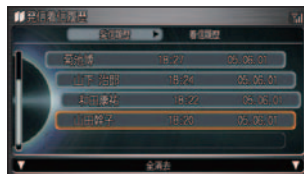
[メニュー] ボタン ➔ [電話] を選んで [実行] を押す

電話のメニューが表示されます。

2 [発信着信履歴] を選んで [実行] を押す

履歴のリストが表示されます。

3 ジョイスティックを左右に倒して [発信履歴] または [着信履歴] を選ぶ

4 登録したい履歴を選んで [実行] を押す

5 [新規追加] または [上書き追加] を選んで [実行] を押す

▼

つづく ➔

[新規追加] を選んだときは、アドレス帳登録画面が表示されます。
[上書き追加] を選んだときは、アドレス帳上書き追加画面が表示されます。

新規追加を選んだとき

[新規追加] を選んだ場合は、アドレス帳に新たにアドレスを追加して登録します。

アドレス帳登録画面を表示する

→ *「履歴をアドレス帳に登録する」(P309)*

各項目の内容を入力する

→ *「アドレスを登録する」(P328)*

ジョイスティックを下に倒して [入力完了] を選んで [実行] を押す

▼

履歴がアドレス帳に新たに登録されます。

上書き追加を選んだとき

[上書き追加] を選んだ場合は、アドレス帳ですでにあるアドレスに履歴の電話番号を上書きして登録します。

アドレス帳上書き追加画面を表示する

→ *「履歴をアドレス帳に登録する」(P309)*

上書きする登録者を選んで [実行] を押す

3

上書き追加したい電話番号の番号を選んで [実行] を押す

履歴がアドレス帳に上書きされて登録されます。

履歴を消去する

1

簡単

[メニュー] ボタン ➜[電話をかける] を選んで [実行] を押す

電話のメニューが表示されます。

標準

[メニュー] ボタン ➜[電話] を選んで [実行] を押す

電話のメニューが表示されます。

2 **[発信着信履歴] を選んで [実行] を押す**

履歴のリストが表示されます。

3 **ジョイスティックを左右に倒して [発信履歴] または [着信履歴] を選ぶ**

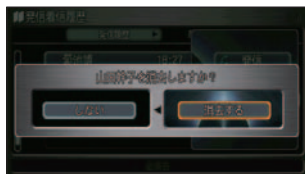
4 **消去する履歴を選んで [実行] を押す**

アドバイス

- 発信履歴または着信履歴を一括で消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して [全消去] を選び、[実行] を押します。

5 **[消去] を選んで [実行] を押す**

6 **ジョイスティックを右に倒して [消去する] を選び、[実行] を押す**

▼

選んだ履歴が消去されます。

地図に登録された電話番号にかける

地図上に登録された施設やマークに電話番号の情報がある場合は、その電話番号に電話をかけることができます。

■施設情報の画面から電話をかける

電話をかけたい施設を地図上で探して、電話をかけます。

1 **電話をかけたい施設にカーソルを合わせて [実行] を押す**

メニューが表示されます。

2 **[詳細情報] を選んで [実行] を押す**

つづく ➔

お知らせ

- 選んだ施設に複数の会社、店などがある場合、施設内にある店舗リストが表示されます、店舗を選んで [実行] を押してください。

3 [発信] を選んで [実行] を押す

▼

通話が開始されます。

お知らせ

- ハンドルの [ ] オフフックスイッチを押すことでも通話が開始されます。

通話が終了したら、ハンドルの [ ] オンフックスイッチを押して、電話を切る

アドバイス

- 通話中画面表示を [する] に設定している場合は、[終了] を選んで [実行] を押しても電話を切ることができます。

■マークリストから電話をかける 標準

標準操作モードでは、電話をかけたいマークの情報画面をマークリストから表示して、電話をかけます。

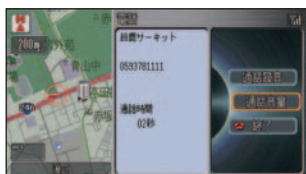
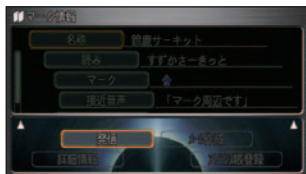
[目的地] ボタン ➔ [探し方 2] の [マークリスト] を選んで [実行] を押す

2 **電話をかけたいマークを選んで [実行] を押す**

3 **[マーク情報] を選んで [実行] を押す**

アドバイス

- [メニュー] ボタン→ [付加機能] → [データ編集] → [マークリスト] で電話をかけたいマークを選び、[マーク情報] を選んでもマーク情報画面が表示されます。

4 ジョイスティックを下に倒して［発信］を選び、［実行］を押す

▼

通話が開始されます。

お知らせ

- ハンドルの［ ］オフフックスイッチを押すことでも通話が開始されます。

5 通話が終了したら、ハンドルの［ ］オンフックスイッチを押して、電話を切る

アドバイス

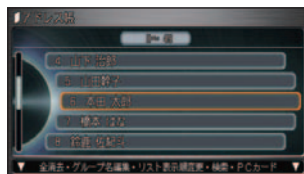
- 通話中画面表示を［する］に設定している場合は、［終了］を選んで［実行］を押しても電話を切ることができます。

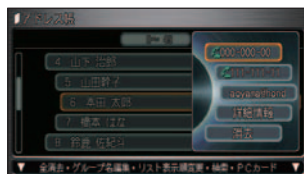
アドレス帳から電話をかける

アドレス帳画面からアドレスを選んで、電話をかけることができます。

1 アドレス帳を表示する

→「アドレス帳を表示する」(P328)

2 電話をかけたい相手を選んで［実行］を押す

3 電話をかける電話番号を選んで［実行］を押す

▼

通話が開始されます。

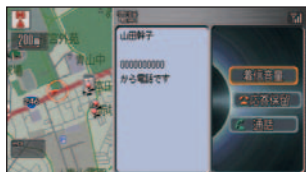
4 通話が終了したら、ハンドルの［ ］オンフックスイッチを押して、電話を切る

アドバイス

- 通話中画面表示を［する］に設定している場合は、［終了］を選んで［実行］を押しても電話を切ることができます。

電話を受ける

■電話がかかってくると

着信音が鳴り、通話中画面が表示されます。

通話中の画面表示を [する] に設定する場合
→ *「電話の設定をする」(P301)*

お知らせ

- 通話中画面表示を [しない] に設定している場合、電話の着信を案内するメッセージが表示されます。
- 電話帳に登録されている電話からかかってきたときは、登録されている名称が表示されます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によって、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されない場合があります。
- 自動着信を [する] に設定している場合は、着信してから約 5 秒で自動的に通話中になります。
→ *「電話の設定をする」(P301)*

■かかってきた電話に出るには

1 **ハンドルの [ ] オフフックスイッチを押す**

▼

通話が開始されます。

お知らせ

- 通話中画面表示を [しない] に設定している場合、または地図画面を表示している場合、通話中は画面左に が表示されます。

アドバイス

- 通話中画面表示を [する] に設定している場合、電話がかかってくると次の操作ができます。
  - [着信音量]
    着信音の大きさを調節します。
    → *「通話音量 / 着信音量を調節する」(P302)*
  - [応答保留]
    応答を保留にします。
    → *「応答保留するには」(P315)*
  - [通話]
    電話に出ます。

  また、通話中には次の操作ができます。
  - [通話録音]
    通話内容を約 30 秒録音します。
    → *「通話録音するには」(P315)*
  - [通話音量]
    相手の声の大きさを調節します。
    → *「通話音量 / 着信音量を調節する」(P302)*
  - [終了]
    電話を切ります。

2 通話が終了したら、ハンドルの [☎] オンフックスイッチを押して、電話を切る

アドバイス
- 通話中画面表示を [する] に設定している場合は、[終了] を選んで [実行] を押しても電話を切ることができます。

■応答保留するには

1 ハンドルの [☎] オンフックスイッチを押す

▼

応答保留になります。

アドバイス
- 通話中画面表示を [する] に設定している場合は、[応答保留] を選んで [実行] を押しても応答保留にすることができます。

2 応答保留中の電話に出るには、ハンドルの [☎] オフフックスイッチを押す

アドバイス
- 通話中画面表示を [する] に設定している場合は、[通話] を選んで [実行] を押しても電話に出ることができます。

■通話録音するには

通話中画面表示に [通話録音] が表示され、通話内容を音声メモに録音できます。

お知らせ
- 通話中画面表示を [する] に設定しておく必要があります。
  → *「電話の設定をする」(P301)*
- 再生は音声メモより行います。
  → *「音声メモを再生する」(P349)*

1 通話中画面表示から [通話録音] を選び、[実行] を押す

▼

録音中は「録音中」と表示されます。録音が終了すると、通常の通話中画面表示に戻ります。

お知らせ
- 録音は約 30 秒経つと自動的に止まります。また録音中に [録音停止] を選んで [実行] を押すと録音が停止します。

■割込通話

通話中に別の人から電話がかかってくると、「キャッチホンがかかっています」というメッセージが画面に表示されます。

相手を切り換えて、話すことができます。

お知らせ

- 割込通話を利用するには、接続する携帯電話が割込通話サービスに加入している必要があります。
- Bluetooth 対応の携帯電話の場合は、割込通話が使用できないことがあります。

1 **「キャッチホンがかかっています」というメッセージが画面に表示されているときに、ハンドルの [ ] オフフックスイッチを押す**

通話中だった相手を保留にして、別の相手に切り換わります。

お知らせ

- もう一度 [ ] オフフックスイッチを押すと、もとの通話者に切り換わります。
- 携帯電話または電話会社によって、[ ] オンフックスイッチを押したときの動作は、次の 3 つの内のどれかになります。
  ①両方の通話とも終了する
  ②通話中の相手が終了し、新しくかかってきた方は保留になる。
  ③通話中の相手が終了し、新しくかかってきた方が通話になる。
  お使いの携帯電話の動作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

QQ コールを利用する

ドライブ中に不意のトラブルにあったときなど、QQ コールに電話をかけて必要な処置を聞いたり手配を頼んだりできます。

お知らせ

- QQ コール (有料サービス) を使うには、Honda 販売店での申込みと Honda インターナビシステムの設定が必要です。
- QQ コールについて詳しくは Honda 販売店にお問い合わせいただくか、インターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
  ホームページアドレス：
  http://www.premium-club.jp/

1

簡単

[メニュー] ボタン ➜[電話をかける] を選んで [実行] を押す

電話のメニューが表示されます。

標準

[メニュー] ボタン ➜[電話] を選んで [実行] を押す

電話のメニューが表示されます。

2 **[QQ コール] を選んで [実行] を押す**

QQ コールに電話がかかります。オペレーターとお話しください。

お知らせ

- 通話中画面の [マップコード読上] を選んで [実行] を押すと、自動的にマップコードを読み上げて自車位置を QQ コールセンターに伝えることができます。

アドバイス

- 携帯電話が接続されていない場合には、画面に QQ コールの電話番号と現在地のマップコードが表示されます。お近くの電話から QQ コールに電話をかけ、マップコードをお伝えください。

緊急連絡先に電話する

緊急連絡先として登録されている Honda 販売店「My ディーラー」や保険会社、ロードサービスに電話をかけることができます。

お知らせ

- [My ディーラー] の連絡先はパーソナル・ホームページと同期を行うと Honda インターナビシステムに送られます。パーソナル・ホームページで連絡先を変更した場合は、再度、同期を行ってください。
  → *「カーカルテの登録情報をパーソナル・ホームページと同期する」(P267)*
- パーソナル・ホームページとは、インターナビ・プレミアムクラブが提供するパソコン・携帯電話向けサービスです。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」*の*「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→ P224)*
- [任意保険] と [ロードサービス] は、あらかじめ電話番号を登録しておく必要があります。
  → *「緊急連絡先を設定する」(P275)*

1

簡単

[メニュー] ボタン ➜[電話をかける] を選んで [実行] を押す

電話のメニューが表示されます。

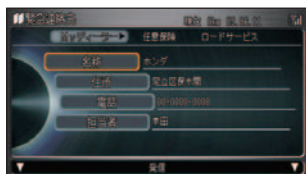
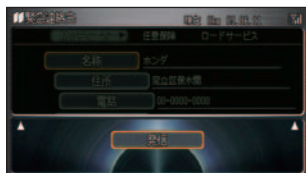
標準

[メニュー] ボタン ➜[電話] を選んで [実行] を押す

電話のメニューが表示されます。

つづく ➜

2 ジョイスティックを下に倒して［緊急連絡先］を選び、［実行］を押す

3 ジョイスティックを左右に倒して［My ディーラー］または［任意保険］、［ロードサービス］を選ぶ

4 ジョイスティックを下に倒して［発信］を選び、［実行］を押す

5 ジョイスティックを右に倒して［電話する］を選び［実行］を押す

▼

選んだ緊急連絡先に電話がかかります。

ロードサービスを利用する

ドライブ中に車が故障したり、トラブルなどにあったときは、最寄りの JAF やカーレスキュー 70 のロードサービスに電話をかけることができます。

お知らせ

- 「カーレスキュー 70」は翼システム株式会社が運営するロードサービスです。

1 簡単

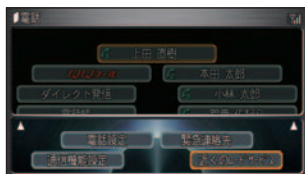
［メニュー］ボタン ➜［電話をかける］を選んで［実行］を押す

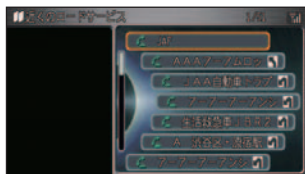
電話のメニューが表示されます。

標準

［メニュー］ボタン ➜［電話］を選んで［実行］を押す

電話のメニューが表示されます。

2 ジョイスティックを下に倒して［近くのロードサービス］を選び、［実行］を押す

3 利用したいロードサービスを選んで［実行］を押す

▼

選んだロードサービスに電話がかかります。

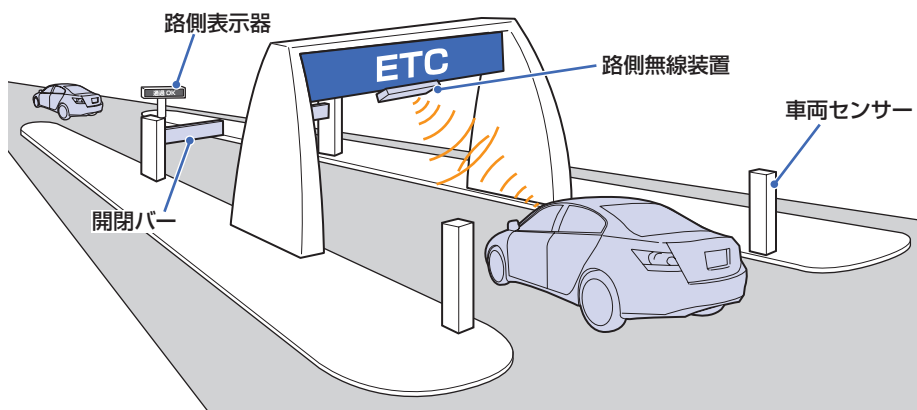
ETC を使う

ETC について

ETC(Electronic Toll Collection System の略) とは、自動料金収受システムのことです。
有料道路の料金所で行われている現金や回数券、カードの手渡しによる料金支払いに代わる新しい料金支払いシステムです。

ETC® は財団法人道路システム高度化推進機構 (ORSE) の登録商標です。

自動料金収受システムのしくみ

料金所に設置されている路側アンテナと車に装着されている ETC 車載器との間で無線通信を行い、料金情報をやりとりします。支払いを自動的に行うため、料金所では車を停めることなくスムーズに通過することができます。

ETC をご利用いただくには

ETC は､ETC 車載器のセットアップと事前にクレジット会社が発行する ETC カードをご用意いただく必要があります。ETC カードを所有している場合には、車種を問わずにご利用いただけます。ご用意いただいた ETC カードをセットアップした ETC 車載器に挿入することでご利用いただけます。

ETC カードの取り扱いについては、ETC カード発行会社の提示する注意事項に従ってください。初めて ETC システムを使うときは、セットアップする必要があります。詳しくは Honda 販売店にご相談ください。

ETC を利用する前に 簡単 標準

ETC を正しく使用していただくために以下のことに注意してください。

⚠ 注意

安全のため、運転者は走行中に ETC カードの抜き差しおよび本機の操作を行わないでください。
前方不注意などにより、思わぬ事故につながる恐れがあります。

お願い

- ETC 車載器のアンテナ上に物を置かないでください。ETC のアンテナはインストルメントパネルの中央裏側にあります。
- ナンバープレートの変更や車検証の記載が変更になった場合は、ETC 車載器の変更手続きが必要となりますので Honda 販売店にご相談ください。

■乗車前の注意と確認

お願い

- ETC カードを ETC 車載器に確実に挿入し、正常に動作することを確認してください。
- ETCカードの有効期限を確認してください。(有効期限が切れていてもエラー表示されません。)

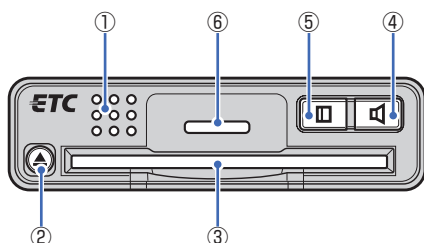
■料金所を通過するときの注意

⚠ 注意

- 本機は ETC レーンのある方向を案内しますが、必ず実際の状況に従って走行してください。
- 十分な車間距離を取って、時速 20km 以下の安全な速度で通過してください。
- 開閉バーの動作や前車の急停車等に注意してください。

ETC の使いかた

ETC 車載器は、ハンドル右下にあるポケットの中に設置されています。
詳しくは車両本体の取扱説明書をご覧ください。

ETC 車載器の各部の名称

① **スピーカー**
　ETC に関する内容を音声で案内します。

② **[⏏] ボタン**
　ETC カードを取り出すときに使用します。

③ **カードスロット**
　ETC カードを挿入します。

④ **[🔈] ボタン**
　スピーカーの音量を調節します。

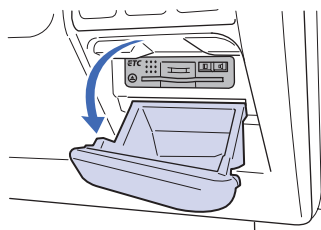
⑤ **[◫] ボタン**
　押すたびに ETC の利用履歴を音声で確認することができます。*(→ P325)*
　画面で確認したいときは、*「履歴を画面で確認する」(→ P326)* を参照してください。

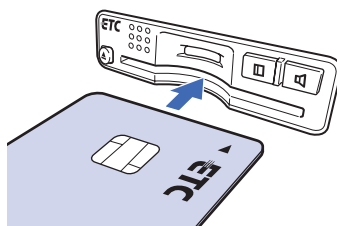
⑥ **LED ランプ**
　ETC 車載器の動作状態を確認できます。
　「緑」: 正常
　「緑」(点滅表示) : 未セットアップ
　「橙」: 何らかの異常 (カード未挿入等)

ETC カードを入れる / 取り出す

ETC 車載器に ETC カードを挿入する方法、取り出す方法を説明します。

■ETC カードを入れる

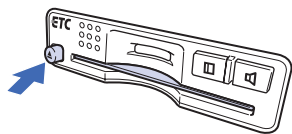
1 パネルを開ける

2 金属端子 (IC チップ) が上になるように ETC カードを差し込む

▼

ETC カードの読み込みが正常に完了すれば、ETC 車載器の LED ランプが緑になり、画面にメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示されたときは *「エラーメッセージと対処方法」(→ P509)* を参照してください。

3 パネルを閉める

■ETC カードを取り出す

 パネルを開ける

 [⏏] ボタンを押して ETC カードを取り出す

お知らせ

- ETC カードが残ったままエンジンスイッチを“0”にすると ETC 車載器のスピーカーから「ETC カードが残っています」と案内します。
- ETC カードはクレジットの一種ですので、車内に残したまま降車しないでください。

3 パネルを閉める

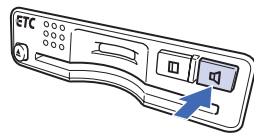
- 車から離れるときは、ETC カードを車内に放置しないでください。故障、変形、盗難のおそれがあります。

スピーカーの音量を調節する

音声案内の音量を 4 段階で調節することができます。

 パネルを開ける

 [🔈] ボタンを押す

▼

[🔈] ボタンを押すたびに ETC 車載器のスピーカー音量が変わります。このとき、調節した音量は「1 番」「2 番」・・・と音声で案内されます。

3 パネルを閉める

音量について

番号	音声案内	音量
0 番	ピッ！	消音
1 番	イチバン	小
2 番	ニバン	中
3 番	サンバン	大

お知らせ

- 工場出荷時の番号は「2 番」となります。

使う通信機能を
カードを使う
ハンズフリー電話を使う
ETCを使う
便利な機能
オーディオテレビ
サウンドコンテナ
その他
困ったときの手引き
機能設定一覧
索引

ETC カードの未挿入 / 抜き忘れ案内について

ETC 車載器がセットアップされていれば、ETC カードの状態によって以下の案内をします。
また、モードを切り換えることによって ETC 車載器からの音声案内を設定することができます。

ETC カードが未挿入のとき

エンジンスイッチを“I”または“II”にしたとき、ETC 車載器に ETC カードが挿入されていない場合、ETC 車載器のスピーカーから「ピッ！ETC カードを入れてください」と案内します。
また、Honda インターナビシステム起動後、画面に「ETC カードが挿入されていません」と案内します。

お知らせ

- 画面に表示される ETC 案内は [する]/[しない] を選ぶことができます。

ETC カードを抜き忘れていたとき

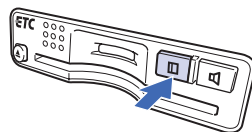
ETC 車載器に ETC カードが挿入されている状態で、エンジンスイッチを“0”にすると、ETC 車載器のスピーカーから「ピー！ETC カードが残っています」と案内します。

■ETC カード未挿入 / 抜き忘れ案内を ON/OFF する

音声案内のモードを 4 段階で切り換えることができます。

1 パネルを開ける

2 ETC カードが挿入されていない状態で、[◫] ボタンを押し続ける

▼

「○番」と現在のモード番号を音声で案内します。

3 音声案内後、2 秒以内に [◫] ボタンを押す

モードが切り換わり、切り換わったモード番号を音声で案内します。
続けて [◫] ボタンを押すたびに「1 番」「2 番」・・・とモードが切り換わっていきます。

4 パネルを閉める

モードについて

モード番号	カード 未挿入案内	カード 抜き忘れ案内
1	ON	ON
2	ON	OFF
3	OFF	ON
4	OFF	OFF

お知らせ

- 工場出荷時のモード番号は「1 番」となります。

料金所通過のしかた

料金所に近づいてから、通過までの一例を説明します。

料金所から約 1km まで近づくと

料金および ETC レーンのある方向を案内します。

▼

料金所のアンテナを通過すると

状態および利用料金を案内します。

履歴を確認する

ETC の利用履歴を確認する方法には音声で確認する方法と画面で確認する方法の 2 種類があります。

■確認できる履歴内容について

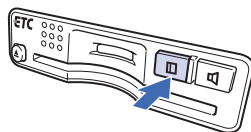
音声	画面	内容
○	○	利用日
×	○	利用区間
○	○	利用料金

■履歴を音声で確認する 簡単 標準

ETC 車載器のスピーカーから音声で履歴の内容を確認することができます。

1 パネルを開ける

2 ETC カードが挿入されている状態で、[冂] ボタンを押す

▼

一番最近の利用履歴を音声で案内します。

[冂] ボタンを押すたびに、最近の履歴から古い履歴へと確認することができます。

3 パネルを閉める

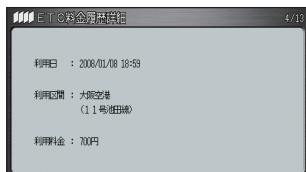
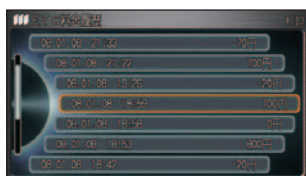
■履歴を画面で確認する 標準

1 ［メニュー］ボタン➜［付加機能］を選んで［実行］を押す

2 ［各種情報］を選んで［実行］を押す

3 [ETC 料金履歴］を選んで［実行］を押す

4 ジョイスティックで確認したい履歴を選び、［実行］を押す

▼

利用履歴の詳細を確認できます。

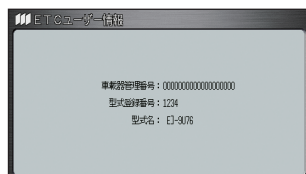
車載器管理番号を確認する 標準

セットアップする際に必要な情報を確認することができます。

1 ［メニュー］ボタン➜［付加機能］を選んで［実行］を押す

2 ［各種情報］を選んで［実行］を押す

3 [ETC ユーザー情報］を選んで［実行］を押す

▼

情報が表示されます。

便利な機能

アドレス帳を登録 / 編集する

頻繁にメールを送る相手のメールアドレスや電話をかける相手の電話番号はアドレス帳に登録しておくと、メール作成時の宛先入力や電話をかけるときの番号入力が簡単にできます。

お知らせ

- アドレス帳にはシークレットモードが設定できます。シークレットモードを設定するとアドレス帳は、メニュー画面から選択できなくなります。
  → *「シークレットモードを使う」(P351)*

アドバイス

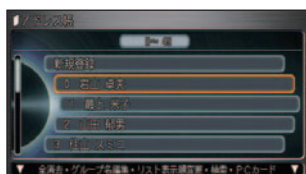
- アドレス帳は名前順、メモリー番号順、グループ番号順に並び換えることができます。→ *「アドレス帳のリストを並び換える」(P330)*
- ジョイスティックを左右に倒すと「あ、い、う・・・(名前順)」、「0～49、50～99・・・(メモリー番号順)」または「Gr1、Gr2･･･(グループ番号順)」とリストを切り換えることができます。

アドレス帳を表示する

[メニュー] ボタン ➜[アドレス帳] を選んで [実行] を押す

簡単

標準

▼

アドレス帳が表示されます。

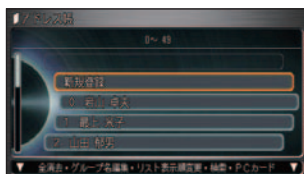
アドレスを登録する

アドレス帳に名前、読み、電話番号 (最大 3 件)、メールアドレス (最大 2 件)、グループ番号を登録することができます。

お知らせ

- アドレス帳には最大 1000 件のデータを登録することができます。
- 携帯電話の電話帳を読み込んでアドレス帳に登録することもできます。
  → *「携帯電話の電話帳を読み込む」(P303)*

1 アドレス帳を表示する

2 [新規登録] を選んで [実行] を押す

3 項目を選んで [実行] を押す

お知らせ

- [読み]を入力しているとメニュー音声読み上げ(→ P193)時に使用されます。
- [電話番号種別○]または[メール種別○]を選んで[実行]を押すと、[自宅]、[携帯]、[職場]、[その他]から種別を選ぶことができます。

4 項目の内容を入力する

→「文字入力のしかた」(P42)

5 [完了] を選んで [実行] を押す

6 手順３～５を繰り返し、必要な項目を設定する

7 ジョイスティックを下に倒して [入力完了] を選び、[実行] を押す

▼

アドレス帳の登録が完了します。

お知らせ

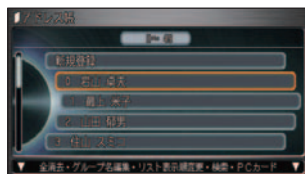
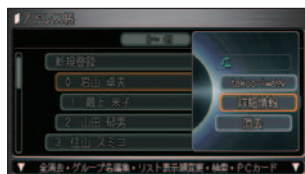
- 編集項目でグループの番号を選ぶと、アドレスをグループで管理することができます。グループは 00 ～ 19 の計 20 個まで管理することができます。また、グループ名を編集することができます。→「グループ名を編集する」(P331)
- PC カードに保存されたアドレスのデータを読み込むことができます。→「PC カードからアドレス帳を読み込む」(P333)

アドレスを編集する

登録済みのアドレスを編集 / 消去することができます。

1 アドレス帳を表示する

→「アドレス帳を表示する」(P328)

2 編集したいアドレスを選んで [実行] を押す

3 [詳細情報] を選んで [実行] を押す

つづく →

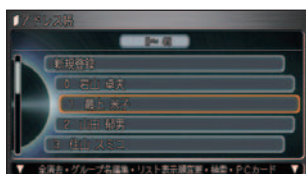
▼

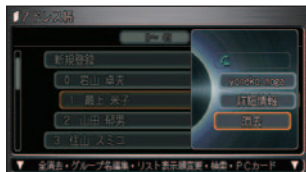
アドレス詳細情報画面が表示されます。以降の操作手順は、*「アドレスを登録する」(→ P328)* の手順 3 以降と同様に行います。

アドレスを消去する

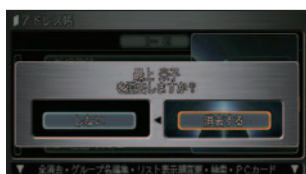
1 **アドレス帳を表示する**

→「アドレス帳を表示する」(P328)

2 **消去するアドレスを選んで [実行] を押す**

アドバイス

- アドレス帳のアドレスを一括で消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して [全消去] を選び、[実行] を押します。

3 **[消去] を選んで [実行] を押す**

4 **ジョイスティックを右に倒して [消去する] を選び、[実行] を押す**

▼

選んだアドレスが消去されます。

アドレス帳のリストを並び換える

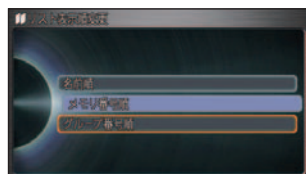
アドレス帳のリストを名前順、メモリー番号順、グループ番号順に切り換えることができます。

1 **アドレス帳を表示する**

→「アドレス帳を表示する」(P328)

2 **ジョイスティックを下に倒して [リスト表示順変更] を選び、[実行] を押す**

3 **切り換えたい順序を選んで [実行] を押す**

▼

アドレス帳のリストが選んだ順序に切り換わります。

お知らせ

- 携帯電話の電話帳を読み込んだとき、グループ番号が 20 番以降のアドレスは、グループ番号順で表示すると " ＊ " で管理されます。
- 「 読み 」が入力されていないアドレスは名前順で表示すると " ＊ " で管理されます。

グループ名を編集する

グループ名を編集することができます。

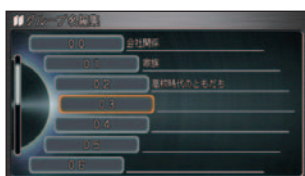
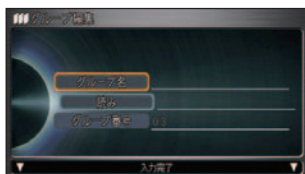
1 **アドレス帳を表示する**

→「アドレス帳を表示する」(P328)

2 **ジョイスティックを下に倒して [グループ名編集] を選び、[実行] を押す**

▼

グループのリストが表示されます。

3 **変更したいグループの番号を選んで [実行] を押す**

4 **[グループ名] または [読み] を選んで [実行] を押す**

5 **グループ名または読みを入力する**

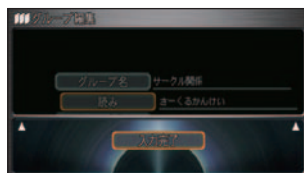
→「文字入力のしかた」(P42)

お知らせ

- [読み] を入力しているとメニュー音声読み上げ (→ P193) 時に使用されます。

6 **[完了] を選んで [実行] を押す**

7 **ジョイスティックを下に倒して [入力完了] を選び、[実行] を押す**

▼

グループ名の編集が完了します。

アドレスを検索する

すでに登録したアドレスをすばやく探すことができます。

アドレス帳からメールを作成したり (→ P260)、電話をかけたり (→ P313) するときに便利です。

1 **アドレス帳を表示する**

→「アドレス帳を表示する」(P328)

2 **ジョイスティックを下に倒して [検索] を選び、[実行] を押す**

つづく →

3 探しているアドレスで覚えている項目を選んで［実行］を押す

お知らせ

- 表示された項目の中から入力できるもの（覚えているもの）を選んでください。

4 選んだ項目の内容を入力する

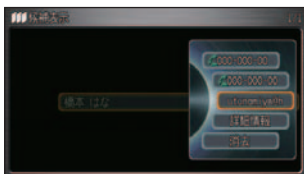
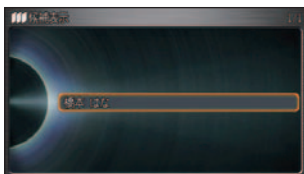
→ *「文字入力のしかた」（P42）*

5 ［完了］を選んで［実行］を押す

▼

検索が開始され、入力した項目に該当するアドレスのリストが表示されます。

6 探しているアドレスを選んで［実行］を押す

▼

アドレスのメニューが表示されます。

お知らせ

- メールを作成する場合は、メールアドレスを選んで［実行］を押すと、メール作成画面が表示されます。→ *「アドレス帳からメールを作成するとき」（P260）*
- 電話をかける場合は、電話番号を選んで［実行］を押すと、電話をかけることができます。→ *「アドレス帳から電話をかける」（P313）*
- アドレスを編集する場合や詳細な内容を確認するときは、［詳細情報］を選んで［実行］を押します。→ *「アドレスを編集する」（P329）*
- アドレスを消去する場合は、［消去］を選んで［実行］を押します。→ *「アドレスを消去する」（P330）*

PC カードからアドレス帳を読み込む

あらかじめ PC カードに保存されたアドレスのデータをアドレス帳に読み込むことができます。

お知らせ

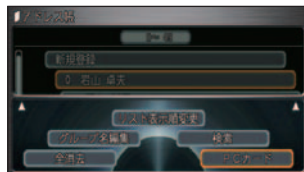
- PC カードの接続方法や利用方法について詳しくは、*「カードを接続する」(→ P288)* を参照してください。
- あらかじめご自宅のパソコンなどから vCard 形式でデータを PC カードに保存しておく必要があります。
- 電話番号は最大 3 件、メールアドレスは最大 2 件まで読み込むことができます。
- 住所録やメールのソフトによっては、アドレス帳で正しく表示されない場合があります。

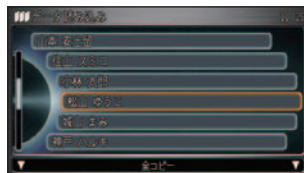
vCard 形式について

- vCard 形式とは、名刺データを扱うための共通フォーマットで Honda インターナビシステムでは、Ver.2.1 および Ver.3.0 に対応しています。
- ご自宅のパソコンで vCard 対応のメールソフトや住所録のソフトがあれば、その中のデータを vCard 形式に書き出し (エクスポート)、そのファイルを PC カードに保存すればアドレス帳に読み込むことができます。
- PC カード内のフォルダ (ディレクトリ) は 8 階層 (ルートディレクトリ含む) まで認識できます。

1 アドレス帳を表示する

→ *「アドレス帳を表示する」(P328)*

2 ジョイスティックを下に倒して [PC カード] を選び、[実行] を押す

3 [データ読み込み] を選んで [実行] を押す

4 読み込みたいアドレスを選んで [実行] を押す

お知らせ

- PC カード内のすべてのアドレスを読み込む場合は、ジョイスティックを下に倒して [全コピー] を選び、[実行] を押します。

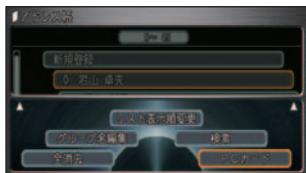
選んだアドレスがアドレス帳に保存されます。

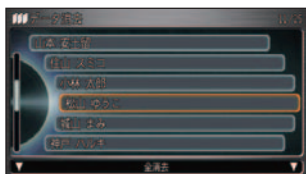
■PC カードのアドレスを消去する

PC カード内のアドレス帳のデータを選んで消去します。また、PC カード内のすべてのアドレスを一括して消去することもできます。

アドレス帳を表示する

→「アドレス帳を表示する」(P328)

ジョイスティックを下に倒して [PC カード] を選び、[実行] を押す

[データ消去] を選んで [実行] を押す

4 消去したいアドレスを選んで [実行] を押す

お知らせ

- PC カード内のすべてのアドレスを消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して [全消去] を選び、[実行] を押します。

5 ジョイスティックを右に倒して [消去する] を選び、[実行] を押す

PC カード内の選んだアドレスが消去されます。

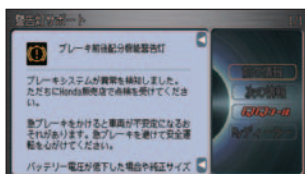
警告灯サポート 簡単 標準

車両の異常を検知してメーターの警告灯が点灯したときに、ナビゲーション画面にメッセージを表示して警告灯がついたことを知らせ、対処方法を案内します。
画面に表示されるメニューから、QQ コールまたは My ディーラーに電話をかけることができます。

お知らせ

- 携帯電話が接続されていない場合には、QQ コールまたは My ディーラーに電話をかける機能は使えません。電話番号がテロップ表示されます。
- [警告灯メッセージ表示] は、[する]/[しない] を選ぶことができます。(標準操作モードのみ) →「機能設定」(P194)
- QQ コール、My ディーラーでお客様とのやり取りをスムーズにするために、発生した警告灯の情報をインターナビ情報センターに自動的に送信します。
  インターナビ情報センターへの送信は、[する]/[しない] を選ぶことができます。(標準操作モードのみ)
  →「機能設定」(P194)

メッセージを確認する

警告灯が点灯すると、自動的にナビ画面に警告灯サポート画面が表示され、警告灯の名称と対処方法が確認できます。

お知らせ

- 警告灯サポート画面は、約 15 秒間表示されます。
- 複数の警告がある場合は、[次の情報]、[前の情報] を選んで [実行] を押すと、次または前の情報を確認することができます。
- 対処方法の案内文をスクロールするときは、ジョイスティックを左に倒し、コマンドホイールを回してください。
- 警告灯サポート画面を再び表示させる場合は、ハンドルのインフォメーションスイッチを押します。

QQ コールに電話する

1 **警告灯サポート画面で [QQ コール] を選び、[実行] を押す**

QQ コールに電話がかかります。
→「QQ コールを利用する」(P316)

My ディーラーに電話する

1 **警告灯サポート画面で [My ディーラー] を選び、[実行] を押す**

My ディーラーに電話がかかります。
→「緊急連絡先に電話する」(P317)

画像を確認する

よく行く地点やマークに登録した画面、インターナビ情報センターから取得した画像や壁紙用の画像など、ハードディスクや PC カードの画像データを確認することができます。また、画像データを消去することもできます。

お知らせ

- 確認できる画像のファイル形式は、BMP(.bmp)、JPEG(.jpg) です。
- プログレッシブ方式の JPEG ファイルには対応していません。
- 確認できる画像データは、もとの大きさが JPEG で 2048 × 1536 ドット、BMP で 488 × 240 ドットまでです。
- 1 つあたり 2MB 以上のファイルは認識されません。
- 大きな画像を画面表示する際には、縮小して表示されます。
- デジタルカメラなどで撮影した画像を確認するには、画像が保存されている PC カードをナビゲーションシステム本体にセットしてください。
- 文字数は、拡張子を含めて半角で 243 文字です。「ファイル名 +(.bmp、.jpg)」の名前が、画像データのリストに表示されます。
- ハードディスク内に保存できる画像ファイルは最大で 200 個 (Honda ナビゲーション、星空を除き) です。
- Honda インターナビシステムで表示できる PC カード内の画像ファイルは最大で 200 個です。200 個を超えると PC カード内の画像ファイルがリスト表示されません。

お知らせ

- PC カード内のフォルダ (ディレクトリ) は 8 階層 (ルートディレクトリを含む) まで認識できます。
- 画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- PC カードの接続方法や利用方法について詳しくは、*「カードを接続する」(→ P288)*を参照してください。

画像を確認する

1 **[メニュー] ボタン ➜ [付加機能] を選んで [実行] を押す**

2 **[壁紙設定] を選んで [実行] を押す**

画像データのリスト画面が表示されます。

 お知らせ

- リストには、ハードディスク内の画像のあとに PC カード内の画像が表示されます。

3 見たい画像を選んで [実行] を押す

※ 壁紙の画像はサンプルのため、実車とは異なります。

4 [画像確認] を選んで [実行] を押す

▼

選んだ画像が表示されます。

画像を保存する

PC カード内の画像をハードディスクに、ハードディスク内の画像を PC カードに保存することができます。

お知らせ

- PC カードをナビゲーションシステム本体に接続しておく必要があります。
→ *「カードを接続する」(P288)*

1 画像データのリスト画面で保存したい画像を選んで [実行] を押す

→ *「画像を確認する」(P336)*
PC カード内にある画像を選んだときは、ハードディスクに保存されます。ハードディスク内にある画像を選んだときは PC カードに保存されます。

2 [画像確認] を選んで [実行] を押す

3 ジョイスティックを下に倒して [画像保存] を選び、[実行] を押す

▼

選んだ画像が保存されます。

選んだ画像を壁紙に設定する

選んだ画像を壁紙に設定することができます。

1 画像データのリスト画面で壁紙に設定したい画像を選んで [実行] を押す

→ *「画像を確認する」(P336)*

2 [壁紙セット] を選んで [実行] を押す

▼

壁紙が設定されます。

 お知らせ

- PC カード内の画像データを選んでいた場合は、[壁紙セット] と同時にハードディスク内にその画像が保存されます。

アドバイス

- [画面] ボタン→ [画面消] →ジョイスティックを下に倒して [壁紙設定] からでも同様に壁紙を設定することができます。

画像を消去する

画像を選んで消去できます。PC カード内の画像も消去することができます。

お知らせ

- [Honda ナビゲーション] と [星空] の画像は消去することができません。

1 画像データのリスト画面で消去したい画像を選んで [実行] を押す

→ *「画像を確認する」(P336)*

アドバイス

- リスト内のすべての画像を消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して [全消去] を選び [実行] を押します。

2 [消去] を選んで [実行] を押す

3 ジョイスティックを右に倒して [消去する] を選び、[実行] を押す

▼

選んだ画像が消去されます。

スケジュールを使う 標準

カレンダーにスケジュールを設定して、指定した時刻に、指定した操作を実行させることができます。
スケジュールでは、次の操作を指定できます。

- 目的地を設定する
- 周辺施設を検索する
- メッセージを表示する
- 音声メモを再生する
- ラジオ (FM/AM) を聞く
- DVD/CD/MP3/WMA を再生する
- サウンドコンテナを再生する
- スケジュールリストから選ぶ

お願い

- オーディオのスケジュールが実行されると、大きな音量で音楽が再生されることがあります。音量設定にご注意ください。

お知らせ

- 2054 年 12 月 31 日までのスケジュールを作成できます。
- 最大 100 件までスケジュールを作成できます。

スケジュールを作成する

ここでは、例として指定した時刻にメッセージを表示する方法を説明します。

1 [メニュー] ボタン➔[付加機能] を選んで [実行] を押す

2 [スケジュール設定] を選んで [実行] を押す

3 スケジュールを設定したい日付を選んで [実行] を押す

プログレッシブコマンダーを次のように操作します。

倒す	左 / 右	前 / 次の日へ
	上 / 下	前 / 後の週へ
回す	左	前の日へ
	右	次の日へ

つづく ➔

通信機能を使う
カードを使う
ハンズフリー電話を使う
ETCを使う
便利な機能
オーディオ・テレビ
サウンドコンテナ
その他
困ったときの手引き
機能設定一覧
索引

お知らせ

- 本日の日付は、緑色の枠で囲まれます。
- [前月]、[今月]、[次月] を選んで [実行] を押すと、月送りされます。
- スケジュールが設定されている日付は色が変わります。その日を選ぶと、スケジュールの項目が表示されます。
- スケジュールを追加する場合は、[新規作成] を選んで [実行] を押し、手順 4 に進んでください。

4 スケジュールの実行時刻を [時間指定] または [起動時] から選んで [実行] を押す

[時間指定]	指定した時刻にスケジュールを実行させることができます。
[起動時]	指定した日の最初にエンジンスイッチを“I”または“II”にしたときにスケジュールを実行させることができます。 [起動時] を選んで、[実行] を押した場合は、手順 7 に進みます。

5 スケジュールの実行時刻を 24 時間制で入力する

→ *「文字入力のしかた」(P42)*

[○○時○○分] または
[○○時○○分～○○時○○分] と入力します。

お知らせ

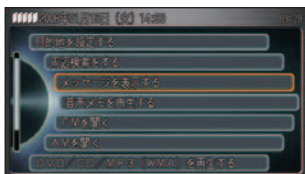
- 設定済みのスケジュールと同じ時刻を入力したときは、最後に設定したスケジュールが実行されます。

6 [完了] を選んで [実行] を押す

7 スケジュールを設定したい周期を選んで [実行] を押す

[毎日]、[当日のみ]、[毎週]、[毎月]、[毎年] から選べます。

[毎日]	毎日、同じ時刻に指定した機能を実行します。
[当日のみ]	当日のみ、設定した時刻に指定した機能を実行します。
[毎週]	毎週、同じ曜日の同じ時刻に指定した機能を実行します。
[毎月]	毎月、同じ日付の同じ時刻に指定した機能を実行します。
[毎年]	毎年、同じ日付の同じ時刻に指定した機能を実行します。

8 [メッセージを表示する] を選んで [実行] を押す

[メッセージを表示する] 以外のイベントについては、*「その他のイベントについて」*（→ *P342*）を参照してください。

9 [新規作成] を選んで [実行] を押す

お知らせ

- 登録済みのメッセージを編集する場合は、編集したいメッセージを選んで [実行] を押します。
次に、[編集] を選んで [実行] を押します。

10 メッセージを入力する

→ *「文字入力のしかた」（P42）*

お知らせ

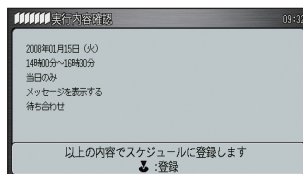
- メッセージは全角で 16 文字 (半角で 32 文字) まで入力できます。
- メッセージは 20 件まで登録できます。20 件を超えて登録しようとすると、一番古いメッセージの消去を確認する画面が表示されます。

11 [完了] を選んで、[実行] を押す

▼

設定内容を確認する画面が表示されます。

12 内容を確認して [実行] を押す

▼

スケジュールが登録され、カレンダーに戻ります。

スケジュールが設定された日の色が変わります。

その他のイベントについて

[メッセージを表示する] 以外の項目を選んだときは、次表の *「以降の操作」* に従ってください。

イベント項目	内容	以降の操作
[目的地を設定する]	指定した時刻に、目的地を設定することができます。	目的地設定をすると、設定内容を確認する画面が表示されます。 → *「場所を探す」(P92)*
[周辺検索をする]	指定した時刻に、自車位置周辺の施設を検索することができます。	探したい施設を指定すると、設定内容を確認する画面が表示されます。 → *「場所を探す」(P92)*
[音声メモを再生する]	指定した時刻に、設定した音声メモを再生することができます。	音声メモを指定すると、設定内容を確認する画面が表示されます。
[FM を聞く]	指定した時刻に、設定した放送局の放送を受信することができます。	放送局を指定すると、設定内容を確認する画面が表示されます。
[AM を聞く]	指定した時刻に、設定した放送局の放送を受信することができます。	放送局を指定すると、設定内容を確認する画面が表示されます。
[DVD/CD/MP3(WMA) を再生する]	指定した時刻にセットしたディスクを再生することができます。 ディスクが挿入されていないときは実行されません。	設定内容を確認する画面が表示されます。
[サウンドコンテナを再生する]	指定した時刻に、設定したサウンドコンテナのプレイリストを再生することができます。	プレイリストを指定すると、設定内容を確認する画面が表示されます。
[スケジュールリストから選ぶ]	指定した時刻に、設定したスケジュールの項目を実行することができます。	スケジュールリストが表示されます。スケジュールを選ぶと設定内容を確認する画面が表示されます。

スケジュール実行時の確認画面

スケジュールを実行する時刻になると、次のような確認のメッセージが表示されます。

メッセージに従って操作してください。

お知らせ

- スケジュールが重複した場合は、最後に設定したスケジュールが実行されます。
- その日に実行できなかったスケジュールがあると当日中は マークが地図左側に表示されます。(次の日になるとマークは消えます。)
- 指定期日にエンジンスイッチが"I"または"II"になっていないなど、Honda インターナビシステムがスケジュールを実行できない状態になっていた場合は実行されません。

スケジュールを確認 / 変更する

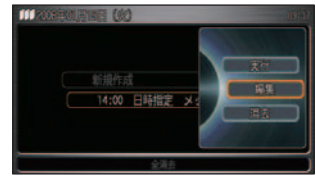
日付からスケジュールの設定内容を確認したり、変更することができます。

1 **[メニュー]ボタン➜[付加機能]➜[スケジュール設定]を選んで[実行]を押す**

カレンダーが表示されます。

2 **スケジュールを確認または変更したい日付を選んで[実行]を押す**

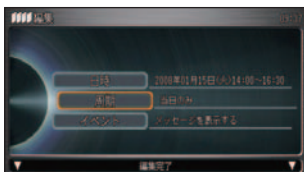
3 **確認または変更したいスケジュールを選んで[実行]を押す**

4 **[編集]選んで[実行]を押す**

スケジュールの設定内容を確認する画面が表示されます。

アドバイス

- [実行] を選ぶと、スケジュールが実行されます。
- [消去] を選ぶと、スケジュールが消去されます。→ *「スケジュールを消去する」(P345)*

5 **変更したい項目を選んで [実行] を押す**

▼

各項目の編集画面が表示されます。

6 **各項目を変更する**

各項目の設定のしかたは、*「スケジュールを作成する」(→ P339)* を参照してください。

アドバイス

- [イベント] とは、*「スケジュールを作成する」(→ P339)* の手順 8 で設定した項目です。

7 **ジョイスティックを下に倒して [編集完了] 選び、[実行] を押す**

▼

スケジュールの設定内容が変更されます。

スケジュールリストを見る

設定されているスケジュールの実行履歴を確認することができます。

1 **[メニュー] ボタン ➜ [付加機能] ➜ [スケジュール設定] を選んで [実行] を押す**

カレンダーが表示されます。

2 **ジョイスティックを下に倒して [スケジュールリスト] を選び、[実行] を押す**

▼

スケジュールリストが表示されます。実行済み (グレー)、実行できず (黄色)、実行されていない (マークなし) を区別して表示します。

アドバイス

- ジョイスティックを左右に倒すと [日時指定] と [繰り返し指定] の画面を切り換えることができます。
- スケジュールリスト画面でスケジュールを選択して [実行] を押すと、スケジュールの実行、編集、消去が行えます。以降の操作手順は、*「スケジュールを確認 / 変更する」(→ P343)* の手順 4 以降または *「スケジュールを消去する」(→ P345)* の手順 4 以降と同じです。

スケジュールを消去する

1 **[メニュー] ボタン ➜ [付加機能] ➜ [スケジュール設定] を選んで [実行] を押す**

カレンダーが表示されます。

2 **スケジュールを消去したい日付を選んで [実行] を押す**

設定されているスケジュールが表示されます。

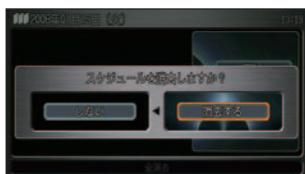
3 **消去したいスケジュールを選んで [実行] を押す**

お知らせ

- 選んだ日付のすべてのスケジュールを消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して [全消去] を選び、[実行] を押します。

4 **[消去] を選んで [実行] を押す**

5 **ジョイスティックを右に倒して [消去する] を選び、[実行] を押す**

▼

選んだスケジュールが消去されます。

PC カードへのスケジュールの保存 / 読み込み

スケジュールを PC カードに保存したり、読み込んだりすることができます。

お知らせ

- PC カードの接続方法や利用方法について詳しくは、*「カードを接続する」**(→ P288)* を参照してください。

1 **[メニュー] ボタン ➜ [付加機能] ➜ [スケジュール設定] を選んで [実行] を押す**

カレンダーが表示されます。

2 **ジョイスティックを下に倒して [PC カード] を選び、[実行] を押す**

▼

PC カードのメニュー画面が表示されます。

■PC カードにすべてのスケジュールを保存する

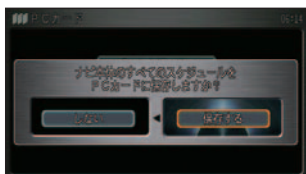
登録したすべてのスケジュールを PC カードに保存することができます。

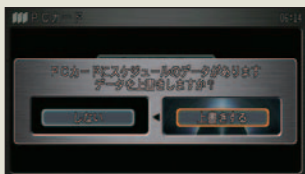
お知らせ

- スケジュールを個別に保存することはできません。

PC カードのメニュー画面で、[データ保存] を選んで [実行] を押す

→ *「PC カードへのスケジュールの保存 / 読み込み」(P345)*

2 **ジョイスティックを右に倒して [保存する] を選び、[実行] を押す**

お知らせ

- PC カード内にスケジュールがすでに存在する場合は、[上書きする] または [しない] が表示されます。

[しない] を選んで [実行] を押すと保存は行われません。

▼

PC カードへスケジュールを保存します。

■PC カードからすべてのスケジュールを読み込む

PC カードに保存されたすべてのスケジュールを読み込むことができます。

お知らせ

- スケジュールを個別に読み込むことはできません。
- PC カードからスケジュールを読み込むと現在のスケジュールに追加されます。Honda インターナビシステムのスケジュールと PC カード内のスケジュールがまったく同じ場合は、追加されません。
- 日時が同じで内容の異なるスケジュールを読み込んだ場合は追加されます。この場合、最後に読み込んだスケジュールが実行されます。

PC カードのメニュー画面で、[データ読み込み] を選んで [実行] を押す

→ *「PC カードへのスケジュールの保存 / 読み込み」(P345)*

2 ジョイスティックを右に倒して[読み込みする] を選び、[実行] を押す

▼

PC カードからスケジュールを読み込みます。

■PC カードのすべてのスケジュールを消去する

PC カード内のすべてのスケジュールを消去することができます。

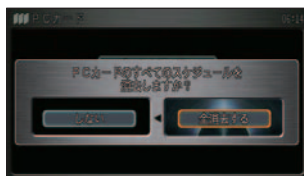
お知らせ

- スケジュールを個別に消去することはできません。

1 PC カードのメニュー画面で、[データ消去] を選んで [実行] を押す

→ *「PC カードへのスケジュールの保存 / 読み込み」(P345)*

2 ジョイスティックを右に倒して[全消去する] を選び、[実行] を押す

▼

PC カード内のすべてのスケジュールが消去されます。

音声メモを使う

音声メモを作成したり、通話を録音したりできます。約 30 秒の録音データを通話メモと合わせて最大 10 件まで、ハードディスクに保存することができます。

 お知らせ

- 録音または再生するときに、「音声メモ準備中です」のメッセージが表示されることがあります。ハードディスクの準備中ですので、メッセージが消えるまでお待ちください。

音声を録音する

[メニュー] ボタン ➔ [付加機能] ➔ [音声メモ] を選んで [実行] を押す

簡単

標準

▼

音声メモのリストが表示されます

2 [新規録音] を選んで [実行] を押す

▼

録音が始まります。

 お知らせ

- 録音は約 30 秒経つと自動的に止まります。また録音中に [実行] を押すと、録音を停止することができます。
- 録音中に Honda インターナビシステムの各ボタンが押された場合は、録音が解除されます。
- 録音が完了すると、録音した日時が音声メモの名前として記録されます。
- すでに 10 件録音されているときは録音できません。不要なメッセージを消去してから録音してください。
→ *「音声メモを消去する」(P349)*

 アドバイス

- 通話メモの録音については、*「通話録音するには」(→ P315)* を参照してください。

音声メモを再生する

録音した音声メモを再生します。

1 **[メニュー] ボタン➜[付加機能]➜[音声メモ] を選んで [実行] を押す**

音声メモのリストが表示されます。

2 **再生したい音声メモを選んで [実行] を押す**

[音声メモ] から録音した音声メモは 、通話中の通話録音は ☎ が表示されます。

アドバイス

- リスト順にすべての音声メモを再生する場合は、ジョイスティックを下に倒して [全件再生] を選び [実行] を押します。

3 **[再生] を選んで [実行] を押す**

▼

再生が開始されます。

アドバイス

- 再生中、コマンドホイールを回すと、音量を調節できます。
- [実行] を押すと途中で再生を終了することができます。

音声メモを消去する

録音した音声メモを消去します。

1 **[メニュー] ボタン➜[付加機能]➜[音声メモ] を選んで [実行] を押す**

音声メモのリストが表示されます。

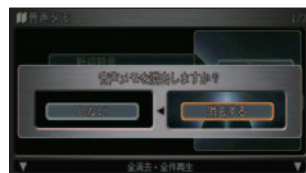
2 **消去したい音声メモを選んで [実行] を押す**

アドバイス

- 音声メモを一括で消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して [全消去] を選び、[実行] を押します。

3 **[消去] を選んで [実行] を押す**

4 **ジョイスティックを右に倒して [消去する] を選び、[実行] を押す**

▼

選んだ音声メモが消去されます。

タイトルを編集する

音声メモのタイトルは、自動的に録音時の日付と時刻になります。あとから名称を入力することができます。

1 **[メニュー] ボタン➔[付加機能]➔[音声メモ] を選んで [実行] を押す**

音声メモのリストが表示されます。

2 **編集したい音声メモを選んで [実行] を押す**

3 **[名称編集] を選んで [実行] を押す**

4 **編集したい項目を選んで [実行] を押す**

お知らせ

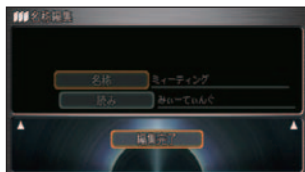
- 最初、読みは入力されていません。
- [読み] は音声操作で使用します。また、メニュー音声読み上げ *(→P193)* 時にも使用されます。

5 **文字を入力する**

→「文字入力のしかた」(P42)

6 **[完了] を選んで、[実行] を押す**

7 **ジョイスティックを下に倒して [編集完了] を選び、[実行] を押す**

▼

タイトルが更新されます。

シークレットモードを使う

シークレットモードを使うと、アドレス帳、電話帳、メールおよびマーク情報の表示をパスワードが入力されないと表示できないようにできます。

シークレットモードを設定する

シークレットモードの設定にはパスワードの設定が必要になります。パスワードの設定後、シークレットモードを ON に設定します。

1 [メニュー] ボタン➔[付加機能]➔[シークレットモード] を選んで [実行] を押す

簡単

標準

2 4 桁の数字を入力し [完了] を選んで [実行] を押す

→ *「文字入力のしかた」(P42)*

再度、パスワードの入力画面が表示されます。

3 確認のため再度 4 桁の数字を入力し [完了] を選んで [実行] を押す

→ *「文字入力のしかた」(P42)*

4 [ON] を選んで [実行] を押す

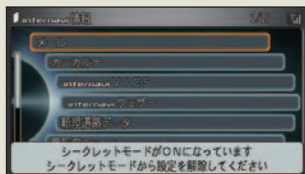
▼

シークレットモードが設定されます。

- すでにパスワードが設定されている場合は、手順 3 は不要です。

つづく ➔

アドバイス

- シークレットモードが設定されているときに、アドレス帳や、電話帳、メールの表示操作を行うと、シークレットモードが ON であることを伝えるメッセージが表示されます。

シークレットモードを解除するには「シークレットモードを解除する」（本ページ）を参照してください。

シークレットモードを解除する

1 **[メニュー] ボタン➜[付加機能]➜[シークレットモード] を選んで [実行] を押す**

パスワードの入力画面が表示されます。

2 **パスワードを入力し [完了] を選んで [実行] を押す**

→「文字入力のしかた」(P42)

3 **[OFF] を選んで [実行] を押す**

▼

シークレットモードが解除されます。

パスワードを変更する

1 **[メニュー] ボタン➜[付加機能]➜[シークレットモード] を選んで [実行] を押す**

パスワードの入力画面が表示されます。

2 **ジョイスティックを下に倒して [パスワード変更] を選び、[実行] を押す**

3 **現在のパスワードを入力し [完了] を選んで [実行] を押す**

→「文字入力のしかた」(P42)

新しいパスワードの入力画面が表示されます。

4 **新しいパスワードを入力し [完了] を選んで [実行] を押す**

→「文字入力のしかた」(P42)

再度、パスワードの入力画面が表示されます。

5 **確認のため再度新しいパスワードを入力し [完了] を選んで [実行] を押す**

→「文字入力のしかた」(P42)

▼

パスワードが変更されます。

パスワードを忘れたときは

パスワードを忘れたときは、いったんパスワードをクリアし、必要に応じて再設定してください。
パスワードをクリアするには、未入力状態のパスワード入力画面で次のように操作します。

ジョイスティックを上に倒して、カーソルを入力エリアに置く

文字未入力の状態で [実行] を 5 回連続で押す

▼

パスワードがクリアされます。

お知らせ

- パスワードをクリアすると、パスワード未設定の状態となり、設定したアドレス帳や電話帳、メール、マークリストなどのシークレットモードも解除されます。

オーディオ・テレビ

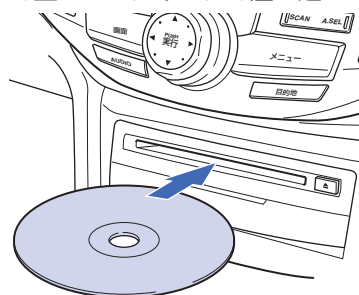
ディスクの取り扱いについて

Honda インターナビシステムはオーディオ機能を標準装備しており、DVD や CD、MP3 ファイルまたは WMA ファイルが記録された CD-R/RW などをお楽しみいただけます。

- 再生できるディスクの種類は、*「再生できるディスクの種類」(P359)* を参照してください。
- 再生できる MP3 ファイルについては、*「MP3 ファイルについて」(→ P361)* を参照してください。
- 再生できる WMA ファイルについては、*「WMA ファイルについて」(→ P363)* を参照してください。
- 各機能の操作方法は *「音楽 CD を再生する」(→ P383)*、*「MP3/WMA ディスクを再生する」(→ P386)*、*「DVD ビデオを再生する」(→ P410)* を参照ください。

ディスクを取り出す / 入れる

ナビゲーション本体にディスクを差し込みます。

ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてディスクを差し込む

自動的に再生が始まります。

お願い

- ディスクを差し込む前に、すでにディスクが入っていないかどうかをディスクインジケーターで確認してください。

音楽 CD の場合 : 内蔵のデータベースから情報を取得できた場合は、その情報が表示されます。取得できなかった場合は、「No Title」と表示されます。情報が複数取得できたときは、最も正しいと思われる 1 件を自動的に選択します。

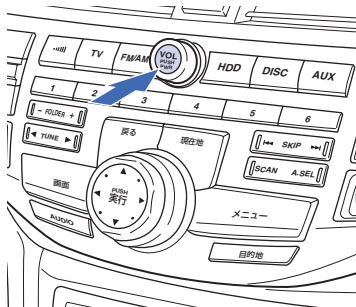
アドバイス

- Honda インターナビシステムのハードディスクに内蔵している Gracenote データベースを利用しています。→ *「Gracenote サービスについて」(P534)*

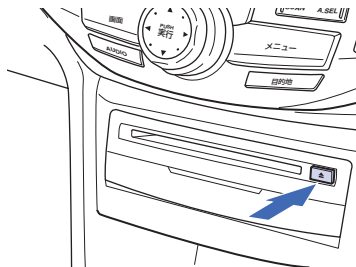
MP3 ディスクの場合 :ID3 Tag から情報を取得できた場合は、その情報が表示されます。取得できなかった場合は、MP3 のファイル名とフォルダ名が表示されます。
WMA ディスクの場合 :WMA タグから情報を取得できた場合は、その情報が表示されます。取得できなかった場合は、WMA のファイル名とフォルダ名が表示されます。
DVD の場合 : タイトル No. やチャプター No. が表示されます。

お知らせ

- サウンドコンテナの出荷時の CD 録音モードは自動録音です。再生した音楽 CD は、自動的にサウンドコンテナに録音されます。→*「CD 録音モードを設定する」(P438)*
- 音楽 CD などをデジタル録音 (MP3/WMA/AAC など) した記録媒体 (CD-R/RW、PC カードなど) から、サウンドコンテナに録音 (コピー) することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム (SCMS) の働きによるものです。
- CD シングル (8cmCD) はアダプターを付けないで挿入します。アダプターは使用しないでください。

2 **再生を止めるには、[PWR] ボタンを押す**

お知らせ

- 音楽 CD をサウンドコンテナに録音中に他の音源に切り換えた場合は、CD の自動録音が継続されます。→ *「サウンドコンテナに録音する」(P438)*

3 **ディスクを取り出すには、ディスク取り出しボタンを押す**

ディスクの正しい使いかた

■取り扱い上のご注意

- ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。
- ハート型などの異型のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。
- ディスクを持つときは、記録面(虹色に光っている面)を触らないようにしてください。
- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。

■お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ向かって軽く拭いてください。
- ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。

■保管上のご注意

- ディスクは、インストルメントパネル上など直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。
- 長時間使用しないときは、本機から取り出し、ディスクがそらないように必ずケースに入れて保管してください。

■ディスク再生の環境について

- 走行中に振動でディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。(画面の表示切り換えが遅くなることがあります。)
- 低温時、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、ナビゲーションシステム本体内部のレンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。(結露)
  このようなときは、1 時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

お願い

- ディスク挿入口から内部にジュースや水などが入ると故障の原因となります。カップホルダーをご使用の際はご注意ください。

お知らせ

- ディスクをゴミやほこりから保護するため、ディスクが排出されたまましばらくすると、自動的に内部に引き込まれます。

再生できるディスクの種類

下表のマークはディスクのレーベル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。オーディオシステムは NTSC(日本のテレビ方式) に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ / 再生	最大再生時間
DVD ビデオ	DVD ビデオ	(MPEG 2 方式)
	12cm/ 片面　1 層	133 分
	2 層	242 分
	12cm/ 両面　1 層	266 分
	2 層	484 分
	DVD ビデオ	(MPEG 2 方式)
	8cm/ 片面　1 層	41 分
	2 層	75 分
	8cm/ 両面　1 層	82 分
	2 層	150 分
CD	CD 12cm/ 片面	74 分
	CD シングル 8cm/ 片面	20 分
CD-R	CD-R 12cm/ 片面	―
CD-RW	CD-RW 12cm/ 片面	―

お知らせ

- CPRM には対応していません。
- VR モードで記録された DVD ビデオは再生できません。
- DVD-R/RW に記録された MP3/WMA/AAC は再生できません。
- DVD ビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合があります。また、一部の DVD ビデオディスクにおいて、再生できない場合があります。
- DVD ビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
リージョン番号については *「DVD ビデオに表示されているマークの意味」(→ P360)* を参照してください。
- Mixed Mode CD や CD-Extra などの音楽 / データ混在ディスクの場合は、音楽 CD として再生できないことがあります。
- CD-RW ディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常の CD や CD-R ディスクより時間がかかります。
- CD-R/RW ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

お知らせ

- ファイナライズしていない CD-R/RW ディスクは再生できません。
- ディスククローズしていないディスク (追記可能なディスク) は再生が始まるまで時間がかかります。
- PC(パソコン) で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。(詳細についてはアプリケーションソフト販売元にお問い合わせください。)
- 音楽用 CD レコーダーで録音したもの以外の CD-R/RW ディスクは、正常に再生できない場合があります。
- 音楽用 CD レコーダーで録音した音楽用 CD-R/RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れなどにより、再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/RW ディスクは再生できなくなる場合があります。
- DDCD(Double Density CD) 形式で録音された CD-R/RW ディスクは再生できません。
- 本オーディオシステムは音楽 CD 規格に準拠して設計されています。コピーコントロール CD などの CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

■DVD ビデオに表示されているマークの意味

DVD ビデオディスクのレーベル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または言語のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
2	音声 (言語) の数
2	字幕の数
3	アングルの数
16:9 LB	画面サイズ (アスペクト比 : 横と縦の比率) の種別
2 ALL	再生可能な地域番号 (リージョン番号) 本機のリージョン番号 (地域番号) は、[2] です。リージョン番号が [2] や [ALL] など [2] を含んでいるディスクを再生することができます。

■ディスクの操作について

DVD では、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル / チャプターの構成上一部の操作ができないことがあります。このような場合、画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク

DOLBY DIGITAL

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

再生できる音楽ファイルについて 標準

Honda インターナビシステムのオーディオ機能では、CD-R/RW や USB デバイス、PC カードに記録された「MP3」や「WMA」、USB デバイスに記録された「AAC」の音楽ファイルを再生することができます。

MP3 ファイルについて

本機ではパソコンから CD-R/RW のディスクや PC カード、USB デバイスに記録した MP3 形式ファイルを再生することができます。使用できるファイルやメディアについては制限がありますので MP3 形式ファイルをディスクまたは PC カード、USB デバイスに記録する前に以下の内容をよくお読みください。また、お手持ちの CD-R/RW ドライブやレコーディングソフトや PC カード、USB デバイスの取扱説明書もよくお読みになり正しくご使用ください。

お願い

- 音楽 CD から記録した (コピーした) ディスクやファイルを無償・有償にかかわらず他人に配る等の行為、インターネット等のサーバーへアップロードする行為は違法ですので行わないでください。

■MP3 とは？

- MP3 とは「MPEG-1 Audio Layer3」の略称です。MPEG とは「Motion Pictures Experts Group」の略でビデオ CD などに採用されている映像圧縮規格です。
- MP3 は MPEG の音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式の一つで、人間の耳で聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を処理することにより高音質で少ないデータ容量のファイルを作ることができます。音楽 CD の内容をほとんど音質を損なうことなく約 1/10 のデータ容量に圧縮することができるため、約 10 枚分の音楽 CD を 1 枚の CD-R/RW へ記録することが可能になります。
- MP3 ファイル内には曲名 / アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル名などの情報が“ID3 Tag”と呼ばれるデータで記録されており、ディスプレイなどでその情報を表示することができます。
- パソコン同様にフォルダの階層を認識することができ「ジャンル」→「アーティスト」→「アルバム」→「曲 (MP3 ファイル)」といった階層で曲を記録することができるようになります。

お願い

- MP3 以外のファイルに拡張子「.mp3」を付けないでください。そのようなファイルが記録されたディスクを再生すると誤認識して再生してしまうため、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損するおそれがあります。

お知らせ

- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子がつかない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子「.mp3」を追記してからディスクに記録してください。

■再生できる MP3 ファイルについて

以下の仕様に基づいて、CD-R/RW、PC カードおよび USB デバイスに記録された MP3 ファイルを再生することができます。

お知らせ

- 記録するメディアによって制限が変わります。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">項目</th><th colspan="2">対応メディア</th></tr>
<tr><th>CD-R/RW, PC カード</th><th>USB デバイス</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">規格</td><td colspan="2">MPEG1 AUDIO LAYER Ⅲ</td></tr>
<tr><td>MPEG2 AUDIO LAYER Ⅲ</td><td>MPEG2 AUDIO LSF LAYER Ⅲ</td></tr>
<tr><td colspan="2">拡張子</td><td colspan="2">.mp3</td></tr>
<tr><td rowspan="2">サンプリング周波数 [kHz]</td><td>MPEG1</td><td colspan="2">32/44.1/48</td></tr>
<tr><td>MPEG2</td><td colspan="2">16/22.05/24</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ビット
レート
[kbps]</td><td>MPEG1</td><td rowspan="2">32/40/48/56/64/80/96/
112/128/144/160/192/
224/256/320</td><td>32/40/48/56/64/80/96/
112/128/144/160/192/
224/256/320</td></tr>
<tr><td>MPEG2</td><td>8/16/24/32/40/48/56/64/
80/96/112/128/144/160</td></tr>
<tr><td colspan="2">VBR(可変ビットレート)</td><td colspan="2">対応</td></tr>
<tr><td colspan="2">マルチセッション</td><td>対応</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2">ファイルシステム</td><td>ISO9660 レベル 1/ レベル 2/
Joliet/Romeo</td><td>FAT16/32</td></tr>
<tr><td colspan="2">チャンネルモード</td><td colspan="2">ステレオ / ジョイントステレオ / デュアルチャンネル / モノラル</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大階層数</td><td colspan="2">8 階層 (ルートディレクトリを含む)</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大フォルダ数</td><td>256 フォルダ ※ 1</td><td>700 フォルダ</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">最大ファイル数</td><td>400 ファイル ※ 2
(ディスク内合計数、mp3、wma ファイル以外は含まず)</td><td rowspan="2">65535 ファイル ※ 2</td></tr>
<tr><td>PC カードは 99 ファイルまで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対応タグ</td><td>ID3v1(v1.0/v1.1)</td><td>ID3v1(v1.0/v1.1)、
ID3v2(v2.2/v2.3/v2.4)</td></tr>
<tr><td colspan="2">文字情報</td><td>最大 15 文字 (全角)</td><td>最大 32 文字 (全角) ※ 3</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ソースプレートに表示可能な文字数</td><td>上段</td><td colspan="2">最大 26 文字 (全角) ※ 3</td></tr>
<tr><td>下段</td><td colspan="2">最大 13 文字 (全角) ※ 3</td></tr>
</table>

※ 1: PC カードの場合は各ファイルが複数のフォルダに記録されていても、フォルダおよびフォルダごとのファイルの表示はできません。

※ 2: 但し、1 フォルダ内の最大ファイル数は 255 ファイルまでです。

※ 3: 文字コードや曲数によっては、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

WMA ファイルについて

本機ではパソコンから CD-R/RW のディスクや PC カード、USB デバイスに記録した WMA 形式ファイルを再生することができます。使用できるファイルやメディアについては制限がありますので WMA 形式ファイルをディスクまたは PC カード、USB デバイスに記録する前に以下の内容をよくお読みください。また、お手持ちの CD-R/RW ドライブやレコーディングソフトや PC カード、USB デバイスの取扱説明書もよくお読みになり正しくご使用ください。

お願い

- 音楽 CD から記録した (コピーした) ディスクやファイルを無償・有償にかかわらず他人に配る等の行為、インターネット等のサーバーへアップロードする行為は違法ですので行わないでください。

■WMA とは？

- WMA とは、Windows Media Audio の略称で、Microsoft 社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも高い圧縮率で音声データを圧縮する方式です。
  ※ Microsoft、Windows Media、は米国 MicrosoftCorporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- WMA は、著作権保護機能 (DRM) をサポートしており、著作権で保護された WMA ファイルを再生するには、ライセンスキーが発行されたプレイヤーに限定されています。
  本オーディオシステムでは著作権で保護された WMA ファイルについては再生することができません。
- WMA ファイル内には曲名 / アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル名などの情報が“WMA タグ”と呼ばれるデータで記録されており、ディスプレイなどでその情報を表示することができます。
- パソコン同様にフォルダの階層を認識することができ「ジャンル」→「アーティスト」→「アルバム」→「曲 (WMA ファイル)」といった階層で曲を記録することができるようになります。

お願い

- WMA 以外のファイルに拡張子「.wma」を付けないでください。そのようなファイルが記録されたディスクを再生すると誤認識して再生してしまうため、大きな雑音が出てスピーカーを破損するおそれがあります。

お知らせ

- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子がつかない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子「.wma」を追記してからディスクに記録してください。

■再生できる WMA ファイルについて

以下の仕様に基づいて、CD-R/RW、PC カードおよび USB デバイスに記録された WMA ファイルを再生することができます。
但し、著作権で保護されたファイルについては、再生できません。

お知らせ

- 記録するメディアによって制限が変わります。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">項目</th><th colspan="2">対応メディア</th></tr>
<tr><th>CD-R/RW, PC カード</th><th>USB デバイス</th></tr>
<tr><td colspan="2">規格</td><td>Windows Media Audio Version9.0</td><td>Windows Media Audio Version9.2</td></tr>
<tr><td colspan="2">拡張子</td><td colspan="2">.wma</td></tr>
<tr><td colspan="2">サンプリング周波数 [kHz]</td><td>16/22.05/32/44.1/48</td><td>32/44.1/48</td></tr>
<tr><td colspan="2">ビットレート [kbps]</td><td>5/8/10/12/20/32/40/48/64/80/96/128/160/192</td><td>48/56/64/80/96/112/128/144/160/192/224/256/320</td></tr>
<tr><td colspan="2">VBR(可変ビットレート)</td><td colspan="2">対応</td></tr>
<tr><td colspan="2">マルチセッション</td><td>対応</td><td>–</td></tr>
<tr><td colspan="2">ファイルシステム</td><td>ISO9660 レベル 1/ レベル 2/ Joliet/Romeo</td><td>FAT16/32</td></tr>
<tr><td colspan="2">チャンネルモード</td><td colspan="2">ステレオ / モノラル</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大階層数</td><td colspan="2">8 階層 (ルートディレクトリを含む)</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大フォルダ数</td><td>256 フォルダ ※ 1</td><td>700 フォルダ</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">最大ファイル数</td><td>400 ファイル ※ 2
(ディスク内合計数、mp3、wma ファイル以外は含まず)</td><td rowspan="2">65535 ファイル ※ 2</td></tr>
<tr><td>PC カードは 99 ファイルまで</td></tr>
<tr><td colspan="2">対応タグ</td><td colspan="2">WMA タグ :ASF TOP-LEVEL HEADER OBJECT 形式 曲名、アーティスト名、アルバム名のみ対応 ただし、アルバム名は Windows Media Player 形式に限る</td></tr>
<tr><td colspan="2">文字情報</td><td colspan="2">最大 32 文字 (全角) ※ 3</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ソースプレートに表示可能な文字数</td><td>上段</td><td colspan="2">最大 26 文字 (全角) ※ 3</td></tr>
<tr><td>下段</td><td colspan="2">最大 13 文字 (全角) ※ 3</td></tr>
</table>

※ 1: PC カードの場合は各ファイルが複数のフォルダに記録されていても、フォルダおよびフォルダごとのファイルの表示はできません。

※ 2: 但し、1 フォルダ内の最大ファイル数は 255 ファイルまでです。

※ 3: 文字コードや曲数によっては、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

AAC ファイルについて

本機ではパソコンから USB デバイスに記録した AAC 形式のファイルを再生することができます。※ 使用できるファイルやメディアについては制限がありますので以下の内容をよくお読みください。また、お手持ちのレコーディングソフトの取扱説明書もよくお読みになり正しくご使用ください。

※「iTunes」で作成されたファイルが対象です。

※「iTunes」は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

お願い

- 音楽 CD から記録した (コピーした) ディスクやファイルを無償・有償にかかわらず他人に配る等の行為、インターネット等のサーバーへアップロードする行為は違法ですので行わないでください。

■ AAC とは？

- AAC(エー･エー･シー) とは Advanced Audio Coding の略で、映像の圧縮規格「MPEG-2」や「MPEG-4」で使われている音声圧縮方式です。MP3 よりも約 1.4 倍圧縮効率が高く、音質はほとんど変わりません。拡張子は「.m4a」になります。
- AAC ファイル内には曲名 / アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル名などの情報が“ID3 Tag”や“MPEG-4 header”と呼ばれるデータで記録されており、ディスプレイなどでその情報を表示することができます。
- パソコン同様にフォルダの階層を認識することができ「ジャンル」→「アーティスト」→「アルバム」→「曲 (AAC ファイル)」といった階層で曲を記録することができるようになります。

お願い

- AAC 以外のファイルに拡張子「.m4a」を付けないでください。そのようなファイルが記録された USB デバイスを再生すると誤認識して再生してしまうため、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損するおそれがあります。

お知らせ

- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子がつかない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子「.m4a」を追記してから USB デバイスに記録してください。

■再生できる AAC ファイルについて

以下の仕様に基づいて USB デバイスに記録された AAC ファイルを再生することができます。
但し、著作権で保護されたファイルについては、再生できません。
(CD-R/RW、PC カードに AAC ファイルを記録しても再生することはできません。)

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">項目</th><th colspan="2">対応メディア</th></tr>
<tr><th>CD-R/RW, PC カード</th><th>USB デバイス</th></tr>
<tr><td colspan="2">規格</td><td>—</td><td>MPEG-4/AAC LC(Low Complexity)
MPEG-2/AAC LC(Low Complexity)</td></tr>
<tr><td colspan="2">拡張子</td><td>—</td><td>.m4a</td></tr>
<tr><td colspan="2">サンプリング周波数
[kHz]</td><td>—</td><td>8/11.02512/16/22.05/24/
32/44.1/48</td></tr>
<tr><td colspan="2">ビットレート [kbps]</td><td>—</td><td>8/16/24/32/40/48/56/64
/80/96/112/128/144/160
/192/224/256/320</td></tr>
<tr><td colspan="2">VBR(可変ビットレート)</td><td>—</td><td>対応</td></tr>
<tr><td colspan="2">ファイルシステム</td><td>—</td><td>FAT16/32</td></tr>
<tr><td colspan="2">チャンネルモード</td><td>—</td><td>ステレオ / モノラル / デュアルモノラル</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大階層数</td><td>—</td><td>8 階層 (ルートディレクトリを含む)</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大フォルダ数</td><td>—</td><td>700 フォルダ</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大ファイル数</td><td>—</td><td>65535 ファイル ※ 1</td></tr>
<tr><td colspan="2">対応タグ</td><td>—</td><td>iTunes で登録したもの</td></tr>
<tr><td colspan="2">文字情報</td><td>—</td><td>最大 32 文字 (全角) ※ 2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ソース
プレートに
表示可能な
文字数</td><td>上段</td><td>—</td><td>最大 26 文字 (全角) ※ 2</td></tr>
<tr><td>下段</td><td>—</td><td>最大 13 文字 (全角) ※ 2</td></tr>
</table>

※「iTunes」で作成されたファイルが対象です。
※「iTunes」は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

※ 1: 但し、1 フォルダ内の最大ファイル数は 255 ファイルまでです。

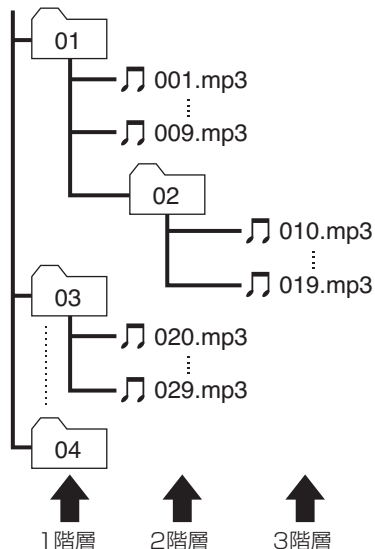
※ 2: 文字コードや曲数によっては、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

フォルダと音楽ファイルについて

音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) が CD-R/RW や PC カード、USB デバイスに記録されているイメージを下図に示します。

(ルートディレクトリ)

01
001.mp3
⋮
009.mp3
02
010.mp3
⋮
019.mp3
03
020.mp3
⋮
029.mp3
04

1階層　2階層　3階層

上図のフォルダについている番号は演奏順です。

- 音楽ファイルは、左図の例では、ファイル名に示される順番 (001.mp3・・・、009.mp3、・・・) で再生されます。
- 音楽ファイルを含まないフォルダは認識されません。
- Mixed Mode CD のデータトラックの音声は再生されないことがあります。
- 8 段階 (ルートディレクトリ含む) まで MP3/WMA ファイルの再生に対応していますが、フォルダがたくさんあるディスクおよび PC カードは、再生が始まるまでに時間がかかります。
- CD-R/RW に MP3/WMA ファイルを記録する際にご使用のソフトによって演奏順番が異なります。
- PC カード内の MP3/WMA ファイルは、各ファイルが複数のフォルダに記録されていても、フォルダおよびフォルダごとのファイルの表示はできません。

USB アダプターについて

Honda インターナビシステムは付属のUSB 接続ケーブルを USB アダプターに接続することで、USB 端子を持つフラッシュメモリーや iPod に記録されている音楽ファイル (MP3/WMA/AAC のみ) を再生することができます。

※「iPod touch」「iPod classic」「iPod」「iPod nano」は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

- 再生できる MP3 ファイルについては、*「MP3 ファイルについて」(→ P361)* を参照してください。
- 再生できる WMA ファイルについては、*「WMA ファイルについて」(→ P363)* を参照してください。
- 再生できる AAC ファイルについては*「AAC ファイルについて」(→ P365)* を参照してください。

対応機器について

使用できる USB デバイスの種類や使用方法には以下のような制限があります。

使用できる USB デバイス

- 「USB マスストレージクラス」の USB デバイス

機器名	対応可否 / 条件
USB フラッシュメモリー	容量が 256Mbyte 以上
ハードディスク	**対応していません。**
カードリーダーやメモリーリーダー	
CD/DVD/FD ドライブ	
USB ハブ	
USB 延長ケーブル	
iPod touch	F/W Ver.1.0 以降
iPod classic	F/W Ver.1.0 以降
iPod (第 5 世代)	F/W Ver.1.2 以降
iPod nano (第 1 世代)	F/W Ver.1.2 以降
iPod nano (第 2 世代)	F/W Ver.1.1.2 以降
iPod nano (第 3 世代)	F/W Ver.1.0 以降

お知らせ

- iPod や USB デバイスを車内に放置しないでください。
- 最新のF/WにしたiPodを使用してください。
- iPod はエンジンスイッチが “I” または “II” のとき USB 接続ケーブルに接続することで充電が可能です。充電時間が通常よりも長くなる場合があります。
- USB デバイスの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- ハードディスクやカードリーダー、メモリーリーダーは機器およびデータが破損することがあるため、使用しないでください。誤って接続した場合はエンジンスイッチを “0” にしてから取り外してください。
- データ破損の恐れがあるためファイルのバックアップをお勧めします。

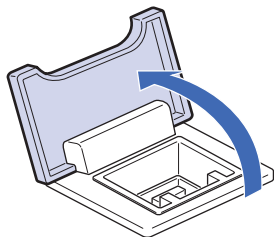
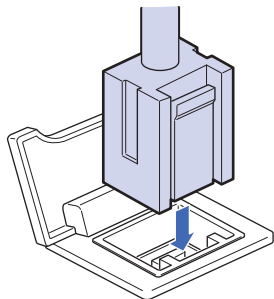
接続について

付属のUSB接続ケーブルをUSBアダプターに接続します。

■USB接続ケーブルを接続する

お知らせ

- エンジンスイッチを“0”にしてUSB接続ケーブルを接続してください。
- USBアダプターの場所については、車両本体の取扱説明書をご覧ください。

1 USBアダプターのカバーを開ける

2 付属のUSB接続ケーブルを「カチッ」と音がするまで押し込む

3 各機器とUSB接続ケーブルを接続する

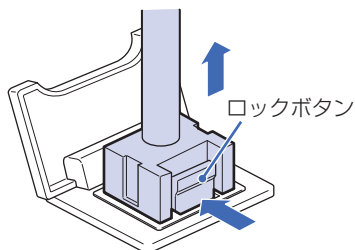
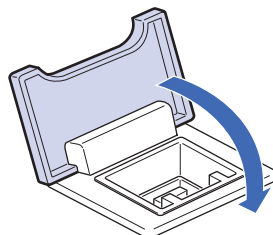
→「USBデバイスの曲を再生する」(P390)

→「iPodの曲を再生する」(P394)

■USB接続ケーブルを外す

お知らせ

- エンジンスイッチを“0”にしてから外してください。

1 ロックボタンを押しながらUSB接続ケーブルを取り外す

2 カバーを閉める

オーディオ・テレビの基本操作

お願い

- 車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では、安全運転のさまたげになります。また運転中のオーディオ操作は、安全運転に支障がないようにしてください。

お知らせ

- 本ナビゲーションシステム装備車は、専用のパワーアンプを装着しています。アンプは消費電力が大きいのでエンジンが停止しているときは長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

ナビゲーション画面とオーディオ画面の切り換え

1 [AUDIO] ボタンを押す

押すたびに、オーディオ画面とナビゲーション画面が切り換わります。

ナビゲーション画面

▲
▼

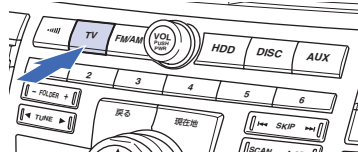
オーディオ画面

オーディオ機能が ON になり、最後に操作していた音源 (テレビ、ラジオ、各ディスク再生、サウンドコンテナ) が始まります。

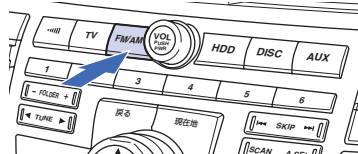
■各オーディオ機能を切り換える

オーディオ機能を切り換えるには、それぞれ以下のボタンを使います。

テレビに切り換える

1 [TV] ボタンを押す

さらにボタンを押すごとに、TV1、TV2 が切り換わります。

ラジオに切り換える

1 [FM/AM] ボタンを押す

さらにボタンを押すごとに、FM1、FM2、AM が切り換わります。

■サウンドコンテナに切り換える

1 [HDD] ボタンを押す

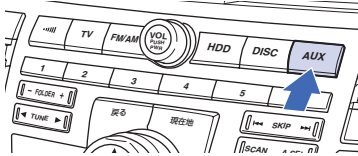
サウンドコンテナの曲が再生されます。

CD/MP3/WMA または DVD に切り換える

1 [DISC] ボタンを押す

挿入しているディスクの再生を開始します。

■iPod/USB デバイスに切り換える

[AUX] ボタンを押す

iPod/USB デバイスの再生を開始します。

■オーディオ機能を OFF にする

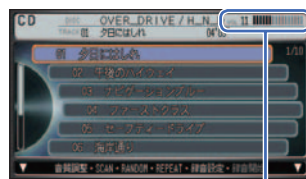
[PWR] ボタンを押す

すべてのオーディオを終了します。

音量を調節する

オーディオ機能の音量を調節します。

1 オーディオ再生中に [VOL] ダイヤルを回して調節する

▼

音量が表示されます。

[右に回す]	音量を大きくするとき
[左に回す]	音量を小さくするとき

音質を調節する

4 つの調節を行います。

BAS : 低音の調節を行います。

TRE : 高音の調節を行います。

FAD : 前後のスピーカー音量バランスを調節します。

BAL : 左右のスピーカー音量バランスを調節します。

1 オーディオ画面表示中にジョイスティックを下に倒して [音質調整] を選び、[実行] を押す

つづく →

通信機能を使う
カードを使う
ハンズフリー電話を使う
ETCを使う
便利な機能
オーディオ・テレビ
サウンドコンテナ
その他
困ったときの手引き
機能設定一覧
索引

2 画面上の矢印方向にジョイスティックを倒して調節項目を選ぶ

3 コマンドホイールを回して調節する

BAS:
低音の調節を行います。低音を強調したいときは [+] 方向に移動させ、弱くしたいときは [–] 方向に移動させます。

TRE:
高音の調節を行います。高音を強調したいときは [+] 方向に移動させ、弱くしたいときは [–] 方向に移動させます。

FAD:
前後のスピーカー音量バランスを調節します。フロントのスピーカー音量を大きくしたいときは、[FRONT] 方向に移動させ、リヤのスピーカー音量を大きくしたいときは [REAR] 方向に移動させます。

BAL:
左右のスピーカー音量バランスを調節します。左のスピーカー音量を大きくしたいときは、[LEFT] 方向に移動させ、右のスピーカー音量を大きくしたいときは [RIGHT] 方向に移動させます。

[実行] を押す

オーディオ画面に戻ります。

■自動で音量を調節させる

車の速度に応じて音量を自動的に調節する機能です。車の速度が上がると自動的に音量が上がります

アドバイス

• 車の速度が速いときは車外からの騒音が大きくなります。この状態で、オーディオの音声が聞き取りにくいという場合に使用すると便利です。

音質調整の画面でジョイスティックを下に倒して、[車速連動音量] を選ぶ

→「音質を調節する」(P371)

車速連動音量の設定画面が表示されます。

[LOW] または [MID]、[HIGH] を選んで [実行] を押す

[LOW]	車速に応じた音量変化を小さくします。
[MID]	工場出荷時は、[MID] に設定されています。
[HIGH]	車速に応じた音量変化を大きくします。

お知らせ

• [OFF] を選ぶと、車速連動音量をしない設定になります。

車速連動音量の設定が完了します。

色を調節する

テレビや DVD では色の濃さ、色合いを調節することができます。

テレビまたは DVD 再生中に [画面] ボタンを押す

→ *「テレビの見かた」(P401)*
→ *「DVD ビデオの見かた」(P410)*

[色調整] を選んで [実行] を押す

アドバイス

- [画面調整] を選ぶと画面の調節ができます。→ *「画面の明るさを調節する」(P68)*
- [画面消] を選ぶと画面を消すことができます。→ *「ナビゲーション画面 / オーディオ画面を消す」(P32)*

3 ジョイスティックを左右に倒して設定する項目を選ぶ

4 コマンドホイールを左右に回して調節する

5 [実行] を押す

テレビまたは DVD 画面に戻ります。

お知らせ

- 画面の調節は地図色が昼の場合と夜の場合で、別々に設定することができます。
- テレビ、DVD で別々に、設定することができます。

ワイド画面の切り換え

DVDでは通常の画面表示の他に3種類のワイドモードが用意されており、表示方法を切り換えることができます。

DVD再生中に[画面]ボタンを押す

→*「DVDビデオの見かた」(P410)*

[ワイド切換]を選んで[実行]を押す

アドバイス

- [画面調整]を選ぶと画面の調節ができます。→*「画面の明るさを調節する」(P68)*
- [画面消]を選ぶと画面を消すことができます。→*「ナビゲーション画面/オーディオ画面を消す」(P32)*

3

ワイドモードを選んで[実行]を押す

▼

ワイドモードが切り換わります。

お知らせ

- 通常画面は縦横比4:3、ワイド画面は縦横比16:9です。
- テレビはワイドモード固定になっているので画面表示のモードを切り換えることはできません。
- ズームでは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると(フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

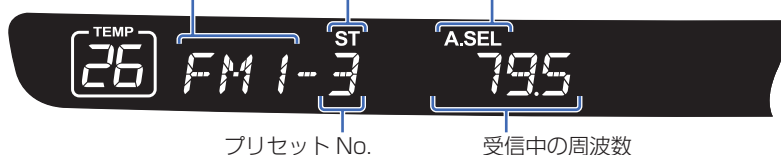
サブディスプレイの表示について

オーディオやテレビなどの動作状態が表示されます。画面表示がナビゲーションのときでもオーディオやテレビなどの状態を確認することができます。

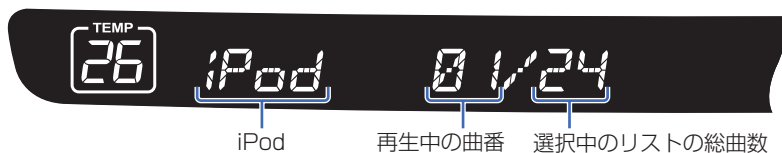
通常の状態

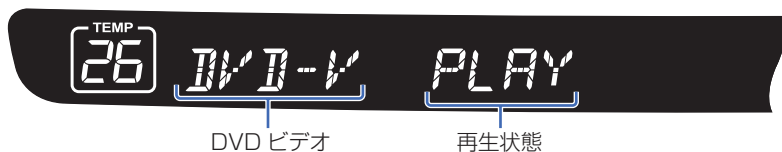
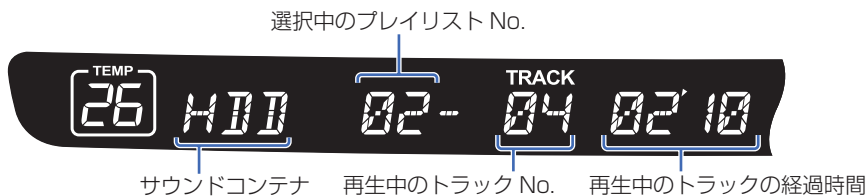
お知らせ

- 現在時刻は、GPS 衛星から受信した電波に基づいて表示します。時刻を合わせる必要はありません。
- メーターのイルミネーションコントロールで車幅灯点灯時の減光を解除すると、サブディスプレイの減光も解除されます。

ラジオ受信時の表示

CD 再生時の表示

USB デバイス再生時の表示

iPod 再生時の表示

テレビ使用時の表示

DVD 再生時の表示

サウンドコンテナ再生時の表示

ラジオを聞く 簡単 標準

ラジオの聞きかた

■選局する

[FM/AM] ボタンを押す

ラジオの音声が流れます。

[FM/AM] ボタンを押して、FM1、FM2 または AM を選ぶ

押すごとに、FM1、FM2、AM が切り換わります。

アドバイス

- FM 受信時は、FM 受信画面で、ジョイスティックを左右に倒しても、FM1 と FM2 を切り換えることができます。

3 [TUNE]、[SKIP] ボタンを押して、選局する

[TUNE] ボタン

[◀]	1 ステップずつ戻します。早く戻すときは押し続けます。
[▶]	1 ステップずつ進めます。早く進めるときは押し続けます。

[SKIP] ボタン

[⏮]	受信可能な放送局まで戻ります。
[⏭]	受信可能な放送局まで進めます。

アドバイス

- FM を 12 局、AM を 6 局まで記憶させることができます。
→ *「お好みの放送局を記憶させる」(P378)、「受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる」(P379)*
- ラジオの受信は、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

■記憶された放送局を呼び出す

あらかじめ記憶されている放送局を呼び出すことができます。

[FM/AM] ボタンを押す

ラジオの音声が流れます。

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

[FM/AM] ボタンを押して、FM1、FM2 または AM を選ぶ

押すごとに、FM1、FM2、AM が切り換わります。

3 聞きたい放送局を選んで [実行] を押す

▼

選ばれている放送局は色が変わり、画面上部にも表示されます。

アドバイス

- 放送局は [FOLDER] ボタンでも選ぶことができます。

お好みの放送局を記憶させる

よく聞く放送局を FM1 に 6 局、FM2 に 6 局、AM に 6 局まで記憶させることができます。

記憶させたい放送局を受信する

→「ラジオの聞きかた」(P377)

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

記憶させたいプリセット No. を選んで [実行] を "ピッ" と鳴るまで押す

選んだプリセット No. に選局した放送局が記憶されます。

アドバイス

- 選んだプリセット No. と同じ番号 [1] ～ [6] ボタンを長押し ("ピッ" と鳴るまで) しても記憶することができます。

お知らせ

- プリセット No. とは、放送局を記憶する番号です。

受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる

旅行先など受信周波数の異なる地域に移動したときに、一時的に受信状態の良い放送局を記憶させたり、自動的にその地域の放送局に変更させることができます。

■一時的に記憶させる場合

現在地で受信状態の良い放送局を、一時的にFM を 12 局、AM を 6 局まで自動的に記憶させせることができます。(オートセレクト)
オートセレクトを解除すれば、元の記憶させた放送局に戻ります。

アドバイス

- オートセレクトで選局された放送局を別の放送局に手動で記憶し直すこともできます。
→*「お好みの放送局を記憶させる」(P378)*

1 ラジオを受信する
→ *「ラジオの聞きかた」(P377)*

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

[A. SEL] ボタンを押す

アドバイス

- ジョイスティックを下に倒して表示されるメニューで [AUTO SELECT] を選んでも同様に行えます。

▼

AUTO SELECT 中の表示

自動的に受信できる放送局を探し始めます。(「AUTO-SELECT」が点滅します)
終了すると、放送局リストが表示されます。

お知らせ

- 受信状態の良い放送局が記憶できる数より少ない場合は、放送局リストに“0”が表示されます。

オートセレクトを解除するには

オートセレクトを解除する場合は、再度 [A. SEL] ボタンを押します。

■自動的に変更させる場合

自車位置の移動に伴い、その地域の放送局をFM は 12 局、AM は 6 局まで自動的にリストアップします。(エリア選局)
エリア選局を解除すれば、元の記憶させた放送局に戻ります。

- エリア選局で選局された放送局を手動で別の放送局に記憶し直すことはできません。

ラジオを受信する

→ *「ラジオの聞きかた」(P377)*

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

ジョイスティックを下に倒して [エリア選局] を選び、[実行] を押す

エリア選局中の表示

自車位置で、その地域の放送局リストが表示されます。

- その地域の放送局が記憶できる数より少ない場合は、放送局リストに“0”が表示されます。

エリア選局を解除するには

エリア選局を解除する場合は、再度 [エリア選局] を選んで [実行] を押します。

放送局をスキャンする

現在地で受信できる放送局を探すことができます。

ラジオを受信する

→「ラジオの聞きかた」(P377)

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

[SCAN] ボタンを押す

自動的に受信できる放送局を探し始めます。

- ジョイスティックを下に倒して表示されるメニューで [SCAN] を選んでも同様に行えます。

SCAN 中に点滅します。

受信できた放送局は 10 秒間だけ音声を流し、再び次の放送局を探します。

聞きたい放送局を受信したら、[実行] を押す

選んだ放送局を受信します。

スキャンを解除するには

スキャンを解除する場合は、再度 [SCAN] ボタンを押します。

アドバイス

- [戻る] ボタンを押してもスキャンを解除することができます。

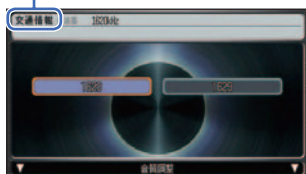
交通情報を聞く

交通情報を受信するには、次のようにします。

お知らせ

- この機能は、ラジオ以外が選ばれていても、またはオーディオ機能が OFF でも操作できます。

1 [•ııll] ボタンを押して交通情報に切り換える

交通情報表示

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

2 周波数を選んで [実行] を押す

受信周波数

アドバイス

- [TUNE] ボタンまたは [SKIP] ボタンを押すごとに 1,620kHz と 1,629kHz に切り換えることもできます。

受信を中止するには

もう一度 [•ııll] ボタンを押すと、交通情報を受信する前の音源に戻ります。

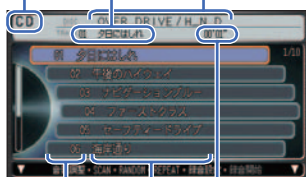
音楽 CD を再生する 簡単 標準

CD の聞きかた

CD を聞くには、次のようにします。

ディスク挿入口に、レーベル面を上にして CD を差し込む

自動的に再生が始まります。

再生中のトラック No.
トラックタイトル
ディスクタイトル、アーティスト
音源

トラック No.
トラックタイトル
再生中トラックの経過時間

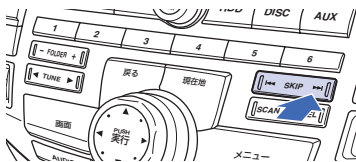
内蔵のデータベースから情報が取得できた場合や CD-TEXT では、リスト上部にディスクタイトルや再生中のトラックタイトル、アーティストが表示されます。オーディオ画面にしていた場合は、トラックタイトルリストが表示されます。

お知らせ

- ディスクの判別や録音準備を行うため、再生するまでに、時間がかかります。
- 走行中はトラックタイトルリストにトラックタイトルは表示されません。
- ディスクは正しい向きに差し込んでください。
- 内蔵のデータベースからタイトル情報が複数取得できたときは、最も正しいと思われる 1 件を自動的に選択します。
- 内蔵のデータベースからタイトル情報が取得できなかった場合は、タイトルは「No Title」アーティストは「No Name」と表示されます。
- 音楽 CD をサウンドコンテナに録音することができます。初期の状態では CD 再生時に自動的にサウンドコンテナへの録音が開始されます。→ *「サウンドコンテナに録音する」(P438)*
- サウンドコンテナに録音中の曲はトラックタイトルリストのトラック No. の左に R が表示され、未録音の曲は R が表示されます。
- サウンドコンテナに録音された曲を再生する場合、サウンドコンテナで取得または編集したタイトルが表示されます。
- PC カードおよび USB デバイス、iPod に録音することはできません。

お知らせ

- サウンドコンテナへの録音は約４倍速で行われます。また、サウンドコンテナに録音中でも再生することができます。録音中の場合は、サウンドコンテナに録音されたデータで再生されます。録音が終了すると自動的に CD の再生になります。
- トラック間 (曲間) にブランク (無音部分) がない CD を再生すると、サウンドコンテナに録音している場合のみ、曲間が無音で再生されますが、故障ではありません。

2 [SKIP] ボタンを押して、聞きたい曲を選ぶ

[⏮]	前の曲 / 再生中の曲の始めを選ぶとき
[⏭]	次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、[⏮] を押し続けます。
早送りする場合は、[⏭] を押し続けます。

アドバイス

- オーディオ画面表示時、コマンドホイールを回しても曲を選ぶことができます。

CD の終了のしかた

ディスク取り出しボタンを押して、CD を取り出す

再生を中止して、CD が出てきます。

CD のいろいろな再生のしかた

リピート再生、ランダム再生、スキャン再生が行えます。

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

■リピート再生

再生中の曲を繰り返し聞くことができます。

ジョイスティックを下に倒して [REPEAT] を選び、[実行] を押す

▼

リピート再生中の表示

リピート再生します。

リピート再生を解除するには

再度 [REPEAT] を選んで [実行] を押すと、リピート再生が解除されます。

■ランダム再生

再生中の CD を、順不同に曲順を変えて再生することができます。

ジョイスティックを下に倒して [RANDOM] を選び、[実行] を押す

▼

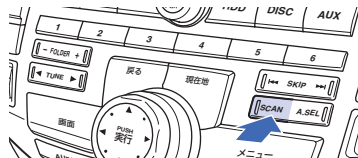
ランダム再生中の表示

ランダム再生します。

ランダム再生を解除するには

再生中の曲が選ばれている状態で [実行] を押すか、再度 [RANDOM] を選んで [実行] を押すと、ランダム再生が解除されます。

■スキャン再生

曲の始めの部分を、約 10 秒間ずつ聞くことができます。聞きたい曲を探すときに使います。

1 [SCAN] ボタンを押す

アドバイス

- ジョイスティックを下に倒して表示されるメニューで [SCAN] を選んでも同様に行えます。

▼

スキャン再生中の表示

スキャン再生します。

お知らせ

- スキャン再生は、始めた曲まで戻ると自動的に解除されます。

2 聞きたい曲が再生されたら、[実行] を押す

選んだ曲から再生します。

スキャン再生を解除するには

再度 [SCAN] ボタンを押すと、スキャン再生が解除されます。

MP3/WMA ディスクを再生する

MP3/WMA ディスクの聞きかた

CD-R/RW に記録された MP3 ファイルまたは WMA ファイルを聞くには、次のようにします。

再生できる MP3 ファイルまたは WMA ファイルについては、*「MP3 ファイルについて」(→ P361)* または*「WMA ファイルについて」(→ P363)* を参照してください。

 お知らせ

- 本書は主に MP3 の再生での説明を記載しておりますが、WMA の再生についても同様の操作方法となります。

ディスク挿入口に、レーベル面を上にして CD-R/RW を差し込む

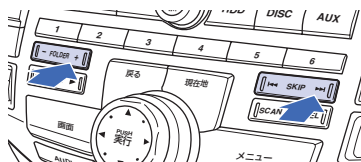
自動的に再生が始まります。
WMA ファイルの場合は、音源が「WMA」と表示されます。

再生中のトラック No.
トラックタイトル
ディスクタイトル、アーティスト
音源

トラック No.
フォルダ名またはファイル名
再生中トラック経過時間

ID3 Tag*(→ P361)*、WMA タグ *(→ P363)* からタイトル情報を取得できた場合は、リスト上部にディスクタイトルや再生中のトラックタイトル、アーティストが表示されます。オーディオ画面にしていた場合は、トラックタイトルリストには、フォルダ名またはファイル名が表示されます。

お知らせ

- 走行中はトラックタイトルリストにフォルダ名またはファイル名は表示されません。
- ディスクは正しい向きに差し込んでください。
- CD-RW ディスクはディスクを挿入してから再生がはじまるまで、通常の CD や CD-R ディスクより時間がかかります。
- ID3 Tag*(→ P361)*、WMA タグ *(→ P363)* からタイトル情報を取得できなかった場合は、フォルダ名がディスクタイトル、ファイル名がトラックタイトルとしてリスト上部に表示されます。アーティストは表示されません。
- トラックタイトルリストは ID3 Tag*(→ P361)*/WMA タグ *(→ P363)* のタイトル情報に関係なく、フォルダ名またはファイル名のリストになります。
- 再生できない MP3 ファイルまたは WMA ファイルだけのフォルダもリスト表示されます。MP3 ファイルまたは WMA ファイルを含まないフォルダは表示されません。

[FOLDER]、[SKIP] ボタンを押して、聞きたい曲を選ぶ

[FOLDER] ボタン	
[＋]	次のフォルダの最初の曲を選ぶとき
[−]	前のフォルダの最初の曲を選ぶとき

[SKIP] ボタン	
[⏮]	前の曲 / 再生中の曲の始めを選ぶとき
[⏭]	次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、[⏮] を押し続けます。
早送りする場合は、[⏭] を押し続けます。

アドバイス

- オーディオ画面表示時、コマンドホイールを回しても曲やフォルダを選ぶことができます。
- ジョイスティックを左右に倒すと、フォルダが切り換わります。(左 : 上位フォルダ、右 : 下位フォルダ)

MP3/WMA ディスクの終了のしかた

ディスク取り出しボタンを押して、CD-R/RW を取り出す

再生を中止して、CD-R/RW が出てきます。

MP3/WMA ディスクのいろいろな再生のしかた

リピート再生、ランダム再生、スキャン再生が行えます。

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

■リピート再生

再生中の曲を繰り返し聞くことができます。

1 ジョイスティックを下に倒して [REPEAT] を選び、[実行] を押す

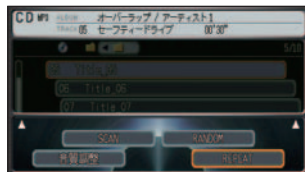
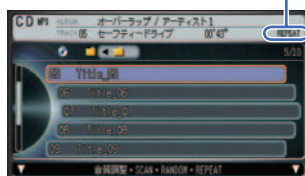
▼

リピート再生が始まります。

2 再度 [実行] を押す

[実行] を押すたびに、[REPEAT] → [FOLDER-REPEAT] → [OFF] と切り換わります。

[REPEAT]	再生中の曲をリピート再生します。
[FOLDER-REPEAT]	再生中のフォルダをリピート再生します。
[OFF]	リピート再生を解除します。

▼

リピート再生中の表示

■ランダム再生

再生中のフォルダ内にある曲を、順不同に曲順を換えて再生することができます。

ジョイスティックを下に倒して[RANDOM] を選び、[実行] を押す

ランダム再生が始まります。

再度 [実行] を押す

[実行] を押すたびに、[RANDOM] → [FOLDER-RANDOM] → [OFF] と切り換わります。

[RANDOM]	再生中のフォルダ内にあるすべての曲をランダム再生します。
[FOLDER-RANDOM]	全フォルダのすべての曲をランダム再生します。
[OFF]	ランダム再生を解除します。

ランダム再生中の表示

■スキャン再生

曲の始めの部分を、約 10 秒間ずつ聞くことができます。

聞きたい曲を探すときに使います。

[SCAN] ボタンを押す

アドバイス

- ジョイスティックを下に倒して表示されるメニューで [SCAN] を選んでも同様に行えます。

スキャン再生が始まります。

再度 [SCAN] ボタンを押す

[SCAN] ボタンを押すたびに、[SCAN] → [FOLDER-SCAN] → [OFF] と切り換わります。

[SCAN]	再生中のフォルダ内にあるすべての曲をスキャン再生します。
[FOLDER-SCAN]	全フォルダの先頭曲をスキャン再生します。
[OFF]	スキャン再生を解除します。

スキャン再生中の表示

お知らせ

- スキャン再生は、始めた曲まで戻ると自動的に解除されます。

3 **聞きたい曲が再生されたら、[実行] を押す**

選んだ曲から再生します。

USB デバイスの曲を再生する

USB デバイスの聞きかた

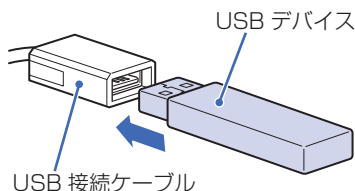
USB デバイスに記録された MP3 ファイルまたは WMA ファイル、AAC ファイルの音楽ファイルを聞くには、次のようにします。

再生できる USB デバイスについては、*「対応機器について」(→ P368)* を参照してください。

再生できる MP3 ファイルまたは WMA ファイル、AAC ファイルについては、*「再生できる音楽ファイルについて」(→ P361)* を参照してください。

お知らせ

- 本書は主に MP3 の再生での説明を記載しておりますが、WMA や AAC の再生についても同様の操作方法となります。

USB 接続ケーブル *(→ P369)* に USB デバイスを接続する

お知らせ

- USB デバイスの接続および取り外しはいつでもできます。

2 [AUX] ボタンを押して USB デバイスに切り換える

自動的に再生が始まります。
音源には音楽ファイルに対応した「MP3」「WMA」「AAC」が表示されます。

ID3 Tag*(→ P361)*、WMA タグ*(→ P363)* からタイトル情報を取得できた場合は、リスト上部にアルバムタイトルや再生中のトラックタイトル、アーティストが表示されます。
オーディオ画面にしていた場合は、トラックタイトルリストには、フォルダ名またはファイル名が表示されます。

お知らせ

- 走行中はトラックタイトルリストにフォルダ名またはファイル名は表示されません。
- USB のコネクターは正しい向きに差し込んでください。
- ID3 Tag(→ P361)、WMA タグ(→ P363)、AAC の対応タグ (→ P365) からタイトル情報を取得できなかった場合は、フォルダ名がアルバムタイトル、ファイル名がトラックタイトルとしてリスト上部に表示されます。アーティストは表示されません。
- トラックタイトルリストは ID3 Tag(→ P361)/WMA タグ(→ P363)、AAC の対応タグ (→ P365) のタイトル情報に関係なく、フォルダ名またはファイル名のリストになります。
- 再生できない音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) のみが入ったフォルダもリスト表示されます。音楽ファイルを含まないフォルダは表示されません。
- 記録されたファイルの種類によっては再生までに時間がかかる場合があります。
- USB デバイス内が複数のパーティションに分けられている場合は、先頭のパーティションのみ再生可能です。

3 **[FOLDER]、[SKIP] ボタンを押して、聞きたい曲を選ぶ**

[FOLDER] ボタン	
[+]	次のフォルダの最初の曲を選ぶとき
[−]	前のフォルダの最初の曲を選ぶとき
[SKIP] ボタン	
[⏮]	前の曲 / 再生中の曲の始めを選ぶとき
[⏭]	次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、[⏮] を押し続けます。
早送りする場合は、[⏭] を押し続けます。

アドバイス

- オーディオ画面表示時、コマンドホイールを回しても曲やフォルダを選ぶことができます。
- ジョイスティックを左右に倒すと、フォルダが切り換わります。(左 : 上位フォルダ、右 : 下位フォルダ)

USB デバイスの終了のしかた

1 **[PWR] ボタンを押す**

オーディオ機能が終了します。

2 **USB デバイスを USB 接続ケーブル (→ P369) から抜く**

USB デバイスのいろいろな再生のしかた

リピート再生、ランダム再生、スキャン再生が行えます。

お知らせ

• ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

■リピート再生

再生中の曲を繰り返し聞くことができます。

1 **ジョイスティックを下に倒して [REPEAT] を選び、[実行] を押す**

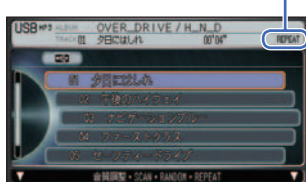
▼

リピート再生が始まります。

2 **再度 [実行] を押す**

[実行] を押すたびに、[REPEAT] → [FOLDER-REPEAT] → [OFF] と切り換わります。

[REPEAT]	再生中の曲をリピート再生します。
[FOLDER-REPEAT]	再生中のフォルダをリピート再生します。
[OFF]	リピート再生を解除します。

リピート再生中の表示

■ランダム再生

再生中の曲を、順不同に曲順を換えて再生することができます。

ジョイスティックを下に倒して [RANDOM] を選び、[実行] を押す

▼

ランダム再生が始まります。

2 **再度 [実行] を押す**

[実行] を押すたびに、[RANDOM] → [FOLDER-RANDOM] → [OFF] と切り換わります。

[RANDOM]	再生中のフォルダ内にあるすべての曲をランダム再生します。
[FOLDER-RANDOM]	全フォルダのすべての曲をランダム再生します。
[OFF]	ランダム再生を解除します。

ランダム再生中の表示

■スキャン再生

曲の始めの部分を、約 10 秒間ずつ聞くことができます。
聞きたい曲を探すときに使います。

[SCAN] ボタンを押す

• ジョイスティックを下に倒して表示されるメニューで [SCAN] を選んでも同様に行えます。

スキャン再生が始まります。

再度 [SCAN] ボタンを押す

[SCAN] ボタンを押すたびに、
[SCAN] → [FOLDER-SCAN] →
[OFF] と切り換わります。

[SCAN]	再生中のフォルダ内にあるすべての曲をスキャン再生します。
[FOLDER-SCAN]	全フォルダの先頭曲をスキャン再生します。
[OFF]	スキャン再生を解除します。

スキャン再生中の表示

お知らせ

• スキャン再生は、始めた曲まで戻ると自動的に解除されます。

3

聞きたい曲が再生されたら、[実行] を押す

選んだ曲から再生します。

iPod の曲を再生する

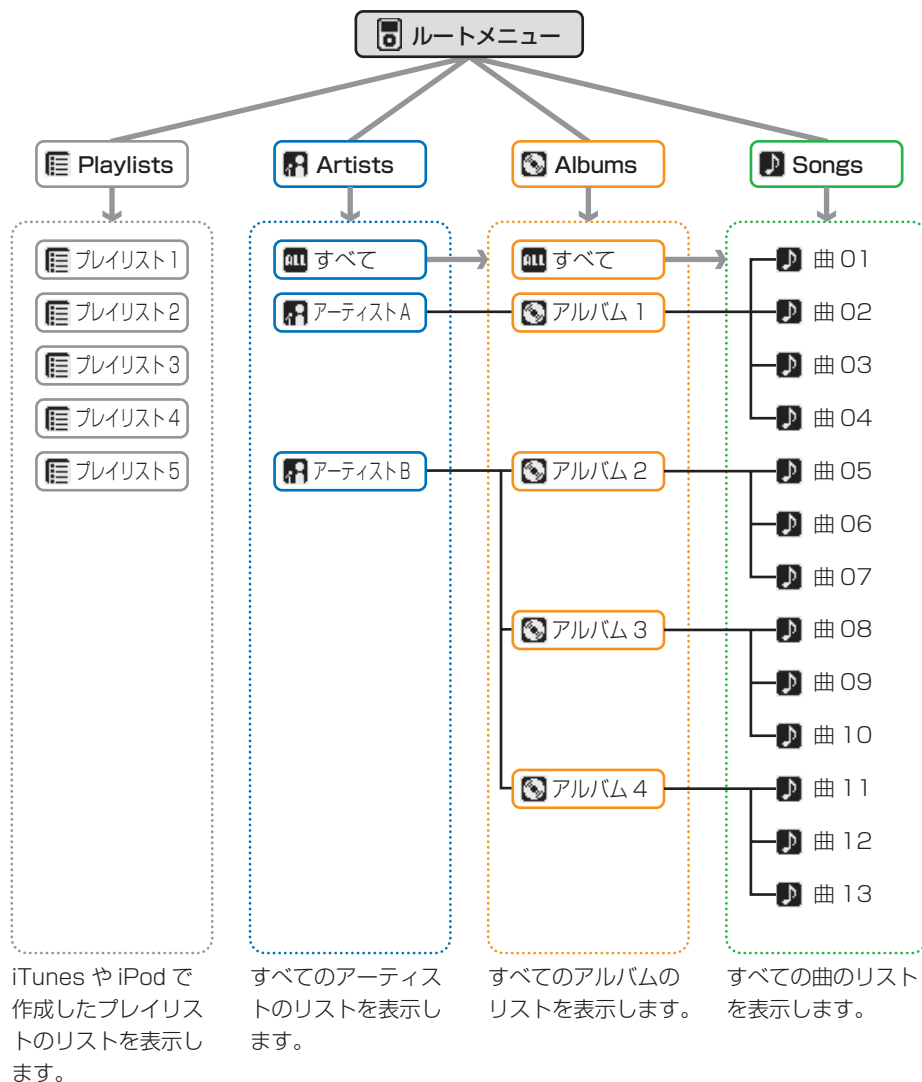
iPod の階層について

iPod はルートメニューを先頭に以下のように Playlists(プレイリスト)、Artists(アーティスト)、Albums(アルバム)、Songs(曲) に分かれています。お手持ちの iPod と同じイメージで選んでいくことができます。

iTunes や iPod で作成したプレイリストのリストを表示します。

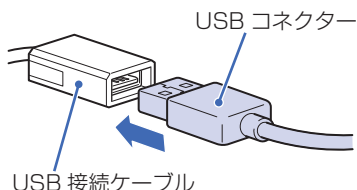
すべてのアーティストのリストを表示します。

すべてのアルバムのリストを表示します。

すべての曲のリストを表示します。

iPod の聞きかた

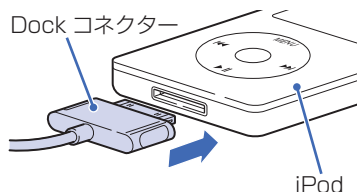
iPod に記録された曲を聞くには、次のようにします。

再生できる iPod については、*「対応機器について」*（→ *P368*）を参照してください。

USB 接続ケーブル（→ *P369*）に iPod の USB コネクター※1 を接続する

- 「※ 1」は必ず iPod 付属または別売のアップル純正「iPod Dock コネクター（USB ケーブル用）」を使用してください。

お知らせ

- iPod の接続および取り外しはいつでもできます。

iPod 本体に Dock コネクターを接続する

3 [AUX] ボタンを押して iPod に切り換える

自動的に再生が始まります。

再生中のトラック No.
トラックタイトル
アルバムタイトル、アーティスト
音源
トラック No.
トラック名

お知らせ

- iPod の時、再生時間は表示されません。
- 走行中はトラックタイトルリストにアルバム名またはトラック名、アーティスト名、プレイリスト名は表示されません。
- 各コネクターは正しい向きに差し込んでください。
- iPod 接続中は、iPod 本体からの操作はできません。
- iPod を接続してもサブディスプレイに iPod の表示が出ない時は、再度、接続を行ってください。
  もし、何度か接続し直しても認識しない時は iPod がフリーズしている場合も考えられます。
  その時は、iPod を取り外し iPod の取扱説明書にしたがってリセット操作を行ってください。

4 [SKIP] ボタンを押して、聞きたい曲を選ぶ

[SKIP] ボタン	
[⏮]	前の曲 / 再生中の曲の始めを選ぶとき
[⏭]	次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、[⏮] を押し続けます。
早送りする場合は、[⏭] を押し続けます。

アドバイス

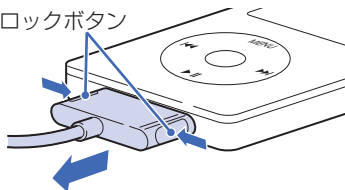
- オーディオ画面表示時、コマンドホイールを回しても曲を選ぶことができます。

iPod の終了のしかた

[PWR] ボタンを押す

オーディオ機能が終了します。

USB コネクターを USB 接続ケーブル (→ P369) から抜く

iPod から Dock コネクターを左右のロックボタンを押しながら外す

ルートメニューから曲を選ぶ

iPod を接続した直後は、階層表示ができません。一度ルートメニューを表示させると階層を表示することができます。ここでは、ルートメニューから曲を選ぶ一例を説明します。

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

1 接続直後のオーディオ画面でジョイスティックを左に倒す

ルートメニューが表示されます。

2 [Artists] を選んでジョイスティックを右に倒す（または [実行] を押す）

▼

すべてのアーティストのリストが表示されます。

[Playlists]	お客様が iTunes や iPod で作ったプレイリストの内容が表示されます。
[Artists]	iPod 内すべてのアーティストのリストが表示されます。
[Albums]	iPod 内すべてのアルバムのリストが表示されます。
[Songs]	iPod 内すべての曲のリストが表示されます。

3 聞きたいアーティストを選んでジョイスティックを右に倒す（または [実行] を押す）

▼

選んだアーティストのすべてのアルバムがリスト表示されます。

お知らせ

- すべてのアーティストを選ぶときは ALL ALL を選びます。すべてのアーティストのアルバムがリスト表示されます。

4 聞きたいアルバムを選んでジョイスティックを右に倒す（または [実行] を押す）

▼

選んだアルバムのすべての曲がリスト表示されます。

お知らせ

- ここで表示されるすべてのアルバムを選ぶときは ALL ALL を選びます。すべてのアルバムの曲がリスト表示されます。

5 聞きたい曲を選んで [実行] を押す

▼

選んだ曲が再生されます。

■階層を戻すときは

階層を戻すときはジョイスティックを左に倒します。

■階層アイコンの見かた

	プレイリストを選んでいます。
	アーティストを選んでいます。
	アルバムを選んでいます。
	曲を選んでいます。
ALL	階層内のすべてを選んでいます。

iPod のいろいろな再生のしかた

リピート再生、ランダム再生が行えます。

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

■リピート再生

通常は、選択されているリスト内を繰り返して再生しますが、「リピート再生」にすると再生中の曲を繰り返し聞くことができます。

お知らせ

- iPod 本体のリピート設定が「オフ」のとき、USB アダプターに接続すると自動的に iPod 本体のリピート設定が「すべて」に変更されます。

1 ジョイスティックを下に倒して [REPEAT] を選び、[実行] を押す

▼

リピート再生中の表示

リピート再生が始まります。

リピート再生を解除するには

再度 [REPEAT] を選んで [実行] を押すと、リピート再生が解除されます。

■ランダム再生

再生中の階層内にある曲を、順不同に曲順を換えて再生することができます。(リスト表示も換わります。)

お知らせ

- 事前にリピート再生を解除しておいてください。リピート再生中の場合、リストのみランダム切り換えが行われ、選択中の曲のリピート再生が継続されます。

1 ジョイスティックを下に倒して [RANDOM] を選び、[実行] を押す

▼

ランダム再生が始まります。

2 再度 [実行] を押す

[実行] を押すたびに、[RANDOM] → [ALBUM-RANDOM] → [OFF] と切り換わります。

[RANDOM]	再生中の階層内にあるすべての曲を順不同に再生します。
[ALBUM-RANDOM]	再生中の階層内にあるすべてのアルバムを順不同に選び再生します。(アルバム内の曲順は換わりません。)
[OFF]	ランダム再生を解除します。

▼

ランダム再生中の表示

お知らせ

- 再生中の階層内に複数のアルバムが含まれない時、[ALBUM-RANDOM] を行っても曲順は換わりません。

テレビを見る

テレビは、安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。走行中や、停車していてもパーキングブレーキをかけていないときなどは、映像は映らず、音声だけが聞こえます。

お願い

- テレビをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

■テレビの受信について

テレビの受信は、車の走行にともない、受信状態が変わったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持できない場合があります。

- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサイン、ラジオ放送、アマチュア無線用の送信アンテナ、鉄塔などの近くでは画像が乱れたり雑音が入ることがあります。
- 直進性の強い電波のため、建物や山などの障害物があると、受信状態が悪くなることがあります。
- 放送局から遠いところでは、電波が弱くなり受信状態が悪くなります。

ワンセグとは

携帯電話やカーナビなどの移動端末向け地上デジタルテレビ放送のことです。
別名「1seg」「1 セグメント放送」「1 セグ放送」で、地上デジタル放送の 1 つのチャンネルを 13 個のセグメントに分割し、そのうち 1 つのセグメントを使用していることから､「1 セグ＝ワンセグ」と呼ばれています。
ワンセグは放送方式の特性上、従来のアナログ放送に比べチャンネルの切り換え時間が長くなります。

ハイビジョン放送 (HDTV) の地上デジタル放送は 12 セグメント使用されています。

テレビの見かた

■はじめて見るとき

本機ではじめてテレビを見るときは、最初に「初期スキャン」を行う必要があります。
現在地周辺の地域で受信できるワンセグ放送のチャンネルを調べてプリセットスイッチに記憶させる操作です。

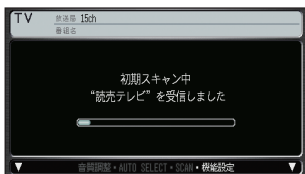
[TV] ボタンを押す

▼

はじめての場合、初期スキャンを促す画面が表示されます。

ジョイスティックを右に倒して [はい] を選び、[実行] を押す

初期スキャンが開始されます。

▼

初期スキャン完了後、現在地周辺の地域で受信できる放送局が自動的に TV1、TV2 それぞれ 6 局まで "3 桁チャンネル番号" の数字の少ない順でプリセットスイッチに登録されます。

3 桁チャンネル番号とは

1 つのチャンネルで 3 つまでの番組を放送できる「マルチ編成」で、それぞれの番組を区別するためにリモコンに割り当てられた番号 (リモコン番号) と組み合わされた番号のことです。

例) リモコン番号が "5" のとき
　　ワンセグでは 600 番台から始まり、
　　1 つ目の番組は「651」、
　　2 つ目の番組は「652」、
　　3 つ目の番組は「653」となります。
　　リモコン番号が "10" のとき「701」、「702」、「703」となります。

■選局する

周波数を進めたり、戻したりして選局することができます。

[TV] ボタンを押す

テレビに切り換わります。ナビゲーション画面が表示されているときは音声のみ流れます。

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してテレビの映像画面に切り換えてください。

コマンドホイールを回す

テレビの操作画面が表示されます。

つづく →

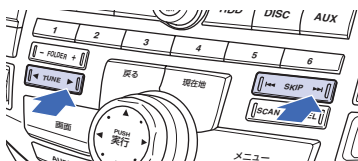
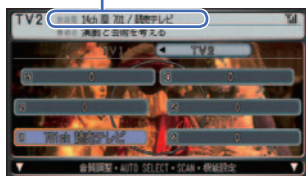
3 ジョイスティックを左右に倒して、[TV1] または [TV2] を選ぶ

TV1,TV2 表示

アドバイス

• [TV] ボタンを押して TV1 と TV2 を切り換えることもできます。

4 [TUNE]、[SKIP] ボタンを押して、選局する

▼

放送局の表示

[TUNE] ボタン

[◀]	1ch 戻します。早く戻すときは押し続けます。
[▶]	1ch 進みます。早く進めるときは押し続けます。

[SKIP] ボタン

[⏮]	受信可能なチャンネルまで戻ります。
[⏭]	受信可能なチャンネルまで進みます。

お知らせ

• 受信できる物理チャンネルは、13ch ～ 62ch です。

■記憶されたチャンネルを呼び出す

あらかじめ記憶されている放送局を呼び出すことができます。

1 [TV] ボタンを押す

テレビに切り換わります。ナビゲーション画面が表示されているときは音声のみ流れます。

お知らせ

• ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してテレビの映像画面に切り換えてください。

2 コマンドホイールを回す

テレビの操作画面が表示されます。

3 ジョイスティックを左右に倒して、[TV1] または [TV2] を選ぶ

4 見たい放送局を選んで [実行] を押す

▼

選ばれた放送局は色が変わり、画面上部にも表示されます。

アドバイス

• 放送局は [1] ～ [6] ボタンでも選ぶことができます。

お好みの放送局を記憶させる

よく見る放送局を TV1、TV2 それぞれ 6 局まで記憶することができます。

お知らせ

- 一度電源が切れた場合 (バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど) は、記憶した放送局が消えます。初期スキャン (→ *P401*) を行った後、再度放送局を記憶させてください。

記憶させたい放送局を受信する

→ *「テレビの見かた」(P401)*

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

ジョイスティックを左右に倒して記憶させたい画面 TV1 または TV2 を選ぶ

画面に表示されているお好みのプリセット No. を選んで [実行] を“ピッ”と鳴るまで押す

▼

選んだプリセット No. に選局した放送局が記憶されます。

アドバイス

- 選んだプリセット No. と同じ番号 [1] ～ [6] ボタンを長押し (“ピッ”となるまで) しても記憶することができます。

お知らせ

- プリセット No. とは、放送局を記憶する記憶番号です。

受信状態の良い放送局を一時的に記憶させる

旅行先などチャンネルの異なる地域に移動したときに、受信状態の良い放送局を、一時的に TV1、TV2 それぞれに 6 局まで自動的に記憶させることができます。(オートセレクト)
オートセレクトを解除すれば、元の状態に戻ります。

アドバイス

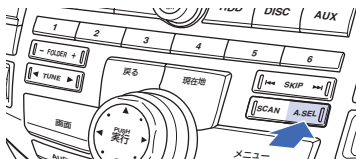
- オートセレクトで選局された放送局を別の放送局に手動で記憶し直すこともできます。→ *「お好みの放送局を記憶させる」(P403)*

1 テレビを受信する

→ *「テレビの見かた」(P401)*

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

2 [A. SEL] ボタンを押す

アドバイス

- ジョイスティックを下に倒して表示されるメニューで [AUTO SELECT] を選んでも同様に行えます。

▼

AUTO SELECT 中の表示

自動的に受信できる放送局を探し始めます。(「AUTO-SELECT」が点滅します)
終了すると、放送局リストが表示されます。

お知らせ

- TV1、TV2 それぞれ 6 局まで"3 桁チャンネル番号"の数字の少ない順で登録されます。
- 受信状態の良い放送局が記憶できる数より少ない場合は、放送局リストに"0"が表示されます。

オートセレクトを解除するには

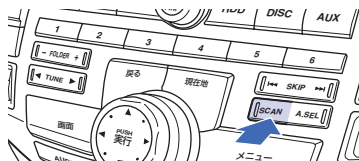
再度 [A. SEL] を選んで [実行] を押します。

放送局をスキャンする

現在地で受信できる放送局を探すことができます。

テレビを受信する

→「テレビの見かた」(P401)

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

[SCAN] ボタンを押す

自動的に受信できる放送局を探し始めます。

- ジョイスティックを下に倒して表示されるメニューで [SCAN] を選んでも同様に行えます。

SCAN 中に点滅します。

受信した放送局から順に 10 秒間だけ映像を流します。

3 見たい放送局を受信したら、[実行] を押す

選んだ放送局を受信します。

スキャンを解除するには

スキャンを解除する場合は、再度 [SCAN] ボタンを押します。

- [戻る] ボタンを押してもスキャンを解除することができます。

音声を切り換える

二ヶ国語放送や複数の音声がある番組で主音声、副音声を切り換えることができます。

テレビを受信する

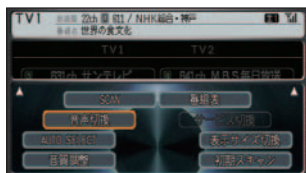
→「テレビの見かた」(P401)

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

コマンドホイールを回す

テレビの操作画面が表示されます。

3 ジョイスティックを下に倒して [音声切換] を選び、[実行] を押す

お知らせ

- 二ヶ国語放送ではない番組や複数の音声がない番組では [音声切換] を選ぶことはできません。

[音声切換] を押すたび「主 1(主音声 1)」→「副 1(副音声 1)」→ (「主 2(主音声 2)」→「副 2(副音声 2)」) と切り換わります。

番組表を見る

電子番組表 (EPG) を表示させて見たい番組の情報が確認できます。

テレビを受信する

→「テレビの見かた」(P401)

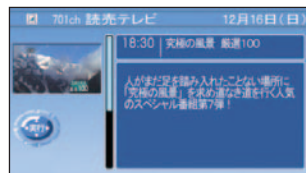
お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

コマンドホイールを回す

テレビの操作画面が表示されます。

ジョイスティックを下に倒して [番組表] を選び、[実行] を押す

ジョイスティックで見たい番組を選び、[実行] を押す

▼

番組の詳細情報が表示されます。

マルチ編成を切り換える

ひとつのチャンネルで同時に２つ～３つの番組を放送しているマルチ編成サービスの番組を切り換えることができます。

テレビを受信する

→「テレビの見かた」(P401)

• ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

コマンドホイールを回す

テレビの操作画面が表示されます。

マルチ編成サービス放送中の番組は、マークが表示されます。

3 **ジョイスティックを下に倒して [サービス切換] を選び、[実行] を押す**

• マルチ編成サービス放送中 (マーク表示中) でなければ、[サービス切換] を選ぶことはできません。

３桁番号

マルチ編成サービスの番組に切り換わります。この時、マルチ編成サービスの番組を示す３桁番号も切り換わります。

表示サイズを切り換える

放送中の映像を「中」→「拡大」の2段階に切り換えることができます。

テレビを受信する

→「テレビの見かた」(P401)

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

コマンドホイールを回す

テレビの操作画面が表示されます。

ジョイスティックを下に倒して [表示サイズ切換] を選び、[実行] を押す

表示サイズが切り換わります。

再度、ジョイスティックを下に倒して [表示サイズ切換] を選び、[実行] を押す

元のサイズに戻ります。

初期スキャンをやり直す

初期スキャンをやり直し、プリセットスイッチの放送局を記録し直します。受信する地域が長期的に変わったときに行うと便利です。

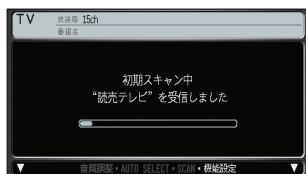
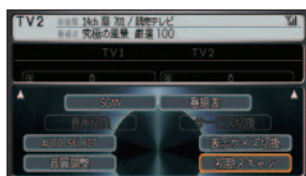
テレビを受信する

→「テレビの見かた」(P401)

> • ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

コマンドホイールを回す

テレビの操作画面が表示されます。

ジョイスティックを下に倒して [初期スキャン] を選び、[実行] を押す

初期スキャン完了後、現在地周辺の地域で受信できる放送局がプリセットスイッチに登録されます。

DVD ビデオを再生する

DVD は、安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。走行中や、停車していてもパーキングブレーキをかけていないときなどは、映像は映らず、音声だけが聞こえます。

 お願い

- DVD ビデオをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

お知らせ

- ディスクは正しい向きに差し込んでください。
- 両面仕様の DVD ビデオディスクの場合は、A/B 面をよくお確かめのうえディスクを挿入してください。
- DVD ビデオはディスクによって録音レベルが異なるため、他の音源から DVD ビデオに切り換えると、音量に差が感じられることがあります。
- ディスクによっては、ディスクに記録されたメニュー画面が表示されるものがあります。ディスクメニューが表示された場合は、ジョイスティックを上下左右に倒して項目を選び、[実行] を押してください。

DVD ビデオの見かた

■再生する

DVD ビデオを再生するには、次のようにします。

ディスク挿入口に、レーベル面を上にして DVD ビデオディスクを差し込む

DVD ビデオの終了のしかた

ディスク取り出しボタンを押して、DVD ビデオディスクを取り出す

再生を中止して、DVD ビデオディスクが出てきます。

■メニュー画面の操作

再生中にコマンドホイールを回す
DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

コマンドホイールを回して項目を選んで [実行] を押す

再生中 / 一時停止中の操作項目

[操作メニューを消す]
[再生 / 一時停止]*(→ P414)*
[停止]*(→ P413)*
[音質調整]*(→ P371)*
[トップメニュー]*(本ページ)*
[メニュー]*(本ページ)*
[音声]*(→ P414)*
[字幕]*(→ P415)*
[アングル]*(→ P415)*
[サーチ]*(→ P412)*
[数字入力]*(→ P413)*

停止中の操作項目

[操作メニューを消す]
[再生]*(→ P414)*
[停止]*(→ P414)*
[音質調整]*(→ P371)*
[トップメニュー]*(本ページ)*
[サーチ]*(→ P412)*
[初期設定]*(→ P417)*

お知らせ

- [操作メニューを消す] を選ぶと DVD ビデオの操作メニューが消えます。
- [トップメニュー] を選ぶとディスクに記録されたトップメニューが表示されます。
- [メニュー] を選ぶとディスクに記録されたメニューが表示されます。再度選ぶとメニュー表示前の画面に戻ります。

■DVD ビデオディスクのメニューを表示する

DVD ビデオに記録されている情報はいくつかに区切られており、その 1 つ 1 つにタイトルが設定されています。そのタイトルのメニューを「トップメニュー」と言います。
さらに 1 つのタイトルもいくつかに区切られており、その 1 つ 1 つをチャプターと言い、そのチャプターのメニューを「メニュー」と言います。
ここでは、DVD ビデオディスクに記録された各メニューの表示のしかたを説明します。

お知らせ

- DVD ビデオディスクによっては各メニューがない場合や、場面によって表示できない場合があります。その場合、以下の操作を行うと、画面に 🚫 (禁止マーク) が表示されます。

再生中にコマンドホイールを回す
DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

[トップメニュー] または [メニュー] を選んで [実行] を押す

▼

各メニューが表示されます。

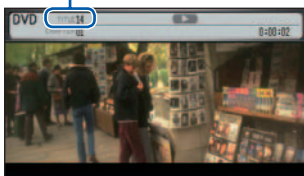
お知らせ

- 表示されるメニューや内容はディスクによって異なります。表示に従って操作してください。
- ディスクに記録されているメニューはジョイスティックを上下左右に倒して選んでください。

■タイトルを進める / 戻す

タイトルとチャプターでは、ディスクの操作状態によって、選択の対象が変わります。

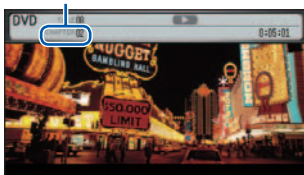
1 [FOLDER] ボタンを押す

タイトル

[+]	次のタイトルを選ぶとき
[−]	前のタイトルを選ぶとき

■チャプターを進める / 戻す

タイトルとチャプターでは、ディスクの操作状態によって、選択の対象が変わります。

1 [SKIP] ボタンを押す

チャプター

[⏮]	前のチャプター / 再生中のチャプターの始めを選ぶとき
[⏭]	次のチャプターを選ぶとき

■タイトルやチャプターを選ぶ(サーチ)

1 再生中にコマンドホイールを回す

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

2 [サーチ] を選んで [実行] を押す

3 [タイトル] または [チャプター] を選んで [実行] を押す

4 見たいタイトル番号またはチャプター番号を入力する

→「文字入力のしかた」(P42)

(入力例)

[5] を選ぶ場合 :

[5] を選んで [実行] を押す。

または [0] を選んで [実行] を押し、次に [5] を選んで [実行] を押す。

[10] を選ぶ場合 :

[1] を選んで [実行] を押し、次に [0] を選んで [実行] を押す。

[25] を選ぶ場合 :

[2] を選んで [実行] を押し、次に [5] を選んで [実行] を押す。

5 [決定] を選んで [実行] を押す

▼

指定したタイトルまたはチャプターから再生されます。

■数字入力による再生

タイトルやチャプターを数字入力により選んで再生することができます。

再生中にコマンドホイールを回す

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

[数字入力] を選んで [実行] を押す

数字を入力する

→ *「文字入力のしかた」(P42)*

(入力例)

[5] を選ぶ場合 :

[5] を選んで [実行] を押す。

または [0] を選んで [実行] を押し、次に [5] を選んで [実行] を押す。

[10] を選ぶ場合 :

[1] を選んで [実行] を押し、次に [0] を選んで [実行] を押す。

[25] を選ぶ場合 :

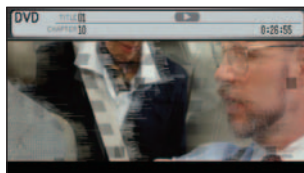
[2] を選んで [実行] を押し、次に [5] を選んで [実行] を押す。

[決定] を選んで [実行] を押す

▼

指定したタイトルまたはチャプターから再生されます。

■早送り / 早戻しをする

1 再生中に [SKIP] ボタンを押し続ける

早戻しをする場合は、[|◀◀] を押し続けます。

早送りをする場合は、[▶▶|] を押し続けます。

お知らせ

- ディスクによって、早送り / 早戻しできない場所があり、その場所にくると自動的に通常の再生になります。

■再生を停止する

再生中にコマンドホイールを回す

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

[停止] を選んで [実行] を押す

▼

再生を停止します。

つづく →

お知らせ

- 再生を停止した場所が記憶され、次にディスクを再生したときは前回の続きから再生されます（続き再生）。また、記憶した場所を消去することができます。→ *「記憶した場所を消去する」（本ページ）*
- ディスクまたは再生位置によっては、🚫（禁止マーク）が表示され、停止できないことがあります。

記憶した場所を消去する

再生を停止した場所の記憶を消去することができます。

記憶した場所を消去すると、次回再生時は先頭からの再生となります。

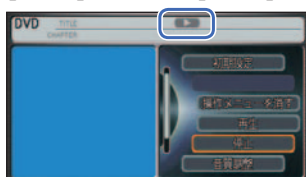
お知らせ

- 再生を停止した場所を記憶していると、▶ マークが点滅表示されています。

1 **停止中にコマンドホイールを回す**

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

2 **［停止］を選んで［実行］を押す**

▼

再生を停止した場所の記憶が消去され、■ マークになります。

DVD ビデオのいろいろな再生のしかた

静止画再生、音声、字幕、アングルなどの切り換えができます。

■静止画再生

1 **再生中にコマンドホイールを回す**

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

2 **［再生／一時停止］を選んで［実行］を押す**

▼

映像が一時停止します。

お知らせ

- ディスクまたは再生位置によっては、🚫（禁止マーク）が表示され、停止できないことがあります。

通常の再生に戻すには

もう一度、［再生／一時停止］を選んで［実行］を押します。

■音声を切り換える

言語が複数記録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます。（マルチ音声）

1 **再生中にコマンドホイールを回す**

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

2 [音声] を選んで [実行] を押す

▼

現在の音声言語が表示されます。
再度 [実行] を押すと別の音声に切り換わります。この後、[実行] を押すごとに別の音声に切り換わります。

お知らせ

- DVD ディスクのパッケージについている ②))) マークの数字が、音声の記録数を示します。
- ディスクによっては、DVD に記録されているメニュー画面でしか切り換えることができない場合があります。
- 本オーディオシステムは、dts 音声には対応しておりませんので、dts 音声は出力されません。dts 音声以外の音声を選んでください。
- DOLBY DIGITAL や MPEG2 オーディオなど、多チャンネル方式で記録された音声は、本オーディオシステムでは、ステレオ 2ch で出力されます。

■字幕を切り換える

字幕言語が複数記録されているディスクの場合、再生中に字幕言語を切り換えることができます。(マルチ字幕)

再生中にコマンドホイールを回す

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

2 [字幕] を選んで [実行] を押す

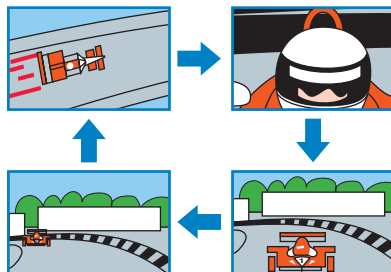
▼

現在の字幕言語が表示されます。
再度 [実行] を押すと別の字幕に切り換わります。この後、[実行] を押すごとに別の字幕言語に切り換わります。

お知らせ

- DVD パッケージについている 2 マークの数字が、字幕言語の記録数を示します。
- ディスクによっては、DVD に記録されているメニュー画面でしか切り換えることができない場合があります。

■アングルを切り換える

複数のカメラで同時に撮影された映像が記録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り換えることができます。
(マルチアングル)

つづく →

お知らせ

- マルチアングルが記録されている場面を再生すると、アングルマークが表示されます。アングルマークの表示を [する]/[しない] は、初期設定メニューの [アングルマーク表示] で行います。
  → *「初期設定をする」(P417)*

1 **マルチアングルが記録されている場面を再生中にコマンドホイールを回す**

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

2 **[アングル] を選んで [実行] を押す**

▼

現在のアングルが表示されます。
再度 [実行] を押すと別のアングルに切り換わります。この後、[実行] を押すごとに別のアングルに切り換わります。

お知らせ

- DVD パッケージについている 🎥 マークの数字が、アングルの記録数を示します。

■視聴制限のある DVD ビデオを再生する

視聴制限の設定 *(→ P419)* で再生できるシーンを限定していた場合に、視聴制限のある DVD ビデオを再生すると、視聴制限のあるシーンを飛ばして再生します。
また、DVD ビデオディスクによっては、視聴制限のあるシーンに差し掛かるとパスワードを入力する画面が表示される場合があります。ここでは、パスワードを入力する画面が表示された場合の説明をします。

お知らせ

- ディスクによっては、視聴制限のレベルを変更すると再生できないものがあります。視聴制限のレベルを変更後、このようなディスクを再生した場合は、一旦ディスクを取り出して、視聴制限のないディスクを挿入し、再生可能なレベルに変更してください。

1 **視聴制限のあるシーンに差し掛かり、パスワードを入力する画面が表示されたら、[戻る] ボタンを押す**

▼

視聴制限のあるシーンを飛ばして再生します。

お知らせ

- ディスクによっては、[戻る] ボタンを押しても継続して再生することができない場合があります。
- パスワードを入力する画面で、*「視聴制限を設定する」(→ P419)* で設定したパスワードを入力すると視聴制限のあるシーンを飛ばすことなく再生することができます。

初期設定をする

DVD ビデオ機能をあらかじめお好みの状態にしておくと、ディスクを再生するたびに設定を変える必要がありません。

初期設定できる項目は、以下のとおりです。

- 音声言語
- 字幕言語
- メニュー言語
- アングルマーク表示
- 音声圧縮 (ダイナミックレンジコントロール)
- 視聴制限 (パレンタルロック)

■初期設定を変更する

1 **再生中にコマンドホイールを回す**

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

2 **[停止] を選んで [実行] を押す**

3 **[初期設定] を選んで [実行] を押す**

▼

初期設定メニューが表示されます。

4 **変更したい項目を選んで [実行] を押す**

5 **設定を選んで [実行] を押す**

▼

初期設定が変更されます。

アドバイス

- 初期設定メニューで、ジョイスティックを下に倒して [初期値にする] を選び、[実行] を押すと、視聴制限以外の項目が初期状態に戻ります。

通信機能を使う
カードを使う
ハンズフリー電話を使う
ETCを使う
便利な機能
オーディオ・テレビ
サウンドコンテナ
その他
困ったときの手引き
機能設定一覧
索引

初期設定値一覧

設定値の太文字は、購入直後に選ばれている設定 (初期設定) です。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>設定内容</th><th>設定</th></tr>
<tr><td>音声言語</td><td>優先して聞きたい音声の言語を設定します。</td><td rowspan="3">[日本語]/[英語]/[フランス語]/[スペイン語]/[ドイツ語]/[イタリア語]/[オランダ語]/[中国語]/[韓国語]/[タイ語]/[その他]
[その他] を選んだ場合は、言語コード表 (→ P422) より、4 桁の言語コードを入力し、[決定] を選んで [実行] を押します。
→「文字入力のしかた」(P42)</td></tr>
<tr><td>字幕言語</td><td>優先して表示させたい字幕の言語を設定します。</td></tr>
<tr><td>メニュー言語</td><td>ディスクに記録されているメニュー画面の言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">アングルマーク表示</td><td rowspan="2">マルチアングル (→ P415) の場面を再生しているときにアングルマークを表示するかしないかを設定します。</td><td>[する]:マルチアングル場面の再生時に、アングルマークを表示します。</td></tr>
<tr><td>[しない]:マルチアングル場面の再生時に、アングルマークを表示しません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">音声圧縮</td><td rowspan="2">DVD ビデオ再生時に小音量と大音量の幅を一定に制御します。
→「音声圧縮 (ダイナミックレンジコントロール)」(P419)</td><td>[する]:音声を制御します。</td></tr>
<tr><td>[しない]:音声を制御しません。</td></tr>
<tr><td>視聴制限</td><td>視聴制限を設定します。
→「視聴制限を設定する 」(P419)</td><td>[レベル 1] ～ [レベル 8]</td></tr>
</table>

お知らせ

- [音声言語]、[字幕言語]、[メニュー言語] では、選んだ言語がディスクに記録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が設定されます。

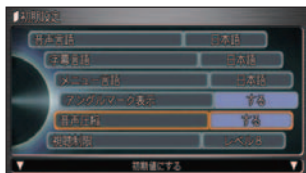
■音声圧縮（ダイナミックレンジコントロール）

DVD ビデオ再生時に小音量と大音量の音の幅を一定に制御（ダイナミックレンジコントロール）し、小さな音でも聞きやすくする機能です。DVD ビデオ再生中の音声を制御するかしないかを選ぶことができます。

お知らせ

- 音声圧縮（ダイナミックレンジコントロール）の効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。

初期設定メニューで［音声圧縮］を選んで［実行］を押す

→ *「初期設定を変更する」(P417)*

［する］または［しない］を選んで［実行］を押す

音声圧縮の［する］/［しない］が切り換わります。

■視聴制限を設定する

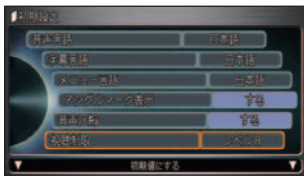
ディスクによっては、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面に視聴制限をかけることができます。（パレンタルロック）

お知らせ

- 最初にご使用になるときは、パスワードを設定してください。視聴制限は、パスワードが設定されないと操作できません。
- 視聴制限されたディスクを再生すると、パスワードの入力画面が表示されることがあります。この場合は、正しいパスワードを入力しないと視聴制限シーンを再生できません。→ *「視聴制限のある DVD ビデオを再生する」(P416)*
- ディスクのパッケージに視聴制限レベルが記載されていないディスクは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 視聴レベルは、ディスクに記憶されています。ディスクのパッケージなどをご確認ください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみ飛ばして再生するものがあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。
- ディスクによっては、視聴制限のレベルを変更すると再生できないものがあります。視聴制限のレベルを変更後、このようなディスクを再生した場合は、一旦ディスクを取り出して、視聴制限のないディスクを挿入し、再生可能なレベルに変更してください。

パスワードと視聴制限レベルの設定

初期設定メニューで [視聴制限] を選んで [実行] を押す

→「初期設定を変更する」(P417)

パスワード入力画面が表示されます。

2 4 桁のパスワードを入力する

→「文字入力のしかた」(P42)

お知らせ

- 設定したパスワードは、忘れないようにメモしておくことをお勧めします。

3 [入力完了] を選んで [実行] を押す

4 確認のため再度 4 桁のパスワードを入力する

→「文字入力のしかた」(P42)

5 [入力完了] を選んで [実行] を押す

パスワードが設定され、視聴レベルを変更する画面が表示されます。

6 レベルを選んで [実行] を押す

レベル 8	ディスクをすべて再生します。
レベル7～2	成人向けディスクの再生を禁止します。(子供向けや一般向けディスクを再生する)
レベル 1	子供向けディスクのみ再生します。

視聴制限のレベルが設定されます。

レベルを変更する

設定した視聴制限のレベルを変更することができます。

1 初期設定メニューで [視聴制限] を選んで [実行] を押す

→「初期設定を変更する」(P417)

2 登録したパスワードを入力する

→「文字入力のしかた」(P42)

3 [入力完了] を選んで [実行] を押す

視聴制限レベルの変更が可能になります。

4 レベルを選んで [実行] を押す

変更した視聴制限のレベルが設定されます。

パスワードを変更する

設定したパスワードを変更することができます。

パスワード入力画面でジョイスティックを下に倒して[パスワード変更]を選び、[実行]を押す

→「パスワードと視聴制限レベルの設定」(P420)

2 現在のパスワードを入力し[入力完了]を選び、[実行]を押す

3 新しいパスワードを入力し[入力完了]を選び、[実行]を押す

4 確認のため再度新しいパスワードを入力し[入力完了]を選び、[実行]を押す

▼

パスワードの変更が完了します。

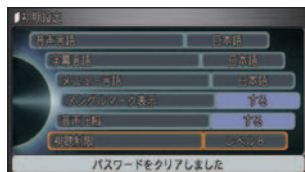
パスワードを忘れたときは

パスワードを忘れたときは、いったんパスワードをクリアし、必要に応じて設定し直してください。
パスワードをクリアするには、未入力の状態のパスワードを入力する画面で次のように操作します。

パスワードを入力する画面でジョイスティックを上に倒してカーソルを入力エリアに置く

→「パスワードと視聴制限レベルの設定」(P420)

2 文字未入力の状態で[実行]を5回連続で押す

▼

メッセージが表示され、パスワードがクリアされます。

言語コード表

言語名	入力コード
アファル語	6565
アブバジア語	6566
アフリカーンス語	6570
アムハラ語	6577
アラビア語	6582
アッサム語	6583
アイマラ語	6589
アゼルバイジャン語	6590
バキシール語	6665
白ロシア語	6669
ブルガリア語	6671
ビハーリー語	6672
ビスラマ語	6673
ベンガル語	6678
チベット語	6679
ブルトン語	6682
カタロニア語	6765
コルシカ語	6779
チェコ語	6783
ウェルシュ語	6789
デンマーク語	6865
ドイツ語	6869
ブータン語	6890
ギリシア語	6976
英語	6978
エスペラント語	6979
スペイン語	6983
エストニア語	6984
バスク語	6985
ペルシャ語	7065
フィンランド語	7073
フィジー語	7074
フェロー語	7079
フランス語	7082
フリジア語	7089
アイルランド語	7165
スコットランドゲール語	7168
ガルシア語	7176
グアラニー語	7178
グジャラード語	7185
ハウサ語	7265
ヘブライ語	7269
ヒンディー語	7273
クロアティア語	7282
ハンガリー語	7285
アルメニア語	7289

言語名	入力コード
国際語	7365
インドネシア語	7368
インターリング	7369
イヌピア語	7375
アイスランド語	7383
イタリア語	7384
日本語	7465
ジャワ語	7487
グルジア語	7565
カザフ語	7575
グリーンランド語	7576
カンボジア語	7577
カンナダ語	7578
韓国語	7579
カシミール語	7583
クルド語	7585
キルギス語	7589
ラテン語	7665
リンガラ語	7678
ラオス語	7679
リトアニア語	7684
ラトビア語	7686
マダガスカル語	7771
マオリ語	7773
マケドニア語	7775
マラヤーラム語	7776
モンゴル語	7778
モルダビア語	7779
マラータ語	7782
マレー語	7783
マルタ語	7784
ビルマ語	7789
ナウル語	7865
ネパール語	7869
オランダ語	7876
ノルウェー語	7879
オキタン語	7967
オロモ語	7977
オリヤー語	7982
パンジャブ語	8065
ポーランド語	8076
パシュトー語	8083
ポルトガル語	8084
ケチュア語	8185
レトロアンス語	8277
キルンディ語	8278

言語名	入力コード
ルーマニア語	8279
ロシア語	8285
キヤーワンダ語	8287
サンスクリット語	8365
シンド語	8368
サンゴ語	8371
セルボクロアティア語	8372
シンハリー語	8373
スロバキア語	8375
スロベニア語	8376
サモア語	8377
ショナ語	8378
ソマリア語	8379
アルバニア語	8381
セルビア語	8382
シスワティ語	8383
セストゥ語	8384
スンダ語	8385
スウェーデン語	8386
スワヒリ語	8387
タミル語	8465
テルグ語	8469
タジク語	8471
タイ語	8472
ティグリニャ語	8473
トゥルクメン語	8475
タガログ語	8476
セツワナ語	8478
トンガ語	8479
トルコ語	8482
ツォンガ語	8483
タタール語	8484
トウィ語	8487
ウクライナ語	8575
ウルドゥー語	8582
ウズベク語	8590
ベトナム語	8673
ヴォラピュック語	8679
ウォロフ語	8779
コーサ語	8872
イディッシュ語	8973
ヨルバ語	8979
中国語	9072
ズールー語	9085

サウンドコンテナ

サウンドコンテナとは

CD を Honda インターナビシステムのハードディスクに録音して、いろいろな方法で再生できる機能です。

サウンドコンテナには、さらに次の機能があります。

- PC カード内の MP3/WMA ファイルの再生
- 録音時に自動作成されるオリジナルプレイリストによる再生 (録音した音楽 CD と同じ曲、同じ曲順)
- お好みで収録できるユーザープレイリストによる再生→*「プレイリストを作成する」(P448)*
- オリジナルプレイリストとユーザープレイリストをグループごとに管理

お知らせ

- 音楽 CD を録音する方法は選択できます。→*「CD 録音モードを設定する」(P438)*
- DVD ビデオやテレビなど、音楽 CD 以外の音声は録音できません。
- 本オーディオシステムは音楽 CD 規格に準拠して設計されています。コピーコントロール CD などの CD 規格外ディクスの動作保証および性能保証は致しかねます。
- 音楽 CD などをデジタル録音 (MP3/WMA/AAC など) した記録媒体 (CD-R/RW、PC カード、USB デバイス、iPod) から、サウンドコンテナに録音 (コピー) することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム (SCMS) の働きによるものです。
- サウンドコンテナに録音した曲を別のメディア (CD-R/RW、PC カード、USB デバイス、iPod、ハードディスクなど) に複製することはできません。

グループ、プレイリスト、トラックについて

サウンドコンテナでは、グループ→プレイリスト→トラック (曲) の階層で管理されています。

■グループとは

複数のプレイリストを収録することができる場所で、季節に応じて聞きたいプレイリストや、家族の中で好みのプレイリストを分けておく場合に便利です。グループには大きくわけて [オリジナル]、[お気に入り / よく聴いた曲ベスト]、[PC カード]、[(新規グループ)] の 4 つがあります。
→*「グループの種類」(P427)*

■プレイリストとは

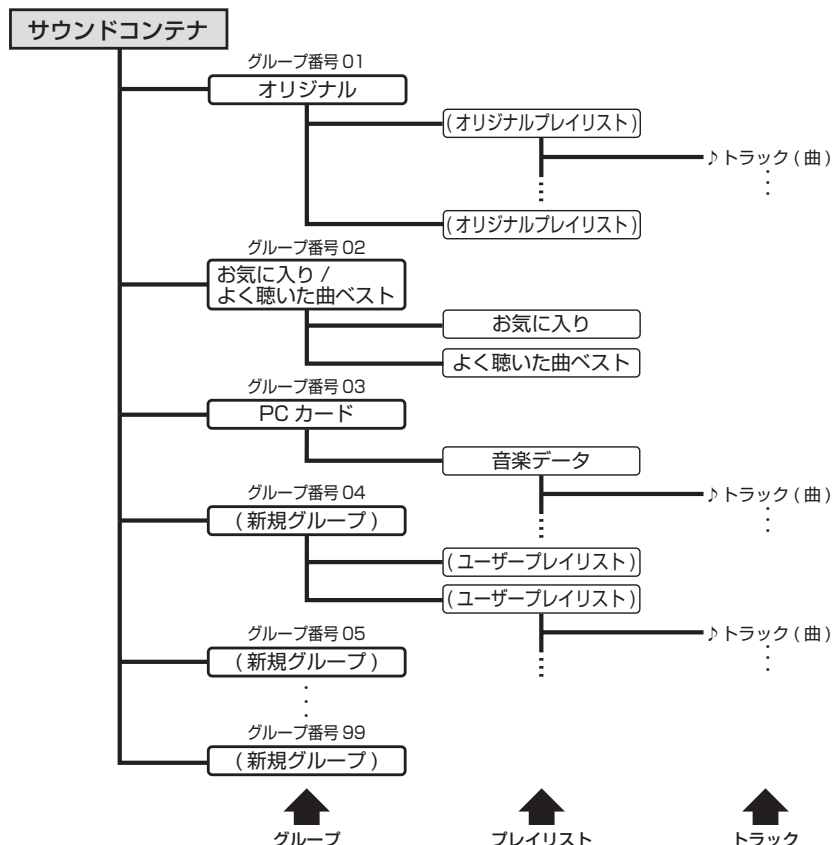
複数のトラック (曲) を収録することができる場所で、1 つのプレイリストに最大 99 曲のトラックを収録することができます。

オリジナルプレイリストとは

音楽 CD から録音するときに自動で作成されるプレイリストで、通常は音楽 CD のアルバムごとに管理されます。
ユーザープレイリストとは異なり、実際のデータとなるトラックが収録されます。

ユーザープレイリストとは

お客様自身がオリジナルプレイリスト内のお好みのトラックを選んで、収録することができるプレイリストです。お好みの曲を集めたアルバムを作成するときに便利です。
ユーザープレイリスト内のトラックはオリジナルプレイリストのトラックを参照している分身のようなもので、参照しているオリジナルプレイリストのトラックを消去すると、ユーザープレイリスト内のトラックも一緒に消去されます。

サウンドコンテナのイメージ

グループの種類

[オリジナル]	(グループ番号 :01) 音楽 CD から録音するときに自動で作成されるオリジナルプレイリストが収録される場所で、ユーザープレイリストを登録することはできません。また、グループの名称変更、削除はできません。最大 9999 個のオリジナルプレイリストを収録することができます。
[お気に入り / よく聴いた曲ベスト]	(グループ番号 :02) サウンドコンテナで再生した情報をもとに自動作成するプレイリストなどを収録する場所で、[お気に入り]、[よく聴いた曲ベスト] のプレイリストが収録されています。ユーザープレイリストを追加することはできません。また、グループの名称変更、削除はできません。
[PC カード]	(グループ番号 :03) 挿入された PC カード内の曲を表示させる場所で、[音楽データ] のプレイリストが収録されています。PC カードが挿入されていない、または再生可能な圧縮形式の音楽データがない場合は、[PC カード] 内のリストは表示されません。また、グループの名称変更、削除はできません。
[(新規グループ)]	(グループ番号 :04 ~ 99) お客様が作成したユーザープレイリストを収録する場所で、1 つのグループ内に最大 999 個のユーザープレイリストを収録することができます。グループの名称変更、削除ができます。

サウンドコンテナの聞きかた

登録されている全プレイリスト内の曲が再生されます。

再生できる PC カード内の MP3 ファイルについては、*「MP3 ファイルについて」(→ P361)* を、WMA ファイルについては、*「WMA ファイルについて」(→ P363)* を参照してください。

 お知らせ

- すべてのプレイリストが繰り返し再生されます。(小さい No. のプレイリストより順に再生され、最後のプレイリストの再生が終わると最初のプレイリストに戻り、再生を始めます。)
- 再生順序を変更することができます。*→「プレイリストの再生順番を変更する」(P455)*
- 音楽 CD の録音中にもサウンドコンテナを再生することができます。録音中の曲は、録音が完了するまでサウンドコンテナで再生することはできません。

PC カード内の MP3/WMA ファイルについて

- フォルダがたくさんある PC カードは、再生が始まるまで時間がかかります。
- [PC カード] のグループで表示できる曲は最大 99 曲までです。
- 各ファイルが複数のフォルダに保存されていても、フォルダおよびフォルダごとのファイルの表示はできません。
- PC カードが挿入されていても MP3/WMA ファイルが PC カード内に存在しない場合は、「PC カード」グループ内のリストは表示されません。
- ID3 Tag*(→ P361)*、WMA タグ *(→ P363)* からタイトル情報を取得できた場合は、リスト上部にトラックタイトルが表示されます。取得できなかった場合は、ファイル名が表示されます。アーティスト名は表示されません。
- 再生中に PC カードを抜くと [オリジナル] グループの一番小さい番号のプレイリストの再生が開始されます。ハードディスク内にプレイリストがない場合は、再生が停止します。

 お知らせ

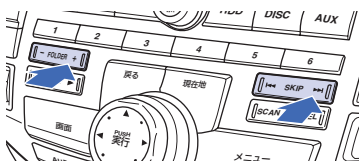
- 再生の順番はお使いのパソコンの仕様に依存しますのでファイル名、ファイル作成日時の順に再生されないことがあります。

[HDD] ボタンを押す

サウンドコンテナに切り換わります。

お知らせ

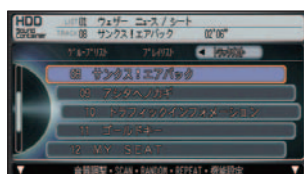
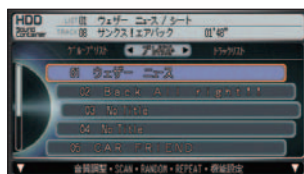
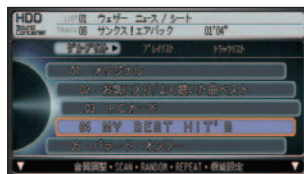
- 走行中、トラックリストにトラックタイトルは表示されません。(グループリスト、プレイリストも同様)

[FOLDER]、[SKIP] ボタンを押して、聞きたい曲を選ぶ

[FOLDER] ボタン	
[＋]	次のプレイリストを選ぶとき
[－]	前のプレイリストを選ぶとき
[SKIP] ボタン	
[|◀◀]	前の曲 / 再生中の曲の始めを選ぶとき
[▶▶|]	次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、[|◀◀] を押し続けます。

早送りする場合は、[▶▶|] を押し続けます。

グループリスト、プレイリスト、トラックリストを切り換える

ジョイスティックを左右に倒して [グループリスト]、[プレイリスト] または [トラックリスト] を選ぶ

グループリスト、プレイリストとトラックリストが切り換わります。コマンドホイールを回してグループやプレイリスト、トラックを選ぶことができます。→ *「聞きたい曲を探す」(P433)*

サウンドコンテナの終了のしかた

[PWR] ボタンを押す

サウンドコンテナの再生が停止します。

サウンドコンテナのいろいろな再生のしかた

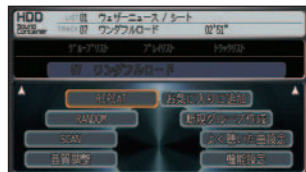
リピート再生、ランダム再生、スキャン再生が行えます。

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。
- グループ単位で曲のリピート再生、ランダム再生、スキャン再生をすることはできません。

■リピート再生

再生中の曲、またはその曲を含むプレイリスト内のすべての曲を繰り返し聞くことができます。

ジョイスティックを下に倒して [REPEAT] を選び、[実行] を押す

リピート再生が始まります。

再度 [実行] を押す

[実行] を押すたびに、[REPEAT] → [PLAYLIST-REPEAT] → [OFF] と切り換わります

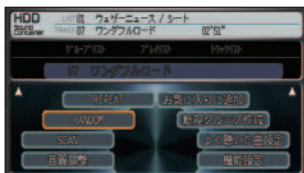
[REPEAT]	再生中の曲をリピート再生します。
[PLAYLIST-REPEAT]	再生中のプレイリストをリピート再生します。
[OFF]	リピート再生を解除します。

リピート再生中の表示

■ランダム再生

再生中のプレイリスト内の曲順、または［オリジナル］グループ内のプレイリストの順番とリスト内の曲順を変えて再生することができます。

ジョイスティックを下に倒して[RANDOM]を選び、［実行］を押す

▼

ランダム再生が始まります。

2 再度［実行］を押す

［実行］を押すたびに、[RANDOM]→[PLAYLIST-RANDOM]→[OFF]と切り換わります。

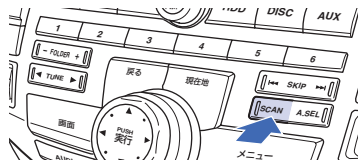
[RANDOM]	再生中のプレイリスト内にあるすべての曲をランダム再生します。
[PLAYLIST-RANDOM]	［オリジナル］のグループ内にあるすべての曲をランダム再生します。
[OFF]	ランダム再生を解除します。

▼

ランダム再生中の表示

■スキャン再生

再生中のプレイリスト内の曲、または再生中のグループ内にある全プレイリストの先頭曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聞くことができます。
聞きたい曲を探すときに使います。

1 [SCAN]ボタンを押す

アドバイス

- メニュー内の[SCAN]を選んで［実行］を押しても同様に行えます。

▼

スキャン再生が始まります。

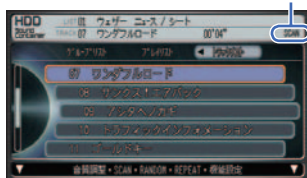
2 再度［実行］を押す

［実行］を押すたびに、[SCAN]→[PLAYLIST-SCAN]→[OFF]と切り換わります。

[SCAN]	再生中のプレイリスト内にあるすべての曲をスキャン再生します。
[PLAYLIST-SCAN]	再生中のグループ内にあるすべてのプレイリストの先頭曲をスキャン再生します。
[OFF]	スキャン再生を解除します。

▼

つづく→

スキャン再生中の表示

お知らせ

- スキャン再生は、始めた曲まで戻ると自動的に解除されます。

3 **聞きたい曲が再生されたら、[実行] を押す**

選んだ曲を再生します。

聞きたい曲を探す 簡単 標準

グループ、プレイリスト、トラックのリスト画面を見ながら探したり、ジャンルやアーティスト名を指定して探したりすることができます。

お知らせ

- 曲を探しているときに、再生中の曲のトラックリストを表示させたいときは [戻る] ボタンを押します。

リスト画面から探す

聞きたい曲が収録されているグループやプレイリストを選んだり、トラック（曲）を選んで再生することができます。

サウンドコンテナを再生する

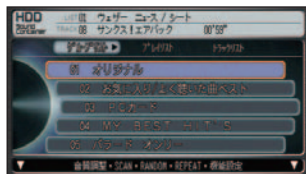
→「サウンドコンテナの聞きかた」(P428)

サウンドコンテナの操作画面が表示されます。

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

聞きたい曲が収録されているグループを選んでジョイスティックを右に倒す

▼

選んだグループに収録されているプレイリストのリスト画面が表示されます。

お知らせ

- グループを選んで [実行] を押してもプレイリストのリスト画面が表示されます。

3 **聞きたい曲が収録されているプレイリストを選んでジョイスティックを右に倒す**

▼

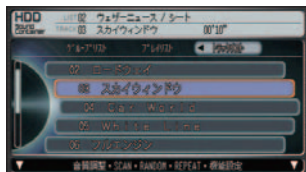
選んだプレイリストに収録されているトラックのリスト画面が表示されます。

お知らせ

- プレイリストを選んで [実行] を押すと、収録されているトラックの 1 曲目が再生されます。
- [お気に入り / よく聴いた曲ベスト] のグループにある [よく聴いた曲ベスト] を選んで [実行] を押すと、*「よく聴いた曲を設定する」*（*→ P442*）で指定した条件でトラックのリストが更新されます。

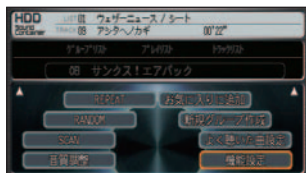
つづく →

4 聞きたい曲を選んで［実行］を押す

▼

選んだトラックの曲が再生されます。

検索機能を使って探す

サウンドコンテナでは、大量に登録された曲を探すため、さまざまな条件を指定して探すことができる検索機能があります。
録音した時期、ジャンル、プレイリスト名、トラック名、アーティスト名、再生回数、再生した時期、の指定を組み合わせて探すことができます。

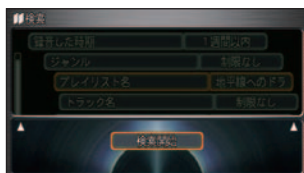
1 サウンドコンテナの操作画面でジョイスティックを下に倒して［機能設定］を選び、［実行］を押す

2 ［検索］を選んで［実行］を押す

3 各項目を選んで［実行］を押す

4 条件を選んで［実行］を押す

以降、手順３～４を繰り返し、さまざまな条件を指定します。

5 ジョイスティックを下に倒して［検索開始］を選び、［実行］を押す

▼

検索条件に該当した曲のリストが表示されます。

6 聞きたい曲を選んで［実行］を押す

▼

選んだ曲の再生が開始されます。

お知らせ

- 検索条件に該当したリスト内の曲を１つのプレイリストに登録することができます。→ *「検索結果をプレイリストに登録する」(P437)*

検索条件一覧

設定値の太字は、購入直後に選ばれている設定 (初期状態) です。

項目	条件	内容
録音した時期	**[期限なし]**	録音した時期を検索条件から外します。
	[1 週間以内]	過去 1 週間以内に録音された曲を探します。
	[1 ヶ月以内]	過去 1 ヶ月以内に録音された曲を探します。
	[6 ヶ月以内]	過去 6 ヶ月以内に録音された曲を探します。
	[6 ヶ月以上前]	過去 6 ヶ月以上前に録音された曲を探します。
	[1 年以内]	過去 1 年以内に録音された曲を探します。
	[1 年以上前]	過去 1 年以上前に録音された曲を探します。
	[3 年以内]	過去 3 年以内に録音された曲を探します。
	[3 年以上前]	過去 3 年以上前に録音された曲を探します。
ジャンル ※ 1	**[制限なし]**	ジャンルを検索条件から外します。
	[(ジャンル名)]	該当するジャンルの曲を探します。選択できるジャンルは 1 つです。
プレイリスト名 ※ 2	**[制限なし]**	プレイリスト名を検索条件から外します。
	[キーボード入力]	文字入力画面で、指定するプレイリスト名の一部を入力して探します。→ *「文字入力のしかた」(P42)*
	[(プレイリスト名)]	該当するプレイリスト名の曲を探します。選択できるプレイリスト名は 1 つです。
トラック名 ※ 3	**[制限なし]**	トラック名を検索条件から外します。
	[キーボード入力]	文字入力画面で、指定するトラック名の一部を入力して探します。→ *「文字入力のしかた」(P42)*
	[(トラック名)]	該当するトラック名の曲を探します。選択できるトラック名は 1 つです。
アーティスト名 ※ 4	**[制限なし]**	アーティスト名を検索条件から外します。
	[キーボード入力]	文字入力画面で、指定するアーティスト名の一部を入力して探します。→ *「文字入力のしかた」(P42)*
	[(アーティスト名)]	該当するアーティスト名の曲を探します。選択できるアーティスト名は 1 つです。
再生回数	**[制限なし]**	再生回数を検索条件から外します。
	[0 回]	過去に再生したことがない曲を探します。
	[1 ～ 5 回]	過去に 1 回～ 5 回再生した曲を探します。
	[6 回以上]	過去に 6 回以上再生した曲を探します。

つづく ➔

項目	条件	内容
再生した時期	**[期限なし]**	再生した時期を検索条件から外します。
	[6 ヶ月以内]	過去 6 ヶ月以内に再生された曲を探します。
	[6 ヶ月以上前]	過去 6 ヶ月以上前に再生された曲を探します。
	[1 年以内]	過去 1 年以内に再生された曲を探します。
	[1 年以上前]	過去 1 年以上前に再生された曲を探します。
	[3 年以内]	過去 3 年以内に再生された曲を探します。
	[3 年以上前]	過去 3 年以上前に再生された曲を探します。

※ 1　タイトル情報 *(→ P459)* でジャンルが指定されていない場合は条件のリストに表示されません。

※ 2　タイトル情報 *(→ P459)* でプレイリスト名が登録されていない場合は条件のリストに表示されません。

※ 3　タイトル情報 *(→ P459)* でトラック名が登録されていない場合は条件のリストに表示されません。

※ 4　タイトル情報 *(→ P459)* でアーティスト名が登録されていない場合は条件のリストに表示されません。

■検索結果をプレイリストに登録する

「検索機能を使って探す」(→P434) での検索結果で表示されたリスト内の曲を、新しくプレイリストを作り登録することができます。

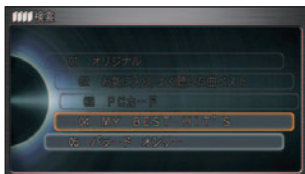
アドバイス

- ここで作成するプレイリストはすべてユーザープレイリストです。
  → *「ユーザープレイリストとは」(P426)*

1 検索機能を使って曲を探す

→ *「検索機能を使って探す」(P434)*

2 検索結果のリスト画面でジョイスティックを下に倒して [プレイリストとして登録] を選び、[実行] を押す

3 収録したいグループを選んで [実行] を押す

お知らせ

- 収録するグループを選ぶには、あらかじめ [オリジナル]、[お気に入り / よく聴いた曲ベスト]、[PC カード] 以外のグループを作成しておく必要があります。
  → *「グループを作成する」(P444)*

お知らせ

- グループを作成していなかった場合は、自動的に日付名のグループが作成され、手順 4 に進みます。
- グループ名は編集することができます。
  → *「グループ名を変更する」(P444)*

4 新規プレイリストのタイトルを入力する

→ *「文字入力のしかた」(P42)*

お知らせ

- あらかじめ日付がプレイリスト名として入力されています。

5 [完了] を選んで [実行] を押す

▼

新しく作成したプレイリストに検索結果の曲が登録され、選んだグループに収録されます。

サウンドコンテナに録音する

音楽 CD から録音したオリジナルプレイリストはすべて [オリジナル] のグループに収録されます。
ここでは、録音前の設定および録音方法について説明します。

- 音楽 CD からサウンドコンテナへの録音は約 4 倍速で行われます。
- サウンドコンテナに録音中でも、録音済みのプレイリストを再生することができます。

録音設定をする

■CD 録音モードを設定する

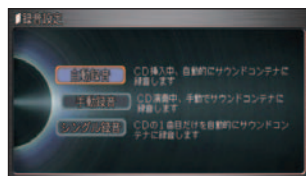
音楽 CD の録音モードを設定します。

→ *「CD 再生中に自動的に録音する」(P440)*
→ *「CD を手動で録音する」(P440)*
→ *「CD の 1 曲目だけを自動的に録音する」(P441)*

- 録音中にモードを変更する場合は、録音をいったん停止してください。
- 出荷時の録音モードは [自動録音] です。

CD の操作画面でジョイスティックを下に倒して [録音設定] を選び、[実行] を押す

2

録音モードを選んで [実行] を押す

録音設定画面では、次の設定ができます。

[自動録音]	CD を再生すると、自動的にサウンドコンテナに録音されます。
[手動録音]	CD 再生中に、ボタンを操作してサウンドコンテナに録音します。
[シングル録音]	CD の 1 曲目だけが自動的にサウンドコンテナに録音されます。

録音モードが設定されます。

■録音についての注意事項

録音する前にお読みください。

お知らせ

- お客様の録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録音した曲は、原音とは音質が異なったり、ノイズが発生する可能性があります。
- 著作権保護のため、法人登録車ではサウンドコンテナの機能が利用できない場合があります。

■CD 録音の制限について

すべての録音モード

- 録音中の曲は CD の音声 (原音) で聞くことができません。(録音中は、オーディオ画面が CD になっていても録音済みのサウンドコンテナの音声で再生されています。)
- サウンドコンテナで録音中の曲を聞くことができますが、録音開始直後は再生までに若干時間がかかります。
- 録音中は早送り / 早戻しはできません。
- 録音中はリピート再生、ランダム再生、スキャン再生はできません。
- CD 以外の音源が選択されても、サウンドコンテナは CD の録音を継続します。
- 録音中は Honda インターナビシステムの操作に時間がかかることがあります。
- 音飛びしてエラーが検出された場合は、その曲の始めに戻り録音を再開します。
- トラック間 (曲間) にブランクがない CD を録音すると、曲間に無音が録音されます。
- サウンドコンテナの録音可能時間 (ハードディスク容量) が CD の演奏時間より短い場合は、録音できません。(録音機能は働きません。)
- 地図画面のときは、左の中段に録音中のマーク R が表示されます。
- 本オーディオシステムは音楽 CD 規格に準拠して設計されています。コピーコントロール CD などの CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。
- CD などをデジタル録音 (MP3/WMA/AAC など) した記録媒体 (CD-R/RW、PC カードなど) から、サウンドコンテナに録音 (コピー) することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム (SCMS) の働きによるものです。
- PC カードに録音することはできません。
- 「録音が完了しました。」のメッセージが表示されたあと、または R が消えたあと、約 10 秒間は最後に録音していた曲を処理 / 保存しています。そのため、すぐにエンジンスイッチを“0”にすると、最後の曲が録音されません。
  エンジンスイッチを“0”にするときは、しばらく待ってから行ってください。

自動録音 / シングル録音モード

- すでに録音済みの曲は、同じ CD から重複して録音できません。
- エンジンスイッチを“0”にすると、録音中の曲が消去されます。次回エンジンスイッチを“I”または“II”にすると、エンジンスイッチを“0”にしたときに録音していた曲の始めから録音を開始します。
- 録音中に CD を取り出すと、録音中だった曲は消去されます。
- 選曲すると、録音中の曲が消去され、次の未録音の曲から録音を開始します ([自動録音] 選択時のみ)。

手動録音モード (1 曲のみ)

- CD 録音モードを [自動録音] に切り換え [録音開始] を選ぶと、次の曲から録音を開始します。
- CD 録音モードを [シングル録音] に切り換えると、次の未録音の曲がトラック 1 のときのみ録音を開始します。

CD再生中に自動的に録音する

CDを再生すると、自動的にサウンドコンテナに録音されます。

1 **録音設定の画面で録音モードを[自動録音]にする**

→「CD録音モードを設定する」(P438)

2 **CDを再生する**

→「CDの聞きかた」(P383)

録音中の表示(赤色)※

CDの録音が始まります。

※ 再生されている曲がすでに録音済みでも、まだ録音されていない曲がある場合は、録音待機状態を示す青色になります。

すべての曲の録音が終了すると「REC」マークが消えます。
録音を停止する場合は、*「録音を停止する」(→P441)*を参照してください。

CDを手動で録音する

CDの曲を、ボタンを操作してサウンドコンテナに録音します。

1 **録音設定の画面で録音モードを[手動録音]にする**

→「CD録音モードを設定する」(P438)

2 **録音したい曲を再生する**

→「CDの聞きかた」(P383)

3 **CDの操作画面でジョイスティックを下に倒して[録音開始]を選び、[実行]を押す**

録音中の表示(赤色)

再生中の曲は始めに戻って再生され、録音が始まります。

録音が完了すると、「REC」マークが消えます。
録音を停止する場合は、*「録音を停止する」(→P441)*を参照してください。

CD の 1 曲目だけを自動的に録音する

CD を再生すると、1 曲目だけが自動的にサウンドコンテナに録音されます。

録音設定の画面で録音モードを[シングル録音] にする

→「CD 録音モードを設定する」(P438)

CD を再生する

→「CD の聞きかた」(P383)

録音中の表示 (赤色)

CD の録音が始まります。

▼

1 曲目の録音が終了すると、「REC」マークが消えます。

お知らせ

- シングル録音では 1 曲目以外を再生中に、[録音開始] を選んで [実行] を押しても、録音を開始させることはできません。

録音を停止する

CD の操作画面でジョイスティックを下に倒して [録音停止] を選び、[実行] を押す

▼

録音が停止します。

よく聴いた曲を設定する

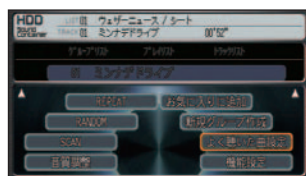
[よく聴いた曲ベスト] の条件設定や [お気に入り] へ曲を追加することができます。

お知らせ

- [よく聴いた曲ベスト] や [お気に入り] は [お気に入り / よく聴いた曲ベスト] のグループ内にあるプレイリストです。詳しくは、*「グループ、プレイリスト、トラックについて」* (→ P426) を参照してください。

よく聴いた曲ベストの条件を設定する

[よく聴いた曲ベスト] のプレイリストを作成するための検索期間を設定することができます。

1 **サウンドコンテナの操作画面でジョイスティックを下に倒して [よく聴いた曲設定] を選び、[実行] を押す**

2 **条件を選んで [実行] を押す**

▼

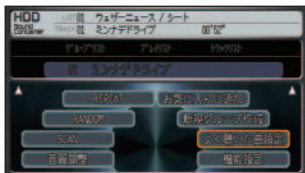
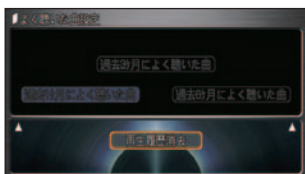
選んだ条件が設定されます。

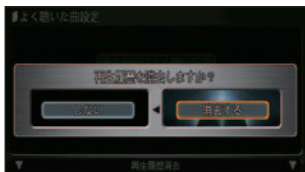
よく聴いた曲の設定条件

[過去 1 ヶ月によく聴いた曲]	当日を含む過去 1 ヶ月でよく聴いた曲が登録されます。
[過去 3 ヶ月によく聴いた曲]	当月を含む過去 3 ヶ月でよく聴いた曲が登録されます。
[過去 6 ヶ月によく聴いた曲]	当月を含む過去 6 ヶ月でよく聴いた曲が登録されます。

■再生履歴を消去する

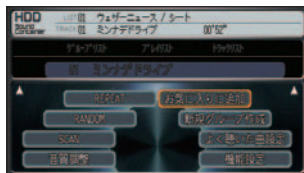
過去に再生した曲すべての履歴を消去することができます。

サウンドコンテナの操作画面でジョイスティックを下に倒して［よく聴いた曲設定］を選び、［実行］を押す

2 **ジョイスティックを下に倒して［再生履歴消去］を選び、［実行］を押す**

3 **ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す**

▼

過去に再生した曲すべての履歴が消去されます。

お気に入りに登録する

サウンドコンテナで曲を再生しているときに気に入った曲があったとき、［お気に入り］のプレイリストに登録することができます。

1 **登録したい曲が再生されたときに、ジョイスティックを下に倒して［お気に入りに追加］を選び、［実行］を押す**

2 **ジョイスティックを右に倒して［追加する］を選び、［実行］を押す**

▼

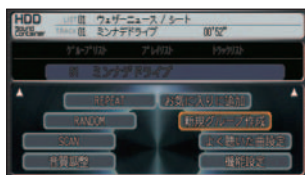
［お気に入り］のプレイリストに再生していた曲が登録されます。

グループを編集する

ユーザープレイリストを収録するグループを作成、編集することができます。

グループを作成する

ユーザープレイリストを収録するためのグループを新規作成し、サウンドコンテナのグループのリストに追加することができます。

1 サウンドコンテナの操作画面でジョイスティックを下に倒して［新規グループ作成］を選び、［実行］を押す

2 新規グループのタイトル名を入力する

→「文字入力のしかた」(P42)

お知らせ

- あらかじめ日付がグループ名として入力されています。

3 ［完了］を選んで［実行］を押す

▼

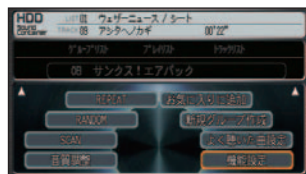
新しいグループがグループのリストに追加されます。

グループ名を変更する

作成したグループの名称を変更することができます。

お知らせ

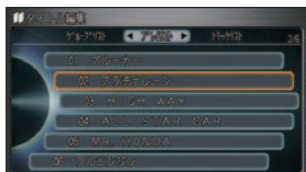
- ［オリジナル］、［お気に入り / よく聴いた曲ベスト］、[PC カード] のグループは、グループ名を変更できません。

1 サウンドコンテナの操作画面でジョイスティックを下に倒して［機能設定］を選び、［実行］を押す

2 ［タイトル編集］を選んで［実行］を押す

3 いずれかのユーザープレイリストを選んで [実行] を押す

お知らせ

- あらかじめ、*「グループを作成する」(→P444)* で作成したグループにユーザープレイリストを収録しておく必要があります。→ *「プレイリストを作成する」(P448)*

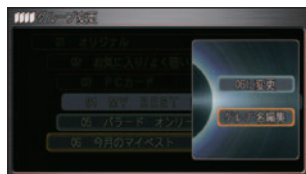
▼

ユーザープレイリストの編集画面が表示されます。

アドバイス

- ユーザープレイリストの編集画面では、タイトル名やアーティスト名の変更などができます。詳しくは *「プレイリストを編集する」(→P452)* を参照してください。

4 [グループ] を選んで [実行] を押す

5 名称を変更したいグループを選んで [実行] を押す

6 [グループ名編集] を選んで [実行] を押す

7 グループ名を編集する

→ *「文字入力のしかた」(P42)*

8 [完了] を選んで [実行] を押す

▼

選んだグループの名称が変更されます。

収録するグループを変更する

ユーザープレイリストの編集画面で収録するグループを変更することができます。

お知らせ

- 収録するグループを [オリジナル]、[お気に入り / よく聴いた曲ベスト]、[PC カード] のグループへ変更することはできません。
- [オリジナル]、[お気に入り / よく聴いた曲ベスト]、[PC カード] のグループ内のプレイリストを別のグループに変更することはできません。
- トラック編集画面では、グループの変更はできません。

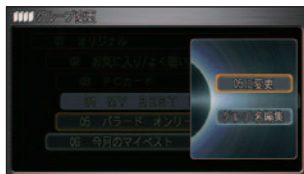
1 ユーザープレイリストの編集画面を表示する

→「グループ名を変更する」(P444)

2 [グループ] を選んで [実行] を押す

3 収録したいグループを選んで [実行] を押す

4 [(グループ番号) に変更] を選んで [実行] を押す

▼

選んだグループへ変更されます。

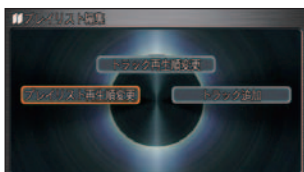
グループの再生順番を変更する

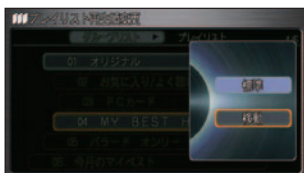
お知らせ

- 通常の再生では、グループ番号順に再生されます。

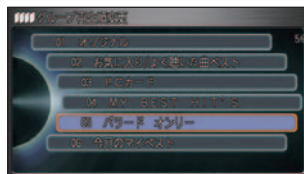
1 サウンドコンテナの操作画面でジョイスティックを下に倒して［機能設定］を選び、［実行］を押す

2 ［プレイリスト編集］を選んで［実行］を押す

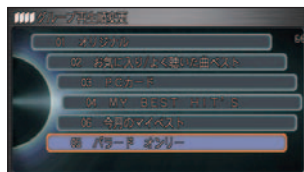
3 ［プレイリスト再生順変更］を選んで［実行］を押す

4 ジョイスティックを左に倒してグループリストを表示し、［実行］を押す

5 ［移動］を選んで［実行］を押す

お知らせ

- 再生順番を初期状態（グループ番号順）に戻すときは、［標準］を選んで［実行］を押します。

6 再生順番を変更したいグループを選んで［実行］を押す

選んだグループは色が変わって表示されます。

7 コマンドホイールを回して挿入したい位置を選び、［実行］を押す

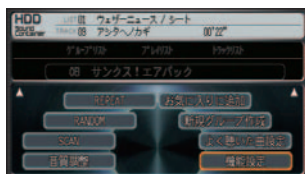
▼

選んだ位置にグループが移動します。

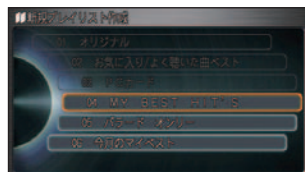
プレイリストを作成する

プレイリストには、オリジナルプレイリストとユーザープレイリストの２種類があります。
→「プレイリストとは」(P426)
ここでは、新しくユーザープレイリストを作成し曲を登録する方法を説明します。

 お知らせ

- ユーザープレイリストは、１つのグループ内に 999 個まで作成できます。
- １つのプレイリストには、99 曲 (トラック) まで登録できます。

サウンドコンテナの操作画面でジョイスティックを下に倒して [機能設定] を選び、[実行] を押す

2 **[新規プレイリスト作成] を選んで [実行] を押す**

3 **収録したいグループを選んで [実行] を押す**

お知らせ

- 収録するグループを選ぶには、あらかじめ [オリジナル]、[お気に入り / よく聴いた曲ベスト]、[PC カード] 以外のグループを作成しておく必要があります。→「グループを作成する」(P444)
- グループを作成していなかった場合は、自動的に日付名のグループが作成され、手順４に進みます。グループ名は後で変更することができます。→「グループ名を変更する」(P444)

新規プレイリストのタイトルを入力する

→「文字入力のしかた」(P42)

 お知らせ

- あらかじめ日付がプレイリスト名として入力されています。

5 [完了] を選んで [実行] を押す

▼

曲の検索方法を選択する画面が表示されます。

- [プレイリストから探す] を選んだ場合は、リスト画面から曲を探してプレイリストに登録することができます。
  → *「リスト画面から曲を探して登録する」(本ページ)*
- [条件を指定して探す] を選んだ場合は、さまざまな条件を設定して曲を検索し、検索に該当した曲をプレイリストに登録することができます。
  → *「検索機能で曲を探して登録する」(P450)*

リスト画面から曲を探して登録する

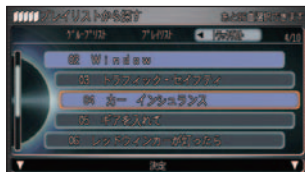
登録したい曲が収録されているグループやプレイリストからトラック (曲) を選んで、新しく作成したプレイリストに登録することができます。

1 曲の検索方法を選択する画面で、[プレイリストから探す] を選んで [実行] を押す

→*「プレイリストを作成する」(P448)*

2 登録したい曲を選んで [実行] を押す

曲の探しかたは、*「リスト画面から探す」(→ P433)* と同様の操作となります。

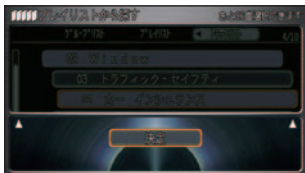
▼

選んだ曲は色が青色に変わって表示されます。この操作を繰り返して登録したいすべての曲を選択していきます。

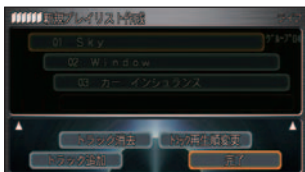
お知らせ

- PC カード内の曲は選択できません。

つづく →

3 ジョイスティックを下に倒して［決定］を選び、［実行］を押す

▼

登録が完了し、新しく作成したプレイリストにトラックのリストが表示されます。

4 ジョイスティックを下に倒して［完了］を選び、［実行］を押す

お知らせ

- ［トラック追加］を選んで［実行］を押すと、さらに曲を追加することができます。*「プレイリストに曲を追加する」（→ P455）*と同様の操作となります。
- ［トラック消去］を選んで［実行］を押すと、登録した曲を選んで消去することができます。*「グループ、プレイリスト、トラックを消去する」（→ P458）*と同様の操作となります。
- ［トラック再生順変更］を選んで［実行］を押すと、プレイリスト内の曲の再生順番を変更することができます。*「曲の再生順番を変更する」（→ P457）*と同様の操作となります。

▼

登録操作が完了します。

アドバイス

- ［戻る］ボタンを押しても完了します。

検索機能で曲を探して登録する

録音した時期、ジャンル、プレイリスト名、トラック名、アーティスト名、再生回数、再生した時期、の指定を組み合わせて検索し、検索結果の曲すべてを新しく作成したプレイリストに登録することができます。

1 曲の検索方法を選択する画面で、［条件を指定して探す］を選んで［実行］を押す

→*「プレイリストを作成する」(P448)*

▼

検索メニュー画面が表示されます。

2 各項目を選んで［実行］を押す

3 条件を選んで［実行］を押す

以降、手順 2 〜 3 を繰り返し、さまざまな条件を指定します。
条件の設定内容については、*「検索機能を使って探す」（→ P434）*を参照してください。

4 ジョイスティックを下に倒して [検索開始] を選び、[実行] を押す

▼

検索条件に該当した曲のリストが表示されます。

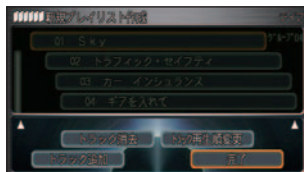
お知らせ

- ここで表示されたリストの曲がすべて登録されます。曲を選んで [実行] を押すと、登録対象から外したり入れたりすることができます。
- 登録する対象の曲は、青色に表示されています。

5 ジョイスティックを下に倒して [決定] を選び、[実行] を押す

▼

登録が完了し、新しく作成したプレイリストにトラックのリストが表示されます。

6 ジョイスティックを下に倒して [完了] を選び、[実行] を押す

お知らせ

- [トラック追加] を選んで [実行] を押すと、さらに曲を追加することができます。*「プレイリストに曲を追加する」(→ P455)* と同様の操作となります。
- [トラック消去] を選んで [実行] を押すと、登録した曲を選んで消去することができます。*「グループ、プレイリスト、トラックを消去する」(→ P458)* と同様の操作となります。
- [トラック再生順変更] を選んで [実行] を押すと、プレイリスト内の曲の再生順番を変更することができます。*「曲の再生順番を変更する」(→ P457)* と同様の操作となります。

▼

登録操作が完了します。

アドバイス

- [戻る] ボタンを押しても完了します。

通信機能を使う
カードを使う
ハンズフリー電話を使う
ETCを使う
便利な機能
オーディオ・テレビ
サウンドコンテナ
その他
困ったときの手引き
機能設定一覧
索引

プレイリストを編集する

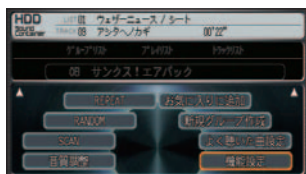
プレイリストやトラックの詳細情報の編集や、トラックの追加および再生順序の変更を行うことができます。

リストの詳細情報を表示する

登録されているプレイリストまたはトラックの情報を編集します。

お知らせ

- PC カード内の曲は編集できません。
- パソコンで PC カード内の曲の ID3 Tag、WMA タグを変更しても、トラック情報が更新されないことがあります。更新されないときは、PC カード内の該当するファイルをいったん消去して保存し直してください。

1 **サウンドコンテナの操作画面でジョイスティックを下に倒して [機能設定] を選び、[実行] を押す**

2 **[タイトル編集] を選んで [実行] を押す**

3 **編集したいプレイリストまたはトラックを選んで [実行] を押す**

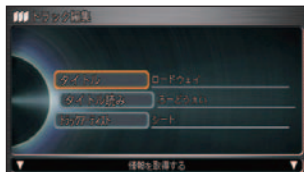
→ *「リスト画面から探す」(P433)*

▼

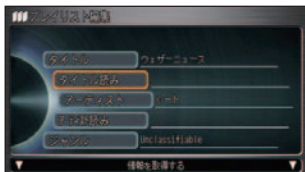
編集画面が表示されます。

プレイリスト編集画面

※図はオリジナルプレイリストの編集画面です。ユーザープレイリストの編集画面のときは、[ジャンル] は表示されません。

トラック編集画面

■タイトルや読みを変更する

タイトルは表示や検索に、読みは音声操作で曲を選ぶときに使用します。ここで変更したタイトルは音源となったCDのタイトル表示に反映されます。

編集画面で[タイトル]または[タイトル読み]を選んで[実行]を押す

→*「リストの詳細情報を表示する」(P452)*

タイトルまたは読みを入力する

→*「文字入力のしかた」(P42)*

[完了]を選んで[実行]を押す

▼

タイトルまたは読みが変更されます。

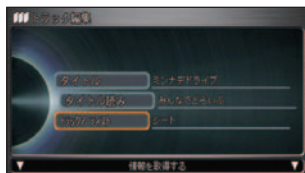
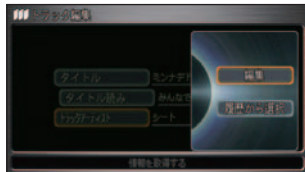
アドバイス

- タイトルや読みを変更した場合でも、タイトル情報を取得すると元に戻すことができます。→*「タイトル情報を取得する」(P459)*

■アーティスト名を変更する

アーティスト名は検索に使用します。また、プレイリストの編集画面の場合[アーティスト読み]が編集できます。読みは音声操作で曲を選ぶときに使用します。

プレイリスト編集画面では[アーティスト]トラック編集画面では[トラックアーティスト]を選んで[実行]を押す

→*「リストの詳細情報を表示する」(P452)*

2 **[編集]を選んで[実行]を押す**

お知らせ

- アーティスト名が入力されていない場合は、[編集]の変わりに[入力]が表示されます。[入力]を選んで[実行]を押すと、アーティスト名を入力できます。
- [履歴から選択]を選ぶとすでに登録されているアーティスト名からアーティストを選ぶことができます。

つづく→

3 アーティスト名を入力する

→ *「文字入力のしかた」(P42)*

4 [完了] を選んで [実行] を押す

▼

アーティスト名が変更されます。

アドバイス

- アーティスト名を変更した場合でも、タイトル情報を取得すると元に戻すことができます。→ *「タイトル情報を取得する」(P459)*

■グループを変更する

ユーザープレイリストの編集画面で [グループ] を選んで [実行] を押すとグループ名の変更や、別のグループへの移動が行えます。

→ *「グループ名を変更する」(P444)*
→ *「収録するグループを変更する」(P446)*

お知らせ

- [オリジナル]、[お気に入り / よく聴いた曲ベスト]、[PC カード] はグループの変更はできません。

■ジャンルを変更する

オリジナルプレイリストの場合、ジャンルを変更することができます。

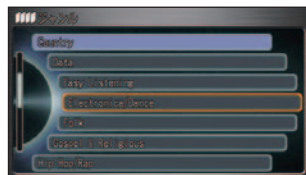
お知らせ

- ユーザープレイリストでは [ジャンル] は表示されません。

1 編集画面で [ジャンル] を選んで [実行] を押す

→ *「リストの詳細情報を表示する」(P452)*

2 ジャンルを選んで [実行] を押す

▼

ジャンルが変更されます。

アドバイス

- ジャンルを変更した場合でも、タイトル情報を取得すると元に戻すことができます。→ *「タイトル情報を取得する」(P459)*

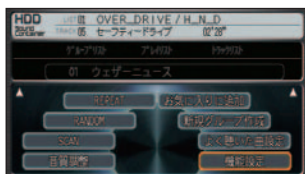
プレイリストに曲を追加する

ユーザープレイリストに曲を追加できます。

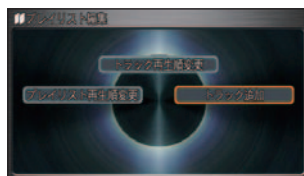
お知らせ

- オリジナルプレイリストには曲を追加できません。
- ここで説明する操作では [お気に入り / よく聴いた曲ベスト] のグループ内にあるプレイリストに曲を追加できません。
- [PC カード] のグループ内にある [音楽データ] のプレイリストには曲を追加できません。

1 サウンドコンテナの操作画面で曲を追加したいユーザープレイリストを選ぶ

2 ジョイスティックを下に倒して [機能設定] を選び、[実行] を押す

3 [プレイリスト編集] を選んで [実行] を押す

4 [トラック追加] を選んで [実行] を押す

▼

曲の検索方法を選択する画面が表示されます。

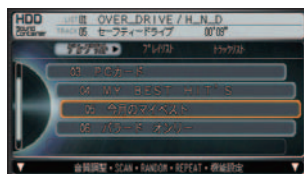
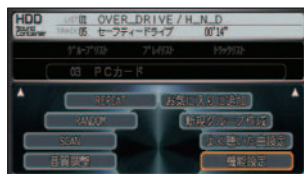
以降の操作手順は、*「リスト画面から曲を探して登録する」(→ P449)* または *「検索機能で曲を探して登録する」(→ P450)* と同様に行います。

再生順番を変更する

■ プレイリストの再生順番を変更する

お知らせ

- 通常の再生では、プレイリスト画面に表示される順番で再生します。

1 サウンドコンテナの操作画面でプレイリストの再生順番を変更したいグループを選ぶ

2 ジョイスティックを下に倒して [機能設定] を選び、[実行] を押す

つづく →

3 [プレイリスト編集] を選んで [実行] を押す

4 [プレイリスト再生順変更] を選んで [実行] を押す

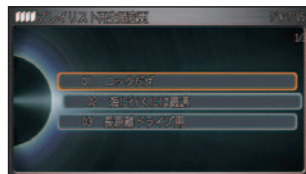
5 [移動] を選んで [実行] を押す

お知らせ

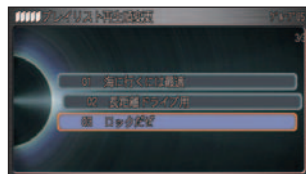
- [移動] 以外の項目を選択した場合は、以降の操作は必要ありません。[移動] 以外の項目は以下の通りです。

[録音の古いものから]	録音した時期の古い順に変更されます。
[録音の新しいものから]	録音した時期の新しい順に変更されます。
[プレイリスト名称順]	名称順 (50 音順、次にアルファベット順) に変更されます。

この方法で並び換えた後、新たに録音すると新たに録音した曲やプレイリストはリストの最後に表示されます。

6 順番を変更したいプレイリストを選んで [実行] を押す

選んだプレイリストは色が変わって表示されます。

7 コマンドホイールを回して挿入したい位置を選び、[実行] を押す

▼

選んだ位置にプレイリストが移動します。

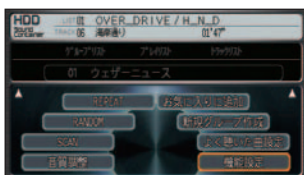
■曲の再生順番を変更する

ユーザープレイリスト内の曲の再生順番を変更することができます。

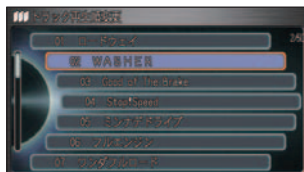
お知らせ

- オリジナルプレイリストでは曲の再生順番を変更できません。
- [お気に入り / よく聴いた曲ベスト] のグループ内にある [よく聴いた曲ベスト] のプレイリストは曲の再生順番を変更できません。
- [PC カード] のグループ内にある [音楽データ] のプレイリストは曲の再生順番を変更できません。

1 サウンドコンテナの操作画面で曲の再生順番を変更したいユーザープレイリストを選ぶ

2 ジョイスティックを下に倒して [機能設定] を選び、[実行] を押す

3 [プレイリスト編集] を選んで [実行] を押す

4 [トラック再生順変更] を選んで [実行] を押す

5 順番を変更したい曲を選んで [実行] を押す

選んだ曲は色が変わって表示されます。

6 コマンドホイールを回して挿入したい位置を選び、[実行] を押す

▼

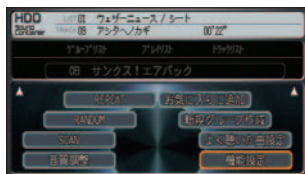
選んだ位置に曲が移動します。

グループ、プレイリスト、トラックを消去する

- サウンドコンテナの録音した曲を一括で消去することができます。→ *「サウンドコンテナの曲をすべて消去する」(P465)*
- [オリジナル]、[お気に入り / よく聴いた曲ベスト]、[PC カード] のグループは消去できません。
- プレイリストの種類により、消去されるデータが異なります。

オリジナルプレイリスト	プレイリスト内のトラックデータ (録音した曲) を消去します。
ユーザープレイリスト	プレイリストのみ消去し、トラックデータ (録音した曲) は消去しません。

- オリジナルプレイリスト内の消去されたトラックが、ユーザープレイリストにも登録されている場合には、ユーザープレイリスト内のトラックも同時に消去されます。
- PC カード内の曲は消去できません。

1 サウンドコンテナの操作画面でジョイスティックを下に倒して [機能設定] を選び、[実行] を押す

2 [消去] を選んで [実行] を押す

3 ジョイスティックを左右に倒して [グループリスト]、[プレイリスト] または [トラックリスト] を選ぶ

4 消去したいグループ、プレイリストまたはトラックを選んで [実行] を押す

5 ジョイスティックを右に倒して [消去する] を選び、[実行] を押す

▼

選んだグループ、プレイリストまたはトラックが消去されます。

- 消去には時間がかかることがあります。消去が完了するまでエンジンスイッチを“0”にしないでください。故障の原因となることがあります。

タイトル情報を取得する 簡単 標準

プレイリストのタイトル情報を、Honda インターナビシステムのハードディスクに内蔵している Gracenote データベースから取得することができます。また、インターネット経由でも Gracenote データベースから取得することができます（タイトルサーチ）。タイトル情報を取得することにより、サウンドコンテナの曲の検索などをスムーズに行うことができます。

■取得できる情報

- アルバムタイトル
- アルバムタイトルの読み
- アルバムのアーティスト
- アルバムのアーティストの読み
- トラックタイトル
- トラックタイトルの読み
- トラックのアーティスト
- ジャンル

お知らせ

- CD または曲によっては取得できない情報もあります。
- タイトル情報は、まずハードディスクから探し、見つからないときは通信で探すことができます。
- オリジナルプレイリスト以外は、タイトル情報は取得できません。

■Gracenote データベースについて

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

- 本体内蔵の Gracenote データベース、インターネットの Gracenote データベースともに、データの内容を 100% 保証するものではありません。
- インターネットの Gracenote データベースはメンテナンス等により予告なく停止することがあります。

会社概要および著作権、使用承諾について詳しくは *「Gracenote サービスについて」（→ P534）* を参照してください。

タイトル情報を取得するには

通常、音楽 CD を本機に挿入すると、自動的に内蔵のハードディスクからタイトル情報の取得を行います。取得したタイトル情報が別のものだった場合や、タイトル情報が取得できなかった場合は、通信や PC カードを使ってタイトル情報を取得することができます。

お知らせ

- 音楽 CD を挿入したときに内蔵のデータベースからタイトル情報が取得できなかった場合は、タイトルは「No Title」アーティストは「No Name」と表示されます。
- 通信または PC カードからタイトル情報を取得するには、インターナビ・プレミアムクラブにご入会いただく必要があります。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」*の*「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→ P224)*
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話または通信カードの接続、インターナビ情報センターの認証 (ログイン) を行わないと通信でタイトル情報を取得することはできません。詳しくは*「通信機能を使う」*の*「準備」*を参照してください。*(→ P226)*
- 通信で探すときハンズフリー電話を使用している場合は、通信を使ったタイトルサーチはできません。
- 通信を使ったタイトルサーチ中に電話がかかってきたときには、タイトルサーチが中断されます。
- 通信で情報を取得する場合、通信の状態および検索サーバの状況によっては情報の取得に失敗することがあります。

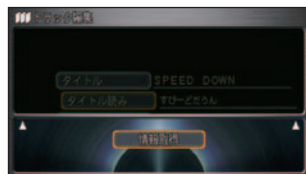
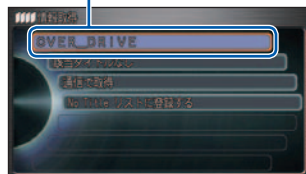
音楽 CD 録音後、タイトル情報を取得するには、サウンドコンテナから操作する必要があります。

タイトル情報を取得する

まず内蔵ハードディスクのデータベースからタイトル情報を取得します。取得できなかった場合も、続いて通信で取得することができます。

1 **プレイリストまたはトラックの編集画面でジョイスティックを下に倒して [情報取得] を選び、[実行] を押す**

→*「リストの詳細情報を表示する」(P452)*

▼

ハードディスクから取得できたアルバム名

内蔵のハードディスクからタイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面が表示されます。

[(アルバム名)]	内蔵のハードディスクに収録されているデータベースから情報を取得できた場合に表示されます。
[該当タイトルなし]	タイトルは登録されません。プレイリスト編集画面またはトラック編集画面から、好みのタイトルを入力してください。→*「タイトルや読みを変更する」(P453)*
[通信で取得]	携帯電話または通信カードを使って、インターネットの Gracenote データベースから情報を取得します。
[No Title リストに登録する]	No Title リストに登録され、後で通信や PC カードを使って、タイトル情報を取得することができます。→*「通信で取得する」(本ページ)*→*「PC カードを使って取得する」(P462)*

2 **登録したいタイトルを選んで [実行] を押す**

▼

選んだタイトルが登録されます。

No Title リストのタイトル情報を取得する

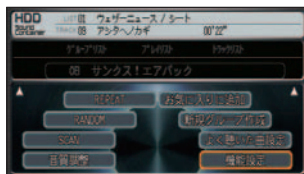
[No Title リスト] に登録したプレイリストは通信機能や PC カードを使ってタイトル情報を取得することができます。

■通信で取得する

[No Title リスト] に登録したプレイリストは通信機能を使ってタイトル情報を取得することができます。

お知らせ

- 内蔵のハードディスクからタイトル情報が取得できなかったプレイリストを [No Title リスト] に登録しておく必要があります。→*「タイトル情報を取得する」(P460)*

サウンドコンテナの操作画面でジョイスティックを下に倒して [機能設定] を選び、[実行] を押す

[No Title リスト] を選んで [実行] を押す

▼

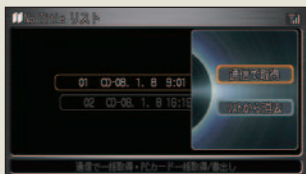
タイトル情報が取得できなかったプレイリストの一覧 (No Title リスト) が表示されます。

つづく ➔

ジョイスティックを下に倒して[通信で一括取得]を選び、[実行]を押す

お知らせ

- 個別に取得する場合は、取得したいプレイリストを選んで[実行]を押し、[通信で取得]を選んで[実行]を押します。

▼

タイトル情報が取得されます。

お知らせ

- タイトル情報が取得できたプレイリストは[No Title リスト]から自動的に登録が解除されます。

■PC カードを使って取得する

PC カードを使ってタイトル情報を取得する場合は、以下の手順で行います。

1.[No Title リスト]のプレイリスト情報を PC カードに書き出す *(→P463)*

2.ご自宅のパソコンからパーソナル・ホームページに接続して、PC カード内のプレイリスト情報に該当するタイトル情報を取得する

お知らせ

- パーソナル･ホームページとは、インターナビ・プレミアムクラブが提供するパソコン・携帯電話向けサービスです。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」の「インターナビ・プレミアムクラブとは」を参照してください。**(→P224)*

3.再び本機に PC カードを挿入し、PC カードからタイトル情報を一括取得する *(→P463)*

PC カードに情報を書き出す

PC カードにタイトル情報が取得できなかったプレイリストの情報を書き出します。

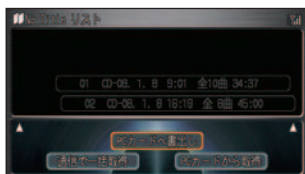
お知らせ

- PC カードから取得するためには、内蔵のハードディスクからタイトル情報が取得できなかったプレイリストを [No Title リスト] に登録しておく必要があります。→「タイトル情報を取得する」(P460)
- 本機に PC カードを挿入しておく必要があります。→「カードを接続する」(P288)

1 No Title リストを表示する

→「通信で取得する」(P461)

2 ジョイスティックを下に倒して [PC カードへ書出し] を選び、[実行] を押す

▼

PC カードへプレイリストの情報を書き出します。

PC カードから情報を取得する

あらかじめ PC カードにタイトル情報を取得していれば、PC カードを使ってタイトル情報を一括で取得することができます。

お知らせ

- あらかじめご自宅のパソコンからパーソナル・ホームページに接続して、PC カード内のプレイリスト情報に該当するタイトル情報を取得しておく必要があります。

1 No Title リストを表示する

→「通信で取得する」(P461)

2 ジョイスティックを下に倒して [PC カードから取得] を選んで [実行] を押す

▼

PC カード内のタイトル情報を取得します。

お知らせ

- タイトル情報が取得できたプレイリストは No Title リストから自動的に登録が解除されます。

No Title リストの登録を解除する

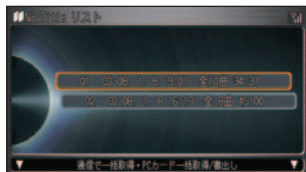
No Title リストに登録されているプレイリストを解除します。

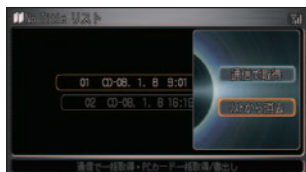
お知らせ

- ここでは、NoTitle リストの登録を解除するのみで、曲のデータを消去することはできません。
- 一括解除することはできません。1 件ずつ解除してください。

1 No Title リストを表示する

→ *「通信で取得する」(P461)*

2 解除したいプレイリストを選んで [実行] を押す

3 [リストから消去] を選んで [実行] を押す

▼

選んだプレイリストを No Title リストの登録から解除します。

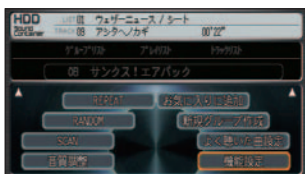
お知らせ

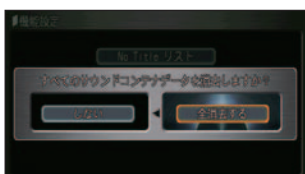
- 再び登録する場合は、*「タイトル情報を取得する」(→ P460)* の手順 2 で [No Title リストに登録する] を選んで [実行] を押してください。

サウンドコンテナの曲をすべて消去する

録音した曲をすべて一括消去することができます。
オリジナルプレイリスト、ユーザープレイリストを問わず、すべての曲を消去します。

- 一度全消去すると、元に戻せません。
- 車を譲渡するときなどは、著作権法上すべての曲を消去してください。

1 サウンドコンテナの操作画面でジョイスティックを下に倒して［機能設定］を選び、［実行］を押す

2 ［サウンドコンテナの全消去］を選んで［実行］を押す

3 ジョイスティックを右に倒して［全消去する］を選び、［実行］を押す

4 ジョイスティックを右に倒して［実行する］を選び、［実行］を押す

▼

録音したすべての曲が消去されます。

アドバイス

- 標準操作モードの場合、［メニュー］ボタン→［付加機能］→［データ編集］→［サウンドコンテナの全消去］でも同様に消去することができます。

お願い

- 消去には時間がかかることがあります。消去が完了するまでエンジンスイッチを“0”にしないでください。故障の原因となることがあります。

その他

GPS の測位について

現在地がわかるしくみ

ナビゲーションシステムでは、現在地 (自車位置) を測位する方法として GPS に加え、自立航法による測位が可能です。

■ GPS による測位

GPS 衛星 (人工衛星) から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムが GPS(Global Positioning System: グローバル・ポジショニング・システム) です。GPS 衛星は、地球の周り高度 21,000km に打ち上げられています。3 つ以上の GPS 衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。
GPS による測位には、3 次元測位と 2 次元測位の 2 種類があります。

種類	内容
3 次元測位	4 個以上の GPS 衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度 / 経度 / 高度の 3 次元で測位できます。
2 次元測位	GPS 衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度 / 経度の 2 次元で測位します。高度は測位できないため、3 次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなります。

■ 自立航法による測位

内蔵の 3D ハイブリッドセンサーは、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーで、路面の傾斜を傾斜センサーで、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。

GPS と自立航法を組み合わせた測位の特長

- GPS による現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせているため、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS 衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPS と自立航法を組み合わせると、GPS 測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるためのしくみ

■ 3D ハイブリッドセンサーの役割

内蔵の 3D ハイブリッドセンサーは、車速パルスとジャイロセンサーによる自立航法に、傾斜センサーで検出した高度差を考慮することにより、高精度な測位が可能です。

高精度 3D ハイブリッドシステム

車速パルスと、3D ハイブリッドセンサーによって高度差を検出できるため、高精度な測位が可能です。

3D ハイブリッドセンサーの特長

- **高度差の測位も可能です**
  平面的な測位の場合、立体交差や上下に高速道路と一般道路がある場所では、側道と本道、あるいは高速道路と一般道路のどちらにいるのか判断できないことがありました。
  3D ハイブリッドセンサーでは坂道の上り下りも測位できるため、地図上では高速道路と一般道路が上下に重なっていても、どこを走っているかを的確に判断することが可能です。

- **ワインディングロードや坂道で生じる距離誤差も修正します。**
  山道や坂道を走行している場合、実際に走った距離と地図上の移動距離には誤差が生じます。このため、自車位置の先走りといった現象が起きることがありました。
  3D ハイブリッドセンサーは、測位した高度差から誤差を修正して、高精度な測位を可能にしています。

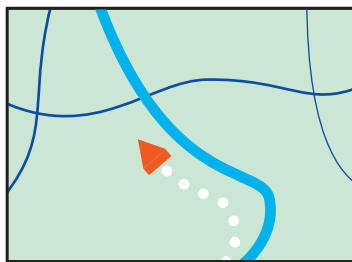
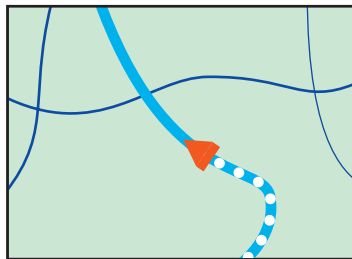
- **誤差の学習や補正を行います**
  - 3D ハイブリッドセンサーは、自分自身で計算した現在地と GPS 測位による現在地を常に比較し、発生した誤差を学習しています。
  - 学習内容に応じて、さまざまな要因によって生じる誤差を補正しています。
  - 走行を重ねるにつれて学習が蓄積されるため、徐々に測位の精度が高くなっていきます。

お願い

- 3D ハイブリッドセンサーは、GPS 衛星の電波が受信できないときは、学習・補正効果を高めるため、学習や補正を行いません。したがって、GPS による測位時間が短い間は、自車マークと実際の現在地が大きくずれることがあります。このようなときは、GPS 受信状態で 1 時間程度走行すると、精度が回復します。

■マップマッチング

GPS や自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外 (例えば川の中) になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしていない場合

マップマッチングしている場合

本ナビゲーションシステムでは、GPS と自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能です。

道路データについて

市街地図で道路が表示されていても、その道路をルート計算またはその道路にマップマッチングできない場合があります。

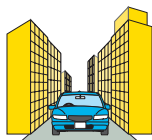
現在地や軌跡の誤差について

GPS や自立航法、マップマッチングの組み合わせにより、誤差をより小さくすることができます。ただし、状況によってはこれらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることがあります。

GPS 測位不可による誤差

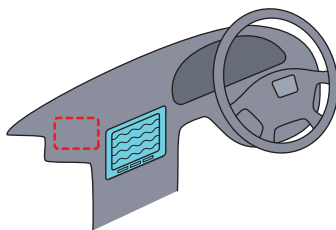
- 2 つ以下の GPS 衛星の電波しか受信できないときは、GPS による測位ができないことがあります。
- 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。

トンネルの中やビルの駐車場

2 層構造の高速道路の下

高層ビルの群衆地帯

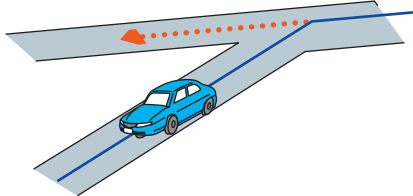
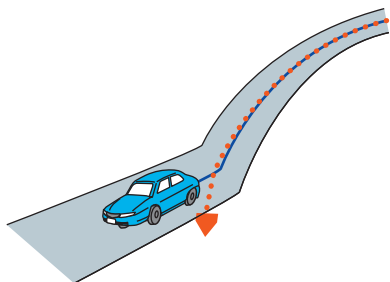
密集した樹木の間

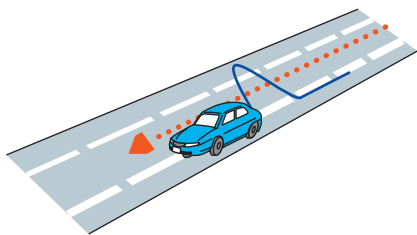
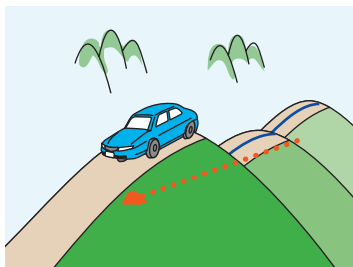
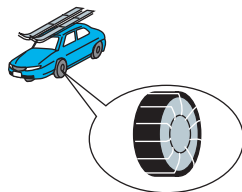
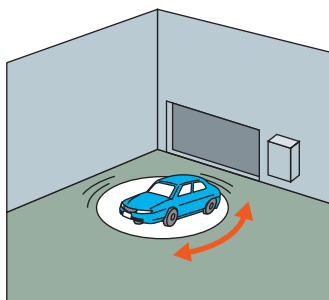
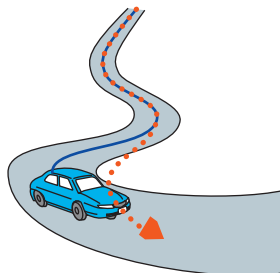
- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的に GPS 衛星の電波を受信できなくなることがあります。
  - 車載のテレビで 56 チャンネル (UHF) を受信している。
  - GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。

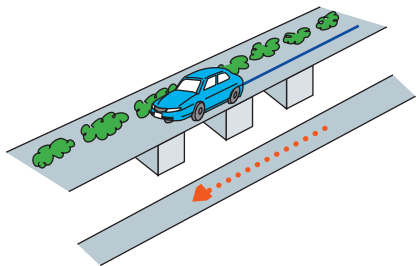
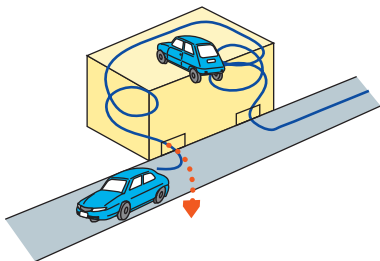
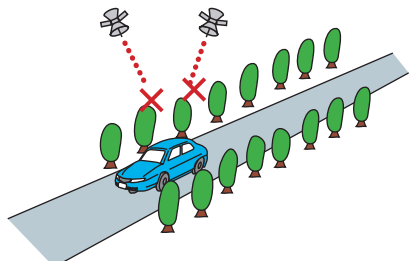
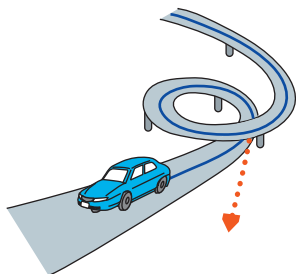
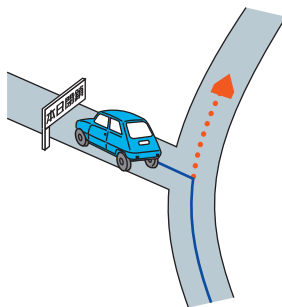
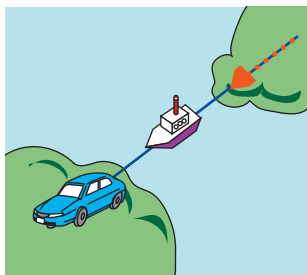
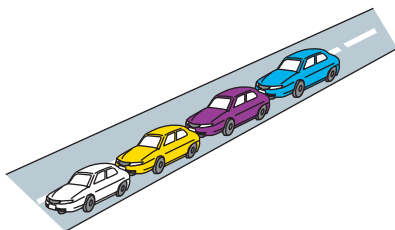
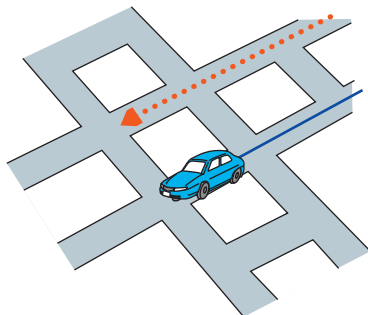
- GPS アンテナの上部やまわりに金属製の物などを置くなどしないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。
  GPS アンテナは、インストルメントパネルの中央裏側にあります。

GPS 衛星自体による誤差

- GPS 衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 3 次元測位のときは、約 10m ～ 100m の誤差で現在地を測位します。2 次元測位のときは、3 次元測位のときよりも誤差がやや大きくなります。
- GPS 衛星の配置が悪いとき (衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき) には、十分な精度が得られないことがあります。(GPS 測位では、自車の真上と東西南北の地平線ぎりぎりにある複数の衛星を受信したときに、 最も良い精度が得られるようになっています。)
- GPS 測位の高さ方向に関する精度は、水平方向に対して、誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下 (地球の裏側) に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

その他の誤差について

- 角度の小さな Y 字路を走った場合。

- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。

- 砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。

- 蛇行運転をした場合。

- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。

- チェーンを装着したときやサイズの違うタイヤに交換したとき、またタイヤの空気圧が正しく調整されていない場合。

- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。

- ヘアピンカーブが続いた場合。

つづく →

- 道路が近接している場合 (高速道路と側道など)。

- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。

- GPS による測位ができない状態が長く続いた場合。

- ループ橋などを通った場合。

- 地図上にはない新設道路を走った場合。

- フェリーや車両運搬車などで移動した場合。

- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。

- 碁盤の目状の道路を走った場合。

- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合。

高速 / 高架道路での誤差について

高速道路を乗り降りするときや、高架道路、立体交差の道路を走行するときは、3D ハイブリッドセンサーが傾斜を検知します。本ナビゲーションシステムはこの傾斜の検知とディスクに収録されている道路の傾斜のデータから、車が走行している道路を判断します。このため、傾斜を検知しても道路の傾斜のデータが登録されていないと、自車位置表示には反映されません。

おすすめルートについて

ルート計算の仕様

お知らせ

- ルート計算をすると、自動的にルート案内 / 音声での案内が設定されます。交通規制情報はルート計算した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
  なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

- 計算されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本ナビゲーションシステムが求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- ルート計算 (学習ルートを含む) は 100m スケールの地図に表示される道路を対象としています。市街地図にだけ表示される道路は対象となりません。なお、市街地図に表示されない道路でも、100m スケールの地図に表示されていれば、市街地図ルートが表示されます。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます (本州～北海道などのフェリーが運行されている場合には、航路を使うルートが計算されます)。
- フェリー航路に関してはルート計算の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない道路をルート計算すると、エラーメッセージが表示されます。
- 案内地点には、右左折や高速道路出口などを案内する音声が自動的に設定されます。

ルート計算のしかた

- 出発地 (自車位置) から最も近い、道路前方の交差点が第 1 案内地点となります。
- 最終案内地点は、目的地に設定した場所から最も近い道路にある直近の 2 つの交差点のうち、どちらか一方になります。目的地付近に道路が見つからないときは、目的地から最も近い、道路との交差点が最終案内地点になります。
- 進行方向に進むとあまりにも遠回りになる場合、現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。
- 回避エリアを登録しても、その場所が回避されない場合があります。
- VICS ルート計算、フェリー使用などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。

- 推奨できるルートが５本に満たない場合、何本かが同じルートになることがあります。
- 経由地、乗り降りICの指定、および音声操作によるルート計算、自宅ルート計算を行った場合、ルートは１本のみ計算されます。
- 最長5,000km程度までルート計算できます。
- 出発地から道塗り開始点まで、道塗り終了点から目的地までの距離が遠い場合があります。
  場所によってはルート計算できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点※」付近に経由地を設定してみてください。

※「大きな交差点」とは、細街路（100mスケールでグレー表示の細い道）以外の道どうしの交差点です。

ルートの道塗りについて

- 幹線道路などの幅の広い道路や上下線分離道路、山道などの曲がりくねった道路では、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、経由地の前後では道塗りされない場合があります。このため、経由地付近でルートが途切れたように見えることがあります。（音声での案内は継続されます。）

音声での案内について

- オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。
- 高速道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口」と「料金」は案内されないことがあります。

交差点拡大図について

- 2D交差点拡大図は、交差点とその30m手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。道路が直交する交差点では、交差点拡大図の下から自車マークが交差点内に現れます。交差点手前で道路がカーブしている場合は、自車マークは道路に沿って交差点拡大図の横方向から現れます。
- 第１案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。
- ランドマーク音声案内は、交差点によっては行われない場合があります。

ルート候補選択画面での高速料金について

- 特殊な料金体系の高速道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 高速道路上およびランプ上からルートを計算したときや、高速道路上に目的地を設定したときは、高速道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく表示されないことがあります。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 高速料金は改定される場合がありますので、あくまでも目安としてお使いください。
- 高速道路をまったく使用しないときは、「0円」と表示されます。

オートリルートについて

目的地、経由地付近に時間規制があり、ルート設定時は通行できたが、走行中に通行不可となることがあります。このときオートリルートをすると、ルート設定に失敗し、画面にはメッセージが「自動ルート再計算に失敗しました」と表示され、誘導が中止になります。
この場合は、目的地、経由地の場所を変更する必要があります。

VICS について

VICS センターからのおことわり

VICS センターは、何らかの理由により情報が送信できなくなった場合、メッセージを送信します。

メッセージ内容は、VICS センターから送られるものです。
地図画面表示中にメッセージを受信した場合は、約 15 秒間割込表示します。
他の画面表示時に受信した場合は、メッセージ受信後、他の画面から地図画面に表示を切り換えたときにメッセージを表示します。

お知らせ

- VICS 設定 *(→ P190)* で「文字情報割込み」を「する」に設定されていないと、ことわり情報は表示されません。
- 自動割込されたことわり情報は [割込情報] から再度表示することができます。*(→ P158)*

VICS 情報の提供について注意事項

以下のような状況下においては、VICS 情報が良好に受信できなくなることがあります。

■電波ビーコン

- 大型車が障害となり、受信状態が悪くなることがあります。
- ビーコン送受信機の上に電波をさえぎるものを置くと、受信が困難になります。
- 高速道路の高架下を走行したとき、高速道路の電波ビーコンを受信してしまうことがあります。
- 車両がビーコンの横を完全に通過しても、受信が完了するまでに若干時間がかかります。

■光ビーコン

- 大型車が障害となり、受信状態が悪くなることがあります。
- ビーコン送受信機の上に光をさえぎるものを置くと、受信が困難になります。
- ビーコン送受信機の取付角度がずれていると、うまく受信できないことがあります。
- 積雪などのしゃへい物があると、うまく受信できないことがあります。
- 太陽やネオンサインの影響でうまく受信できないことがあります。
- 車両がビーコンの横を完全に通過しても、受信が完了するまでに若干時間がかかります。

■FM 多重放送

- 電車の架線 / 高圧線 / 信号機 / ネオンサインなどの近くでは、受信状態が悪くなることがあります。
- 車の位置によっては、建物や山などが障害物となり受信状態が悪くなることがあります。
- 他の電波送信用アンテナの近くでは、受信状態が悪くなることがあります。
- トンネル内は電波が届きにくくなり、受信状態が悪くなることがあります。
- 放送局から遠くなると電波が届きにくくなり、受信状態が悪くなります。
- FM 放送が聞こえていても、その放送局の VICS 情報の受信状態が悪い場合があります。

■インターナビ VICS

- 携帯電話の電波状況が悪いと受信状態が悪くなります。
- 管理者システムで情報収集されていない道路については、VICS 情報は提供されていません。
- VICS センターおよびインターナビ情報センターのメンテナンスなどにより VICS 情報が提供されない場合があります。

■VICS 情報について

- エンジン始動直後や、放送局が切り換わった直後は、受信できた情報から表示可能となるため、受信完了していないページがとばされることがあります。
- 電波ビーコン、光ビーコン、FM 多重の各形態から提供される情報の密度や対象道路などがそれぞれ異なっている場合があり、また情報の更新がおよそ 5 分間隔で行われるため、地図上の VICS 情報の表示が増えたり減ったりする場合があります。
- 新しい VICS 情報を長時間 (およそ 30 分) 受信しない場合には、データが自動的に消去され、表示が消える場合があります。
- 渋滞情報は VICS センターでの収集、編集、送信に若干 (5 ～ 10 分程度) 時間がかかりますので、実際の状況が変化している場合があります。
- 全ての道路について情報が提供されているわけではありません。また情報の収集ができていない場合には、情報が提供されません。
- VICS リンクの番号が更新されると、今まで VICS 情報が表示されていた道路で表示されなくなる場合があります。
  地図データが更新されナビゲーションシステムの VICS リンク番号が更新されると、VICS 情報が正しく表示されるようになります。
- VICS リンクの更新は年 1 回行われ、新しく道路ができたり、道路がなくなったり、新たに VICS リンクとして定義された道路がある場合に、それらに接続する道路の VICS リンク番号が変更されることがあります。VICS リンクの番号変更については、VICS センターにお問い合わせください。
- VICS 駐車場の情報は、VICS 情報センターで情報収集している駐車場のみ表示されます。
- 本機では自車位置の情報とレシーバーの受信状態から最適と思われる放送局を自動選局するように設定してあります。なお、必要に応じて手動で放送局選択を行ってください。
- 周波数により、放送局名称が表示できない場合があります。通常は自車位置のある都道府県の放送局を受信していますが、他県の放送局を受信している場合があります。
- 自車位置から遠方の地域を選択すると、選択している地域以外の VICS 情報を受信する場合があります。
- VICS ルート計算では、渋滞箇所の通過にかかる時間と迂回した場合の時間をリンク旅行時間情報により計算し、迂回するかどうかを決定しますので、全ての渋滞箇所を迂回するとは限りません。
- 情報提供のない道路の計算は、通常のナビゲーションシステム同様のルート計算になります。したがって、VICS 情報のない道路が渋滞していてもそのルートを選択する場合があります。また、ルート計算後に渋滞が発生する場合もあります。

つづく ➔

- 自車位置から遠方にある通行止め、ランプ閉鎖は、迂回しない場合があります。
  走行中、通行止め、ランプ閉鎖のある場所に近付くと、代替ルート計算機能 *(→ P164)* によってルートを案内します。
- VICS 情報の中に、その事象の位置データがない場合は、該当する VICS リンクの始点が案内対象位置 (マーク表示位置) となるため、事象発生場所と異なる場合があります。また、渋滞に関しては時間とともに状況が変化するためあくまで参考としてお考えください。

VICS センターの提供時間

FM 多重放送	24 時間 (ただし月曜日午前 1 時～ 5 時は運用休止) ※ 3 月および 9 月に、深夜 0 時～ 5 時までをメンテナンスウィークとして保守のため運用を休止することがあります。
ビーコン	24 時間 ※メンテナンスのため運用を休止することがあります。
インターナビ	24 時間 ※メンテナンスのため運用を休止することがあります。

お知らせ

- VICS の運用休止中は、情報が送信されていても、内容は保証されません。

VICS 情報についてのお問い合わせ

- **VICS 車載機の調子や使用方法、受信の可否に関して**
- **地図表示 (レベル 3) の内容に関して**
- **VICS 情報の受信エリアや内容の概略に関して**
- **インターナビ VICS の簡易図形表示の内容に関して**

などのお問い合わせは、巻末に記載している本田技研工業株式会社「お客様相談センター」までご連絡ください。

- **文字表示 (レベル 1) の内容に関して**
- **簡易図形表示 (レベル 2) の内容に関して**
- **VICS の概念、サービス提供エリアに関して**

などのお問い合わせは、下記 VICS センターまでご連絡ください。

(財)VICS センター (東京センター)

受付番号	**0570-00-8831** **(全国から市内通話料金でご利用になれます)** **PHS 専用** **東京 03-3592-2033** **大阪 06-6209-2033**
電話受付時間	**9:30 ～ 17:45** **(ただし土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く)**
受付 FAX 番号	**03-3592-5494(全国)**
FAX 受付時間	**24 時間**

また VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などは下記のホームページでご覧いただけます。

ホームページアドレス http://www.vics.or.jp/

なお、お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めの販売店または、巻末に記載している本田技研工業株式会社「お客様相談センター」までご連絡いただくことをお勧めします。

VICS 使用時のメッセージについて

	状況	音声での案内
規制	通行止めの規制がある場合	この先通行止めです
	速度規制がある場合 (例 50km/h 規制)	この先 50 キロ規制です この先徐行区間です
	車線規制がある場合	この先車線規制があります
	片側規制がある場合	この先対面通行です この先片側交互通行です
	チェーン規制がある場合	この先チェーン規制があります
	オンランプ規制およびオフランプ規制がある場合	この先ランプ閉鎖です
事象	事故が発生した場合	この先事故発生地点です
	火災が発生した場合	この先火災発生地点です
	故障車がある場合	この先故障車があります
	路上障害物がある場合	この先障害物があります
	工事箇所がある場合	この先工事中です
	作業箇所がある場合	この先作業中です
	気象の案内	この先雨です この先凍結があります
	災害の発生	この先災害があります この先土砂崩れがあります
渋滞	渋滞	この先渋滞です
	混雑	この先混雑しています

地図 / その他情報について

この Honda インターナビシステムの「地図」は「全国デジタルデータベース」(財団法人日本デジタル道路地図協会作成) と「交通規制データベース」(財団法人日本交通管理技術協会作成) をもとに、株式会社ゼンリンが独自に収集した情報 (高速道路・有料道路は 2006 年 12 月までに、国道・都道府県道は 2006 年 11 月現在までに)[バージョン (VER)14.01 の場合] を網羅し、作成したものです。

本品に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により、現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては、実際の道路状況および交通規制に従ってください。地図の内容は、予告なく新しい地図データに更新されることがあります。

■地図版権について

- この地図作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 2 万 5 千分の 1 地形図を使用しています。(測量法第 30 条に基づく成果使用承認 平 17 総使、第 598-144 号)
- 本品に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき、全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制原図を用いて、(財) 日本交通管理技術協会 (TMT) が作成したものを使用しています。(承認番号 07-5)
- 本品に使用している交通規制データは 2006 年 4 月現在のものです。本データが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・表示等に従ってください。
- 本品に使用している交通規制データの著作権は、(財) 日本交通管理技術協会が有し、株式会社ゼンリンは二次的著作物作成の使用実施権を取得しています。
- 本品に使用している交通規制データを、無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 「VICS」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 本品に使用している祭事の画像情報の一部は「金森盈写真文庫」から提供を受けています。

本製品は､山崎 敏氏が開発し著作権を有するオープンソフトウェア「yz2」が含まれております。なお、「yz2」の不具合に起因するすべての損害につき、同氏はいかなる保証を行うものではありません。

地図のバージョンを確認する

簡単 標準

地図のバージョンを確認することができます。

簡単

[メニュー]ボタン➜[付加機能]➜[各種情報]➜[地図バージョン]を選んで[実行]を押す

標準

[メニュー]ボタン➜[付加機能]➜[各種情報]➜[バージョン情報]を選んで[実行]を押す

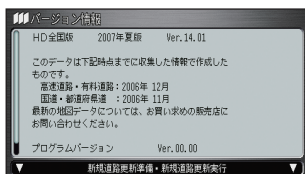
▼

バージョン情報

HD全国版　2007年夏版　Ver.14.01

このデータは下記時点までに収集した情報で作成したものです。
高速道路・有料道路：2006年 12月
国道・都道府県道　：2006年 11月
最新の地図データについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

プログラムバージョン　Ver.00.00

新規道路更新準備・新規道路更新実行

地図バージョンおよびプログラムバージョンが表示されます。

バージョンアップについて

Honda インターナビシステムは、ハードディスクを利用したシステムです。
本機をバージョンアップするには、地図データ更新用 DVD を使用して内蔵ハードディスクのデータを書き換えます。
詳しくは *「地図データを更新する」(→ P482)* を参照してください。

通信機能を使う
カードを使う
ハンズフリー電話を使う
ETCを使う
便利な機能
オーディオ・テレビ
サウンドコンテナ
その他
困ったときの手引き
機能設定一覧
索引

地図データを更新する

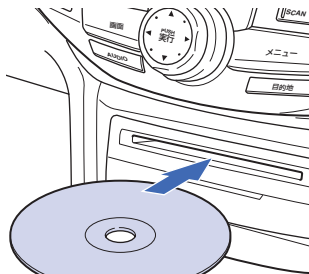
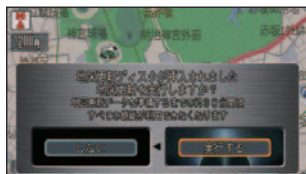
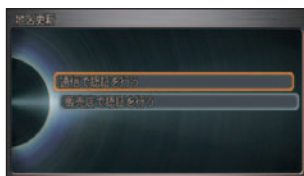
地図データベースのバージョンアップをDVDを使って行います。(スマート全地図更新)

 お願い

- エンジンが停止している状態で以降の操作を行うと、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

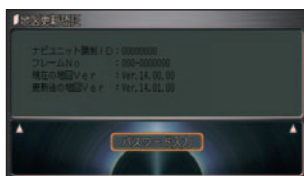
 アドバイス

- タイトル情報を格納した内蔵のGracenoteデータベース(→*P459*)も同様に更新されます。

1 地図データ更新用DVDをナビゲーション本体に挿入する

2 ジョイスティックを右に倒して[実行する]を選び、[実行]を押す

3 いずれかを選んで[実行]を押す

[通信で認証を行う]→手順7へ
[販売店で認証を行う]→手順4へ

 お知らせ

- 通信で認証を行うには、インターナビ・プレミアムクラブにご入会いただく必要があります。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」*の*「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。(→*P224*)
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話または通信カードの接続、インターナビ情報センターの認証(ログイン)を行わないと通信での認証はご利用できません。詳しくは*「通信機能を使う」*の*「準備」*を参照してください。(→*P226*)

4 ジョイスティックを下に倒して[パスワード入力]を選び、[実行]を押す

お知らせ

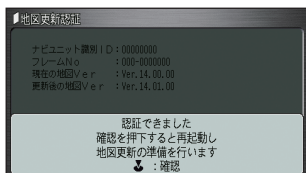
- Honda 販売店での認証は、販売店担当者が本機の識別 ID、フレーム No. などをオンラインシステムに入力し、認証用パスワードを取得して行います。詳しくは地図更新用 DVD に付属の説明書をご覧ください。

5 認証用パスワードを入力する

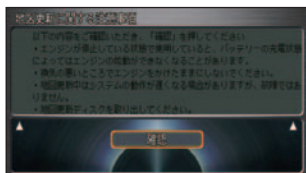
→「文字入力のしかた」(P42)

6 ジョイスティックを下に倒して [入力完了] を選び、[実行] を押す

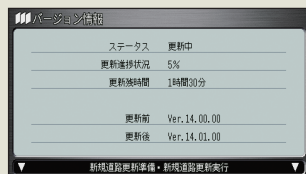
7 [実行] を押す (「確認」する)

▼

再起動し、約 30 分間更新の準備が行われます。

8 「地図更新に関する注意事項」が表示されましたら内容を読んだ上、ジョイスティックを下に倒して [確認] を選び [実行] を押す

▼

地図データおよび、他の情報の更新が行われます。
更新には時間がかかります。

お知らせ

- 地図更新が完了するまでの時間はバージョン情報画面 (→ P481) で確認できます。

ただし、更新進捗状況や更新残時間はデータやシステム状況によって異なります。
- 地図更新中にエンジンスイッチを“0”にすると、次回は続きから更新します。
- 地図更新中は、Honda インターナビシステムのパフォーマンスが低下しますが故障ではありません。
- 地図更新中は左上に地図更新アイコンが表示されます。

地図更新アイコン

- 地図データ更新用 DVD を使用中に DVD を取り出すと更新が中断します。この場合、ナビゲーション機能が使えなくなりますので再度 DVD を挿入してください。
- 地図更新中は新しい地図データで動作します。
- 一度、更新された地図は古いバージョンに戻すことはできません。

ハードディスク容量を確認する

ハードディスクの容量 (使用状況) を確認することができます。

「メニュー」ボタン ➜[付加機能] ➜[各種情報]➜[ハードディスク容量] を選んで [実行] を押す

簡単

標準

容量 (使用状況) が表示されます。
現在の空き容量が百分率 (100%) で表示されます。

お知らせ

- 空き容量とは、サウンドコンテナに音楽データが保存できる容量のことです。音楽データにはプレイリストなどの管理情報も含みます。
- 10% 程度の空きがあっても、システム上保存できない場合があります。

保存データを消去する 標準

ハードディスクに保存したユーザーデータをすべて消去することができます。

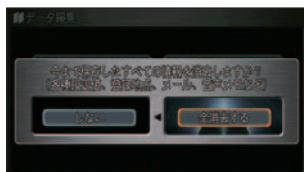
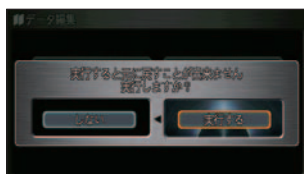
お願い

- 一度全消去すると、元に戻せません。また、ユーザーデータばかりでなく、案内中のルートなどの情報も消去されます。保存しておきたい地点や情報などがある場合は、PC カードに保存してから行ってください。→ *「カードを使う」(P287)*
- 車を譲渡するときなどは、お客様が設定した画像、登録地、回避エリア、メール、アドレス帳、電話帳、プレイリストなどのユーザーデータおよびサウンドコンテナの音楽データを消去してください。

1 [メニュー] ボタン➜[付加機能] を選んで [実行] を押す

2 [データ編集] を選んで [実行] を押す

3 [保存情報の全消去] を選んで [実行] を押す

4 ジョイスティックを右に倒して [全消去する] を選び、[実行] を押す

5 ジョイスティックを右に倒して [実行する] を選び、[実行] を押す

▼

保存情報が消去され、起動画面が表示されます。

おすすめドライブナビゲーターで目的地を探す

標準

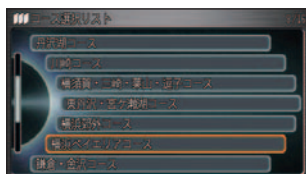
日本の観光コースを都道府県ごとに探すことができます。また、探したコースをルートとして設定することもできます。

[目的地] ボタン ➜[探し方 2] の [おすすめドライブナビゲーター] を選んで [実行] を押す

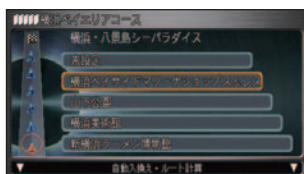
地方を選んで [実行] を押す

3 都道府県を選んで [実行] を押す

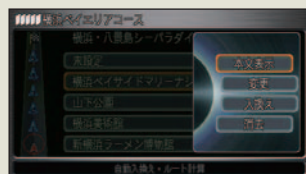
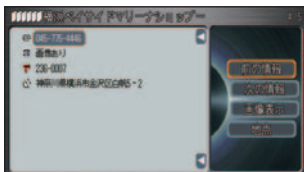
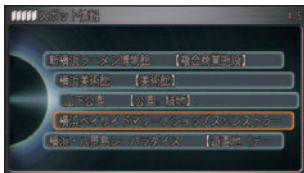
4 お好みのコースを選んで [実行] を押す

▼

選んだコースの情報画面が表示されます。

5 [コース設定] を選んで [実行] を押す

▼

コース設定の画面が表示されます。

お知らせ

- 地点を選んで [実行] を押すと個別に情報を確認したり、変更することができます。

- 地点の情報を確認するときは、[本文表示] を選んで [実行] を押します。
- 地点を別の場所に変更するときは、[変更] を選んで [実行] を押します。
- 地点の通過する順番を変更するときは、[入換え] を選んで [実行] を押します。

お知らせ

- 地点を個別に通過しないようにするときは、[消去] を選んで [実行] を押します。消去した地点は [未設定] に変更されます。
- [未設定] を選んで [実行] を押すと場所の検索画面が表示され、お好みの場所を通過地点にすることができます。→「場所を探す」(P92)

ジョイスティックを下に倒して [ルート計算] を選び、[実行] を押す

アドバイス

- スポットを現在地から近い順に並べ換えて表示する場合は、[自動入換え] を選んで [実行] を押します。

▼

ルート計算が始まり、コースが設定されます。

アドバイス

- 設定したいコースの詳細情報を表示したり、周辺の観光スポットや食事スポットを表示したりすることができます。
→「コースの情報が知りたいとき」(本ページ)
→「周辺の観光スポットが知りたいとき」(P488)
→「コース周辺で食事がしたいとき」(P489)

コースの情報が知りたいとき

コースの情報を詳しく確認することができます。

コースの情報画面で [コース情報] を選んで [実行] を押す

▼

コースについてのコメントや走行距離、所要時間などが表示されます。

ジョイスティックを下に倒して [スポット情報] を選び、[実行] を押す

つづく →

3 確認したいスポットを選んで［実行］を押す

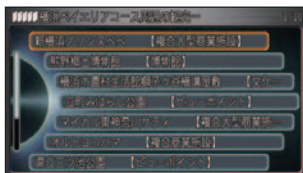
スポットの情報が表示されます。

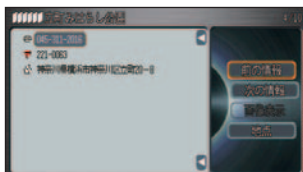
お知らせ

- ［前の情報］または［次の情報］を選んで［実行］を押すと、他の情報に切り換えることができます。
- 情報画面で［画像表示］や［地点］を選んで［実行］を押すと、画像や地点情報を表示することができます。
- 情報画面でジョイスティックを左に倒すと本文が操作対象になり、コマンドホイールを回転すると本文をスクロールすることができます。また、電話番号にカーソルを合せて［実行］を押すと、表示されている番号に電話をかけることができます。→*「ハンズフリー電話を使う」(P306)*

周辺の観光スポットが知りたいとき

コース周辺にある観光スポットを確認することができます。

1 コースの情報画面で［周辺スポット］を選んで［実行］を押す

コース周辺にある観光スポットがリストで表示されます。

2 観光スポットを選んで［実行］を押す

観光スポットの情報が表示されます。

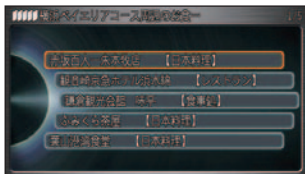
お知らせ

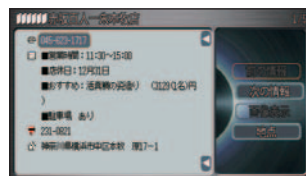
- [前の情報] または [次の情報] を選んで [実行] を押すと、他の情報に切り換えることができます。
- 情報画面で [画像表示] や [地点] を選んで [実行] を押すと、画像や地点情報を表示することができます。
- 情報画面でジョイスティックを左に倒すと本文が操作対象になり、コマンドホイールを回転すると本文をスクロールすることができます。また、電話番号にカーソルを合せて [実行] を押すと、表示されている番号に電話をかけることができます。→*「ハンズフリー電話を使う」(P306)*

コース周辺で食事がしたいとき

コース周辺の食事スポットの情報を確認することができます。

1 コースの情報画面で [食事スポット] を選んで [実行] を押す

▼

コース周辺にある飲食店がリストで表示されます。

2 確認したい店を選んで [実行] を押す

▼

店の情報が表示されます。

お知らせ

- [前の情報] または [次の情報] を選んで [実行] を押すと、他の情報に切り換えることができます。
- 情報画面で [画像表示] や [地点] を選んで [実行] を押すと、画像や地点情報を表示することができます。
- 情報画面でジョイスティックを左に倒すと本文が操作対象になり、コマンドホイールを回転すると本文をスクロールすることができます。また、電話番号にカーソルを合せて [実行] を押すと、表示されている番号に電話をかけることができます。→*「ハンズフリー電話を使う」(P306)*

用語解説

●インターナビ・プレミアムクラブ (→P224)
スムーズで快適なドライブをサポートする情報サービスです。

●オートリルート (→P136)
ルート案内中に、曲がるべき交差点で曲がれなかったりしておすすめのルートから離れてしまったとき、自動的に他のルートを探して元のルートに戻す機能です。

●傾斜センサー (→P468)
自車の上り、下りを調べる部品です。

●結露 (→P358)
真冬に車内を暖かくしていると、窓ガラスが曇ってきます。これは、車内の空気中にある水蒸気が外気で急速に冷やされて水滴になるためです。このような状態を結露といいます。寒いとき、暖房を始めたばかりの車内などでは、ディスクが結露しやすくなります。

●自車 (→P21,P35)
このナビゲーションシステムを装着しているお客様のお車のことです。

●車速センサー (→P468)
車の走行距離を調べる部品です。

●振動ジャイロセンサー (→P468)
車の進行方向を調べる部品です。

●走行軌跡 (→P35)
地図には、自車が走ってきた道に印 (点線) がつきます。この印 (点線) を走行軌跡といいます。

●測位 (→P22)
GPS 衛星からの電波を受信して、自車の位置を測定することです。

●マップマッチング (→P21,P469)
実際に走行している道路から外れた位置に自車位置マークが表示されるなど、地図上で誤差が生じることがあります。マップマッチングは、走行軌跡と地図をコンピューターで照合してずれを補正し、自動的に自車位置マークを道路上に表示させる機能です。

●ランドマーク (→P59)
お店や施設を、地図上で見やすくするために絵で表した目印です。

●リンク旅行時間 (→P164)
VICS センターが算出した該当する区間 (リンク) を車両で通過した場合の予想所要時間のことをいいます。

●3D ハイブリッドセンサー (→P21,P468)
車の進行方向、車の高度差、車の走行距離を調べる部品です。

●Bluetooth(ブルートゥース) (→P227)
産業団体 Bluetooth SIG により提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.45GHz 帯の電波を利用して Bluetooth 対応機器どうしで通信を行います。

Bluetooth®

●dts（ディーティーエス）（→P415）

dtsは、Digital Theater Systems（デジタル・シアター・システム）の略称です。世界13,000館以上の映画館で採用されている劇場用デジタル・サウンド・システムの新方式です。

※dtsは米国Digital Theater Systems,Inc.の登録商標です。

●GPS（ジーピーエス）（→P22,P468）

GPSは、Global Positioning System（グローバル・ポジショニング・システム）の略称です。GPSは、米国が開発運用しているシステムで、高度約21,000kmの宇宙空間で周回している3つ以上のGPS衛星から地上に放射される電波を同時に受信し、現在位置を知ることができるシステムです。

●VICS（ビックス）（→P150,P476）

VICSは、Vehicle Information and Communication System（道路交通情報通信システム）の略称です。VICSレシーバーセットを装着すると、事故や工事の情報、渋滞状況や主要路線の区間旅行時間、駐車場の空き情報を得ることができます。

●VICSリンク（→P477）

電波ビーコン、光ビーコン、FM多重放送を通じて、車両に提供される交通情報の道路の統一的な表現手段を定義したもので、リンクは、道路や交差点やインターチェンジなどで分割し、それぞれを一つの単位として番号付けしたものです。

困ったときの手引き

困ったときの手引き

故障かなと思ったら
修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。

チェックしても直らないときは
Honda 販売店にご連絡ください。

ナビゲーション

症状	原因	処置のしかた
画面を表示しない。	画面が [表示 OFF] になっている。	[現在地] ボタンを押してください。
	車内の温度が上がり、液晶表示画面が高温になった。	車内の温度が下がれば自動的に復帰します。
ルート案内中に音声案内が出ない。	案内音量が OFF になっている。	案内音量を確認してください。 → *「音量を調節する / 消す」(P41)*
車のライトを ON にしても夜画面に切り換わらない。	車幅灯点灯時の減光が解除されている。	イルミネーションコントロールの操作で車幅灯点灯時に減光するようにしてください。イルミネーションコントロールの操作については、車両本体の取扱説明書をご覧ください。
走行軌跡が表示されない。	走行軌跡を表示しない設定になっている。	走行軌跡表示の設定を [する] にしてください。 → *「機能設定」(P182)*
映像が暗い。	日没時刻が過ぎている。	夜間でも見やすいように、日没時刻になると、映像が自動的に暗い配色になるよう設計されています。(地図色時刻連動切換が [する] に設定されている場合)
自車位置の誤差が大きくなった。	TV の 56ch を受信している。	TV のチャンネルを変えるか、TV を OFF にしてください。

VICS 関連項目

<table>
<tr><th>症状</th><th>原因</th><th>処置のしかた</th></tr>
<tr><td rowspan="9">地図上に VICS 情報が表示されない。</td><td colspan="2">VICS のサービスエリア外では VICS 情報は受信できません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">提供される情報がいつでもすべてそろっているとは限りません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信状況によっては情報がそろわない場合があります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">VICS 情報対象外の道路を走行している可能性があります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">設置されたすべてのビーコンが稼動しているとは限りません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">新設道路の情報は地図データが古いと表示されません。</td></tr>
<tr><td>携帯電話を外している。</td><td>インターナビの VICS 情報は携帯電話を接続して受信してください。
→ 「携帯電話を接続する」(P226)</td></tr>
<tr><td>VICS 設定の [渋滞表示] が [しない] を選んでいる。</td><td>VICS 設定の [渋滞表示] を [しない] 以外にしてください。
→ 「機能設定」(P190)</td></tr>
<tr><td>地図表示が 1km スケール表示より広域になっている。</td><td>地図表示を 10m スケール表示から 1km スケール表示にしてください。
→ 「地図のスケールを切り換える」(P50)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">FM 多重情報が表示されない。</td><td>FM 多重情報が放送されていない。</td><td>放送を休止している場合があります。</td></tr>
<tr><td>地下や路線脇など受信状態の悪い場所にいる。</td><td>受信状態によっては情報を表示できない場合があります。</td></tr>
<tr><td>ビーコン情報が表示されない。</td><td>ビーコン送受信機の上部およびその周辺に物を置くなどして、電波をさえぎっている。</td><td>電波をさえぎらないようにしてください。また、ビーコン送受信機の取付角度がずれていると受信しにくくなります。</td></tr>
</table>

通信機能

症状	原因	処置のしかた
回線接続できない。	携帯電話または通信カードが接続されていない。	携帯電話または通信カードが接続されていることを確認してください。
	通信機能設定で設定した通信手段(携帯電話または通信カード)が接続されていない	
	ユーザー ID またはパスワードが正しくない。	インターネットプロバイダのユーザー ID またはパスワードが正しいことを確認してください。
	接続先が正しく設定されていない。	携帯電話に対応した接続先が正しいことを確認してください。 → *「携帯電話の接続先(プロバイダ)を変更する」(P242)*
	暗証番号が正しくない。	インターナビ情報センターが発行する暗証番号と合っていることを確認してください。暗証番号を変更していた場合は、変更後の番号とあっているか確認してください。 → *「暗証番号を変更する」(P241)*
	携帯電話の電波状態が良くない場所、または圏外にいる。	再度操作してみてだめな場合には、電波状態が良い場所に移動してみてください。
	回線が混み合っている	しばらくしてから、再度操作してください。
回線接続しない。	キャッシュにデータが残っている。	キャッシュにデータが残っている場合には回線接続不要と判断して回線接続を行いません。
通信中に回線が切れてしまった。	携帯電話の電波状態が良くない場所、または圏外にいる。	再度操作してみてだめな場合には、電波状態が良い場所に移動してみてください。
	インターネット上の回線やサーバーの負荷が高くなっているため、データを受信できない。	しばらくしてから、再度操作してください。
	操作がなかった。	何も操作がない場合には、回線交換方式では 3 分、パケット方式では 10 分で自動切断する仕組みになっています。
メール関連機能が使用できない。	シークレットモード設定になっている。	シークレットモードを解除してください。 → *「シークレットモードを解除する」(P352)*

DVD/CD/MP3/WMA ディスク

症状	原因	処置のしかた
再生できない。	ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 → *「ディスクの正しい使いかた」(P358)*
	オーディオシステムで再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 → *「再生できるディスクの種類」(P359)*
	PAL 方式のディスクを挿入している。	NTSC 方式のディスクに交換してください。
	オーディオシステムのリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	オーディオシステムのリージョン番号は [2] です。リージョン番号は [2] または [ALL] のディスクに交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしている。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	[AUDIO] ボタンで画面を切り換えてください。
DVD の音が出ない。	静止画再生中である。	静止画再生中に、音声を聞くことはできません。
CD 再生中に、大きな雑音が出る /CD の再生が途中で止まる。	ディスクにキズやそりがある。	他のディスクと交換してください。
	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 → *「ディスクの正しい使いかた」(P358)*
	ディスクに曇りや水滴が付いている。	ディスクの曇りや水滴を拭き取ってください。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除またはレベルを変更してください。 → *「視聴制限を設定する」(P419)*
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。 → *「視聴制限を設定する」(P419)*
	暗証番号を忘れてしまった。	ジョイスティックを上に倒し [実行] を 5 回押し、暗証番号を解除します。 → *「視聴制限を設定する」(P419)*

症状	原因	処置のしかた
音声言語、字幕言語が切り換えられない。	複数の言語が収録されていない DVD を再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り換えられません。
	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていない DVD を再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていない DVD では、選んだ言語に切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていない DVD を再生している。	複数のアングルが収録されていない DVD では、切り換えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れるまたは暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの現象が出るものもあります。(故障ではありません。)
(禁止マーク) が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構造上対応できない操作をしている。	
画面が止まり、操作を受けつけない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	[停止] を選んで [実行] を押してから、もう一度再生してください。
	ディスクが汚れている。	他のディスクと交換してください。
CD - R や CD-RW を再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。 → *「再生できるディスクの種類」(P359)*
MP3 ファイルを再生できない。	MP3 ファイルに「.mp3」の拡張子がついていない。	MP3 ファイルに拡張子「.mp3」を付けた CD - R/RW に交換してください。
	320kbps を超えるビットレートで記録されている。	ビットレートが 320kbps 以下で記録された MP3 ファイルにしてください。
WMA ファイルを再生できない。	WMA ファイルに「.wma」の拡張子がついていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」を付けた CD - R/RW に交換してください。
	320kbps を超えるビットレートで記録されている。	ビットレートが 320kbps 以下で記録された WMA ファイルにしてください。

症状	原因	処置のしかた
MP3 ファイル再生中に大きな雑音が出る /MP3 ファイル再生中に音が出なくなる。	MP3 形式でないファイルに「.mp3」の拡張子を付けている。	ディスクを交換してください。(MP3 形式でないファイルに「.mp3」拡張子を付けた CD - R/RW を再生しないでください。)
WMA ファイル再生中に大きな雑音が出る /WMA ファイル再生中に音が出なくなる。	WMA 形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けている。	ディスクを交換してください。(WMA 形式でないファイルに「.wma」拡張子を付けた CD - R/RW を再生しないでください。)
聞きたい MP3 ファイルが見つからない。	MP3 ファイルに「.mp3」の拡張子がついていない。	MP3 ファイルに拡張子「.mp3」を付けた CD - R/RW に交換してください。
聞きたい WMA ファイルが見つからない。	WMA ファイルに「.wma」の拡張子がついていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」を付けた CD - R/RW に交換してください。
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Joliet、Romeo に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Joliet、Romeo に準拠して記録したディスクに交換してください。
MP3、WMA ファイル再生が、記録した順と異なる。	MP3、WMA ファイルは、記録したときの順番通りに再生されないことがあります。	ライティングソフトによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字 (01、02 など) を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

USB アダプター (USB デバイス /iPod)

症状	原因	処置のしかた
iPod が再生できない。	古い世代の iPod を接続している。	iPod の世代を確認してください。*(→ P368)*
	iPod に曲が収録されていない。	iPod に曲を収録してください。
	iPod のソフトウェアバージョンが正しくない。	iPod のソフトウェアバージョンを確認してください。*(→ P368)*
	iPod 本体が操作できない状態になっている。	iPod の取扱説明書を確認して、iPod本体をリセットしてください。
USB デバイスが再生できない。	認識できない未対応フォーマットの USB デバイスが接続されている。	USB デバイスの対応フォーマットを確認してください。
	USB デバイスに再生可能な音楽ファイルが記録されていない。	USB デバイスに再生可能な音楽ファイル *(→ P368)* を記録してください。
MP3 ファイルが再生できない。	MP3 ファイルに「.mp3」の拡張子がついていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」をつけてください。
	未対応のビットレートで記録されている。	対応のビットレートを確認してください。*(→ P362)*
WMA ファイルが再生できない。	WMA ファイルに「.wma」の拡張子がついていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」をつけてください。
	未対応のビットレートで記録されている。	対応のビットレートを確認してください。*(→ P364)*
AAC ファイルが再生できない。	AAC ファイルに「.m4a」の拡張子がついていない。	AAC ファイルに拡張子「.m4a」をつけてください。
	未対応のビットレートで記録されている。	対応のビットレートを確認してください。*(→ P366)*
	iTunes でエンコードされたファイルではない。	iTunes でエンコードされたファイルをご使用ください。
	iTunes 以外でタイトル情報を編集した。	タイトル情報の編集は iTunes で行ってください。
MP3 ファイル再生中に大きな雑音が出る /MP3 ファイル再生中に音が出なくなる。	MP3 形式でないファイルに「.mp3」の拡張子を付けている。	MP3 形式でないファイルに「.mp3」をつけないでください。
WMA ファイル再生中に大きな雑音が出る /WMA ファイル再生中に音が出なくなる。	WMA 形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けている。	WMA 形式でないファイルに「.wma」をつけないでください。
AAC ファイル再生中に大きな雑音が出る /AAC ファイル再生中に音が出なくなる。	AAC 形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けている。	AAC 形式でないファイルに「.m4a」をつけないでください。

症状	原因	処置のしかた
聞きたいMP3ファイルが見つからない。	MP3ファイルに「.mp3」の拡張子がついていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」をつけてください。
聞きたいWMAファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」の拡張子がついていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」をつけてください。
聞きたいAACファイルが見つからない。	AACファイルに「.m4a」の拡張子がついていない。	AACファイルに拡張子「.m4a」をつけてください。
	iTunesMusicStoreで購入した音楽ファイルがある。	iTunesMusicStoreで購入した音楽ファイルをUSBデバイスに記録しても表示・再生できません。iTunesMusicStoreで購入した音楽ファイルを使用しないでください。
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	第1水準、第2水準以外の文字で書かれている。	第1水準、第2水準範囲内の文字で書いてください。
iPod接続時、iPodの操作ができない。	iPod本体をUSBアダプターに接続すると、iPod側からの操作はできなくなります。	Hondaインターナビシステムの操作パネルで操作してください。
ランダム / アルバムランダム再生中にPodcastが表示されなくなる。	iTunes側で、Podcastに「シャッフル時にスキップ」が設定されている。(通常Podcastは、自動的にiTunes側で「シャッフル時にスキップ」に設定されています。)	Podcastを再生するときは、ランダム / アルバムランダムを解除してください。または、iTunesで「シャッフル時にスキップ」のチェックを外してください。
iPod本体をUSBアダプターから外すと、iPodの「設定」→「リピート」が「すべて」になってしまう。	iPod本体をUSBアダプターに接続すると、iPodの設定を変更しています。	iPod本体をUSBアダプターから取り外した後、必要に応じて設定を元に戻してください。
「Playlists」内に何も表示されない。	iPod本体のプレイリストに何も収録されていない。または、空のプレイリストがある。	必要に応じて、iPod本体にプレイリストを収録してください。

※「iPod」および「iTunes」は、米国および他の国々で登録されたApple Inc. 商標です。

※iTunesの使用方法についてはiTunesのマニュアル等を参照してください。

サウンドコンテナ

症状	原因	処置のしかた
CD が録音されていない。	CD の録音が中止された。	CD の録音制限を確認してください。 →*「CD 録音の制限について」(P439)*
プレイリストのタイトル情報が取得できない。	携帯電話または通信カードが接続されていない。	携帯電話または通信カードの接続を確認してください。
	インターナビの通信機能が使用できる状態になっていない。	インターナビが使用できる状態 (通信設定、接続、認証) にしてください。 →*「通信機能を使う」(P223)* →*「通信機能」(P496)*
	ナビゲーション側で通信機器を使用している。	ナビゲーション側の通信機器の使用が終わってから操作してください。

エラーメッセージと対処方法

■ナビゲーション

メッセージ	原因	処置
ハードディスクが入っておりません 詳細は取扱説明書をご覧ください	ハードディスクが取り外されている（修理やバージョンアップ等の際、販売店にてハードディスクをお預かりすることがあります）	販売店にご相談ください。
ハードディスクが読めません 詳細は取扱説明書をご覧ください	ハードディスクにデータが読み書きできない。	販売店にご相談ください。
液晶パネルの熱保護の為ディスプレイの電源を OFF します 車内の温度が下がれば画面は自動的に復帰します	ディスプレイが高温になったため、保護機能が働いた。	温度が下がるまでお待ちください。
ルート計算できませんでした	自車と目的地が近すぎる。	目的地の位置を変えてください。
	自車と経由地が近すぎる。	経由地の位置を変えてください。
	隣接する経由地同士が近すぎる。	経由地の位置を変えてください。
	経由地と目的地が近すぎる。	目的地または経由地の位置を変えてください。
	自車の近くに計算対象道路がない。	道路の近くに移動してから再度計算してください。
	目的地または経由地の近くに計算対象道路がない。	目的地または経由地の位置を変えてください。
	目的地が遠すぎる。	途中に経由地を追加してください。
	到達可能な経路がない。(フェリー航路のない島嶼部への探索など)	目的地の位置を変えてください。
保存できませんでした PC カードをご確認ください	PC カードの空き容量が不足している。	十分な空き容量のある PC カードを使用してください。
消去できませんでした PC カードをご確認ください	PC カードのデータがリードオンリー属性になっている。	PC カードのデータのリードオンリー属性を解除してください。
読み込みできませんでした PC カードをご確認ください	PC カードのデータが壊れている。	正常なデータを使用してください。

■通信機能

メッセージ	原因	処置
1分以上通信が行われなかったので回線を切断します	サーバーとの接続認証が1分以内に終わらなかった。	しばらく経ってから再接続してみてください。
携帯電話を確認してください	携帯電話または通信カードが接続されていない。	携帯電話または通信カードの接続を確認してください。
接続に失敗しました 暗証番号を再度お確かめください	認証したユーザー情報に誤りがある。	通信設定の暗証番号の設定を確認してください。→「*通信機能の設定をする*」(P234)
回線が混雑していますのでしばらく待ってから接続してください	接続先が話中などで接続できない。	しばらく経ってから再接続してみてください。
インターネットに接続できません 通信設定をご確認ください	通信設定の接続先に誤りがある。	接続先の設定を確認してください。
○分以上通信が行われなかったので回線を切断します	一定時間操作や通信が行われなかった。	必要に応じて再接続してください。
情報を取得できません	サーバーからデータが送られてこなかった。	しばらく経ってから再接続してみてください。
発信できません 携帯電話を確認して下さい	ハンズフリー未対応の電話機(通信カードなど)接続時にハンズフリーで発信しようとした。	ハンズフリーで発信可能な電話機を使用してください。

■DVD/CD/MP3/WMA ディスク

メッセージ	原因	処置
フォーカスエラーのため再生ができません ディスクを取り出してください	ほこりなどでディスクの表面が汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。
	ディスクの表面が結露している	しばらくしてから再生してください。
	ディスクにキズやそりがある。	キズやそりのあるディスクは使用しないでください。
	ディスクの表裏を逆にしてセットしている。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。

メッセージ	原因	処置
再生ができません ディスクを取り出してください	ほこりなどでディスクの表面が汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。
	ディスクの表面が結露している	しばらくしてから再生してください。
	ディスクにキズやそりがある。	キズやそりのあるディスクは使用しないでください。
	ディスクの表裏を逆にしてセットしている。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。
	本ナビゲーションシステムで再生できないディスクを使用している。	本ナビゲーションシステムで再生できるディスクに交換してください。→ *「再生できるディスクの種類」(P359)*
高温のため再生できません ディスクを取り出してください	ナビゲーション本体の内部温度が高い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
高温のため録音できません		
低温のため DISC ドライブが動作しません	ナビゲーション本体の内部温度が低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
低温のためハードディスクにデータが書き込めませんでした		
ハードディスクに空き容量が不足しています	ハードディスクの残容量が足りないため録音できない。	録音済みの曲やプレイリストを消去してください。→ *「グループ、プレイリスト、トラックを消去する」(P458)*
このトラックはすでに録音されています	マニュアルモードで録音済みのトラックを録音しようとしている。	録音済みのトラックは同じ CD から重複して録音できません。
録音できませんでした	CD が正常に読み込みできなかった。	ディスクを確認してください。
再生できない地域のディスクです	PAL 方式で記録された DVD ディスクを使用している。	NTSC 方式で記録された DVD ディスクを使用してください。
リージョンコードが違います	本ナビゲーションシステムのリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョンコード [2] を含むディスクに交換してください。
メカエラーのため再生ができません	ディスクドライブが正常動作できなかった。	ディスクを取り出し、再度挿入してください。正常なディスクを使用しても状況が改善しない場合は、販売店にご相談ください。

■USB アダプター (USB デバイス /iPod)

メッセージ	原因	処置
エラーが発生しました	USB アダプターに問題が発生した。	以下の操作を試してください。 • iPod 本体または、USB デバイスを一旦 USB アダプターから取り外し接続しなおす。 • [PWR] ボタンを押してオーディオの電源を OFF → ON する。 • エンジンスイッチを一旦“0”にし、“I”または“II”にする。 いずれの操作でも復帰しない場合は、Honda 販売店にご相談ください。
再生できませんでした	対応していない音楽ファイルを再生しようとした。	再生できる音楽ファイルを確認してください。*(→ P368)*
	音楽ファイルの形式にあった拡張子がつけられていない。	MP3 ファイルには「.mp3」、WMA ファイルには「.wma」、AAC ファイルには「.m4a」をつけてください。
	著作権保護のエラーが発生した。	著作権保護付きの WMA ファイルは再生できません。WMA ファイルを記録するときは、著作権保護が付いていないものにしてください。
この機器は再生できません	認識できない未対応フォーマットの USB デバイスが接続されている。	USB デバイスの対応フォーマットを確認してください。
	iPod のソフトウェアバージョンが正しくない。	iPod のソフトウェアバージョンを確認してください。 *(→ P368)*
	USB アダプターに対応していない機器が接続されている。	USB アダプターに対応している機器を接続してください。 *(→ P368)*
この機器は再生できません	iPod の認証に失敗した。	以下の操作を試してください。 • iPod 本体または、USB デバイスを一旦 USB アダプターから取り外し接続しなおす。 • [PWR] ボタンを押してオーディオの電源を OFF → ON する。 • エンジンスイッチを一旦“0”にし、“I”または“II”にする。 いずれの操作でも復帰しない場合は、Honda 販売店にご相談ください。

メッセージ	原因	処置
録音されていません	iPod に曲が収録されていない。	iPod に曲を収録してください。
	USB デバイスに再生可能な音楽ファイルが記録されていない。	USB デバイスに再生可能な音楽ファイルを記録してください。

■サウンドコンテナ

メッセージ	原因	処置
この CD は録音できません	コピー禁止のディスクから録音しようとしている。	別のディスクに交換してください。
高温のため録音データが読めません	ナビゲーション本体の内部温度が高い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
サウンドコンテナの再生・録音機能は利用できません	著作権保護のための録音抑止状態です。	著作権保護のため、法人登録車では HDD サウンドコンテナの機能が利用できない場合があります。
しばらくお待ちください	振動などによりハードディスクのデータが読めない。	安全な場所に停車し、しばらくお待ちください。
低温のため録音データが読めません	ナビゲーション本体の内部温度が低い。	内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
ハードディスクをご確認ください	ハードディスクに異常がある。	販売店にご相談ください。
ハードディスクに異常があります 販売店にご相談ください	ハードディスクに異常がある。	販売店にご相談ください。
サウンドコンテナのデータ転送に失敗しました 販売店にご相談ください	サウンドコンテナの音楽データに異常がある。	販売店にご相談ください。

■サブディスプレイ

メッセージ	原因	処置
DISC ERROR	ディスクの読み込みができない。（露つき、傷、汚れなど）	他のディスクと交換してください。改善されれば、ディスクの不良です。
		ディスクの汚れを拭き取ってください。→ *「ディスクの正しい使いかた」(P358)*
		ディスクの曇りや水滴を拭き取ってください。
HEAT ERROR	メディアの内部の温度上昇による一時停止状態。	温度が下がるまでお待ちください。
MECH ERROR	ディスクの排出や挿入ができないなど、機械的な不具合。	販売店にご相談ください。
USB ERROR	USB アダプターに異常がある。	販売店にご相談ください。
BAD USB DEVICE PREASE CHECK OWNERS MANUAL	異常のある USB デバイスを接続した。	接続されている USB デバイスを取り外し、エンジンスイッチを "0" にした後、"I" または "II" にします。 このエラーが出た USB デバイスを再び接続しないでください。
UNPLAYABLE FILE	USB デバイスに記録された音楽ファイルで、著作権保護の WMA ファイルや対応していないフォーマットの音楽ファイルがあった。	著作権保護の WMA ファイルは再生できません。 約 3 秒間エラーを表示し、自動的に次の曲にスキップします。
NO SONG	USB デバイス内に再生できる音楽ファイルがない。	USB デバイスに対応しているフォーマットの音楽ファイルを記録してください。 → *「再生できる音楽ファイルについて」(P361)*
UNSUPPORTED	対応していない USB デバイスが接続された。	*「対応機器について」(→ P368)* を参照し、対応している USB デバイスを接続してください。
UNSUPPORTED VER.	本体または F/W の古い iPod が接続された。	*「対応機器について」(→ P368)* を参照し、対応している iPod を接続してください。
CONNECT RETRY	iPod との認証が正しくできなかった。	再度接続しなおしてください。

■ ETC

メッセージ	原因	処置
ETC カードを確認できません コード (01)	ETC カードの未挿入。	ETC カードを正しく挿入してください。
ETC カードを確認できません コード (02)	ETC カードの金属端子 (IC チップ) 部分が汚れている。	ETC カードの金属端子部に汚れがないか確認してください。
	認証中に ETC カードが抜き取られた。	再度 ETC カードを正しく挿入してください。
ETC カードを確認できません コード (03)	ETC カードの金属端子 (IC チップ) 部分が汚れている。	ETC カードの金属端子部に汚れがないか確認してください。
	ETC カードまたはセットアップカード以外のカードが挿入された。	正しい ETC カードまたはセットアップカードを挿入してください。
	ETC カードの読み取り処理中にカードが抜き取られた。	再度 ETC カードを正しく挿入してください。
	ETC カードが正しく挿入されていない。(裏表が逆、前後が逆)	ETC カードを正しく挿入してください。
ETC 車載器が異常なため ETC を利用できません コード (04)	ETC 車載器が故障している。	販売店にご相談ください。
ETC カードを確認できません コード (05)	ETC カードの金属端子 (IC チップ) 部分が汚れている。	ETC カードの金属端子部に汚れがないか確認してください。
	ETC カードまたはセットアップカード以外のカードが挿入された。	正しい ETC カードまたはセットアップカードを挿入してください。
	何らかの異常で、セットアップが正しく行われなかった。	再度セットアップカードを挿入し、セットアップを行ってください。同じエラーが繰り返されるときは、販売店にご相談ください。
	認証中に ETC カードが抜き取られた。	再度 ETC カードを正しく挿入してください。
ETC 車載器が異常のため ETC を利用できません コード (06)	アンテナ通過時に何らかの異常があった。	販売店にご相談ください。
	未セットアップ状態で ETC カードを挿入した。	セットアップしてください。
ETC 通信異常のため ETC を利用できません コード (07)	アンテナ通過時に何らかの異常があった。	販売店にご相談ください。
ETC 車載器が異常のため ETC を利用できません コード (09)	ETC 車載器が故障している。	販売店にご相談ください。
ETC 車載器が異常のため ETC を利用できません コード (10)	ETC 車載器が故障している。	販売店にご相談ください。

機能設定一覧

機能設定一覧

表示設定

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定 (初期状態) です。

設定項目	設定	
	標準	簡単
ビル立体表示	**[する]**	[しない] 固定
	[しない]	
3D アイコン表示	**[する]**	
	[しない]	
3D ポリゴン表示	**[する]**	
	[しない]	
走行軌跡表示	[する]	
	[しない]	
走行軌跡表示消去	走行軌跡を消去します。	消去できません。
軌跡自動消去	[自宅到着時]	[しない] 固定
	[しない]	
施設文字	**[標準]**	[標準] 固定
	[小文字]	
	[表示しない]	
3D 角度調整	10 段階で設定 **[5]**	機能なし
地図色 昼	**[ホワイト]**	[ホワイト] 固定
	[ブルー]	
	[グリーン]	
	[ベージュ]	
地図色 夜	[ホワイト]	[ブルー] 固定
	[ブルー]	
	[グリーン]	
	[ベージュ]	

設定項目	設定	
	標準	簡単
操作パネル色	**[ホワイト]**	[ホワイト] 固定
	[アンバー]	
	[ブルー]	
	[グリーン]	
道路ふち取り表示	[する]	[しない] 固定
	[しない]	
現在地情報の表示	**[地名]**	[地名] 固定
	[路線名]	
	[しない]	
路線番号表示	**[する]**	[しない] 固定
	[しない]	
高速ガイド表示	**[する]**	[する] 固定
	[しない]	
行程ガイド IC 省略	[する]	[しない] 固定
	[しない]	
都市高速マップ表示	**[する]**	
	[しない]	
スクロール方面表示	**[する]**	[する] 固定
	[しない]	
時計表示	**[する]**	
	[しない]	
サマータイム表示	[する]	
	[しない]	
時間表示	**[12時間表示]**	[12 時間表示] 固定
	[24時間表示]	
地図色時刻連動	[する]	[しない] 固定
	[しない]	
行政界色分け表示	[する]	
	[しない]	
2 画面同時スクロール	[する]	
	[しない]	

誘導設定

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定 (初期状態) です。

設定項目	設定	
	標準	簡単
リアル拡大図表示	**[する]** [しない]	[する] 固定
到着予想時刻表示	[目的地] **[経由地]** [しない]	[目的地] 固定
直線誘導線表示	[する] **[しない]**	[しない] 固定
方面看板表示	**[すべての交差点]** [案内交差点のみ] [しない]	[すべての交差点] 固定
レーン情報	**[表示する]** [表示しない]	[表示する] 固定
代替ルート計算	**[する]** [しない]	[する] 固定
回避エリア考慮	**[する]** [しない]	機能なし
センシングリルート	**[する]** [しない]	[する] 固定
一般道路の車速	**[25km/h]** 5km/h ～ 80km/h の間で 5km/h 刻みで設定	[25km/h] 固定
高速道路の車速	**[70km/h]** 5km/h ～ 120km/h の間で 5km/h 刻みで設定	[70km/h] 固定

設定項目	設定	
	標準	簡単
有料道路の車速	**[50km/h]** 5km/h ～ 100km/h の間で 5km/h 刻みで設定	[50km/h] 固定
ルート計算条件	**[推奨]** [一般道] [距離] [道幅]	標準操作モードの設定と同じになります。
ルート学習	**[する]** [しない] [リセット]	[する] 固定
冬期閉鎖考慮	[する] **[しない]**	[しない] 固定
繁華街駐車場	**[通知する]** [通知しない]	[通知しない] 固定
フェリー使用	[する] **[しない]**	[しない] 固定
横付けルート計算	**[する]** [しない]	[する] 固定
VICS ルート計算	**[する]** [しない]	
時間曜日規制考慮	**[する]** [しない]	
合流案内	**[する]** [しない]	
踏み切り案内	**[する]** [しない]	
右左折専用レーン案内	**[する]** [しない]	
事故多発地点案内	**[する]** [しない]	

設定項目	設定	
	標準	簡単
音声案内設定※		
VICS 案内	**[する]** [しない]	標準操作モードの設定と同じになります。
到着予想時刻案内	**[する]** [しない]	
交差点目印案内	[する] **[しない]**	
料金案内	**[する]** [しない]	
交差点名称案内	[する] **[しない]**	
JCT 名称案内	**[する]** [しない]	
一般道方面名称案内	[する] **[しない]**	
高速道方面名称案内	[する] **[しない]**	
交通状況変化時案内	**[する]** [しない]	

※ジョイスティックを下に倒して [シンプル設定に変更] を選ぶと、[VICS 案内] のみが [する] の設定になります。
※ジョイスティックを下に倒して [詳しい設定に変更] を選ぶと、すべての項目が [する] の設定になります。

VICS 設定 (VICS 情報表示)

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定 (初期状態) です。

設定項目	設定	
	標準	簡単
図形情報割込み	**[する]** [しない]	[する] 固定
文字情報割込み	[する] **[しない]**	[しない] 固定
一般道情報表示	**[する]** [しない]	[する] 固定
高速道情報表示	**[する]** [しない]	
渋滞表示	[する] **[点滅表示]** [しない]	VICS 情報表示が ON の場合は、すべて [点滅表示] になります。OFF の場合は、すべて [しない] となります。初期値は ON となります。
混雑表示	**[する]** [点滅表示] [しない]	
順調表示	[する] [点滅表示] **[しない]**	
規制表示	**[する]** [しない]	VICS 情報表示が ON の場合は、すべて [する] になります。OFF の場合は、すべて [しない] となります。初期値は ON となります。
VICS 駐車場マーク表示	**[する]** [しない]	

設定項目	設定	
	標準	簡単
VICS 強調地図表示	[する]	[しない] 固定
	[しない]	
情報保持時間	**[30 分]**	[30 分] 固定
	[60 分]	
情報受信接続設定※	[状況変化時]	標準操作モードの設定と同じになります。
	[5 分]	
	[15 分]	
	[30 分]	
	[60 分]	
	[しない]	
自動ルート再計算※	**[する]**	
	[しない]	
自動更新ポイント設定※	**[する]**	
	[しない]	
フローティングカーシステム※	**[する]**	
	[しない]	
簡易図形割込み※	**[する]**	
	[しない]	
駐車場セレクト設定※	条件を設定します。 (→ P169)	

※インターナビ VICS の設定です。

通信機能設定

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定 (初期状態) です。

お知らせ

- 簡単操作モード、標準操作モードで設定内容は共有されます。

設定項目	設定 標準 簡単
通信設定	選んで [実行] を押すと通信の設定ができます。(→ P234)
Bluetooth 設定	選んで [実行] を押すと Bluetooth の設定ができます。(→ P227)
電話機の接続	**[ケーブル]**
	[Bluetooth]

電話設定

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定 (初期状態) です。

お知らせ

- 簡単操作モード、標準操作モードで設定内容は共有されます。

設定項目	設定 標準 簡単
アドレス帳読み込み	選んで [実行] を押すと現在のアドレス帳のデータを消去して新規に読み込みます。
アドレス帳追加	選んで [実行] を押すと現在のアドレス帳にデータを追加で読み込みます。
通話中画面表示	**[する]**
	[しない]
自動着信	**[する]**
	[しない]
電話通話音量	7 段階で設定 **[4]**
電話着信音量	7 段階で設定 **[4]**

その他設定

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定 (初期状態) です。

設定項目	設定	
	標準	簡単
メニュー音声読み上げ	[する]	[走行中のみ] 固定
	[しない]	
	[走行中のみ]	
ふらつき検知警報	**[する]**	[する] 固定
	[しない]	
カーブ警告	**[舗装路]**	[舗装路] 固定
	[圧雪路]	
	[しない]	
シートベルト警告	**[する]**	[する] 固定
	[しない]	
パーキングブレーキ警告	**[する]**	
	[しない]	
県境案内	**[する]**	
	[しない]	
ETC 案内	**[する]**	
	[しない]	
回転操作音	3 段階で設定 **[2]**	標準操作モードの設定と同じになります。
PUSH 実行操作音	3 段階で設定 **[2]**	
警告灯 情報センター送信	**[する]**	[する] 固定
	[しない]	
警告灯 メッセージ表示	**[する]**	
	[しない]	

索引

メニュー索引

簡単操作モード　簡単

お知らせ

- メニューを表示させたときの状態により、表示されない項目や選択できないメニューがあります。

internavi 安否連絡
すべての情報をパーソナルHPと同期する P250
▼ 回線切断 ▼ P247
電話をかける
発信着信履歴 P308
電話帳 P307
ダイレクト発信 P306
QQ コール P316
ワンタッチダイヤル 1～5 P307
▼ 通信機能設定
・電話設定
・緊急連絡先
・近くのロードサービス ▼
通信機能設定 P235
電話設定 P301
緊急連絡先 P275
近くのロードサービス P318
アドレス帳
新規登録 P328
▼ 全消去
・グループ名編集
・リスト表示順変更
・検索
・PC カード▼
全消去 P330
グループ名編集 P331
リスト表示順変更 P330
検索 P331
PC カード P333
付加機能
音声メモ P348
各種情報
ハードディスク容量 P484
地図バージョン P481
ETC ユーザー情報 P326
ETC 料金履歴 P326
音声操作
声を覚えさせる 取扱説明書「音声操作編」
音声操作ガイド 取扱説明書「音声操作編」
発話例 取扱説明書「音声操作編」
設定変更 取扱説明書「音声操作編」
シークレットモード P351
標準モードにする P33
▼ 設定を変える ▼
表示設定 P182
VICS 情報表示 P190
自宅変更 (自宅登録) P71 (P70)
通信機能設定 P235
電話設定 P301

[画面] ボタン
画面を消す
P31
画面明るさ調整
明るさ
P68
コントラスト
P68
黒の濃さ
P68
地図向きを変える
北を上に表示
P52
進行方向を上に表示
P52
ランドマーク表示
P59
▼ 表示の設定を変える ▼
P182

[目的地] ボタン
自宅に帰る
(自宅を登録する)
P108
(P70)
名称で探す
施設名
P101
地名
P103
施設のジャンルで探す
P97
住所で探す
P104
電話番号で探す
P105
▼ 目的地を消去する ▼
P129

標準操作モード

標準

お知らせ

- メニューを表示させたときの状態により、表示されない項目や選択できないメニューがあります。

[メニュー] ボタン

- 音声音量設定 P41
- ルート
  - 誘導中止（誘導開始） P148
  - 迂回計算 P139
  - 5 ルート計算 P140
  - ルート再計算 P141
  - 計算条件変更
    - 推奨 P141
    - 一般道優先 P141
    - 距離優先 P141
    - 道幅優先 P141
  - IC 指定 P145
  - 全ルート表示 P137
  - 経由地リスト P142
  - （経由地○スキップ） (P144)
- VICS
  - FM 文字多重 P177
  - 割込情報 P158
  - VICS 文字情報 P155
  - VICS 図形情報 P156
  - internaviVICS P168
  - この先の交通情報 P159
  - 駐車場情報 P156
  - VICS 地域選択 P161
  - ▼ VICS 設定 ▼ P190
- internavi 情報
  - Honda からのお知らせ P244
  - メール
    - メール読み上げ P285
    - 受信リスト P251
    - メール送受信 P261
    - 送信リスト P262
    - メール作成 P255
    - ▼ メール設定 ▼ P254

カーカルテ
メンテナンス記録 P268
愛車メモ P274
▼パーソナルHPと同期▼ P267
internavi VICS P168
internaviウェザー P281
新規道路データ P245
最新のニュース P248
今日のニュース P248
Honda ニュース P248
お知らせ P248
internavi安否連絡
すべての情報をパーソナルHPと同期する P250
▼回線切断▼ P247
電話
発信着信履歴 P308
電話帳 P307
ダイレクト発信 P306
QQコール P316
ワンタッチダイヤル1～5 P307
▼通信機能設定
・電話設定
・緊急連絡先
・近くのロードサービス▼
通信機能設定 P235,237
電話設定 P301
緊急連絡先 P275
近くのロードサービス P318
アドレス帳
新規登録 P328
▼全消去
・グループ名編集
・リスト表示順変更
・検索
・PCカード▼
全消去 P330
グループ名編集 P331
リスト表示順変更 P330
検索 P331
PCカード P333
付加機能
スケジュール設定 P339
壁紙設定 P336
音声メモ P348
各種情報
PCカード情報 P290
ハードディスク容量 P484
バージョン情報 P481
ETCユーザー情報 P326
ETC料金履歴 P326

音声操作
声を覚えさせる
取扱説明書「音声操作編」
音声操作ガイド
取扱説明書「音声操作編」
発話例
取扱説明書「音声操作編」
設定変更
取扱説明書「音声操作編」
データ編集
保存情報の全消去
P485
サウンドコンテナの全消去
P465
ランドマークデータ
P202,208
回避エリア
P213
マークリスト
P81
PC カード編集
P291
シークレットモード
P351
カスタマイズ
カスタマイズメニュー
P195
internavi ダイレクト
P249
ユーザー定型文編集
新規作成
P47
▼ 全消去 ▼
P48
簡単モード
P33
▼ 機能設定 ▼
表示設定
P182
誘導設定
P185
VICS 設定
P190
通信機能設定
P235,237
電話設定
P301
その他設定
P193
現在地修正
P199

[画面] ボタン
画面消
P31,197
画面調整
明るさ
P68
コントラスト
P68
黒の濃さ
P68
マップモード切換
1 画面地図
P53
2 画面地図
P54
3D マップ
P54
3D/2D マップ
P55
ドライビングマップ
P55
行程ガイド
P56
高速ガイド
P56
地図方位切換
北を上に表示
P52
進行方向を上に表示
P52
北を上 / 北を上
P52
北を上 / 進行方向を上
P52
進行方向を上 / 北を上
P52
進行方向を上 / 進行方向を上
P52
右画面縮尺
P50
ランドマーク表示
P59
▼表示設定▼
P182

[目的地] ボタン
探し方 1
住所
P104
周辺検索
P95
施設ジャンル
P97
自宅へ誘導 (自宅登録)
P108 (P70)
よく行く地点
P108
電話番号
P105
地図から
P93
探し方 2
目的地履歴
P109
マークリスト
P109
マップコード
P107
名称で探す
P101,103
郵便番号
P106
おすすめドライブナビゲーター
P486
internavi ドライブ情報
P115
▼目的地消去▼
P129

用語索引

用語索引

■五十音順

さ行

た行

な行

は行

■数字・アルファベット

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章　総則

（約款の適用）

第 1 条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 52 条の 4 の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第 2 条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第 3 条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1)　VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2)　VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約

(3)　加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者

(4)　VICS デスクランブラー
ＦＭ 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）

第 4 条　VICS サービスには、次の種類があります。

(1)　文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2)　簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3)　地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）

第 5 条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章　契約

(契約の単位)

第 6 条　当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第 7 条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域 (全国都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内) とします。
ただし、そのサービス提供区域内であっても、電波の伝わりにくいところでは、VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第 8 条　VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機 (VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機) を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第 9 条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第 10 条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第 11 条 当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

(1)　加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2)　加 入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第 12 条

1　当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第 4 章　料金

(料金の支払い義務)

第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。

なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第 5 章　保守

(当センターの保守管理責任)

第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第 15 条

1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第 6 章　雑則

(利用に係る加入者の義務)

第 16 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第 17 条

1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。

ま た、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

但 し、当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表

視聴料金　315 円（うち消費税 15 円）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

Gracenote サービスについて

著作権について

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote® により提供されます。Gracenote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、次の Web サイトをご覧ください : www.gracenote.com
Gracenote からの CD および音楽関連データ :

この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の 1 つまたは複数を実践している可能性があります :
#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、
およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許 (#6,304,523) 用に Open Globe, Inc. から提供されました。
Gracenote および CDDB は Gracenote の登録商標です。
Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは Gracenote の商標です。
Gracenote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください :
www.gracenote.com/corporate

会社概要

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。
Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

使用許諾契約書

バージョン 20061005

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc.（以下「Gracenote」）のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア（以下「Gracenote ソフトウェア」）を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracenote データ」）などの音楽関連情報をオンライン サーバーから、或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenote サーバー」）から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第 3 者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。

Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda 販売店にお気軽にご相談ください。

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社　お客様相談センター

フリーダイヤル　0120-112010（イイフレアイオ）

受付時間　9:00 ～ 12:00　13:00 ～ 17:00

〒 351-0188 埼玉県和光市本町 8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

①車検証記載事項
　車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
②車種名、タイプ名、走行距離
③ご購入年月日
④販売店名
⑤地図バージョンとプログラムバージョン*(→ P481)*

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
Honda 販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。

インターネットでも取扱説明情報をお伝えしております。
Digital Owner's Manualのホームページ
http://www.honda.co.jp/manual/

30TA0800
00X30-TA0-8000

Ⓞ (MI) 1500.2007.10.8